

本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

- ◎ お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
- ◎ 「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。

- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
 警告	守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
お車のために守っていただきたいこと。	
 アドバイス	守らないと車両破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。	
 知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡マークで表示しています。
- 本書では、標準装備のナビゲーションシステムを装着した車両のことを「メーカーオプションナビゲーションシステム装着車」と示しています。
- 日産販売会社で取り付けられた装備（ディーラーオプション）については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。
- 点検・整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- メーカーオプションナビゲーションシステム装着車は、別冊の取扱説明書をお読みください。
- その他、ご不明な点はカーライフアドバイザー（営業部員）にお申しつけください。

- 交通ルールやマナーを守って運転しましょう。
- 自然環境保護に配慮してください。
- 本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

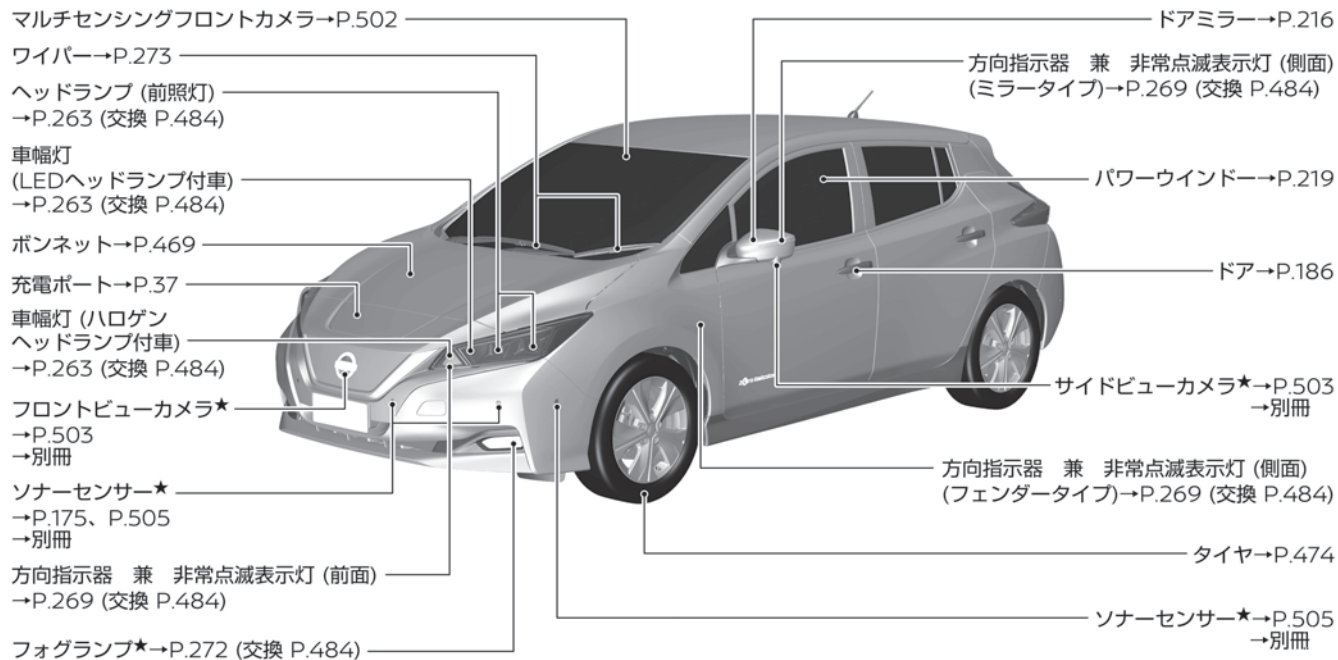
取り扱い方法をパソコンやスマートフォンでもご覧いただけます。
右のQRコードを読み取るか、URLを直接入力すると電子取扱説明書（ビジュアル版）が閲覧できます。
http://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/LEAF_SPECIAL/1709/index.html



■ 外観フロント .2 ■ 運転席まわり .5 ■ 警告灯一覧 .8	■ 外観リヤ .3 ■ インストルメントパネル .6 ■ 表示灯一覧 .9	■ 車室内 .4 ■ メーター .7	イラスト目次	P.2
■ 電気自動車の特徴 .12 ■ 便利なサポート機能 .21	■ 安全にご利用いただくために .14	■ 電気自動車と上手に付き合うために .18	電気自動車とは	P.11
■ 充電に関する注意事項 .26 ■ 便利な充電方法 .54	■ 充電に関する装備 .32 ■ 充電で困ったときは .60	■ 充電する .44	充電のしかた	P.25
■ 運転する前に .66 ■ お子さまの安全のために .91	■ シートベルト .73 ■ 盗難防止機能 .105	■ エアバッグ .78	安全なドライブのために	P.65
■ 計器類 .108 ■ メーターの明るさの調節 .178	■ 警告灯・表示灯 .117	■ アドバンスドドライブアシストディスプレイ .131	メーターの見かた	P.107
■ キー .180 ■ ハンドルの調節 .205 ■ エアコンの操作 .221	■ ドアの施錠と解錠 .186 ■ ミラーの調節 .206 ■ タイマーエアコンの操作 .236	■ シートの調節 .198 ■ 窓ガラスの開閉 .219	各部の操作	P.179
■ 始動する .244 ■ 運転支援機能 .277	■ 運転する .249	■ ランプをつける、ワイパーを使う .263	運転のしかた	P.243
■ 室内灯 .400	■ 収納装備 .404	■ その他の室内装備 .411	室内装備	P.399
■ まずはじめに .420	■ 緊急時の対処法 .426		トラブルがおきたときは	P.419
■ メンテナンスの前に .460 ■ サービスデータ .510	■ 点検と整備 .468	■ 清掃・お手入れ .497	メンテナンス	P.459
			索引	P.521

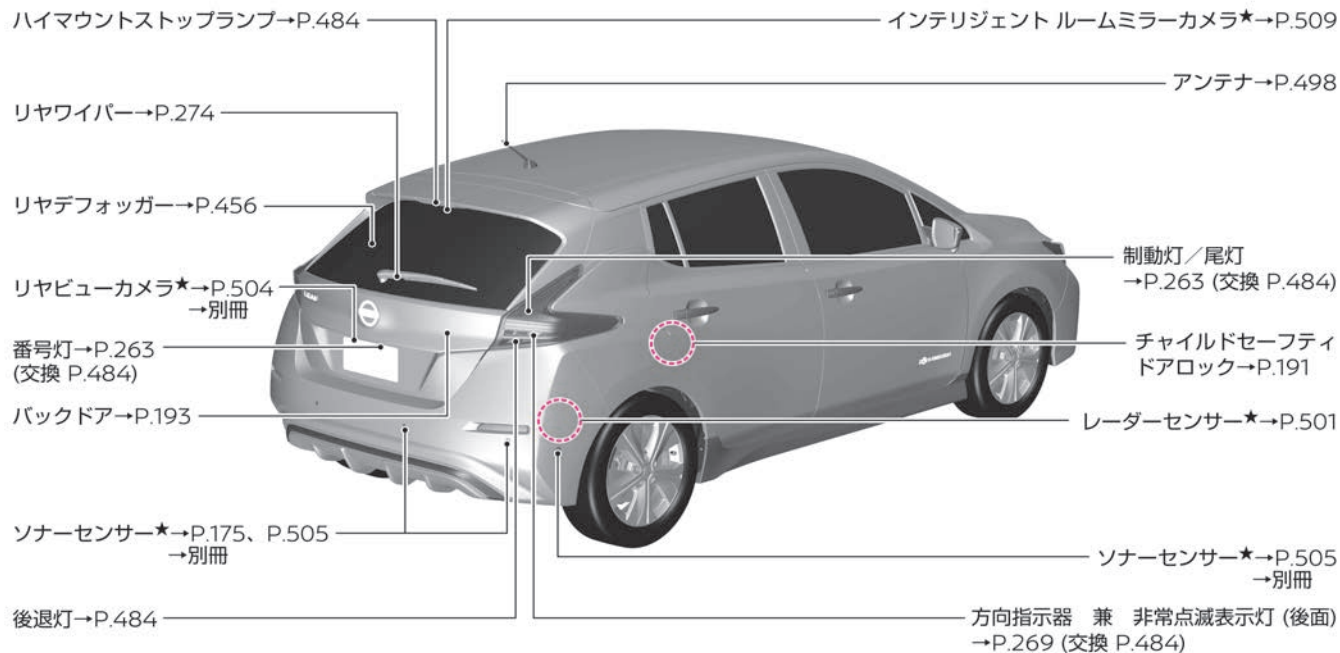
外観フロント

別冊：ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。



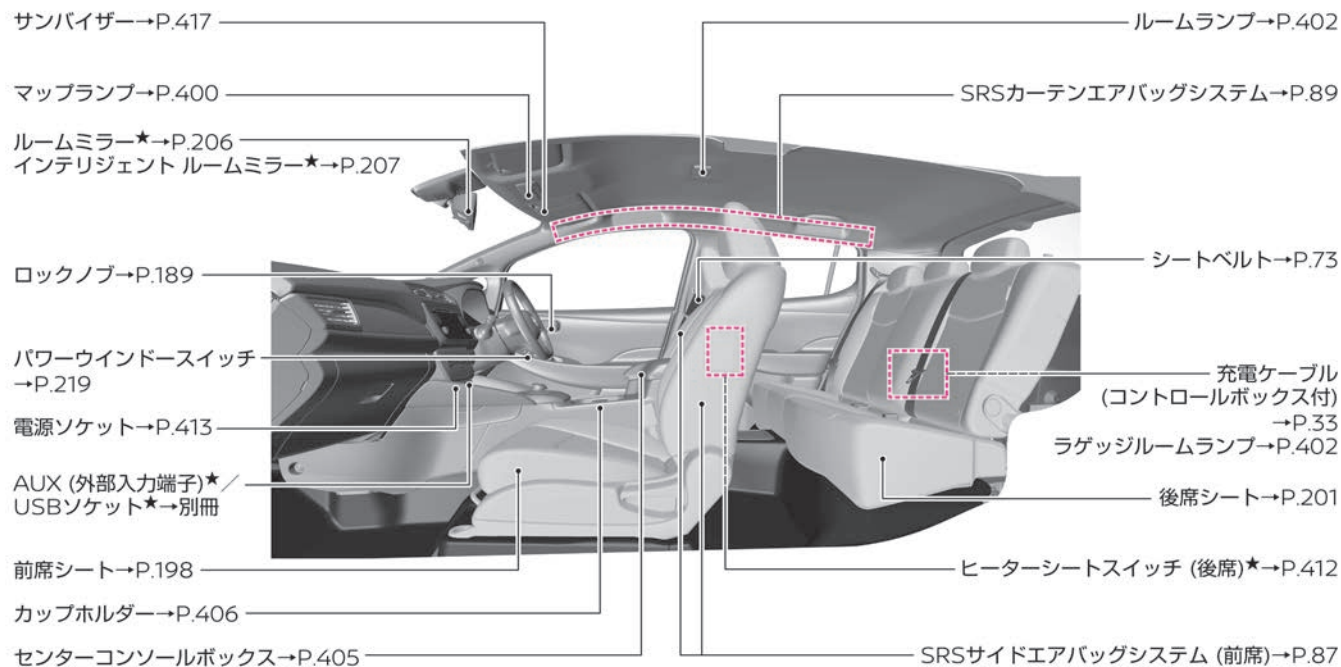
外観リヤ

別冊：ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。



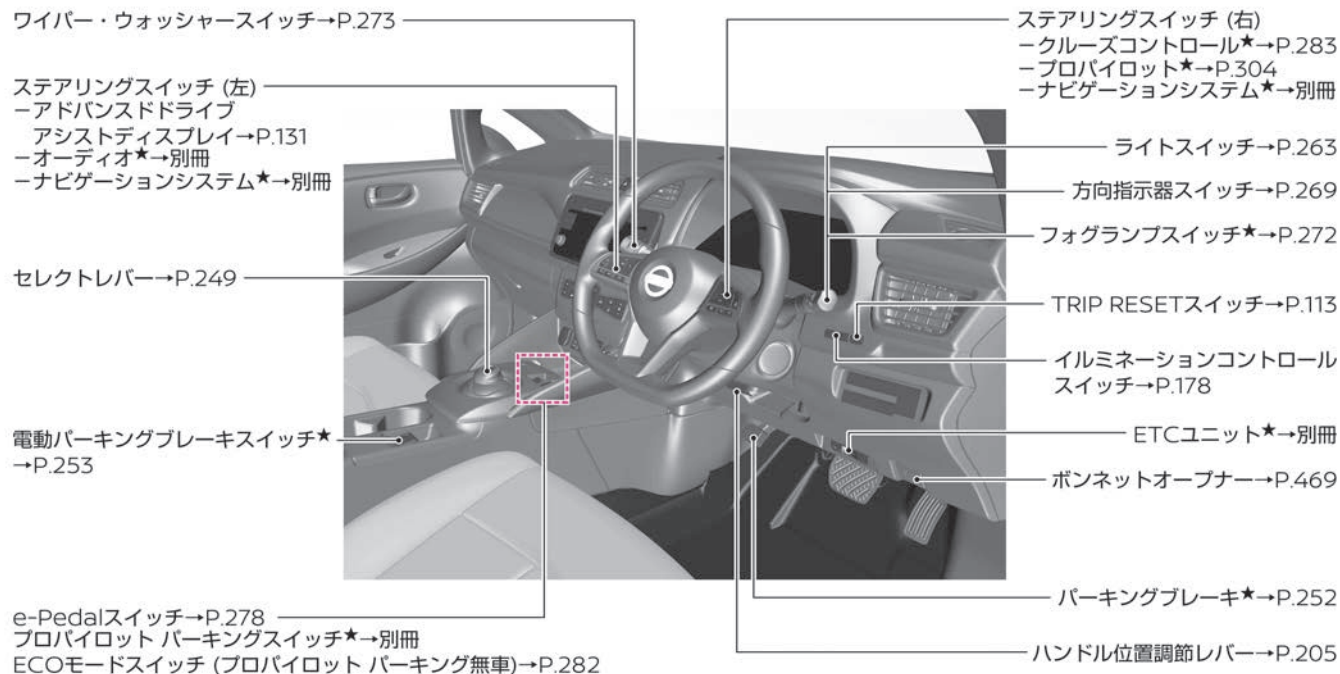
車室内

別冊：ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。



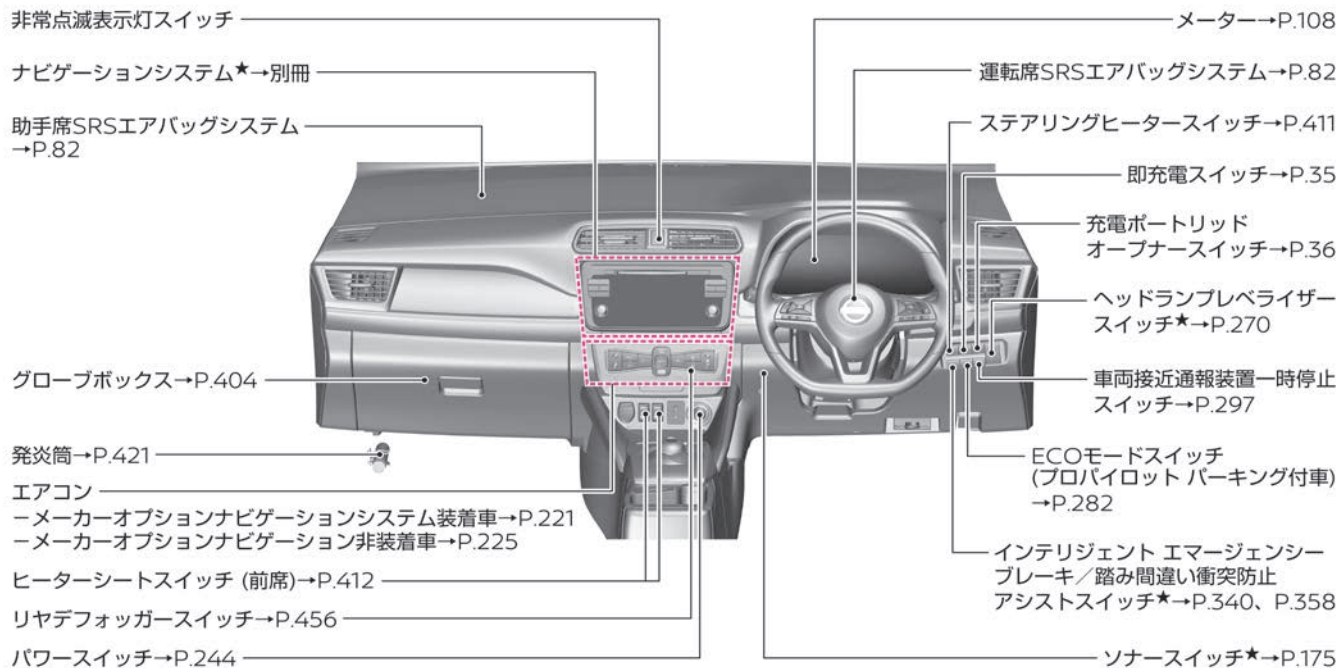
運転席まわり

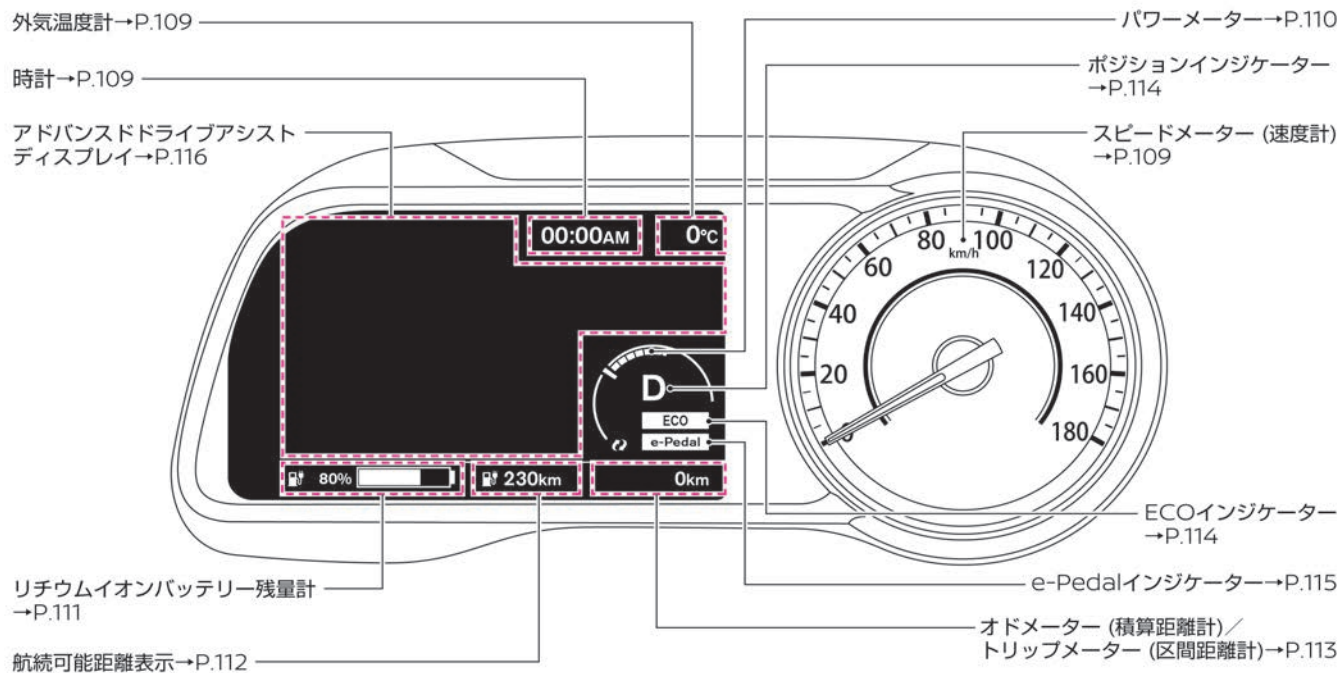
別冊：ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。



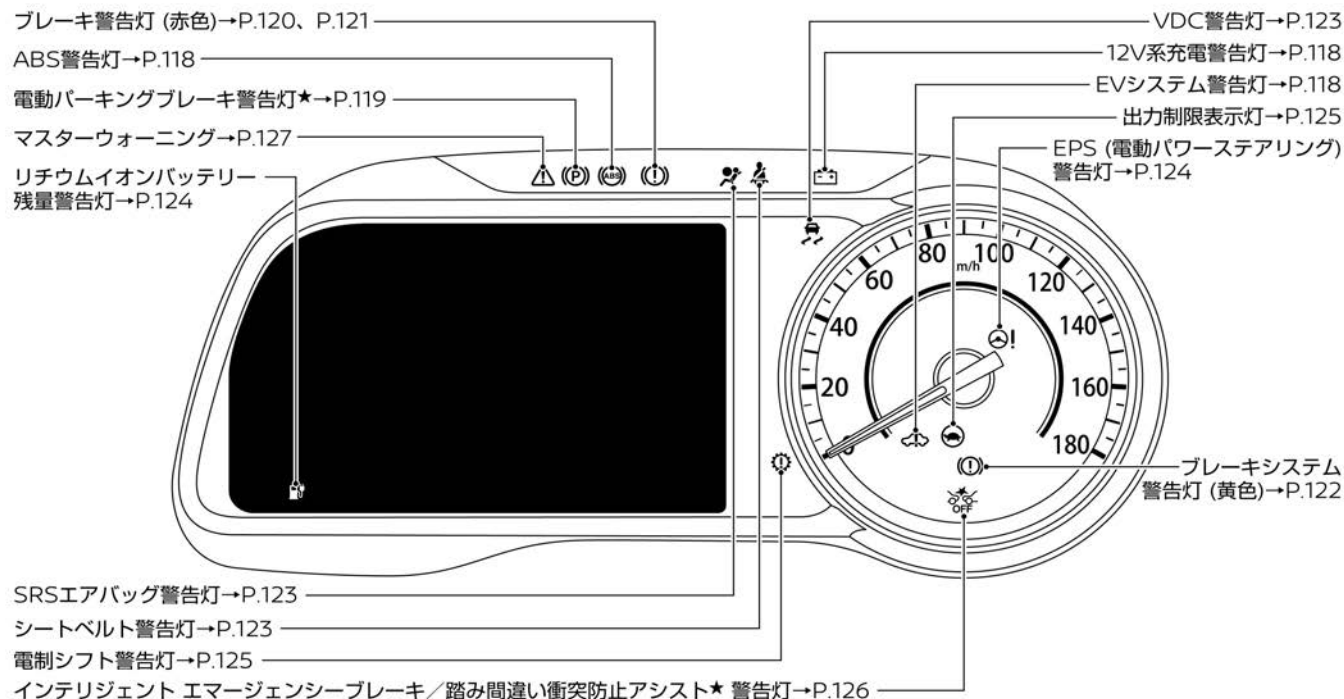
インストルメントパネル

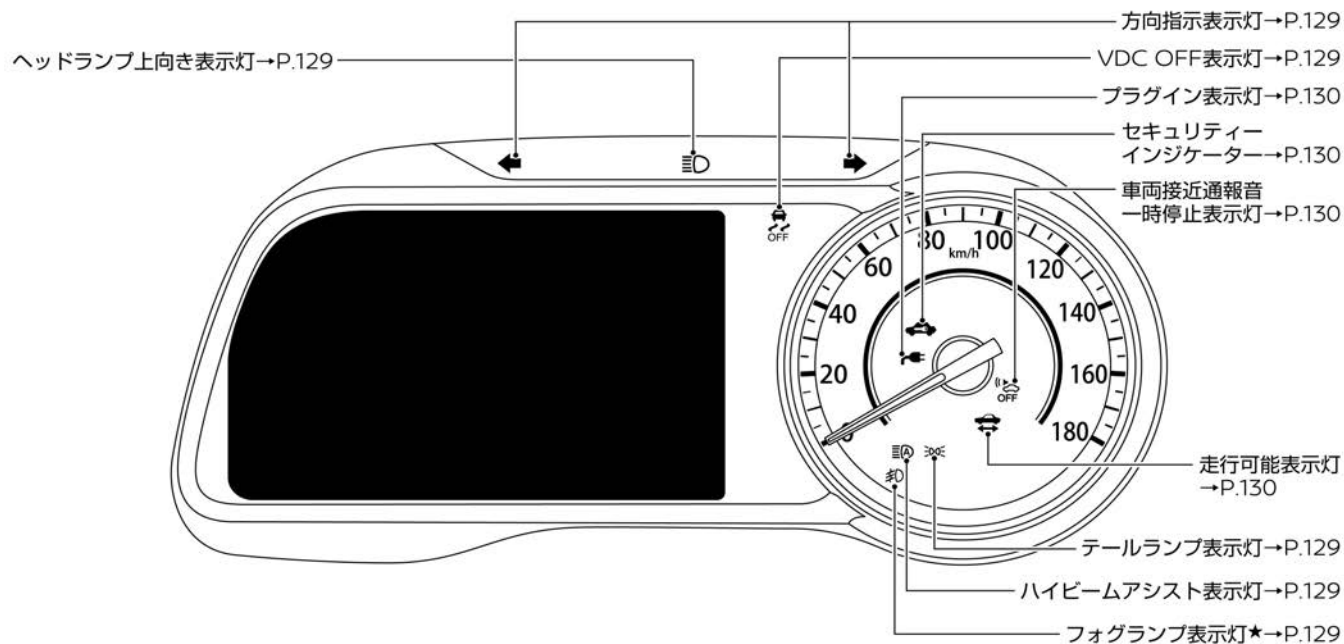
別冊：ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。





警告灯一覧





MEMO

イラスト
目次

電気自動車の特徴

電気自動車（EV）ってどんな車？	P.12
------------------	------

安全にご利用いただくために

高電圧部品について	P.14
電気自動車（EV）の取り扱いに関する注意事項	P.15
電気自動車（EV）が事故にあったときの注意事項	P.16

電気自動車と上手に付き合うために

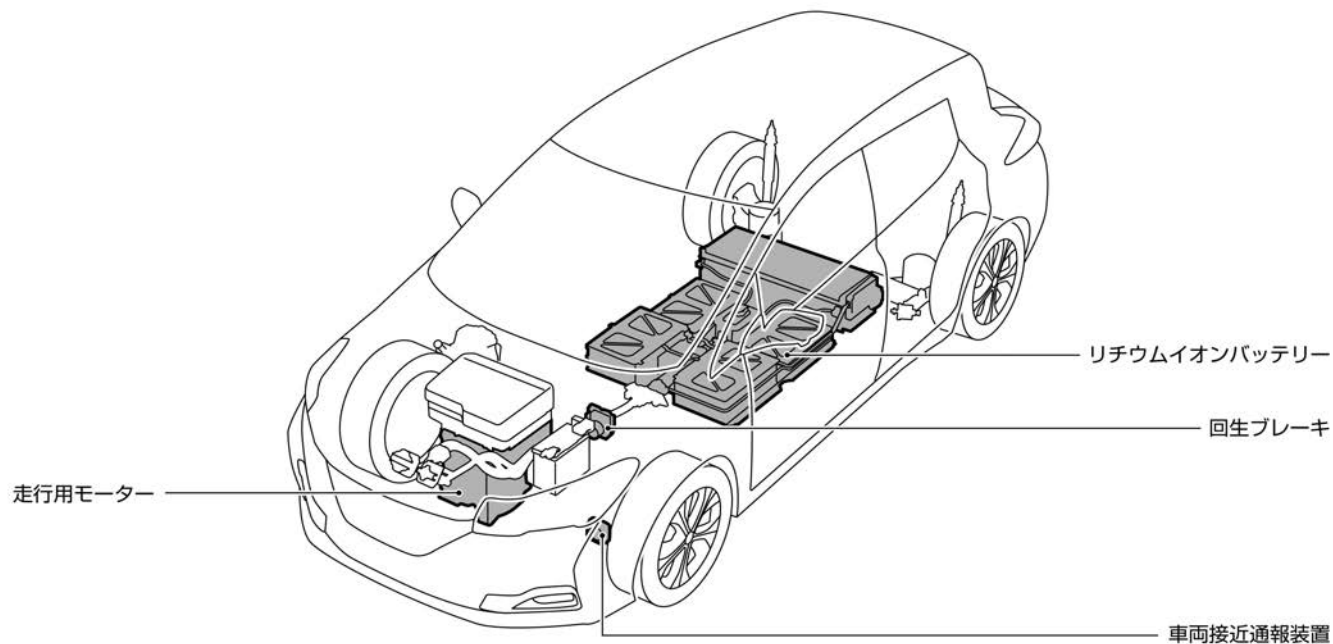
航続距離を延ばすためのポイント	P.18
バッテリーを長持ちさせるためのポイント	P.20

便利なサポート機能

タイマー機能	P.21
携帯電話やパソコンで利用できる機能	P.22

電気自動車 (EV) ってどんな車？

リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力を使用して、走行用モーターにより走行する自動車です。
エンジン音の代わりに走行可能表示灯  の点灯・消灯で、EVシステムの始動・停止を確認します。
始動のしかたは  P.244、停止のしかたは  P.246をお読みください。



電気自動車（EV）ってどんな車？

リチウムイオンバッテリー

電気自動車（EV）はガソリンを使用せず、リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力で走行します。

そのため、給油する代わりにリチウムイオンバッテリーを充電する必要があります。

➡ 充電のしかた (P.25)

走行用モーター

リチウムイオンバッテリーに蓄えられた電力を使用して、エンジンの代わりにタイヤへ動力を伝えます。

回生ブレーキ

ガソリン車のエンジンブレーキの代わりにモーターを使って減速することを回生ブレーキと呼びます。減速するときに発電するため、発電した電力でリチウムイオンバッテリーを充電することができ、航続距離を延ばすことができます。

車両接近通報装置

走行時の音がとても静かで通行人が車両の接近に気づきにくいいため、警報装置が付いています。交差点などの徐行中に警報音が鳴り、通行人に車両の接近を知らせます。

➡ 車両接近通報装置 (P.297)

知識

- リチウムイオンバッテリーは、使用を繰り返すと徐々に容量（蓄電能力）が低下します。これはバッテリー本来の特性であり、家電製品と同様に異常ではありません。
- 気圧の急激な変化により、リチウムイオンバッテリーから音がある場合がありますが、異常ではありません。
- 次の場合は回生ブレーキが作動せず、摩擦ブレーキのみで制動力を発生させます。
 - ー EVシステムまたはブレーキシステムに異常があるとき
 - ー ABSまたはVDCが作動しているとき
 - ー リチウムイオンバッテリーが満充電のとき
- 回生ブレーキが作動しているときは、ブレーキペダルの踏みこたえが変化したり、音や振動が発生したりすることがありますが、異常ではありません。

安全にご利用いただくために 高電圧部品について

電気自動車（EV）には高電圧部品が使われています。高電圧部品は高い電圧を使用していますので、分解や取り外しはしないでください。主な高電圧部品は次のとおりです。

パワーデリバリーモジュール（充電器（車載用）内蔵）

●充電をはじめとした電気自動車に関わるさまざまな機能を制御しています。3kW普通充電器（車載用）または6kW普通充電器（車載用）★が内蔵されています。走行直後は高温になることがあるので注意してください。

リチウムイオンバッテリー

●走行するための電力を蓄えます。充電ポートに充電ケーブルを接続して充電します。

サービスプラグ

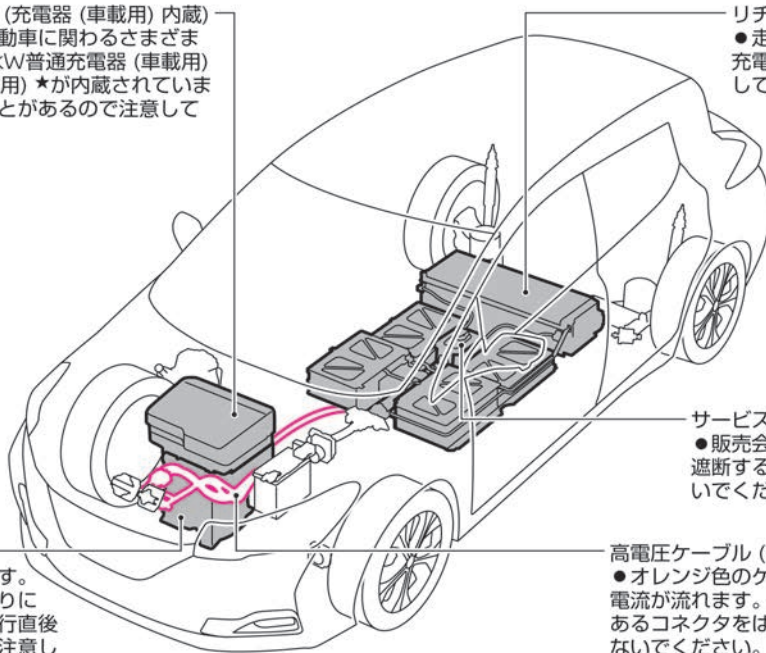
●販売会社で整備を行うとき、高電圧を遮断するためのものです。絶対に触らないでください。

走行用モーター

●走行するためのモーターです。ガソリン車のエンジンの代わりに電気自動車を走らせます。走行直後は高温になることがあるので注意してください。

高電圧ケーブル（オレンジ色）

●オレンジ色のケーブルは、高電圧により大きな電流が流れます。ケーブルに触れたり、付け根にあるコネクタをはずしたりすることは、絶対にしないでください。



電気自動車（EV）の取り扱いに関する注意事項

電気自動車（EV）を適切に取り扱うため、次のことを必ずお守りください。

警告

- **高電圧部位には触れない。**

最大で約400Vの直流高電圧が使用されているため、高電圧ケーブルやコネクタ、高電圧部品（走行用モーターやリチウムイオンバッテリーなど）には触れないください。感電すると生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。車両のモータールーム内に貼られているラベルの記載事項に必ず従ってください。

- **高温に注意する。**

走行直後は走行用モーターが高温になっている可能性があります。車両のモータールーム内に貼られているラベルの記載事項に必ず従ってください。

アドバイス

- リチウムイオンバッテリーの損傷を防止するため、次のことをお守りください。

- 外気温が49℃以上の場所に24時間以上放置しない
- 外気温が-25℃未満の場所に7日間以上放置しない
- リチウムイオンバッテリー残量が0（ゼロ）か、ほぼ0（ゼロ）の状態14日間以上放置しない

➡ リチウムイオンバッテリー残量計 (P.111)

- 車両を長期間使用しないときは、3ヶ月に1回満充電にしてください。放置するとリチウムイオンバッテリーを損傷するおそれがあります。
- リチウムイオンバッテリーは、不適切な方法で処分すると環境汚染につながります。廃車やリチウムイオンバッテリーの処分については、日産販売会社にご相談ください。

電気自動車（EV）が事故にあったときの注意事項

事故が発生したときは、次のことを必ずお守りください。



警告

- 高電圧部品および高電圧ケーブルが露出しているときは絶対に触れない。
高電圧部品および高電圧ケーブルの位置は、🔍 P.14を確認してください。
- リチウムイオンバッテリーから液漏れが見られる場合は、すみやかに日産販売会社に連絡する。
火災が発生するおそれがあります。
- 車室内や車外に液体が漏れているときは絶対に触れない。
万一、リチウムイオンバッテリーから漏れた液体が皮膚や衣服に付着したときは、水道水などのきれいな水で洗い流し、すみやかに医師の診察を受けてください。
- 走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、安全な場所に停車し、損傷が無い点検する。
床下に損傷が見られる場合は、絶対に触れずすみやかに日産販売会社にご連絡ください。
- リチウムイオンバッテリーや高電圧部品から火災が発生したときは、できるだけ早く車両から離れる。
火災を消火するときは、必ず電気火災用の消火器（ABC、BCまたはCタイプ）を使用してください。消火栓などから大量の放水が可能な場合のみ、水での消火も可能です。不適切な消火作業は危険なため、絶対に行わないでください。
- けん引が必要なときは、前輪または4輪を持ち上げてけん引する。
けん引時に前輪が接地していると、走行用モーターが発電し、車両を損傷するおそれがあります。
🔍 けん引について (P.422)
- 事故などで車両が損傷し、安全であることを確認できない場合は、車両から離れ日産販売会社に連絡する。
連絡するときは、電気自動車であることを伝えてください。

電気自動車（EV）が事故にあったときの注意事項



警告

- 板金・塗装による修理が必要な場合は、必ず日産販売会社に連絡する。
万一、リチウムイオンバッテリーのバッテリーパックが損傷しているときなどは、電気自動車の整備に関する知識がないと重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 事故などでランプが破損したまま走行しない。
内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

航続距離を延ばすためのポイント

航続距離は運転のしかた、道路状況、天候や気温、乗員数などに大きく左右されます。次のようなことに気をつけると、1回の充電でより長い距離を走ることができます。

お出かけ前に

お出かけ前にエアコンを作動させ、車室内を快適な温度にする。

- 走行を始めてからのエアコンの消費電力を抑えられます。
- お出かけ前にエアコンを作動するには、タイマーエアコン（🔌P.21）または乗る前エアコン（リモート）★を使います。

消費電力が少ないルートを選択する。

- 上り坂の走行は航続距離に大きく影響するため、上り坂の少ないルートを選択すると電力を抑えられます。
メーカーオプションのナビゲーションシステムで上り坂が少ないルートを検索することができます。詳しくはナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

不要な荷物は積んだままにしない。

- 荷物を減らし、車両重量を軽くすることで、消費する電力を抑えられます。

適切なタイヤ空気圧にする。

- タイヤ空気圧が低下していると、より電力が消費されます。
🔌 タイヤの点検項目 (P.474)

運転するときは

■ なめらかに発進、加速する。

- 急発進、急加速をすると、より電力を消費します。
- パワーメーター（🔌P.110）で消費している電力を確認しながら加速することで、消費電力を抑えた加速ができます。

📖 知識

- 乗る前エアコン（リモート）★の詳細な操作方法については、“N-Link OWNERS サイト（<http://n-link.nissan.co.jp/MANUAL>）”をご覧ください。
- 航続可能距離が大幅に減少する場合は、次のようなことが原因として考えられます。
 - ー 走行するルートの地形に上り坂が多い
 - ー 高速道路など、速度の速い走行を続けている
 - ー 頻繁に急発進、急加速、急ブレーキをしている
 - ー 外気温が低下した影響でリチウムイオンバッテリーの温度が極端に低くなっている

航続距離を延ばすためのポイント

■ 車間距離に余裕を持ち、急ブレーキを極力避ける。

- 緩やかに減速すると、減速時に回生ブレーキによって発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

■ 高速道路などでスピードを出しすぎない。

- スピードの出しすぎは、電力を無駄に消費します。

■ エアコンの設定温度を控えめにし、必要がなければこまめにOFFにする。

- エアコンによる余分な電力の消費を抑えられます。

■ 寒いときは、エアコンの代わりにヒーターシート★やステアリングヒーターを使用する。

🔗 ヒーターシート★ (P.412)

🔗 ステアリングヒーター (P.411)

- ヒーターシート★やステアリングヒーターは、エアコンに比べ消費電力が少ないため、使用する電力を抑えられます。

■ ECOモードで走行する。

🔗 ECOモード (P.282)

- ECOモードを使うと、走行用モーターに供給する電力を抑えられます。

バッテリーを長持ちさせるためのポイント

リチウムイオンバッテリーは使用していくうちに、徐々に容量（蓄電能力）が低下します。次のようなことに気をつけるとリチウムイオンバッテリーを長持ちさせることができます。

■ 充電するときは

■ リチウムイオンバッテリーを長持ちさせるため、充電するときは次のことに気をつける。

- 必要以上の頻繁な充電を避けることで、リチウムイオンバッテリーを長持ちさせることができます。
- できるだけ急速充電を控え、普通充電またはV2H充電で充電してください。急速充電に比べて、普通充電またはV2H充電で充電した方がリチウムイオンバッテリーへの負担が少ないため、リチウムイオンバッテリーを長持ちさせることができます。

➡ 充電の種類 (P.44)

知識

- リチウムイオンバッテリーは、時間の経過や、充電と走行を繰り返すことなどで、徐々に容量（蓄電能力）が低下します。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、異常ではありません。

■ 運転するときは

■ 緩やかに加速し、航続距離を延ばすような運転を心がける。

- 急加速などで早く電力を消費すると、リチウムイオンバッテリーに負担がかかります。

➡ 航続距離を延ばすためのポイント (P.18)

■ 駐車するときは

■ リチウムイオンバッテリーを長持ちさせるため、車両を保管するときは次のことに気をつける。

- 外気温が極端に高いまたは低い場所で車両を保管しないでください。温度変化により容量（蓄電能力）の低下が早まります。真夏は炎天下ではなく、なるべく日かげに駐車することでリチウムイオンバッテリーを長持ちさせることができます。
- リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低いまま放置しないでください。車両を長期間使用しないときは、3ヶ月に1回程度は満充電にしてください。自然放電により充電量が徐々に低下するため、定期的な充電が必要です。

充電やエアコンの作動をタイマー設定することができます。

タイマー充電

充電の開始時刻および停止時刻をあらかじめ設定することができます。

お客様の契約している電気料金プランに合わせてタイマー充電を行うことで、電気料金の安い時間帯に充電することができます。

➡ [タイマー充電のしかた \(P.54\)](#)



タイマーエアコン

お出かけ前に冷房または暖房を作動させることができます。

お出かけ前に車室内を快適な温度にしておくことで、走行を始めてからのエアコンの消費電力を抑えることができます。

➡ [タイマーエアコンの操作 \(P.236\)](#)



携帯電話やパソコンで利用できる機能

車両から離れていてもリチウムイオンバッテリー残量などを確認することができます。また、充電やエアコンの操作もできます。詳しい操作方法については、“N-Link OWNERS サイト (<http://n-link.nissan.co.jp/MANUAL>) ”をご覧ください。

■ リチウムイオンバッテリー残量・充電状況の確認★

■ リチウムイオンバッテリー状態チェック

- 携帯電話やパソコンからリチウムイオンバッテリーの残量などを確認することができます。



■ プラグ差し忘れ通知

- 自宅など充電する場所を登録しておくと、登録した場所で充電ケーブルを接続し忘れたときや、充電ケーブルが根元まで確実に差し込まれていないときにメールで通知する機能です。

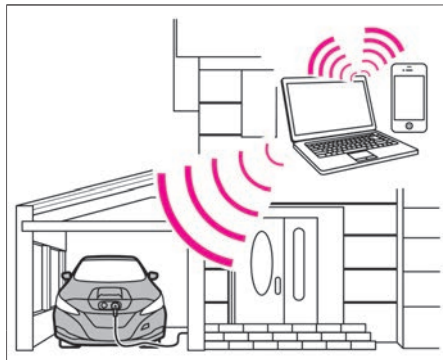
■ 充電停止通知

- 充電が停止したことをメールで通知する機能です。

充電・エアコンの操作★

■ リモート充電

- タイマー充電の開始時刻前であっても、離れた場所から携帯電話やパソコンを使用して、すぐに充電を開始することができます。



■ 乗る前エアコン（リモート）

- 離れた場所から携帯電話やパソコンを使用して、出発前にエアコンを作動させることができます。

MEMO

充電に関する注意事項

充電に関する注意事項	P.26
------------	------

充電に関する装備

充電装備と名称	P.32
充電ケーブル（コントロールボックス付）	P.33
即充電スイッチ	P.35
充電ポート	P.36
充電コネクタロック	P.38
充電インジケータ	P.41

充電する

充電の種類	P.44
3kW普通充電のしかた	P.49
急速充電のしかた	P.52

便利な充電方法

タイマー充電のしかた	P.54
------------	------

充電で困ったときは

充電ができないときの対処方法	P.60
----------------	------

充電に関する注意事項

充電するときは、火災や感電事故などを防ぐため、次のことを必ずお守りください。

警告

- 植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器（ICD）などの医療電気機器を使用している方は、機器に及ぼす影響について医療電気機器製造業者に確認してから充電作業を行う。
- 植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器（ICD）などの医療電気機器を使用している方は、充電ケーブル（コントロールボックス付）から約15cm以下の範囲に装着部位を近づけない。
充電ケーブル（コントロールボックス付）からの電波が機器の作動に影響を与える場合があります。
- 植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器（ICD）などの医療電気機器を使用している方は、急速充電器には近づかない。
操作する必要がある場合は他の方にお問い合わせください。充電中の急速充電器からの電磁波が機器などに一時的な影響を与える場合があります。
- 充電ケーブル（コントロールボックス付）または6kW普通充電器（壁掛け型）を子供だけで使わせない。
重大な事故につながるおそれがあります。
- 異臭、煙、異音など充電中の異常、故障に気づいたときは使用を中止する。
火災、感電、ケガ、やけどのおそれがあります。
- 雷が鳴ったら、車両、6kW普通充電器（壁掛け型）、急速充電器、充電ケーブル（コントロールボックス付）に触れない。
落雷により感電するおそれがあります。
- めれた手でプラグを触ったり、抜き差ししない。
感電のおそれがあります。
- 延長ケーブルや変換アダプターなどは絶対に使用したりしない。
火災ややけどのおそれがあります。



警告

雨や雪の日の充電について

- 雨や雪の日でも充電はできるが、次のことを必ず守る。

火災、感電、ケガ、やけどのおそれがあります。

- － 大雨などでコンセント周辺が浸水するおそれがあるときは、充電専用のブレーカーを落としてください
- － 万が一、充電ポートキャップ裏や内部が濡れた場合はふき取ってから充電を行ってください

6kW普通充電器（壁掛け型）、充電ケーブル（コントロールボックス付）について

- 6kW普通充電器（壁掛け型）、または充電ケーブル（コントロールボックス付）の分解、修理、改造は絶対に行わない。

火災や感電などの重大な傷害につながるおそれがあります。

- コードやケーブルを引っばる、ねじる、折り曲げる、踏みつける、引きずるなどの行為をしない。

コードやケーブルの断線によって異常発熱し、発火するおそれがあります。

- コードやケーブルを充電コネクタやコントロールボックスなどに巻きつける行為をしない。

コードやケーブルの断線によって異常発熱し、発火するおそれがあります。

- プラグの本体部分を持ってまっすぐに根元まで確実に差す。

異常発熱し、発火するおそれがあります。

- コードを引っ張ってプラグを抜かない。

コードやケーブルの断線によって異常発熱し、発火するおそれがあります。

6kW普通充電器（壁掛け型）、または充電ケーブル（コントロールボックス付）の異常故障時には

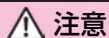
充電に関する注意事項

警告

- 深い傷、割れ、破損、プラグが錆びているときなどの異常・故障時には使用しない。
火災や感電のおそれがあります。
- プラグやコードを動かすと通電しなかったり、充電中に時々停止したりするときはただちに使用を中止する。
コードやケーブルの断線によって異常発熱し、発火するおそれがあります。
- 異臭、煙、異音など充電中の異常・故障に気づいたときはただちに使用を中止する。
コードやケーブルの断線によって異常発熱し、発火するおそれがあります。

充電用コンセントの仕様について

- 電気工事の資格を持つ専門の業者が施工したEV専用コンセントを使用する。
感電のおそれがあります。
- 内線規程に準拠したアースがつながっているEV専用コンセントを使用する。
感電のおそれがあります。
- コンセントの差し込みがゆるいとき、プラグがコンセントにロックされないとき、またはコンセント側に破損や変色などがある場合は使用しない。
異常発熱し、発火するおそれがありますので、電気工事の資格を持つ専門の業者へ、コンセントの確認を依頼してください。
- 各充電ケーブル（コントロールボックス付）の定格電圧/電流（充電ケーブル（コントロールボックス付）のラベルに記載）に対して建屋側のコンセントや配線の容量が充分であるか確認する。
建屋側の容量を超えて使用すると、配線が異常発熱し発火するおそれがあります。
- 建屋配線の容量が不明な場合、電気工事士に確認する。
- 充電ケーブル（コントロールボックス付）は日本国内でのみ使用する。



注意

- **充電中は、ボンネットを開けない。**
モータールーム内の冷却用ファンが突然回転し始め、手足や衣類・アクセサリ類などが接触したり、巻き込まれたりするおそれがあります。
- **充電するときは、充電コネクタが根元まで差されていることを必ず確認する。**
充電コネクタが根元まで差されていないと、車両が充電コネクタを認識できずEVシステムを始動（パワースイッチON）できてしまうため、車両が発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

充電ケーブル（コントロールボックス付）の取り扱いについて

- **落下させない、強い衝撃を与えない、または水没させない。**
火災や感電などの重大な傷害につながるおそれがあります。
- **プラグや充電コネクタへ異物を挿入したり、定格以外のコンセントに接続したりしない。**
火災や感電などの重大な傷害につながるおそれがあります。
- **充電ケーブル（コントロールボックス付）を保管するときは次のことに気をつける。**
 - － 直射日光を避けて保管してください
 - － 雨風にさらされないように保管してください
 - － 充電コネクタの端子部にゴミ、ホコリが入らないよう保護キャップをして保管してください
 - － コードやケーブルをコントロールボックスに巻き付けて保管しないでください
 - － コードやケーブルがねじれたままで保管しないでください

充電に関する注意事項

アドバイス

- 充電ポート、充電ケーブル（コントロールボックス付）、6kW普通充電器（壁掛け型）に強い衝撃を与えないでください。
- リチウムイオンバッテリーを充電しながら、12Vバッテリーにブースターケーブルを接続しないでください。車両または充電機器が破損するおそれがあります。
- 車両にボディーカバーをかけたまま充電しないでください。
- 発電機を使用した充電は絶対にしないでください。
- 充電前に、充電ポート・充電コネクタ・プラグ部分に水分・腐食・異物・損傷がないことを確認してください。異物や損傷がある場合は充電を行わず、日産販売会社にご相談ください。
- 充電ポートに充電コネクタ以外のものを差し込まないでください。充電ポートが破損するおそれがあります。
- 充電ポートが凍結したときは、ドライヤーなどで解凍してから充電コネクタの接続または取り外しを行ってください。
- 充電終了後は、充電ポートのキャップを必ず閉めてください。キャップを閉めずに充電ポートリッドを閉めると、充電ポートに水やゴミが入り故障の原因となります。

知識

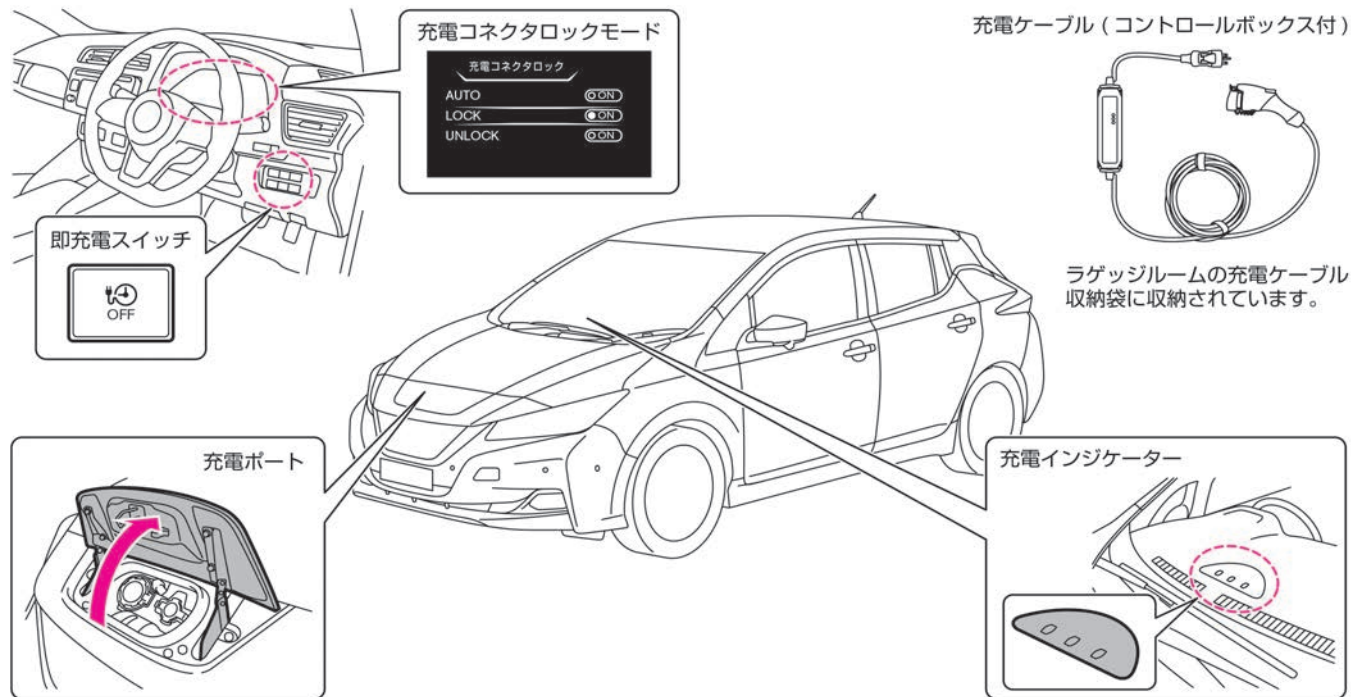
- 急速充電と普通充電のコネクタを同時に接続すると、充電できません。
- 充電コネクタ接続中はEVシステムを始動（パワースイッチON）できません。
- 充電中は、電磁波によりラジオが聞こえにくくなることがあります。
- 充電にかかる時間は、次の状態によって異なります。
 - ー 充電を開始したときのリチウムイオンバッテリーの残量

 知識

- － リチウムイオンバッテリーの温度
- － 使用する充電機器の種類または接続する電源
- － リチウムイオンバッテリーの使用年数
- － エアコンなど電力を消費するものの使用状況
- 充電時に冷却水ポンプおよび冷却ファンが作動することがありますが、異常ではありません。

充電装備と名称

この車両はガソリンスタンドで給油する代わりに、自宅などで各種充電器や充電ケーブルと充電ポートを使って充電します。充電インジケーターで、充電量を確認する事ができます。それぞれの機能の説明は、次ページ以降をお読みください。



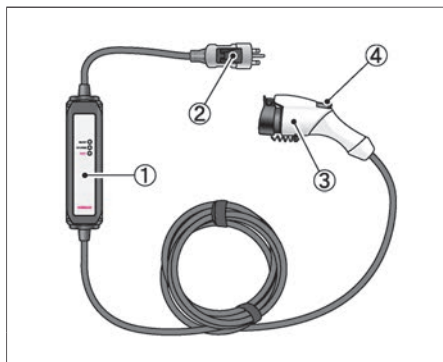
充電ケーブル（コントロールボックス付）

ラゲッジルームの右側に収納されています。

⑦ 充電ケーブル（コントロールボックス付）の収納 (P.409)

充電ケーブル（コントロールボックス付）の各部の名称

- ① **コントロールボックス**
表示灯で充電の状態などを知らせます。
- ② **プラグ**
AC200Vの電源に接続します。
- ③ **充電コネクタ**
車両の普通充電ポートに接続します。
- ④ **リリーススイッチ**
車両から充電コネクタを抜くときに押します。



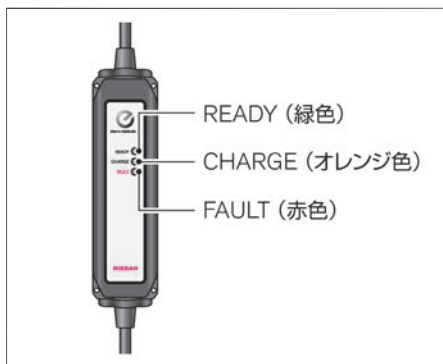
アドバイス

- 次のようなときは、すみやかに充電ケーブルの使用を中止し、日産販売会社にご連絡ください。
 - － プラグを電源に接続しても、表示灯が点灯しない
 - － 表示灯のいずれかのランプが点滅している
 - － 赤色のランプ（FAULT）が点灯している

コントロールボックスの表示灯について

充電ケーブルのコントロールボックスには、充電の状態などを知らせる表示灯があります。

- 正常なときは、プラグを電源に接続すると、緑色のランプ（READY）が点灯します。（接続直後は一度すべてのランプが点灯し、すぐに消灯します。）
- 充電中は、緑色のランプ（READY）と同時にオレンジ色のランプ（CHARGE）が点灯します。



次ページに続く

充電ケーブル（コントロールボックス付）

表示灯の点灯パターン			説明・対処方法
READY (緑色)	CHARGE (オレンジ色)	FAULT (赤色)	
			充電ケーブルのプラグをコンセントに接続するたびに、全ての表示灯が約0.5秒間点灯します。
	 (消灯)	 (消灯)	充電ケーブルを車両に接続していないか、車両に接続していても充電が行われていないことを示します。
 (点滅)	 (消灯)	 (消灯)	充電ケーブルまたはコンセントが故障し、アースが取れていないことを示します。お使いのコンセントの施工業者に連絡し、点検を受けてください。
		 (消灯)	車両に電力が供給されていることを示します。(充電中、タイマーエアコン作動中など)
	 (消灯)	 (点滅)	漏電しているか、充電ケーブルが故障しています。すみやかに使用を中止し、日産販売会社にご連絡ください。
	 (消灯)		充電ケーブルが故障しています。すみやかに使用を中止し、日産販売会社にご連絡ください。
 (点滅)	または または (点滅) (消灯)	 (点滅)	プラグの温度が高くなっているか、プラグの温度検知ができなくなっていることを示します。一度プラグを抜き、しばらく経ってから再度接続してください。それでも表示が続く場合は、すみやかに使用を中止し、お使いのコンセントの施工業者に連絡して点検を受けてください。それでも解決しない場合は、日産販売会社にご連絡ください。
 (消灯)	 (消灯)	 (消灯)	コンセントのブレーカーがOFFになっているか、充電ケーブルが故障しています。ブレーカーがONになっているにもかかわらず、プラグをコンセントに接続しても表示灯が点灯しないときは、すみやかに使用を中止し、日産販売会社にご連絡ください。

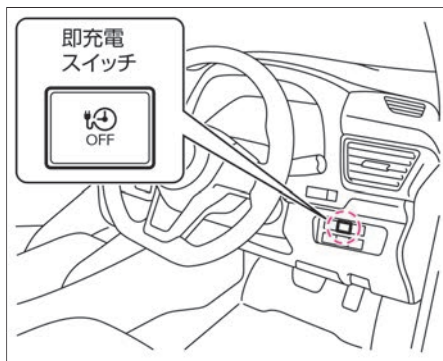
即充電スイッチ

タイマー充電を設定しているときに、キャンセルしてすぐに充電を開始したいときに使用します。
タイマー充電については、🔌P.54をお読みください。

■ 即充電スイッチの使いかた

タイマー充電の設定を一時的にキャンセルし、すぐに充電を開始したいときは、パワースイッチをOFFにしたあと、即充電スイッチを押します。

🔌 即充電のしかた (P.49)



📖 知識

- 即充電スイッチを押すと、約15分間充電インジケータ（🔌P.41）の中央が点灯します。点灯している間に、充電ケーブルを接続すると、充電を開始します。
- 充電ケーブルを接続する前に、再度即充電スイッチを押すと、即充電をキャンセルすることができます。

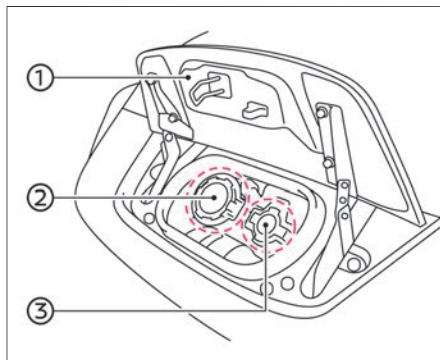
充電ポート

充電を行うとき充電ケーブルを接続する場所です。

充電ポートにはロック機構があり、いたずら防止効果が期待できます。(➡ 充電コネクタロック (P.38))

充電ポートの各部の名称

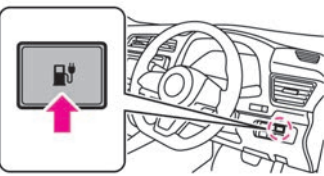
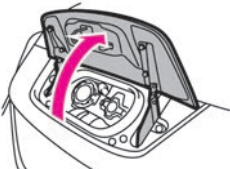
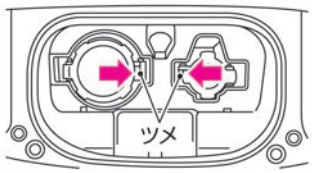
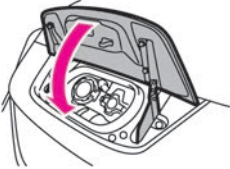
- ① 充電ポートリッド
充電するときに開けます。
- ② 急速充電ポート（黒色）
急速充電またはV2H充電のときに使用します。
- ③ 普通充電ポート（オレンジ色）
3kW普通充電または6kW普通充電★のときに使用します。



🚗 アドバイス

- 充電ポート周辺の雪や泥、水分などを除去するときは、充電ポートキャップを閉めた状態で行ってください。
- 充電ポートリッド周辺が凍結して開閉できないときは、無理に動かそうとはせず、必ず解凍してから開閉してください。
- 充電ポートには排水用の穴があります。この穴が詰まるなどして充電ポート内に水がたまったときは、充電を行わずに日産販売会社にご連絡ください。

充電ポートリッドの開けかた、閉めかた

1	充電ポートリッドを開けるときは、運転席の右下にある充電ポートリッドオープナースイッチを押します。 (充電ポートリッドの先端が少し浮きあがります。同時に充電インジケーターが点滅し、ブザーが鳴ります。)	
2	上に引き上げてロックするまで開きます。	
3	使用する充電ポートのキャップに付いているツメを押して、充電ポートキャップを開きます。 (急速充電ポート：黒色、普通充電ポート：オレンジ色)	
4	閉めるときは、充電ポートキャップを確実に閉めてから、充電ポートリッドを確実に閉めます。	

🚗 アドバイス

- 走行する前に、充電ポートリッドが完全に閉まり、ロックされていることを確認してください。ロックされていないと、走行中にリッドが突然開いて車両を破損するおそれがあります。
- 充電ポートリッドを閉めるときは、充電ポートキャップが確実に閉まっていることを確認してください。

📖 知識

- 充電ポートリッドは、キー（インテリジェントキー）の充電コネクタロック解除スイッチを約1秒以上押しても開けることができます。



充電コネクタロック解除スイッチ

充電コネクタロック

普通充電をしている間、充電コネクタをロックして車両から抜けなくする機能です。
いたずら防止効果があります。

■ 充電コネクタロックモードの使い分けかた

充電コネクタロックモードは、状況に応じて次のように使い分けます。

AUTO

- 次に順番待ちをしている車両がいるときなどに使用します。
- 充電中のみロックし、充電が終わると自動的にロックが解除されたため、ご自身が車両から離れていても、次に順番待ちをしている車両の使用者が充電ケーブルを取り外すことができます。
例) 公共の充電ステーションなど

LOCK

- いたずら防止のため、充電中以外の時間帯でも常時ロックしたいときに使用します。
普通充電コネクタ接続中は、常にロックします。
例) 道路に面した自宅の駐車場、外出先で車載の充電ケーブルを使用して充電する場合など

UNLOCK

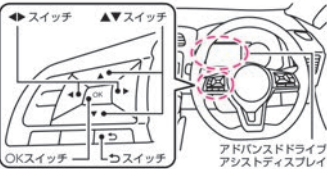
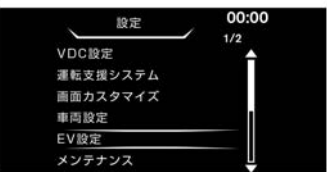
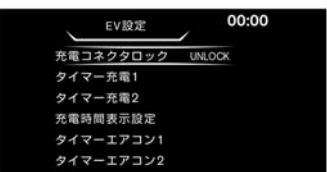
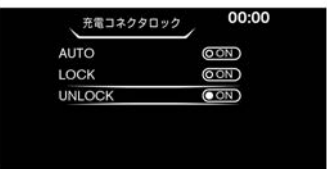
- ロック機能を使わないときに使用します。
普通充電コネクタを接続してもロックしません。
例) 自宅のシャッター付ガレージ、公共の充電ステーションで普通充電コネクタのロックが禁止されているエリアなど

知識

- 公共の充電ステーションでLOCKを使用すると、充電が終了しても普通充電コネクタが抜けなくなるため、次に順番待ちをしている車両に迷惑がかかることがあります。公共の充電ステーションでの充電は、AUTOまたはUNLOCKで行ってください。
- 急速充電中は、充電コネクタロックモードの位置にかかわらず、急速充電コネクタを抜くことができません。

充電コネクタロック

充電コネクタロックモードの設定のしかた

1	ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチを数回押し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「設定 ⚙️」画面を表示します。	
2	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、「EV設定」を選択し、 OK スイッチを押して決めます。	
3	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、「充電コネクタロック」を選択し、 OK スイッチを押して決めます。	
4	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで設定したいモードを選択し、 OK スイッチを押して決めます。	

🚗 アドバイス

- 公共の充電ステーションに設置されている普通充電器の場合、普通充電コネクタの形状によりロックできない場合があります。
- 充電コネクタロックは、シフトポジションが **P** のときに作動します。
- 充電コネクタロックは、普通充電コネクタが正しく接続されていないと作動しません。
- 充電コネクタロックモードがAUTOのときは、停電などで電源が遮断されると、約5分後にロックが解除されます。電源が復旧した場合は、復旧と同時に再度ロックが作動します。
- 充電コネクタロックは盗難防止を保障するものではありません。

充電コネクタロックの解除のしかた

充電コネクタロックには、次の解除方法があります。

キー（インテリジェントキー）による解除

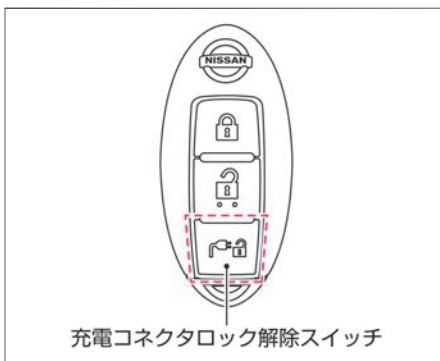
- キー（インテリジェントキー）の充電コネクタロック解除スイッチを1秒以上押すと、約30秒間ロックが解除されます。

充電ポートリッドオープナースイッチによる解除

- 充電ポートリッドオープナースイッチを押すと、約30秒間ロックが解除されます。

ドアの解錠による解除

- ドアを解錠すると、約30秒間ロックが解除されます。



アドバイス

- 充電コネクタロック解除スイッチおよび充電ポートリッドオープナースイッチを連続で操作すると、充電ポートリッドが開かなくなることがありますが、故障ではありません。しばらくしてから再度操作してください。

知識

- ロックが解除されている約30秒間に普通充電コネクタを車両から取り外さなかった場合は、再度ロックされます。
- ロックが解除されている約30秒間にドアを施錠すると、充電コネクタロックもロックされます。
- 充電コネクタロック解除スイッチまたは充電ポートリッドオープナースイッチを押してロックを解除すると、充電インジケータ（P.41）が点滅し、ブザーが鳴ります。
- 充電コネクタロックが解除できなくなったときは、P.439をお読みください。

充電インジケータ

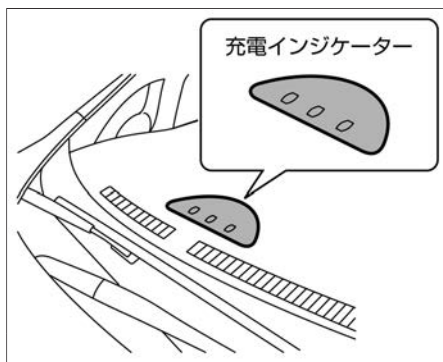
充電インジケータで、現在の充電状態を確認できます。

充電インジケータの見かた

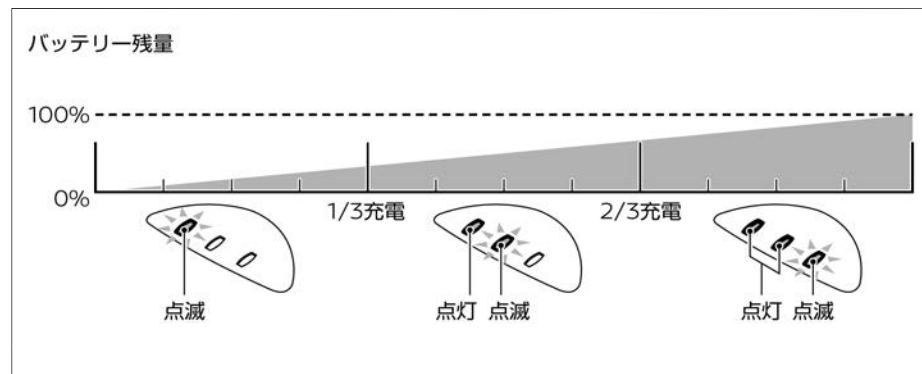
充電中は、インストルメントパネル部の充電インジケータが点滅または点灯します。

リチウムイオンバッテリーの充電が進むと点灯するインジケータが運転席側から順に増加します。

- 充電中以外の作動については、次ページの表をお読みください。



充電中



次ページに続く

■ 充電中以外

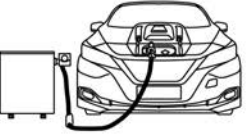
状態	充電インジケーターの点灯パターン	説明
充電が完了した	 運転席側 助手席側	充電が完了すると、すべてのインジケーターが約5分間点灯します。
タイマー充電を受け付けた ➡ タイマー充電のしかた (P.54)	 約 5 分後に消灯	タイマー充電を設定した状態で、充電ケーブルを接続すると、運転席側から順に点灯を繰り返します。(約5分後に消灯)
即充電を受け付けている ➡ 即充電のしかた (P.49)		即充電スイッチを押すと、中央のインジケーターが約15分間点灯します。充電インジケーターが点灯している間に充電コネクタを接続すると、充電を開始します。
高電圧システムが自動的にON モードに切り替わった		次のような場合、高電圧システムが自動的にONになり、助手席側のインジケーターが点滅します。 ● 12Vバッテリーを充電しているとき ● タイマーエアコンまたは乗る前エアコン（リモート）★が作動しているとき ● 充電中にコンセントからプラグを抜いたとき
充電ポートリッドを開けた／ 充電コネクタロックを解除した	 3 回点滅	充電ポートリッドオープナースイッチを押すか、キー（インテリジェントキー）の充電コネクタロック解除スイッチを1秒以上押すと、ブザーが鳴るとともにすべてのインジケーターが3回点滅します。

充電インジケータ

状態	充電インジケータの点灯パターン	説明
充電コネクタが正しく接続されていない	 約 30 秒間点滅	充電コネクタが車両に正しく接続されていないときは、すべてのインジケータが約30秒間点滅します。この状態になったときは、充電が行われません。充電コネクタを正しく接続し直してください。

充電の種類

充電の種類には普通充電（3kW普通充電／6kW普通充電★）、急速充電、V2H充電などがあります。充電インフラ工事、および、6kW普通充電器（壁掛型）の詳細については、日産販売会社に備え付けの「充電インフラ工事カタログ」をご確認ください。V2Hの詳細については、日産販売会社に備え付けの「LEAF to HOME販売カタログ」、または、各V2Hメーカーのカタログなどをご確認ください。

		普通充電		急速充電 (～50kW程度)	V2H充電 (3～6kW程度)
		3kW普通充電	6kW普通充電★		
					
充電ポートの種類		普通充電ポート (オレンジ色)		急速充電ポート (黒色)	
充電器の形状	コンセント型	○	-	-	-
	壁掛型	○	○	-	-
	スタンド型・ポール型	○	-	○	○

4.8kW普通充電については、日産販売会社に備え付けの「充電インフラ工事カタログ」をご確認ください。

充電の種類

充電の種類には普通充電、急速充電およびV2H充電などがあります。雨や雪の中でも充電できますが、感電や漏電を防止するため、注意事項（➡P.26）を必ずお読みください。V2Hの詳細については、日産販売会社に備え付けの「LEAF to HOME販売力カタログ」、または、各V2Hメーカーのカatalogなどをご確認ください。

3kw普通充電

主に自宅の電源（コンセント）に充電ケーブル（コントロールボックス付）を接続して充電する日常的な充電を「3kw普通充電」といいます。

3kw普通充電には、次の3種類の充電方法があります。

即充電（➡P.49）

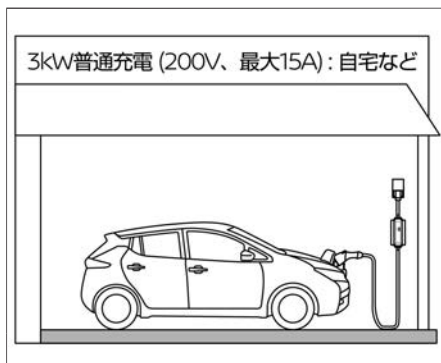
充電ケーブル（コントロールボックス付）を接続するだけで、すぐに充電を開始できます。

タイマー充電（➡P.54）

充電を行う時間帯をあらかじめ設定しておくことができます。

リモート充電★

タイマー充電の開始時刻前であっても、離れた場所から携帯電話やパソコンを使用して、すぐに充電を開始することができます。



知識

- 3kw普通充電にかかる時間は、リチウムイオンバッテリーの温度、充電状態、経年数、接続した電源の状態、エアコンなど電力を消費するものの使用状況などにより異なります。
- AC100V用充電ケーブル（コントロールボックス付）を使用すると、AC100V電源からでも充電することができますが、AC200V電源での充電に比べると充電時間が長くなります。AC100V用充電ケーブル（コントロールボックス付）のご購入については、日産販売会社へご相談ください。
- アドバンスドドライバアシストディスプレイで、満充電までにかかるおおよその時間を確認することができます。
予想充電時間については、（➡P.132）をお読みください。
- リモート充電★の詳細については、“N-Link OWNERS サイト（<http://n-link.nissan.co.jp/MANUAL>）”をご確認ください。

6kW普通充電★

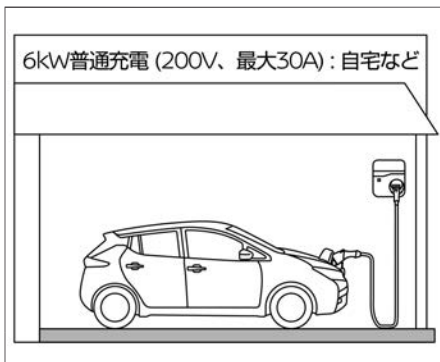
3kW普通充電のおよそ2倍のスピードで充電する方法を「6kW普通充電」といいます。6kW普通充電を行うためには、6kW普通充電に対応した6kW普通充電器（車載用）と、専用の6kW普通充電器（壁掛型）の両方が必要です。

➡ 充電の種類 (P.44)

➡ 車載充電システム（3kW普通充電（車載用）／6kW普通充電（車載用）★）／急速充電 (P.512)

充電インフラ工事、および、6kW普通充電器（壁掛型）については、日産販売会社に備え付けの「充電インフラ工事カタログ」をご確認ください。

6kW普通充電の充電方法について、充電ケーブルなどの基本的な使いかたは3kW普通充電と同じ扱いとなります。6kW普通充電器（壁掛型）の本体の操作方法やランプ表示などについては、「充電インフラ工事カタログ」または、6kW普通充電器メーカーのカタログなどをご確認ください。



知識

- 6kW普通充電にかかる時間は、リチウムイオンバッテリーの温度、充電状態、経年数、接続した電源の状態、エアコンなど電力を消費するものの使用状況などにより異なります。
- 6kW普通充電を行う為には、現在契約中の電力容量（契約アンペア）に+6kVA（100V換算で+60A相当）の契約変更が必要です。
- 契約アンペアを小さくする為には、6kW普通充電器（壁掛型）とデマンドコントロールシステムを組合せることが有効です。
- 契約アンペアおよび、6kW普通充電器（壁掛型）などの詳細については、日産販売会社に備え付けの「充電インフラ工事カタログ」をご確認ください。
- 4.8kW普通充電については、日産販売会社に備え付けの「充電インフラ工事カタログ」をご確認ください。

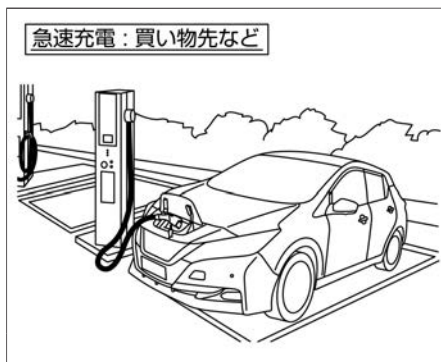
急速充電

外出先などに設置された急速充電器（出力25～50kW程度）や中速充電器（出力10～25kW程度）を使用し、短時間で行うことのできる充電を「急速充電」といいます。この車両は、CHAdeMO^{※1}（チャデモ）仕様の急速充電器を使用してください。

🔌 急速充電のしかた (P.52)

※1：CHAdeMOとは、日本の電気自動車用急速充電規格です。

- 急速充電、中速充電を総称して急速充電と呼んでいます。
- 急速充電器と中速充電器の見かけ上の違いはほとんどありません。
- 急速充電と中速充電は充電能力（最大出力：kW）の違いにより充電の速さに違いが現れます。そのため、充電時間が短い場合は、充電終了後のリチウムイオンバッテリー充電量に違いが現れる場合があります。



⚠ 警告

- **必ずCHAdeMO（チャデモ）仕様の急速充電器を使用する。**
対応していない急速充電器を使用すると、火災や故障などのおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 急速充電は、必ず急速充電器本体の取り扱い方法に従ってください。間違った操作を行うと、車両または急速充電器を破損するおそれがあります。

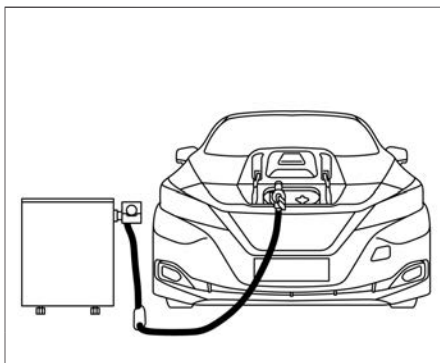
📖 知識

- 急速充電器の利用料金については、急速充電器が設置されている店舗または急速充電器の管理者にお問い合わせください。

V2H充電／V2H給電

急速充電と同じCHAdeMO仕様の急速充電コネクタを使い3～6kW程度の双方向充電を行うものを、「V2H（ヴィーツーエッチ）」といいます。V2H本体から車両へ充電を行うことを「V2H充電」、V2H本体を経由して車両から自宅へ電力供給することを「V2H給電」といいます。

V2Hの詳細については、日産販売会社に備え付けの「LEAF to HOME販売カタログ」、または、各V2Hメーカーのカタログなどをご確認ください。



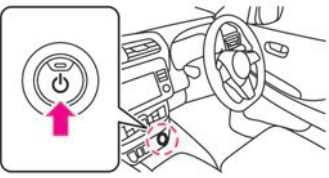
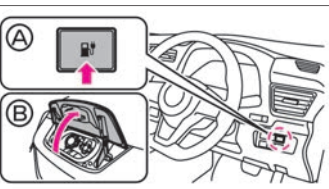
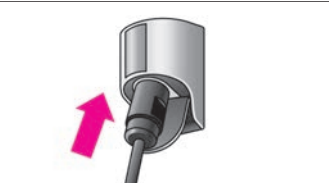
アドバイス

- 「V2H充電」および「V2H給電」は、必ずV2H本体の取り扱い方法に従ってください。間違った操作を行うと、車両またはV2H本体を破損するおそれがあります。

3kW普通充電のしかた

すぐに充電を開始するときは、次の手順に従ってください。充電する時間帯を設定できるタイマー充電については、➡P.54をお読みください。
6kW普通充電★の充電方法について、充電ケーブルなどの基本的な使いかたは3kW普通充電と同じ扱いとなります。6kW普通充電器(壁掛型)の本体の操作方法やランプ表示などについては、「充電インフラ工事カタログ」または、6kW普通充電器メーカーのカタログなどをご確認ください。

■ 即充電のしかた

1	パワースイッチがOFFになっていることを確認します。 ➡ 停止のしかた (パワースイッチOFF) (P.246)	
2	充電ポートリッドオープナースイッチⒶを押し、充電ポートリッドⒷを開けます。 (充電ポートの照明は、充電ポートリッドオープナースイッチを押してからしばらく点灯します。)	
3	ラゲッジルームから充電ケーブル(コントロールボックス付)を取り出し、プラグをコンセントに接続します。 ➡ 充電ケーブル(コントロールボックス付)の収納 (P.409)	

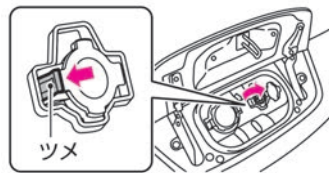
📖 知識

- パワースイッチがOFF以外のときは、充電を開始できません。充電するときは、必ずパワースイッチをOFFにしてください。
- 充電コネクタをロックするときは、充電コネクタロックモードをLOCKまたはAUTOにしてください。
➡ 充電コネクタロック (P.38)
- タイマー充電を設定しているときは、パワースイッチをOFFにしたあと、即充電スイッチを押してください。これにより、タイマー充電の設定を一時的にキャンセルし、即充電が可能になります。
➡ 即充電スイッチ (P.35)

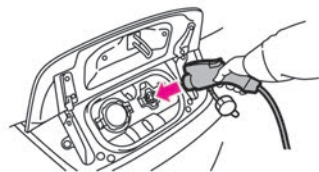
4 充電コネクタの保護キャップを外します。



5 普通充電ポートのキャップ（オレンジ色）を開けます。
（キャップはツメを押すと開きます。）

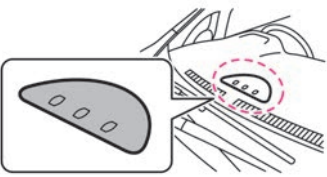
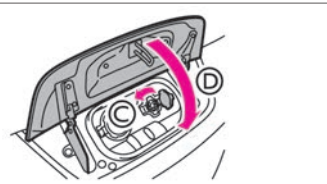


6 充電コネクタを“カチッ”と音がするまで差し込みます。
正常に接続されると、ブザーが1回鳴ります。
また、しばらくすると充電ポートの照明が自動的に消灯します。



知識

- 充電ケーブル（コントロールボックス付）のコントロールボックスの穴にひもなどを通し、コントロールボックスを壁に掛けることができます。

7	正常に充電が開始されるとブザーが2回鳴ります。インストルメントパネル部の充電インジケーターで、おおよその充電量が確認できます。 ➡ 充電インジケーター (P.41)	
8	充電を終了するときは、充電コネクタのリリーススイッチを押しながら、充電ポートから充電コネクタを引き抜きます。なお、充電コネクタをロックしているときは、先にロックを解除してください。 ➡ 充電コネクタロック (P.38)	リリーススイッチ 
9	充電ポートのキャップ③を開けてから、充電ポートリッド④を閉めます。プラグをコンセントから抜き、充電ケーブル（コントロールボックス付）を収納袋に収納します。 ➡ 充電ケーブル（コントロールボックス付）の収納 (P.409)	

知識

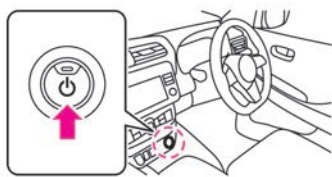
- 充電中は、パワースイッチをONにしてエアコンなどを使用できますが、リチウムイオンバッテリーの電力が消費されるため、充電時間は通常よりも長くなります。
- 充電中にパワースイッチをOFFにするときは、ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押してください。
- 充電中に充電コネクタを外すと充電を中断できます。
- 充電ポートの照明が消灯しているときに普通充電コネクタおよび急速充電コネクタを引き抜くと、充電ポートの照明が数秒間点灯後、消灯します。

急速充電のしかた

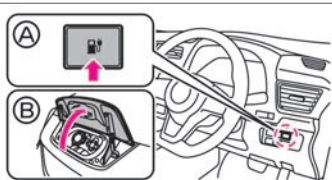
急速充電器およびV2Hを利用するときは、次の手順に従ってください。

充電器は種類によって操作方法が異なるため、充電器本体の取り扱い方法を必ずご確認ください。

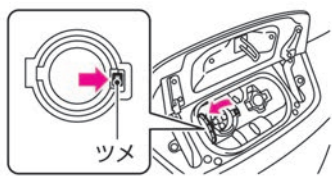
- 1** パワースイッチがOFFになっていることを確認します。
 ➡ 停止のしかた（パワースイッチOFF）（P.246）



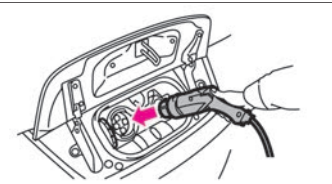
- 2** 充電ポートリッドオープナースイッチ①を押し、充電ポートリッド②を開けます。
 （充電ポートの照明は、充電ポートリッドオープナースイッチを押してからしばらく点灯します。）



- 3** 急速充電ポートのキャップ（黒色）を開けます。
 （キャップはツメを押すと開きます。）



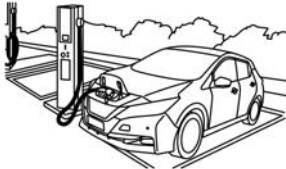
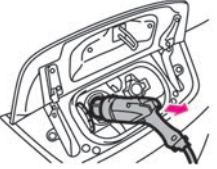
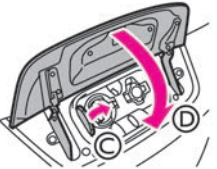
- 4** 充電器本体の手順に従い、急速充電コネクタを根元まで確実に差し込み固定します。


 アドバイス

- 充電時は、必ず充電器本体の取り扱い方法に従ってください。間違った操作を行うと、車両または充電器を破損するおそれがあります。
- 充電にかかる時間は、充電器の種類により異なります。
- パワースイッチがOFF以外のときは、充電を開始できません。充電するときは、必ずパワースイッチをOFFにしてください。

 注意

- 急速充電コネクタを差し込むときは、充電ポートの溝に合わせ、根元まで確実に差し込む。

5	充電器本体の手順に従い、充電を開始します。	
6	正常に充電が開始されるとブザーが2回鳴ります。インストルメントパネル部の充電インジケーター (➡P.41) で、おおよその充電量が確認できます。	
7	充電が停止したら、充電ポートから急速充電コネクタを引き抜きます。	
8	充電ポートのキャップ③を閉めてから、充電ポートリッド④を確実に閉めてください。	

アドバイス

- 充電器の最大充電時間を経過したときに、設定した充電量になる前に停止することがあります。(一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあります)
- 設定した充電量になる前に充電が停止したときは、再度充電器の開始スイッチを押すと充電を再開できます。
- 急速充電にかかる時間は、外気温などの影響で変化します。

知識

- 充電器本体に、車両のリチウムイオンバッテリー残量や容量の数値(kWh)が表示される場合、実際の値とは異なる場合があります。
- 充電ポートの照明が消灯しているときに普通充電コネクタおよび急速充電コネクタを引き抜くと、充電ポートの照明が数秒間点灯後、消灯します。

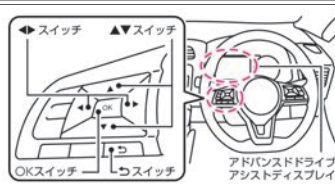
タイマー充電のしかた

充電する時間帯を設定することができます。次の手順に従ってください。

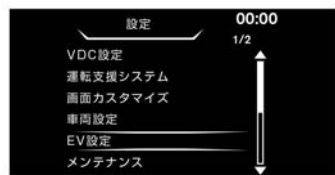
お客さまが契約している電気料金のプランに合わせて、電気料金の安い時間帯に充電できます。

タイマー充電の設定のしかた

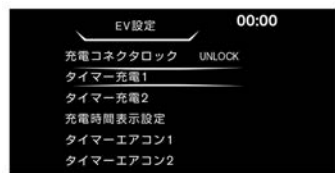
- 1 ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチを数回押し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「設定 ⚙️」画面を表示します。



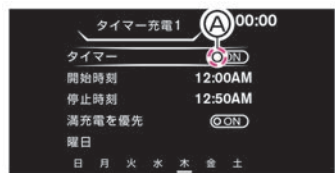
- 2 ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、「EV設定」を選択し、**OK** スイッチを押して決定します。



- 3 ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、「[タイマー充電1]」または「[タイマー充電2]」を選択し、**OK** スイッチを押して決定します。
時刻は2種類設定することができます。ここではタイマー充電1の登録方法を説明します。



- 4 ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで「[タイマー]」を選択し、**OK** スイッチを押してⒶを点灯させます。



知識

- タイマーをOFFにしていると予約が解除されます。予約を解除しても設定した時刻、曜日（メーカーオプションナビゲーションシステム装着車）は消去されません。再度タイマーをONにすると、現在の設定条件で予約をすることができます。
- タイマー充電中に設定を変更すると一旦充電が停止し、すぐに変更した内容に従って充電を開始または待機状態になります。
- 開始時刻から停止時刻の設定している時間帯のみ充電を行うため、充電が完了しないことがあります。

タイマー充電のしかた

5	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで「開始時刻」を選択し、 OK スイッチを押して決定します。	
6	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで“時”を調整し、 OK スイッチを押します。	
7	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで“分”を調整し、 OK スイッチを押します。設定時間は10分単位で切り替わります。	
8	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで「停止時刻」を選択し、 OK スイッチを押して決定します。	

知識

- 現在契約中の電力容量(契約アンペア)を小さくする為には、6kW普通充電器（壁掛型）とデマンドコントロールシステムを組合せることが有効です。デマンドコントロールシステムの場合、住宅側で使用される電力量が大きいときは車両側の充電量が制限されますので、適切な契約アンペアの設定が必要です。契約アンペアが適切でない場合は、充電時間が長くなりお客さまが契約している電気料金の安い時間帯に充電が終了しない場合があります。
- 6kW普通充電★およびV2H充電を行う場合、充電器本体がタイマー機能を持っている機種がありますので、詳細については各充電器メーカーのカatalogなどをご確認ください。
- 6kW普通充電★の詳細については、日産販売会社に備え付けの「充電インフラ工事カatalog」、または6kW普通充電器メーカーのカatalogなどをご確認ください。

タイマー充電のしかた

- 9 ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで“時”を調整し、**OK** スイッチを押します。



- 10 ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで“分”を調整し、**OK** スイッチを押します。設定時間は10分単位で切り替わります。



- 11 メーカーオプションナビゲーションシステム装着車は曜日を選択します。ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、[曜日]を選択し、**OK** スイッチを押して決定します。下線表示されている曜日が現在の曜日になります。



- 12 日曜日から土曜日までそれぞれON・OFFを選択します。ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、曜日を選択し、**OK** スイッチを押してON・OFFを選択します。



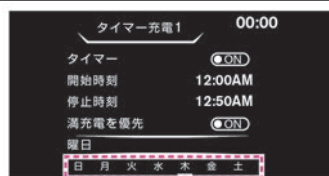
知識

- V2Hの詳細については、日産販売会社に備え付けの「LEAF to HOME販売カタログ」、または各V2Hメーカーのカatalogなどをご確認ください。

タイマー充電のしかた

13

曜日を選択後、 スイッチを押します。
現在選択されている曜日が白く点灯します。



14

パワースイッチをOFFにし、充電ケーブルを接続します。普通充電の充電ケーブルの接続方法は、即充電のしかた (➡P.49)の手順1～6をお読みください。V2H充電の充電ケーブルの接続方法は、急速充電のしかた (➡P.52)の手順1～4をお読みください。

※：設定した時刻に自動的に開始されます。

■ 自宅でタイマー充電モードについて（メーカーオプションナビゲーションシステム装着車）

- メーカーオプションのナビゲーションシステムで自宅を登録し、「自宅でタイマー充電」をONにすると、自宅で普通充電をするときのみ、タイマー充電になります。
アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「EV設定」⇒「自宅でタイマー充電」を選択すると、自宅でタイマー充電モードのON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、EV設定をお読みください。
- ➡ [画面の切り替えかた \(P.131\)](#)
- ➡ [EV設定 \(P.160\)](#)
自宅の登録方法については、ナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
- 自宅以外の場所で普通充電をするときは、即充電に自動的に切り替わります。



満充電優先モードについて

- 「満充電を優先」をONにすると、タイマー開始時刻からタイマー停止時刻の設定時間帯だけでは満充電にならない場合、充電開始時刻を早めて充電を開始します。

また、停止時刻で満充電にならなかった場合、満充電になるまで充電を続けます。

アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「EV設定」⇒「タイマー充電1」または「タイマー充電2」⇒「満充電を優先」を選択すると、満充電優先モードのON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、EV設定をお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.131)

➡ EV設定 (P.160)



知識

- 「満充電を優先」をONにした場合、タイマーエアコンの作動状況や予想充電時間のずれなどにより、充電停止時刻で満充電にならないことがあります。その場合は、満充電まで充電を続けます。
- 満充電優先モードがONのときは、タイマー設定時間帯を越えて充電される場合があるため、お客さまの契約状況により電気料金の高い時間帯に充電される場合があります。
- 普通充電器（壁掛型）の種類によっては、充電電力が可変に制御されるものがあり、その場合は予想充電時間が正確に見積もれないため、満充電優先モードがONのときは、タイマー設定時間帯から外れて充電される場合があります。

充電ができないときの対処方法

充電の作業中に困ったときは次のことをご確認ください。

これらを確認しても問題が解決できないときは、車両または充電機器の故障のおそれがあるため、日産販売会社にご連絡ください。

症状	原因	対処方法
すべての充電ができない	パワースイッチがONになっている	パワースイッチを押して、パワースイッチをOFFにしてください。
	普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続されている	どちらかの充電コネクタを取り外してください。
	リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高い、または低い	メーターのリチウムイオンバッテリー温度計（  P.133）を確認してください。リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高いまたは低いときは、充電できない場合があります。
	12Vバッテリーがあがっている	パワースイッチをONにしてもメーターなどが点灯しない場合は、12Vバッテリーがあがっている可能性があります。12Vバッテリーを充電または交換してください。

充電ができないときの対処方法

症状	原因	対処方法
普通充電ができない	コンセントまで電気がきていない	漏電遮断器が作動していたり、停電していないか確認してください。 ● 電源にタイマー機能がついている場合は、電源に設定されている時間帯まではコンセントに電気がきていないものがあります。 ● 立体駐車場の場合、駐車パレットが完全に格納されるまでの間やエレベーターの作動中は、電気が遮断されるものがあります。
	コンセント側のアースが正しく接続されていない	日産自動車が推奨する充電インフラ工事仕様に準拠したアース設置工事が行われているか確認してください。 充電ケーブル（コントロールボックス付）は、コンセントに接続したときにアースの接続を自動的に確認しています。このため、コンセント側のアースが正しく接続されていない場合、表示灯が点滅し充電が開始しません。
	プラグがコンセントに正しく接続されていない	プラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
	充電コネクタが正しく接続されていない	充電コネクタが正しく接続されているか確認してください。
	日産自動車が推奨している配線ではない	充電設備が日産自動車の推奨している仕様（配線の太さと長さ、ブレーカーなどの設定値、EV専用コンセント、または6kW普通充電器★）ではない場合、充電できない、または充電が途中で止まる場合があります。その場合は、別の充電設備で充電してください。
即充電ができない	タイマー充電が設定されている	即充電スイッチを押すか、タイマー充電を解除してから充電を開始してください。

症状	原因	対処方法
タイマー充電ができない	充電ケーブルを接続し忘れている	充電ケーブルを接続し、充電を行ってください。
	時計がずれている	時計の時刻を正しく調整してください。 メーカーオプションナビゲーションシステム装着車は、自動で時刻を調整しますが、12Vバッテリーの脱着をしたあとは、GPSとの通信が行われるまでの間、時刻が設定されません。
	タイマー充電の予約が設定されていない	タイマー充電が設定されていないときは、即充電が開始されます。タイマー充電の時刻および曜日を設定してください。
	現在時刻がタイマー開始時刻より前か、タイマー停止時刻を過ぎている	タイマー充電の設定時刻と現在の時刻を確認し、状況に応じて時刻を設定し直すか即充電を行ってください。
リモート充電★ができない	充電ケーブルが接続されていない	あらかじめ充電ケーブルを接続してください。
	携帯電話やパソコンから車両に通信ができていない	携帯電話をお使いの場合は、通信圏外になっていないか確認してください。パソコンをお使いの場合は、インターネットの接続状態を確認してください。
	車両が通信圏外にある	通信圏内に移動してください。
	リモート機能★がOFFになっている	2週間以上パワースイッチがOFFのままだと、リモート機能は自動的にOFFになります。一旦パワースイッチをONにしてください。

症状	原因	対処方法
普通充電が途中で止まってしまう	コンセントまで電気がきていない	充電中に漏電遮断器が作動したり、停電が起きたりしたおそれがあります。この場合、電力が復帰すると自動的に充電が再開されます。
	充電ケーブルが抜けている	充電ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	充電コネクタのリリーススイッチが押されている	充電コネクタのリリーススイッチが押されていないことを確認してください。
	普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続された	急速充電の充電コネクタを取り外してください。
	タイマー充電の停止時刻になった	タイマー充電は満充電まで充電できていなくても設定された停止時刻になると充電が停止します。状況に応じて、時刻を設定し直すか、即充電を行ってください。
	リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高い、または低い	メーターのリチウムイオンバッテリー温度計 (P.133) を確認してください。リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高いまたは低いときは、充電できない場合があります。
急速充電またはV2H充電ができない	急速充電コネクタが正しく接続されていない	急速充電コネクタが正しく接続され、ロックがかかっていることを確認してください。
	充電器のセルフチェック機能でNGになった	充電器本体、または車両故障の可能性があります。ただちに充電を停止し、充電器メーカー、または日産販売会社へお問い合わせください。
	充電器の電源がOFFになっている	充電器の電源がONになっていることを確認してください。

充電ができないときの対処方法

症状	原因	対処方法
急速充電またはV2H 充電が途中で止まっ てしまう	充電器のタイマーにより終了した	充電器本体には、一定時間で充電が停止するようにタイマーが設定されていることがあります。その場合、一定時間経過すると充電が停止します。さらに充電したいときは、もう一度充電開始操作を行ってください。
	充電器の電源が何らかの理由でOFFになってしまった	充電器の電源がOFFになっていないか確認してください。
	普通充電コネクタと急速充電コネクタが同時に接続された	普通充電コネクタを取り外してください。
	リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高い、または低い	メーターのリチウムイオンバッテリー温度計 (🔍 P.133) を確認してください。リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高いまたは低いときは、充電できない場合があります。

安全なドライブのために

運転する前に

運転前の準備	P.66
運転するときに注意すること	P.68
心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項	P.71

シートベルト

3 点式シートベルト	P.73
------------	------

エアバッグ

SRSエアバッグ	P.78
SRSエアバッグシステム（前席）	P.82
SRSサイドエアバッグシステム（前席）	P.87
SRSカーテンエアバッグシステム	P.89

お子さまの安全のために

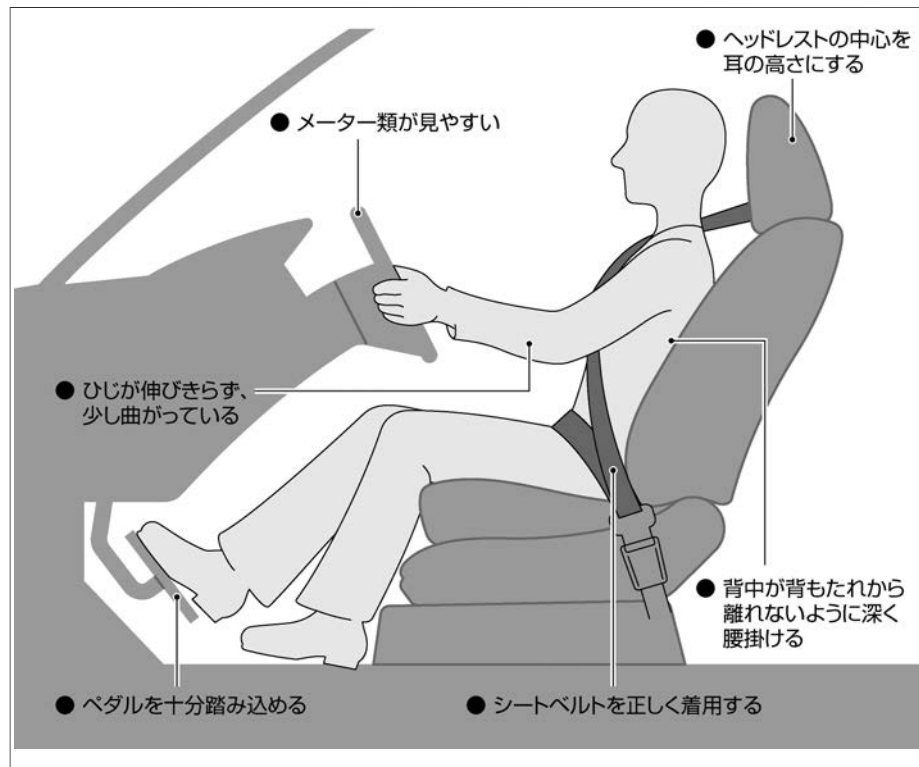
お子さまを乗せるときに注意すること	P.91
チャイルドシート	P.94

盗難防止機能

イモビライザー（盗難防止装置）	P.105
-----------------	-------

正しい運転姿勢をとれるよう、ハンドル (➡P.205)、シート (➡P.198)、ミラー (➡P.206) を調節し、シートベルトを着用してください。

正しい運転姿勢について



警告

- ハンドル、シート、ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ハンドルやシートを調節したあとは、確実に固定されていることを確認する。
固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトの着用

- 必ず走行前にシートベルトを正しく着用してください。
➡ シートベルト (P.73)
- 小さなお子さまを乗せるときは、適切なチャイルドシートをご使用ください。
➡ チャイルドシート (P.94)

ミラーの調節

- シートおよびハンドルの調節が完了したら、ミラーを調節します。確実に後方確認ができる位置に、ドアミラーおよびルームミラー★を調節してください。
➡ ドアミラー (P.216)
➡ ルームミラー★ (P.206)

インテリジェント ルームミラー付車

インテリジェント ルームミラー付車は、インテリジェント ルームミラーがOFFの状態（ルームミラーモード）で、確実に後方確認ができる位置に調節してください。

- ➡ インテリジェント ルームミラー★ (P.207)

各種注意事項について



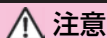
警告

車室内に人やペットを残さない

- お子さま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

診断機接続用のコネクタにはご注意ください

- 診断機接続用のコネクタには、後付け用品を取り付けしないでください。12Vバッテリーがあがったり、警告灯が点灯するなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。



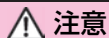
注意

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まない。
引火や爆発するおそれがあり危険です。

火気には十分注意する

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れない。
また、床やシートのすき間に落としたりしない。
荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ライターの着火ボタンが押されてガスが噴出し、火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。
- 灰皿を使ったあとは、マッチやタバコの火が消えていることを確認し、必ずふたを閉める。
紙くすなど燃えやすいものは入れないでください。出火するおそれがあります。



注意

アクセサリーをウインドーに取り付けない

- **ウインドーにアクセサリーを取り付けない。**

視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをしたりして火災を起こすおそれがあります。また、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

故障や破損したまま走行しない

- **事故などでランプが破損したまま走行しない。**

内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。

改造しない

- **日産純正部品以外の車両の性能や機能に適さない部品を使用しない。**

本来の性能を発揮できなくなる可能性があります。故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

- **電装品などを取り付けるときは、必ず日産販売会社にご相談ください。不適切な取り付けや誤った配線は、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。**



アドバイス

改造しない

- **12Vバッテリーの端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。**

- **日産自動車が国土交通省に届け出をした部品以外を装着すると、違法改造になることがあります。**



アドバイス

無線送信機の取り付けについて

- お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響をおよぼす可能性があります。悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ず日産販売会社にご相談ください。お客さまのご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）を日産販売会社にてご提供します。

心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項

心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、次のことにご注意ください。

警告

充電について

- 植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器（ICD）などの医療電気機器を使用している方は、機器に及ぼす影響について医療電気機器製造業者に確認してから充電作業を行う。
- 植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器（ICD）などの医療電気機器を使用している方は、充電ケーブル（コントロールボックス付）から約15cm以下の範囲に装着部位を近づけない。
充電ケーブル（コントロールボックス付）からの電波が機器の作動に影響を与える場合があります。
- 植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器（ICD）などの医療電気機器を使用している方は、急速充電器には近づかない。
操作する必要がある場合は他の方をお願いしてください。充電中の急速充電器からの電磁波が機器などに一時的な影響を与える場合があります。

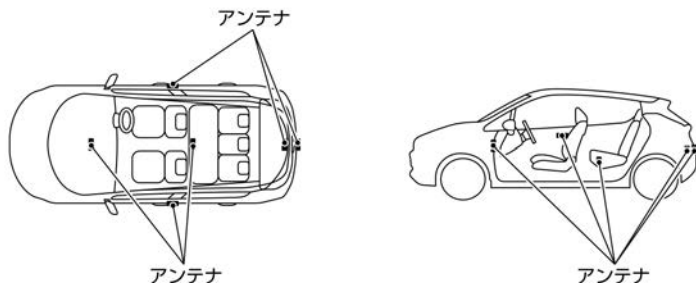
インテリジェントキーについて

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用している方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。
ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、電気自動車の始動時などに発生するキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーなどをご使用の方の注意事項



警告



- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用している方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。

3 点式シートベルト

シートベルトは、シートに身体を固定することで安全を確保するための安全装置です。走行するときは、必ずシートベルトを正しく着用してください。

ELR（緊急固定）付シートベルトについて

- 体の動きに合わせて伸縮し、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

プリテンショナーシートベルトについて

- 正面衝突などで車両前方から強い衝撃を受けたときに、装着したシートベルトを瞬時に巻き取り、乗員の拘束性能を高めます。
- SRSエアバッグシステム（前席）と同時に作動します。
- ➡ SRSエアバッグ (P.78)
- 運転席にはダブルプリテンショナー機構が付いています。車両前方から強い衝撃を受けたとき、肩からシートベルトを巻き上げると同時に腰側からも巻き上げ、乗員の拘束性能を高めます。

プリテンショナー機構



⚠ 警告

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理しない。また、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしない。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

- **SRSエアバッグ警告灯が点灯しているときは走行しない。**
パワースイッチをONにしてから約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーが作動しません。必ずSRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。
- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社に相談する。

🚗 アドバイス

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。

3 点式シートベルト

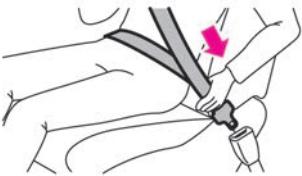
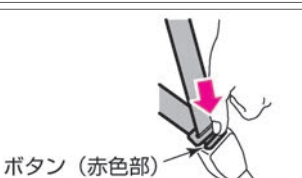


アドバイス

- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

3 点式シートベルト

シートベルトの着用のしかた

1	正しい姿勢でシートに座り、タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。	
2	ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。	
3	肩ベルトのアンカー位置の高さを調節します。(前席のみ) ノブを引きながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。手を離れたあと、「カチッ」と音がするまで動かし固定させます。	
4	外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。	

⚠ 警告

- 肩ベルトのアンカー位置は、肩に確実に掛かるように調節する。また、アンカーが確実に固定されていることを確認する。
万一のときに肩からベルトが外れるなど、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 後席シート中央席のシートベルトを使用するときは、バックルに「CENTER」と表示されているものを使用する。
シートベルトが正しく着用できず、万一のときに重大な傷害につながるおそれがあります。



アドバイス

- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

シートベルトの注意事項



警告

- **走行する前に全員がシートベルトを着用する。**
着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- **シートベルトを着用するときは、次のことを必ず守る。**
シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
 - － 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
 - － 2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
 - － ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
 - － 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腰部に強い圧迫を受けることがあります。
 - － 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分に掛かっていないと、上半身が拘束できないことがあります。
 - － クリップなどで故意にベルトにたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果が発揮できないことがあります。
- **シートの背もたれを倒したまま走行しない。**
シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **バックルや巻き取り装置の中に異物を入れない。**
シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- **妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用する。**
ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を

 警告

確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避け腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

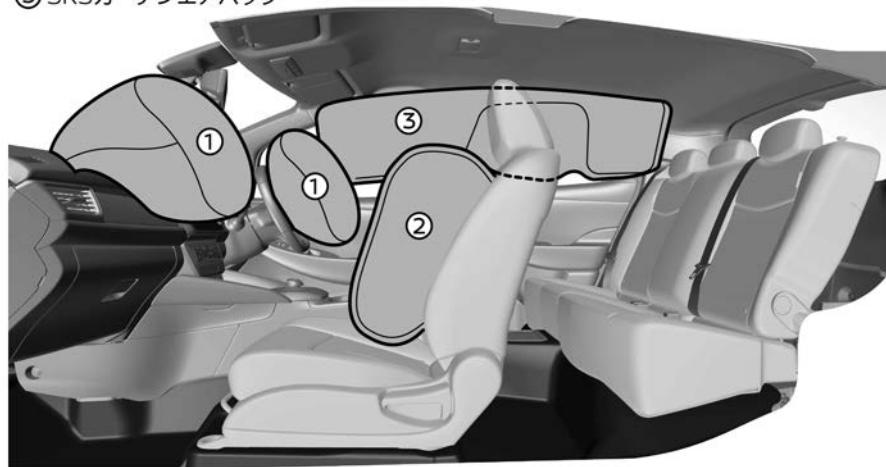
- **お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。**
お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。**
 チャイルドシート (P.94)
- **事故などで衝撃を受けたり傷がついたりしたシートベルトは、日産販売会社に点検を依頼する。**
一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分に発揮しないことがあります。
- **シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使用しない。**
ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分に発揮できないことがあります。
シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。

SRSエアバッグ

SRSエアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、乗員への衝撃を緩和します。シートベルトと併用することで安全性を高めるため、シートベルトは必ず着用してください。

SRSエアバッグの種類

- ① SRSエアバッグシステム (前席)
- ② SRSサイドエアバッグシステム (前席)
- ③ SRSカーテンエアバッグ



アドバイス

- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。
- SRSエアバッグは、一度ふくらむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。



知識

- SRSエアバッグは高温のガスにより高速でふくらむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグがふくらむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがあります。ただし毒性はありません。
- SRSとは、「Supplemental Restraint System」の略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

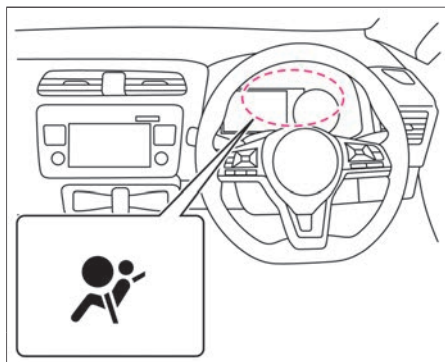
SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、パワースイッチがONのときに作動可能です。

パワースイッチをONにしたあと、約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯します。このとき、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。

SRSエアバッグは、正面衝突や側面衝突で衝撃を受けたときに作動します。ただし、衝撃が車体で吸収または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くないときは、作動しないことがあります。

SRSエアバッグが作動するような衝撃を感じると、非常点滅表示灯が自動的に点滅します。非常点滅表示灯スイッチを押すと消灯しますが、二次災害を防ぐため、安全が確保できるまでは消灯しないことをおすすめします。また、衝撃の大きさによっては、点滅しないことがあります。



⚠ 警告

- **SRSエアバッグ警告灯が次の状態のときは走行しない。**
 - ー パワースイッチをONにした直後、SRSエアバッグ警告灯が約7秒間点灯しないとき。（消灯したままのとき）
 - ー SRSエアバッグ警告灯が点灯し続けるとき。
SRSエアバッグが正常に作動せず、重大な事故につながるおそれがあります。日産販売会社にご相談ください。

📖 知識

- 助手席SRSエアバッグ、助手席側のSRSサイドエアバッグおよびSRSカーテンエアバッグは、乗員がいなくても作動します。

SRSエアバッグの注意事項



警告

- 正しい姿勢でシートベルトを正しく着用する。

SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。また、SRSエアバッグの効果が発揮されないおそれがあります。

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。

SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

- ➡ チャイルドシート (P.94)



- 必ず次のことを守る。

SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなったりし、重大な傷害につながるおそれがあります。

 警告

- SRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついているとき、およびひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。
運転席・助手席のエアバッグの格納場所は（➡P.82）をお読みください。
サイドエアバッグの格納場所は（➡P.87）をお読みください。
カーテンエアバッグの格納場所は（➡P.89）をお読みください。
- SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
- 電気テスターを使用したSRSエアバッグの回路診断、または、回路を変更しないでください。
- エアロパーツなどの取り付けや、サスペンションを改造するときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

 注意

- **SRSエアバッグが作動したときは、30分経過するまでエアバッグにさわらない。**
高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- **SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流す。**
皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じる場合があります。

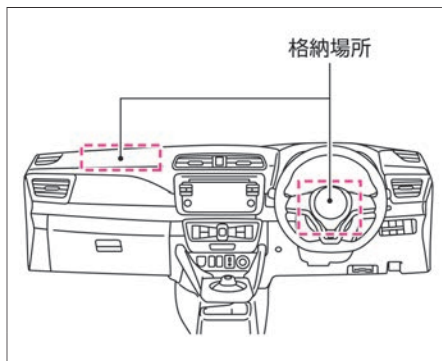
SRSエアバッグシステム（前席）

車両前方から強い衝撃を受けたときSRSエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。

助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。



SRSエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
 - 車両前方左右、約30°以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき
- 次のような車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくとも乗員への衝撃は強いとき）
- 高速で縁石などに衝突したとき
 - 深い穴や溝に落ち込んだとき
 - ジャンプして地面にぶつけたとき



アドバイス

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃でフロントガラスが割れることがあります。



知識

- 運転席、助手席SRSエアバッグはふくらんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。

■ SRSエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

■ SRSエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

次ページに続く

SRSエアバッグシステム（前席）の注意事項



警告

- **SRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、内がけでのハンドル操作はしない。**

ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなど、手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

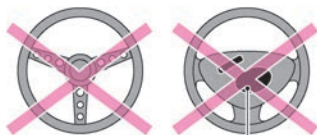


- **不適正なハンドルに交換したり、SRSエアバッグ格納部にステッカーなどを貼らない。**

SRSエアバッグ作動時に正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



警告



ステッカー

- フロントガラスにアクセサリなどを付けない。
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- **SRSエアバッグ格納部に身体を近づけない。また、お子さまを近づかせない。**
SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。
SRSエアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを不必要に近づけたりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたりひざの上に抱いたりせず、後席シートに乗せてください。
- **チャイルドシートは後席シートに取り付ける。**
SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。
やむを得ず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは必ず後席シートに取り付けてください。
- **チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認する。**
固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

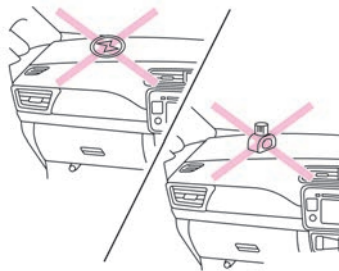


警告



- SRSエアバッグ格納部およびその周辺にステッカーなどを貼ったり、アクセサリや芳香剤などを置かない。

SRSエアバッグ作動時に重大な傷害につながるおそれがあります。



SRSサイドエアバッグシステム（前席）

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSサイドエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

SRSサイドエアバッグは、運転席、助手席ともにシート背もたれ側面（外側）に格納されています。



⚠ 警告

- **SRSサイドエアバッグの格納部に近づかない。**
ドアにもたれるなど、前席シートの背もたれ側面（外側）に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、前席シートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**
SRSエアバッグが誤作動するおそれがあります。
- **前席シートのSRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かない。**
- **シートカバーは、前席シート背もたれ側面を覆わないものを使用する。**
SRSサイドエアバッグが正しく作動しないおそれがあります。日産純正シートカバーをおすすめします。

■ SRSサイドエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

■ SRSサイドエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- ボンネット（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

■ SRSサイドエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

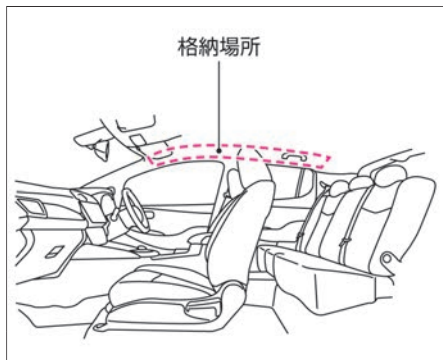
- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

SRSカーテンエアバッグシステム

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時にふくらみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

SRSカーテンエアバッグは、運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。



⚠ 警告

- **SRSカーテンエアバッグの格納部に近づかない。**
万一のとき重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **ドアをガラスが割れるほど強く閉めない。**
SRSカーテンエアバッグが誤作動するおそれがあります。
- **センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリーやハンガーなどを取り付けない。**
SRSカーテンエアバッグが作動したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

安全なドライブのために

SRSカーテンエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

次ページに続く

SRSカーテンエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- ボンネット（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRSカーテンエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

お子さまを乗せるときに注意すること

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。



警告

お子さまにもシートベルトを着用する

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる。
お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

➡ シートベルトの着用のしかた (P.75)

小さなお子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートを使用する。

➡ チャイルドシート (P.94)

チャイルドシートは後席シートに取り付ける

- チャイルドシートは後席シートに取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認する。
固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けけない。
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

お子さまを乗せるときに注意すること



警告



- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、ラゲッジルーム（荷室）などに収納する。
車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまは後席シートに乗せる

- お子さまを助手席に乗せるのは避ける。
お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

ドア、ウインドーなどは大人が操作する

- ドアやウインドーなどの開閉は、お子さまには操作させない。
開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドセーフティドアロック（➡P.191）やパワーウインドーロックスイッチ（➡P.219）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

お子さまを乗せるときに注意すること



警告

窓から手や顔を出さない

- お子さまが腕や顔を出さないように注意する。
急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

車室内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろす。
炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたすらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの安全のために チャイルドシート

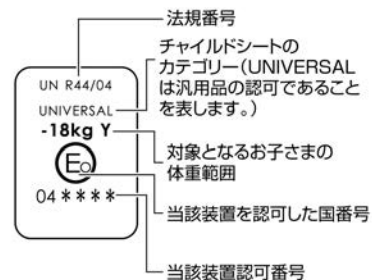
お子さまの年齢や体格にあわせたチャイルドシートを選択し、車両に適切に取り付けてください。

チャイルドシートについて

- チャイルドシートには、乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの3種類があります。お子さまの年齢や体格にあわせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- チャイルドシートの固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- この車はUN R44 の基準に適合したISO FIX 対応チャイルドシート固定専用アンカーを標準装備しています。

知識

- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートを総称してチャイルドシートと呼んでいます。
- UN R44はチャイルドシートに関する国際法です。UN R44の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、認可マークが貼られています。



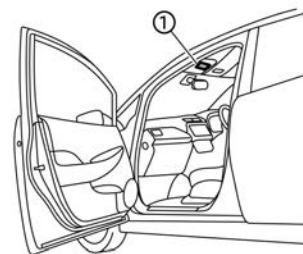
チャイルドシートの種類

UN R44の基準に適合するチャイルドシートはお子さまの体重により次のように分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0+	13kgまで
グループⅠ	9～18kgまで
グループⅡ	15～25kgまで
グループⅢ	22～36kgまで

⚠ 警告

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。
SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。



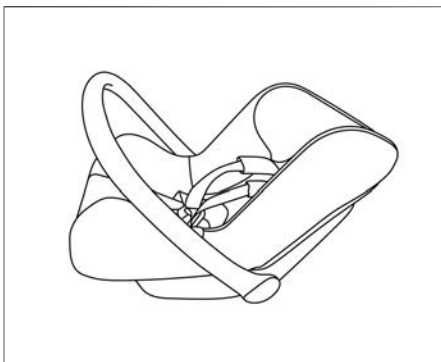
① エアバッグ警告ラベル



次ページに続く

■ 乳児用チャイルドシート

UN R44基準のグループ0、0+に相当します。



■ チャイルドシート

UN R44基準のグループ0+、Iに相当します。



ジュニアチャイルドシート

UN R44基準のグループⅡ、Ⅲに相当します。



チャイルドシートの選びかた

この車両には、シートベルトで取り付けるチャイルドシートと、ISO FIX対応チャイルドシートを取り付けることができます。ISO FIX対応チャイルドシートは、シートベルトを使わずに固定するため、簡単に取り付けることができます。

■ シートベルト固定タイプのチャイルドシート

シートベルトを使ってチャイルドシートを固定します。

➡ シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた (P.100)

■ ISO FIX対応チャイルドシート

後席シートに付属しているISO FIX対応チャイルドシート用アンカー（固定装置）で固定します。

➡ ISO FIX対応チャイルドシートの取り付けかた (P.103)

次ページに続く

■ 使用できるシートベルト固定タイプのチャイルドシート

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。
選択の目安から使用できるチャイルドシートを確認してください。

■ 選択の目安

質量グループ	チャイルドシート取り付け位置		
	前席（助手席）	後席左右	後席中央
0（10kgまで）	X	U	U
0+（13kgまで）	X	U	U
I（9～18kg）	L	U	U
II（15～25kg）	L※1	U	U
III（22～36kg）	L※1	U	U

U： この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）区分のチャイルドシートに適合しています。

L： 次の表に記載されている日産純正チャイルドシートの取り付けが可能です。

X： チャイルドシートを取り付けることはできません。

※1： ジュニアセーフティシートを使用するときはヘッドレストを外してください。

詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

知識

- 表に記載されていないチャイルドシートを使用するときは、チャイルドシート製造業者または販売業者にご相談ください。

■ 日産純正チャイルドシート

「選択の目安」で、チャイルドシート取り付け位置にLと記載されている場合は、日産純正チャイルドシートをご使用ください。

質量グループ	取り付け向き	商品名	
I (9～18kg)	前向き	チャイルドセーフティシート (E4 04443812)	ISO FIX対応チャイルドセーフティシート (E4 04443716)
II (15～25kg)	前向き	ジュニアセーフティシート (E43 44R040006)	
III (22～36kg)	前向き		



アドバイス

- ジュニアセーフティシートを使用するときは、ヘッドレストを外してください。

シートベルト固定タイプのチャイルドシートの取り付けかた

- 1 チャイルドシートを座席に置きます。
シートベルトをチャイルドシートに通し、
タングをバックルに“カチッ”と音がするまで
確実に差し込みます。



- 2 チャイルドシートに付属の取扱説明書に従って
固定します。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっ
かり固定されていることを確認します。



警告

- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。

ISO FIX対応チャイルドシートについて

チャイルドシートの取り付け位置により、使用できるチャイルドシートが異なります。
選択の目安から使用できるチャイルドシートを確認してください。

■ 選択の目安

質量グループ	サイズ 等級	固定具	チャイルドシート取り付け位置	
			後席左右	後席中央
キャリコット	F	ISO/L1	X	-
	G	ISO/L2	X	-
0（10kgまで）	E	ISO/R1	X	-
0+（13kgまで）	E	ISO/R1	IL	-
	D	ISO/R2	X	-
	C	ISO/R3	X	-
I（9～18kg）	D	ISO/R2	X	-
	C	ISO/R3	X	-
	B	ISO/F2	IUF	-
	B1	ISO/F2X	IUF	-
	A	ISO/F3	IUF	-
II（15～25kg）	-	(1)	X	-
III（22～36kg）	-	(1)	X	-

IUF： この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの前向きチャイルドシートに適合しています。

IL： この質量グループでの使用を認可された、次の表に記載されている「日産純正ISO FIX対応チャイルドシート」に適合しています。

X： チャイルドシートを取り付けることはできません。

次ページに続く

(1)： サイズ等級表示の無いチャイルドシートの各シート位置でのISO FIX対応ベビーシート固定機構の取り扱いについては販売業者にご相談ください。

- 詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

■ 日産純正ISO FIX対応チャイルドシートについて

「選択の目安」で、チャイルドシート取り付け位置にILと記載されている場合は、日産純正ISO FIX対応チャイルドシートをご使用ください。

質量グループ	サイズ等級	固定具	商品名	取り付け向き	カテゴリー
0+ (13kgまで)	E	ISO/R1	ISO FIX対応ベビーシート	後向き	準汎用

知識

- ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にUN R44の基準に適合していることを確認してください。詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書を参照してください。

知識

- 日産純正ISO FIX対応ベビーシートの取り付けには別売りのベースキットが必要です。

ISO FIX対応チャイルドシートの取り付けかた

1

ISO FIX対応チャイルドシート用ロアアンカーはマーク下側にあります。
ヘッドレストをロックする位置まで上げて、チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってロアアンカーに固定します。

➡ ヘッドレストの調節のしかた (P.200)



2

テザーアンカーは、後席シート背もたれ裏側にあります。
テザーアンカーにフックを固定し、テザーベルトを締めます。
チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認します。



⚠ 警告

- ISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、後席シートのヘッドレストをロックする位置まで上げる。
- チャイルドシートが確実に固定されていることを確認する。
確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書に従って取り付けてください。
- チャイルドシートを取り付けるときは、アンカー部周辺に異物がないことやシートベルトなどがかみ込んでいないことを確認する。
チャイルドシートが確実に固定されず、急ブレーキや衝突などでチャイルドシートが飛び出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。

📖 知識

- ISO FIX対応チャイルドシート用アンカー（固定装置）は、ロアアンカーとテザーアンカーの2種類があります。

 知識

□アアンカーは背もたれと座面のすき間にあり、テザーアンカーは背もたれ裏側の中央付近にあります。

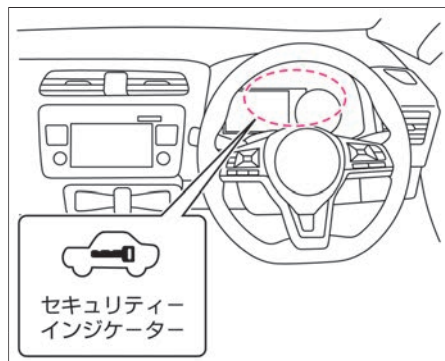
- シートカバーを装着するときは、スリットがあるものを使用してください。

イモビライザー（盗難防止装置）

イモビライザー（盗難防止装置）について

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、あらかじめ登録されているインテリジェントキー以外でのEVシステムの始動（パワースイッチON）を禁止するシステムです。

- イモビライザーが働いているときは、セキュリティインジケータ（➡P.130）が点滅します。



🚗 アドバイス

- パワースイッチをONにしたときにセキュリティインジケータが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

📖 知識

- キーに登録された信号は、キーごとに異なります。

MEMO

安全なドライブのために

計器類

各部名称	P.108
メーター	P.109

警告灯・表示灯

警告灯の表示位置	P.117
警告灯	P.118
表示灯の表示位置	P.128
表示灯	P.129

アドバンスドドライブアシスト

ディスプレイ

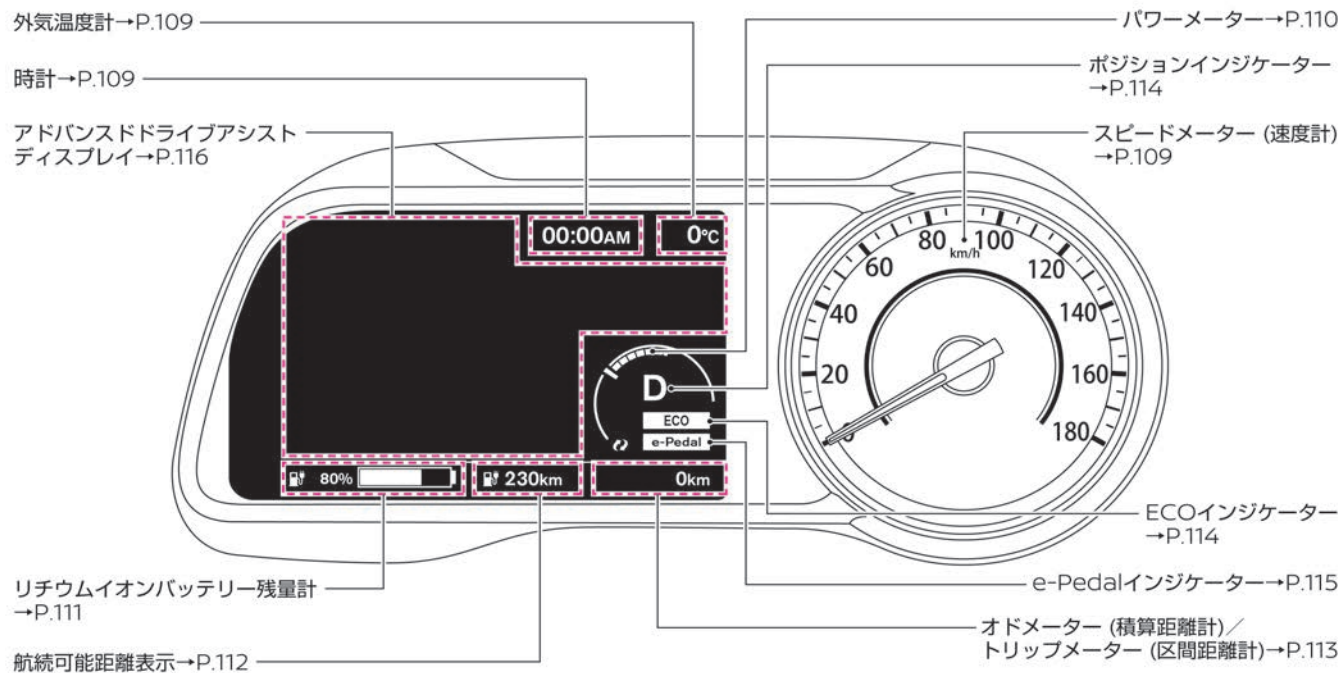
アドバンスドドライブアシストディスプレイとは	P.131
車両情報画面	P.132
各種設定画面	P.154
走行支援機能画面	P.167
タイマー設定状態確認画面	P.172
エコドライブレポート画面	P.174
その他の表示機能★	P.175

メーターの明るさの調節

イルミネーションコントロール	P.178
----------------	-------

各部名称

パワースイッチをONにすると、計器類が表示されます。
それぞれの計器の説明は、参照先のページをお読みください。



メーターには、パワーメーター、リチウムイオンバッテリー残量計、航続可能距離表示などがあります。パワースイッチをONにすると表示します。

スピードメーター（速度計）

- 走行速度を表示します。

時計

- 時刻を表示します。
- メーカーオプションナビゲーションシステム装着車は、ナビゲーションシステムの時計と連動しており、時刻は自動的に調整されます。
- メーカーオプションナビゲーションシステム非装着車は、アドバンスドドライブアシストディスプレイの「設定  」⇒「時計」⇒「時計調整」を選択すると、時刻の調整ができます。

設定の詳細については時計調整をお読みください。

 [画面の切り替えかた \(P.131\)](#)

 [時計 \(P.162\)](#)

外気温度計

- 外気温を表示します。

知識

- メーカーオプションナビゲーションシステム非装着車の時計は、12Vバッテリーを外すと記憶が消去されます。12Vバッテリーを接続後、正しい時刻に調整してください。
メーカーオプションナビゲーションシステム装着車の時計は、12Vバッテリーを接続後しばらく走行すると、自動的に調整されます。
- 時刻の表示は、12時間表示または 24 時間表示を選択できます。

知識

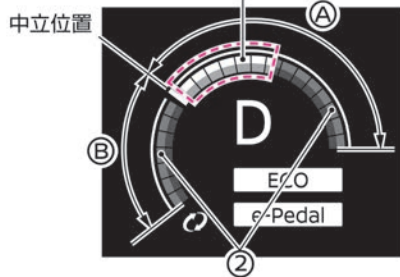
- 外気温センサー取付部の温度を表示するため、実際の外気温とは異なることがあります。

パワーメーター

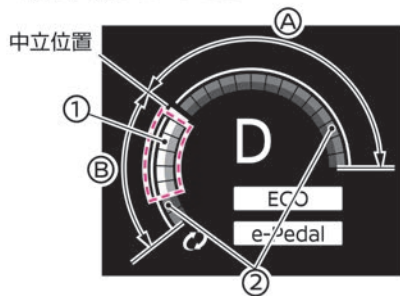
走行中の出力（加速力）と回生量（電力の回収量）を表示します。

- 加速しているときは、ゲージ①が中立位置から右側④に表示されます。ゲージ①が右側④に多くなるほど、加速力が強くなっていることを表します。
- 電力を回収しているときは、ゲージ①が中立位置から左側③に表示されます。ゲージ①が左側③に多くなるほど、多くの電力を回収していることを表します。
- 出力または回生量が制限されると、②の点灯範囲が狭くなります。②が点灯する範囲内で①が点灯します。

加速しているとき



電力を回収しているとき

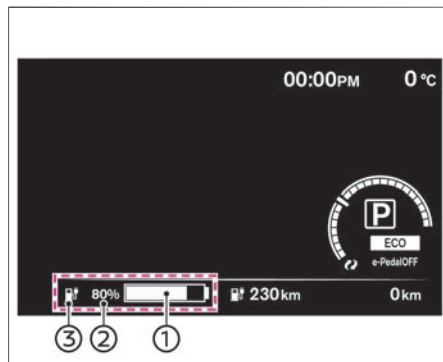


知識

- 次の場合、出力または回生量が制限され、②の点灯範囲が狭くなります。
 - － リチウムイオンバッテリー温度計 (P.133) の表示が極端に高いまたは低いとき。
 - － 走行用モーターの温度が高いとき。
 - － リチウムイオンバッテリーの残量が低下しているとき。
 - － 満充電のときは、これ以上回生することができないため④側のみ点灯します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイでパワーメーターを選択しているときは、アドバンスドドライブアシストディスプレイ側にパワーメーターが表示されます。
 - ➡ EVグループ (P.132)

リチウムイオンバッテリー残量計

- ① 現在のリチウムイオンバッテリーの残量をゲージで表示します。
- ② 現在のリチウムイオンバッテリーの残量を%で示します。
- ③ リチウムイオンバッテリー残量警告灯
リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると、黄色く点灯します。



アドバイス

- ②の残量表示が「---」表示になった場合、リチウムイオンバッテリー残量が非常に少ない状態です。すみやかに最寄りの充電施設で充電してください

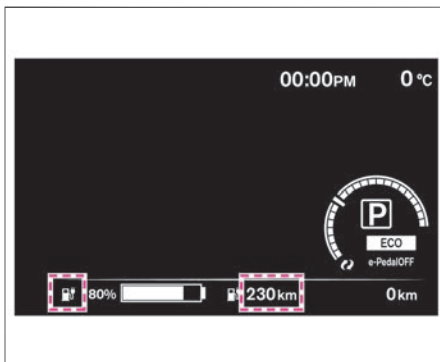


知識

- リチウムイオンバッテリーの温度によって、リチウムイオンバッテリー残量が増減することがあります。
- リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下していると、②の残量表示が「---」に変わります。

航続可能距離表示

- 現在のリチウムイオンバッテリーの残量で走行できるおおよその距離を表示します。
- 表示される距離は、直前の平均電費と現在のリチウムイオンバッテリーの残量から算出します。
- リチウムイオンバッテリー残量警告灯  (➡ P.111) が黄色く点灯すると、航続可能距離の距離表示が点灯から点滅に変わります。
- リチウムイオンバッテリー残量警告灯  が黄色く点灯後も充電せずに走行を続けると、距離表示が「---」に変わります。



知識

- 表示される距離は、今の状態で走行を続けた場合に走れる距離を表示しています。
- 数値は約100m走行ごとに算出しています。
- 充電直後に表示される航続可能距離は、充電前の平均電費から算出されます。リチウムイオンバッテリーが満充電であっても平均電費により表示される航続可能距離が異なることがあります。
- 表示される距離は、エアコンやECOモードのON・OFFにより変化します。
- 外気温が極端に低いときや、長い上り坂を走行した直後は、表示される距離が大幅に減少することがあります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイでパワーメーターを選択しているときは、アドバンスドドライブアシストディスプレイ側に航続可能距離表示が表示されます。
➡ EVグループ (P.132)

オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

- 次のときに表示します。
 - － パワースイッチがONのとき
 - － パワースイッチをOFFにしてから約1分間
 - － ドアを開閉後約1分間

オドメーター（積算距離計）

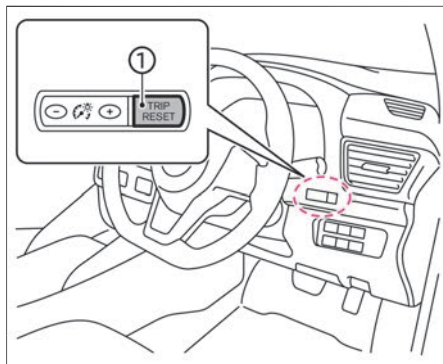
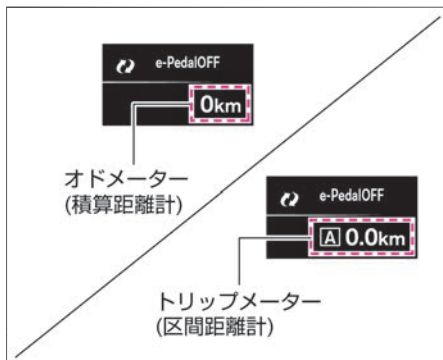
- 総走行距離をkmで表示します。

トリップメーター（区間距離計）

- リセットしてからの走行距離をkmで表示します。**[A]**と**[B]**でそれぞれ使い分けることができます。
- リセットするときは、パワースイッチをONにして、0にしたいほうを表示させ、スイッチ①を1秒以上押します。

表示の切り替えかた

- オドメーターまたはトリップメーターを表示しているとき、スイッチ①を押すと次の順で切り替わります。オドメーター → トリップメーター**[A]** → トリップメーター**[B]** → オドメーター

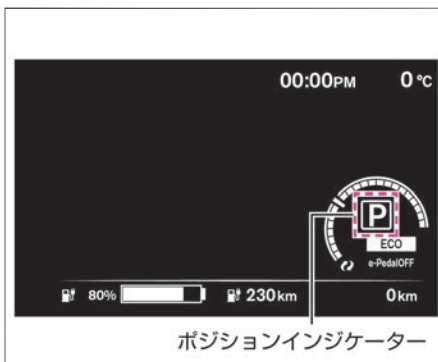


知識

- 12Vバッテリーを外したときは、トリップメーターの**[A]**と**[B]**の記憶が消去され0に戻ります。

ポジションインジケータ

- セレクトレバーのシフトポジションを表示します。

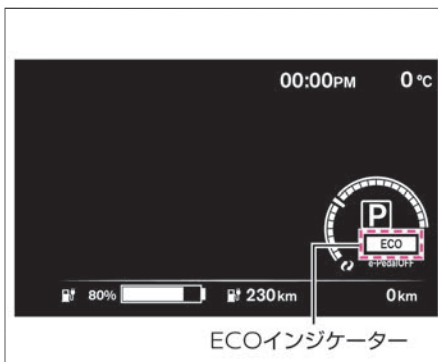


アドバイス

- セレクトレバーを中央の位置以外で保持し続けしないでください。ポジションがずれたまま走行を続けると、故障の原因となります。なお、適正な位置からずれていると、ポジションインジケータの表示灯が点滅します。

ECOインジケータ

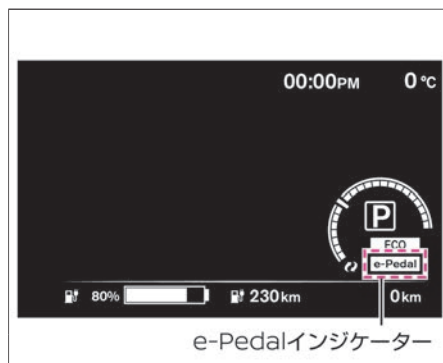
- ECOモードをONにすると、シフトポジションの下に表示します。
➡ ECOモード (P.282)



e-Pedalインジケーター

- e-PedalをONにすると、シフトポジションの下に「e-Pedal」と表示し、e-PedalがOFFのときは、「e-Pedal OFF」と表示します。

➡ [e-Pedal \(P.277\)](#)

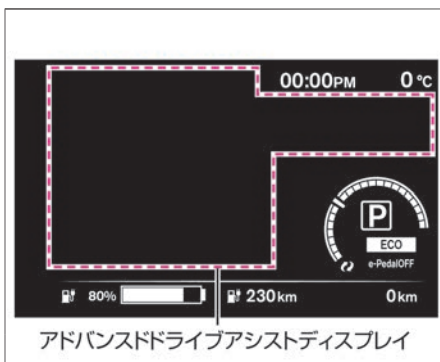


アドバンスドドライブアシストディスプレイ

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定することができます。

- － EVグループ  ★
- － オーディオ情報  ★
- － ナビゲーション情報  ★
- － エコグループ  ★
- － インフォメーショングループ  i
- － 警告  △
- － 設定  ⚙
- － 走行支援機能画面
- － タイマー設定状態確認画面
- － エコドライブレポート画面
- － その他の表示機能★

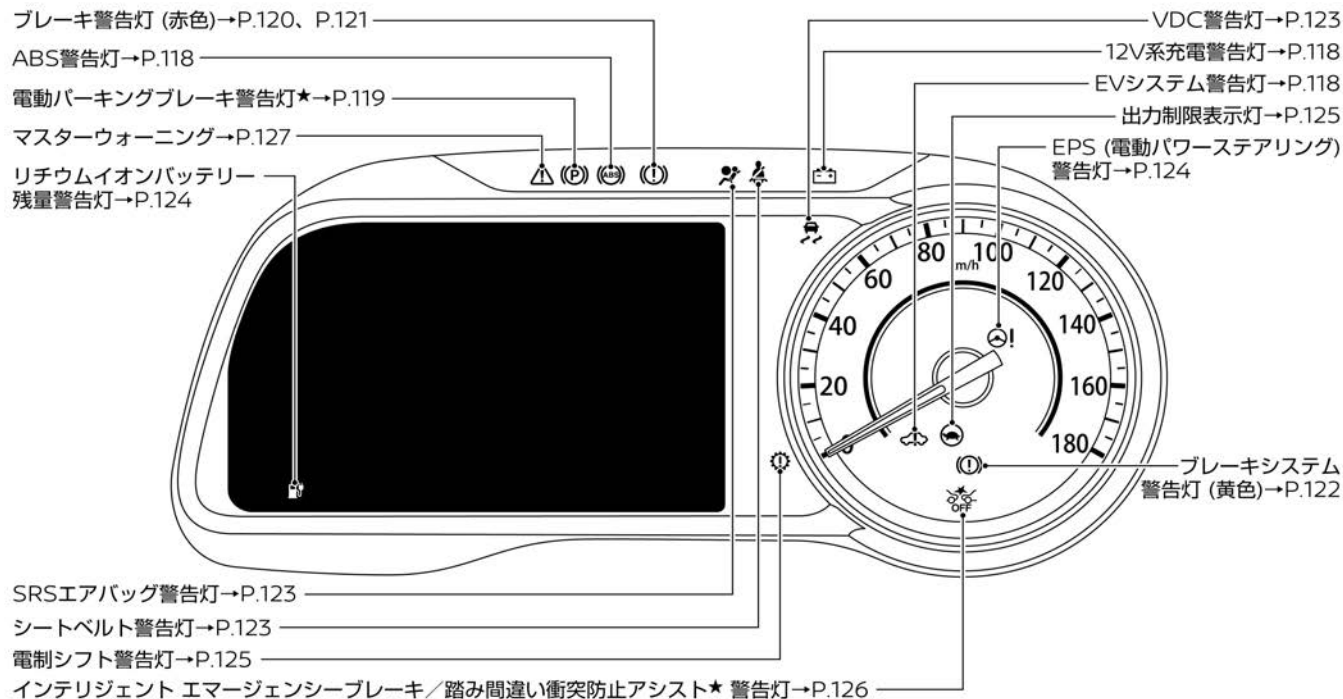
アドバンスドドライブアシストディスプレイについては、(➡P.131)をお読みください。



アドバンスドドライブアシストディスプレイ

警告灯の表示位置

次のイラストは、説明のため全ての警告灯を表示しています。
通常は警告すべき事象がおこったときに該当の警告灯のみ点灯または点滅します。



警告灯

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。
警告灯が点灯したときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	EVシステム警告灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、モーターや高電圧システムなどに異常が発生すると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。
	12V系充電警告灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、走行可能表示灯が点灯すると消灯します。 ● 走行可能表示灯が点灯しているとき、12Vバッテリーの充電系統に異常があると点灯します。	● 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。 ⚠ 注意 ● 12V系充電警告灯が点灯したまま走行しない。 車両が突然停止するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
	ABS警告灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。	● パワースイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 🚗 アドバイス ● ABS警告灯が点灯したときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。この場合、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	電動パーキングブレーキ警告灯★	● 正常なときは、パワースイッチがONのとき、電動パーキングブレーキがかかっていると点灯し、電動パーキングブレーキを解除すると消灯します。 ● パワースイッチがONのとき電動パーキングブレーキのシステムに異常があると点滅します。	● パワースイッチがONで警告灯が点滅しているときに、電動パーキングブレーキを解除しても点滅が続くときは、すみやかに車両を安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。  アドバイス ● 電動パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると、ブザーが鳴ります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
 電動パーキング ブレーキ無車	ブレーキ警告灯 (赤色)	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 (パーキングブレーキをかけているときは消灯しません) ● パワースイッチがONのとき、次の場合は点灯し続けます。 - ー パーキングブレーキをかけているとき - ー ブレーキ液が不足しているとき - ー ブレーキシステムに異常があるとき	● パーキングブレーキがかかっているときは、パーキングブレーキを解除します。 ● パーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社にご連絡ください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 ● ブレーキ液が正常でABS警告灯と同時に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ⚠ 警告 ● 走行可能表示灯  が点灯しているとき、パーキングブレーキを解除してもブレーキ警告灯が点灯し続けるときは、点灯したまま走行しない。 ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。 🚗 アドバイス ● パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行(約7km/h以上)すると、ブザーが鳴ります。 📖 知識 ● ブレーキシステム警告灯(黄色)と同時に点灯するとブザーが鳴ります。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
 電動パーキング ブレーキ付車	ブレーキ警告灯 (赤色)	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、次の場合は点灯し続けます。 － ブレーキ液が不足しているとき － ブレーキシステムに異常があるとき	● 走行中にブレーキ警告灯（赤色）が点灯した場合は、車両を停止し、以下の確認を行ってください。（ブレーキシステム警告灯（黄色）と同時にVDC警告灯  も点灯します。）日産販売会社で点検を受けてください。 － ブレーキ液の量が規定通りに入っていることを確認してください。ブレーキ液が不足している場合は、ブレーキ液を補充し日産販売会社で点検を受けてください。 － ブレーキ液の量が適正のときは、他に原因があることが考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	ブレーキシステム 警告灯（黄色）	● 正常なときは、パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、次の機能に異常があると点灯します。 － ブレーキシステム － 回生ブレーキ － ヒルスタートアシスト － 電動パーキングブレーキ★	● パーキングブレーキを解除し、ブレーキ液量が正常でブレーキ警告灯（赤色）と同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。このときは、ブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効が悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 ● ブレーキ警告灯（赤色）と同時に点灯していないときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。  アドバイス ● ブレーキシステム警告灯（黄色）が点灯しているときは、回生ブレーキが作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	シートベルト警告灯	● パワースイッチがONのとき、運転者および助手席の乗員がシートベルトを着用していないと点灯します。 シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー） ● 運転者および助手席の乗員がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、約95秒間ブザーが鳴ります。	● シートベルトを着用してください。 ⚠ 警告 ● 走行中は全員がシートベルトを着用する。 着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。 📖 知識 ● 助手席シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して、警告灯が点灯することがあります。
	SRSエアバッグ警告灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、約7秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯を続けます。	⚠ 警告 ● パワースイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯を続けるときは、放置したまま走行しない。 万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
	VDC警告灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、VDCが作動すると点滅します。 ● パワースイッチがONのとき、VDCシステムに異常があると点灯します。	● 点灯したときはVDCの作動は停止しますが、VDCシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	EPS（電動パワーステアリング）警告灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、走行可能表示灯が点灯すると消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● 点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドルの操作力が重くなります。  アドバイス ● ハンドルに長時間力をかけた状態が続いたり停車中に操作を繰り返すと、システムの過熱を防ぐためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。しばらくハンドル操作を控え、システムの温度が下がると、通常のハンドル操作力に戻ります。  知識 ● すばやしいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくる場合がありますが、異常ではありません。
	リチウムイオンバッテリー残量警告灯	パワースイッチがONのとき、リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると黄色く点灯します。	すみやかに最寄りの充電施設で充電してください。

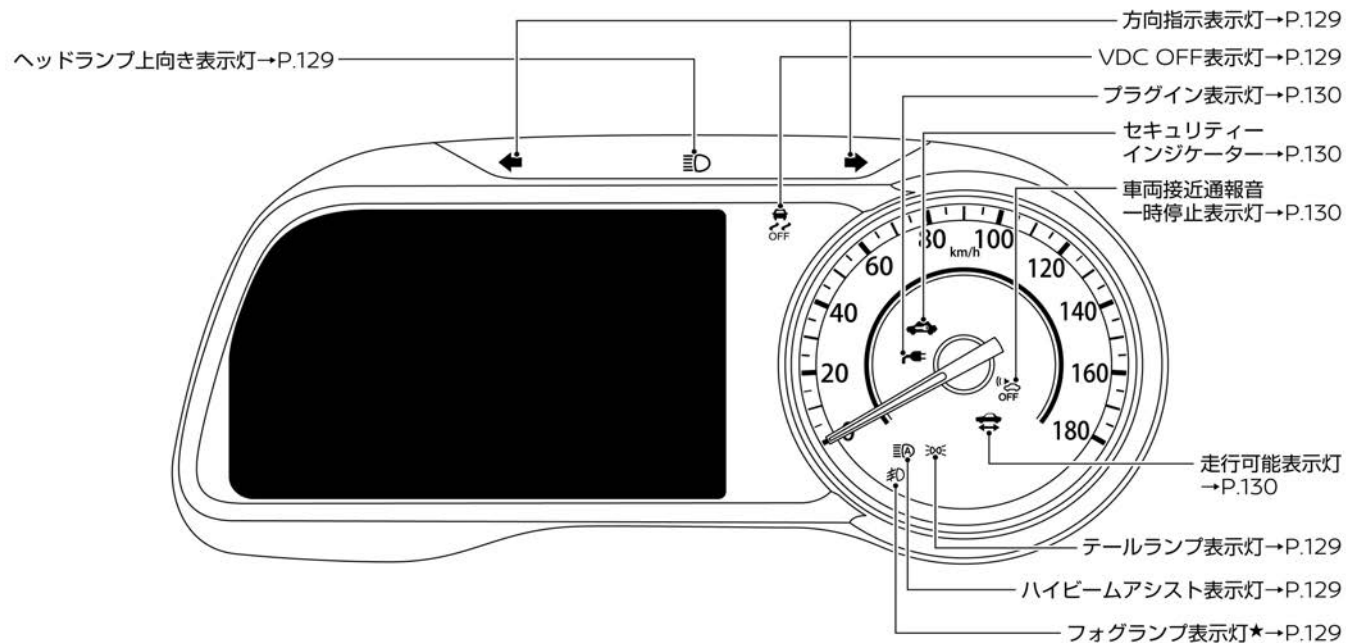
警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	出力制限表示灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● 走行可能表示灯が点灯しているとき、次の場合に点灯します。 － リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下しているとき － 真冬の屋外などで、リチウムイオンバッテリーの温度が極端に低いとき － 外気温が高いときや連続で高速走行や登坂走行をしたことにより、走行モーターやリチウムイオンバッテリーなどの温度が極端に上がったとき － 急速充電を繰り返し行い、リチウムイオンバッテリーの温度が極端に高いとき － 車両故障が発生しているとき	● 点灯中は出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がらなくなります。 ● アドバンスドドライブアシストディスプレイにメッセージが表示されたときは、それらの指示に従ってください。 ● リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下したときは、すみやかに充電するか、充電できる場所が近くにないときは、すみやかに安全な場所に停車し、EVカスタマーセンター（0120-230-834）にご連絡ください。 ● リチウムイオンバッテリーの温度が上がって点灯したときは、➡P.445をお読みください。  知識 ● リチウムイオンバッテリー残量が多い状態でこまめに充電を行うことで、リチウムイオンバッテリー温度の上昇を抑え、充電に掛かる時間を抑えることができます。
	電制シフト警告灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、電制シフトに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● アドバンスドドライブアシストディスプレイにメッセージが表示されたときは、表示されたメッセージに従ってください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	インテリジェント エマージェンシー ブレーキ／踏み間 違い衝突防止アシ スト★警告灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、走行可能表示灯が点灯すると消灯します。 ● 次の場合は点灯します。 － インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしているとき － VDCをOFFにしているとき － インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき ● 次の場合は点滅します。 － 踏み間違い衝突防止アシストが作動したとき ● 次の場合はゆっくり点滅します。 － フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき － 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき － 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき － フロントガラスの結露や曇りなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき	● インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 ● VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 ➡ VDCのON・OFFのしかた (P.291) ● 一度パワースイッチをOFFにしてから再始動しても警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ● フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。 ● 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると自動的に作動を復帰します。 各システムについては、インテリジェントエマージェンシーブレーキ(➡ P.337)および踏み間違い衝突防止アシスト(➡ P.347)をお読みください。

警告灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	マスターウォーニング	● アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示されると同時に点灯します。	● 同時に表示した警告メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従ってください。 ➡ 警告 (P.140)

表示灯の表示位置

次のイラストは、説明のため全ての表示灯を表示しています。
通常は事象がおこったときに該当の表示灯のみ点灯します。



表示灯

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。
点灯している理由は、次の説明をお読みください。

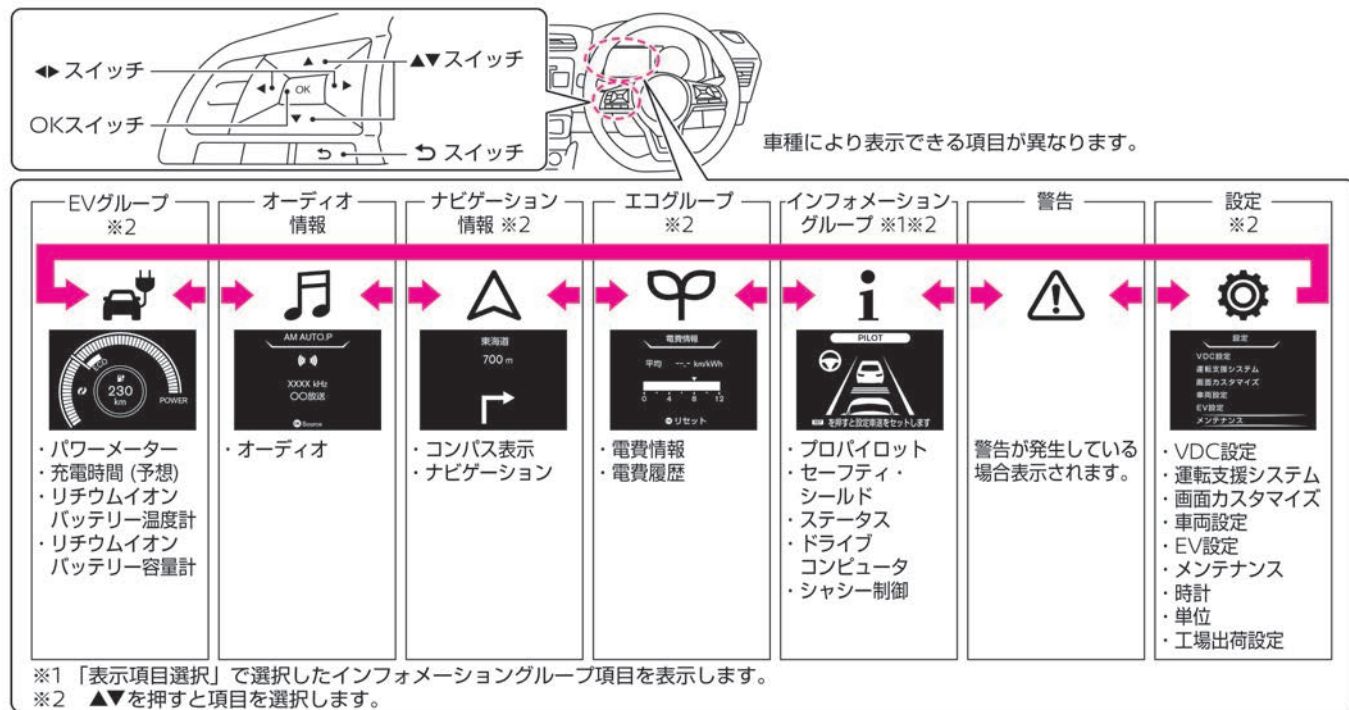
表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	方向指示表示灯	● 非常点滅表示灯を作動させると点滅します。 ● パワースイッチがONのとき、方向指示器を作動させると、作動させた側のみ点滅します。	● 方向指示器の電球（バルブ）が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。 ➡ 方向指示器の使いかた (P.269) ➡ 電球（バルブ）交換 (P.484)
	ヘッドランプ上向き表示灯	● ヘッドランプのハイビーム（上向き）を点灯させると点灯します。	➡ ハイビーム（上向き）への切り替えかた (P.268)
	テールランプ表示灯	● 車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。	➡ ライトスイッチの使いかた (P.263)
	フォグランプ表示灯★	● フォグランプを点灯させると点灯します。	➡ フォグランプの使いかた (P.272)
	VDC OFF表示灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● パワースイッチがONのとき、VDCをOFFにしていると点灯します。	➡ VDC（ビークルダイナミクスコントロール） (P.289)
	ハイビームアシスト表示灯	● ハイビームアシストがONのときヘッドランプが点灯していると、ヘッドランプの上向き、下向きにかかわらず点灯します。	ハイビームアシストについて➡P.266

表示灯	名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
	セキュリティインジケータ	● パワースイッチがON以外のときに点滅します。 ➡ <u>イモビライザー（盗難防止装置）</u>（P.105）	● パワースイッチをONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
	プラグイン表示灯	● パワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● 充電コネクタを接続すると点灯し、充電中は点滅します。	● 充電コネクタを接続しても点灯しないときや、充電中に点滅しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。
	走行可能表示灯	● 走行できる状態になると点灯します。（走行中も点灯し続けます。）	—
	車両接近通報音一時停止表示灯	● 車両接近通報装置一時停止スイッチを押すと点灯します。	車両接近通報装置について(➡ P.297)

アドバンスドドライブアシストディスプレイとは

アドバンスドドライブアシストディスプレイで、様々な機能の作動状態を表示したり、設定することができます。パワースイッチがONのとき、ハンドル左側にある ◀▶ スイッチを押すと、EVグループ 、オーディオ情報  ★、ナビゲーション情報  ★、エコグループ 、インフォメーショングループ  i、警告  △、設定  の順で表示項目が切り替わります。

画面の切り替えかた

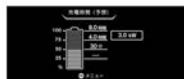


車両情報画面

様々な車両情報を表示したり、各種設定をしたりすることができます。

EVグループ

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの  スイッチで、EVグループ  を選択し、  スイッチを押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは ( P.131)、設定例は ( P.164)、 ( P.165) をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
 ECO ゾーン	パワーメーター	- 走行中の出力（加速力）と回生量（電力の回収量）を表示します。 詳しくは、  <u>パワーメーター (P.110)</u> をお読みください。 - ECOゾーンの範囲を目安に運転すると、電力を抑えられるため、航続可能距離を延ばすことができます。	- ECOゾーンは車速に応じて範囲が変化します。 - ECOゾーンはECOモードとは関係ありません。
	充電時間（予想）	充電完了までにかかる充電時間の目安を表示します。	パワースイッチをONにした直後は、実際にかかる時間より長めに表示されることがあります。また、充電が停止した直後は、実際にかかる時間とは異なることがありますが、しばらくすると正しい時間に修正されます。 詳しくは、  <u>予想充電時間について (P.134)</u> をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	リチウムイオンバッテリー温度計	● リチウムイオンバッテリーの温度を表示します。 ● リチウムイオンバッテリーの温度は、外気温や充電状況、走行条件などにより変化します。	● リチウムイオンバッテリーの温度が上がると、走行用モーターの出力制限表示灯  が点灯し、出力が制限されることがありますが故障ではありません。リチウムイオンバッテリーの温度が下がるまで、風通しのよい日かげなどに停車してください。 ● 次の場合、リチウムイオンバッテリーの温度が上がりやすくなります。 - ー 連続で高速走行をしたとき - ー 連続で登坂走行をしたとき - ー 急速充電を繰り返し行ったとき - ー 外気温が高いとき ● 外気温が極端に低く、リチウムイオンバッテリー温度計の目盛りが表示されない場合は、走行可能状態にならないことがあります。 ● リチウムイオンバッテリーの温度が高いまたは低いとき、急速充電にかかる時間が長くなります。
	リチウムイオンバッテリー容量計	● リチウムイオンバッテリーの容量を表示します。	● リチウムイオンバッテリーの経年数などにより蓄電能力が低下すると、目盛りが右側から順に減少します。

■ 予想充電時間について

- アドバンスドドライブアシストディスプレイの「充電時間表示設定」で選択されている充電電力値の予想充電時間が表示されます。

設定の詳細については、EV設定をお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.131)

➡ EV設定 (P.160)

- ①：現在のリチウムイオンバッテリーの残量を表示します。

- ②：各%までの予想充電時間を表示します。(25%、50%、75%、100%)

- ③：非充電中は現在選択されている充電電力値を表示します。普通充電中は実際の充電電力値に応じた固定値を表示します。

- ④：⑤の残り充電時間経過時に達している予想される充電量

- ⑤：急速充電の残り時間

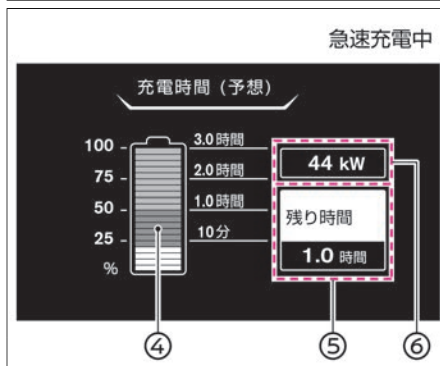
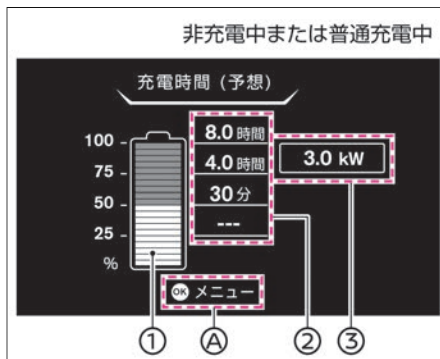
- ⑥：急速充電中の実際の充電電力値を表示します。

- Ⓐ：非充電中にOKボタンを押すと、『充電時間表示設定』に移行します。表示したい充電電力値を選んでください。

設定の詳細については、EV設定をお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.131)

➡ EV設定 (P.160)



知識

- 充電中は、Ⓐの表示が消えて、『充電時間表示設定』に移行できません。
- 充電中は、現在充電中の充電電力値で予想充電時間が計算され②に表示されます。
- 充電停止時は、現在選択されている充電電力値の表示に戻ります。
- 充電中に、電源が停止（コンセント抜きなど）すると現在選択されている充電電力値の表示に戻ります。
- 現在のリチウムイオンバッテリー残量が、各%を越えた時点で、予想充電時間②が「---」表示になります。
- 満充電時は、全ての予想充電時間が「---」表示になります。
- 予想充電時間が24時間以上の場合には、「24時間以上」と表示されます。
- 普通充電の電力値③は固定値です。急速充電の電力値⑥は、充電中に実際の電力が表示されます。
- 各%ごとの予想充電時間②は現時点の予測値であり、車両状態や充電状態により、実際の充電時間は変化します。

 知識

- 普通充電の充電電力値は、電力値を固定値として表示しているため、実際の電力とは異なることがあります。
- V2H充電中は、充電時間が全て「---」表示になります。（充電時間が予測できないため）
- 普通充電器（壁掛型）の種類によっては、充電電力が可変に制御されるものがあり、その場合は予想充電時間が正確に見積もれないため、実際の充電時間と異なる場合があります。

オーディオ情報 ★

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの  で、オーディオ情報  を選択します。ステアリングスイッチの使いかたは (P.131) をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	オーディオ	● 現在使用中のオーディオ情報を表示します。 ● ステアリングスイッチの OK スイッチを押すと、オーディオの種類を切り替えることができます。	● オーディオの取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

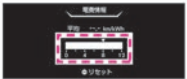
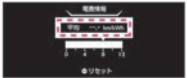
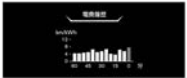
ナビゲーション情報 ★

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの  スイッチで、ナビゲーション情報  を選択し、 スイッチを押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (P.131) をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	コンパス表示	● コンパス（車両の進行方位）を表示します。	-
	ナビゲーション	● メーカーオプションのナビゲーションシステムで目的地を設定していると、ナビゲーションシステムと連動し、次の右左折点までの距離などを表示します。	● メーカーオプションのナビゲーションシステムの取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。 ● 目的地を設定していないときは、表示されません。

エコグループ 𐄂

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで、エコグループ 𐄂 を選択し、 ▲▼ スイッチを押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (➡P.131) をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	電費情報	● 現在の瞬間電費を表示します。	● 走行中の電力消費や減速時の回生ブレーキによる発電でグラフが変化します。
		● リセットしてから現在までの平均電費を表示します。	● リセットするときは、 OK スイッチを押します。
	電費履歴	● 過去5分単位の電費を棒グラフで表示します。 ● 過去1時間分表示します。	📖 知識 ● パワースイッチをOFFにしても更新が続きます。パワースイッチをOFFにして、65分後にグラフはリセットされます。

■ インフォメーショングループ i (表示項目)

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの ◀▶ で、インフォメーショングループ i を選択し、▲▼ を押すと項目が切り替わります。ステアリングスイッチの使いかたは (➡P.131) をお読みください。

画面表示	項目	概要	詳細説明
	プロパイロット★	● 走行支援システムの作動状態を表示します。 ● ステアリングスイッチのプロパイロットスイッチ  を押すと自動的にプロパイロット画面に切り替わります。 ● ステアリングスイッチの OK スwitchを押すと、プロパイロットのメニュー画面が表示されるので、ハンドル支援のON・OFFを設定できます。詳しくは (➡P.154) をお読みください。	● 詳しくは、各走行支援システムの説明をお読みください。 - ー ➡ <u>プロパイロット★ (P.301)</u> - ー ➡ <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.337)</u> - ー ➡ <u>LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) ★ (P.376)</u> - ー ➡ <u>BSW (後側方車両検知警報) ★ (P.367)</u>
	セーフティ・シールド	● 走行支援システムのON・OFF状態を表示します。 ● ステアリングスイッチの OK スwitchを押すと、走行支援システムのメニュー画面が表示されるので、各システムのON・OFFを設定できます。詳しくは (➡P.154) をお読みください。	
	ステータス	● 各種ステータス情報を表示します。	● 次のステータス情報を表示します。 - ー 走行速度 - ー オーディオ情報★ - ー ナビゲーション情報★

画面表示	項目	概要	詳細説明
	ドライブコンピュータ	● ドライブコンピュータを表示します。リセットするときは、ステアリングスイッチの OK スイッチを押します。リセットメニュー画面が表示されるので、リセットする項目を選択し、リセットすることができます。	知識 ● ドライブコンピュータの項目 - ー 平均電費 - ー 平均車速 - ー 走行距離 - ー 走行時間
	シャシー制御	● インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）の作動状態を表示します。 ● ステアリングスイッチの OK スイッチを押すと、シャシー制御のメニュー画面が表示されるので、インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）のON・OFFを設定できます。（➡P.154）をお読みください。	知識 ● インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）については、（➡P.293）をお読みください。

■ 警告 ⚠

警告について

- 異常を検知するとマスターウォーニング (➡ P.127) が点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告を表示します。
- 警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

確認のしかた

パワースイッチがONのとき、ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで、警告 ⚠ を選択すると、異常を検知している警告が確認できます。

警告を一時的に消すときは、**OK** スイッチを押します。

ステアリングスイッチの使いかたは (➡ P.131) をお読みください。

■ 警告メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。 表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 BRAKE 始動時はブレーキを踏み パワースイッチを押してください	EVシステム始動操作表示	● パワースイッチがOFFのとき、キー（インテリジェントキー）が車室内にある状態で運転席ドアを閉めたとき。 ● パワースイッチがONで走行可能表示灯が消灯しているとき。	● ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押すと、走行可能表示灯が点灯し、走行できるようになります。  知識 ● 次の場合、EVシステム始動操作表示が消えます。 - ー 走行可能表示灯が点灯したとき - ー 表示されてから約15秒経過したとき - ー リモコン機能、またはドアハンドルのスイッチでドアを施錠したとき - ー シフトポジションを以外に入れたとき
 インテリジェントキーを パワースイッチに接触させてください	インテリジェントキー非作動時EVシステム始動表示	● キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、使用環境により、キーと車両の通信が正常に行われないときに表示します。	● ブレーキペダルを踏みながら、キーの裏面をパワースイッチに接触させてください。  EVシステムを始動できないときは (P.440)
 キー電池残量が 低下しています	インテリジェントキー電池切れ表示	● キー（インテリジェントキー）の電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。	● 新しい電池に交換してください。  <u>キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.495)</u>  知識 ● 次の場合、インテリジェントキー電池切れ表示が消えます。 - ー 表示から約30秒経過したとき - ー パワースイッチをON以外にしたとき

次ページに続く

車両情報画面

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告  キーが見つかりません	インテリジェントキー持ち出し警告	● 次の場合に表示します。 － パワースイッチがアクセサリ状態で、キー（インテリジェントキー）が車外に持ち出されたとき － キーを携帯していないとき － 携帯しているキーの電池が切れているとき － 登録されていないキーを携帯しているとき	● 次のように対処してください。 － キーが車外に持ち出されていないか確認してください。 － キーを携帯してください。 － 新しい電池に交換してください。 ➡ キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.495) － 自車のキーであることを確認してください。
 警告 	ドア開き警告	● ドアが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。	● ドアを確実に閉めてください。  知識 ● 走行前に表示が消えていることを確認してください。ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 警告  キーシステム故障 取扱説明書を見てください	キーシステム警告	● キーシステムに異常があると表示します。	● 日産販売会社にご連絡ください。パワースイッチを切り替えられないことがあります。
 警告  プレンジに入れてください	P 戻し忘れ警告	● シフトポジションが P 以外で運転席ドアが開いていると表示します。	● シフトポジションを P に入れてください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告 パーキングブレーキを解除してください	パーキングブレーキ戻し忘れ警告	● パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）表示し、ブザーが鳴ります。	● すみやかにパーキングブレーキを解除してください。 ➡ <u>パーキングブレーキ★ (P.252)</u>  アドバイス ● 走行するときは、必ずパーキングブレーキを解除してください。
	電動パーキングブレーキ戻し忘れ警告	● 電動パーキングブレーキをかけ、運転席シートベルトを着用せずにアクセルペダルを踏み、発進すると表示します。 ● 電動パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると表示し、ブザーが鳴ります。	● すみやかに電動パーキングブレーキを解除してください。 ➡ <u>電動パーキングブレーキ★ (P.253)</u> ● 運転するときは、必ずシートベルトを着用してください。
 警告 停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください	電動パーキングブレーキ警告	● 急な坂道などで電動パーキングブレーキがかかった状態で車両が動く则表示し、ブザーが鳴ります。 ● 電動パーキングブレーキがかかった状態で、ブレーキペダルを踏まずに電動パーキングブレーキスイッチを押した場合に表示します。	● すみやかにブレーキペダルを踏んでください。 ● 解除する場合は、ブレーキペダルを踏んでから電動パーキングブレーキスイッチを押し下げてください。 ➡ <u>電動パーキングブレーキ★ (P.253)</u>
 警告 シャシー制御システム故障 取扱説明書をみてください	シャシー制御表示	● シャシー制御のシステムに異常がある则表示します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
 警告  踏み間違い衝突防止アシストが作動しました	踏み間違い衝突防止アシスト作動時表示	● 踏み間違い衝突防止アシストが作動すると表示します。	● 進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などを検知している場合に、アクセルペダルが素早く深く踏み込まれたとシステムが判断したときに作動します。 ➡ <u>踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.347)</u>

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 警告 ヘッドランプシステム異常 取扱説明書を見てください	ヘッドランプ警告	LEDヘッドランプに異常があると表示します。	すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
 警告 システムが故障しているため 使用できません	システム故障警告	プロパイロット、インテリジェント エマージェンシーブレーキ、踏み間違い衝突防止アシスト、BSW（後側方車両検知警報）、LDW（車線逸脱警報）、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）、RCTA（後退時車両検知警報）が故障すると表示します。	- 安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。 - 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。  プロパイロット★ (P.301)  インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.337)  踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.347)  BSW（後側方車両検知警報）★ (P.367)  LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）★ (P.376)  RCTA（後退時車両検知警報）★ (P.384)
 警告  システム故障	インテリジェント DA（ふらつき警報）システム異常警告	インテリジェント DA（ふらつき警報）システムに異常があると表示します。	- 安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。 - 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。  インテリジェント DA（ふらつき警報）★ (P.393)

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 ソナー故障 取扱説明書を見てください	ソナーシステム異常警告	● ソナーが故障したときに表示します。	● 安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ⤵ ソナー表示★ (P.175)
 休憩しませんか?	インテリジェント DA (ふらつき警報) 表示	● 運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに表示します。	● 表示・非表示の設定ができます。 ⤵ インテリジェント DA (ふらつき警報) ★ (P.393)
  注意してください	進入禁止標識検知表示	● 前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合に表示します。	● 表示・非表示の設定ができます。 ⤵ 進入禁止標識検知 (P.396)
バッテリーあがりを防ぐため 電源をOFFします	自動電源OFF表示A	● パワースイッチがONのとき、シフトポジションを P に入れたまましばらくすると表示します。	● そのままパワースイッチを切り替えたり、セレクトレバーを操作したりしないと、省エネのため自動的にパワースイッチがOFFになります。
バッテリーあがりを防ぐため 電源をOFFしました	自動電源OFF表示B	● パワースイッチがONのとき、シフトポジションが P のまま時間が経過し、自動的にパワースイッチがOFFになると表示します。	
 ライト消灯してください	ライト消し忘れ警告	● パワースイッチがON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、ライトスイッチがOFFまたはAUTO以外の位置にあると表示し、ブザーが鳴ります。	● ライトスイッチをOFFにしてください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
メンテナンス  タイヤ	タイヤ交換表示	● 設定したタイヤ交換距離に達すると表示します。	● タイヤ交換距離は、設定したりリセットしたりできます。 設定 (🔧 P.161)
メンテナンス  ユーザー	メンテナンス距離表示	● タイヤ以外の整備項目の点検距離または交換距離に達すると表示します。	● その他の整備項目には、たとえばタイヤのローテーションを行う距離の設定ができます。項目の点検／交換距離は設定したり、リセットしたりできます。 設定 (🔧 P.161)
 0℃	凍結注意アラーム表示	● 外気温が3℃以下になったことを知らせます。	● 表示・非表示の設定ができます。 設定 (🔧 P.157)
アラーム  休憩してください	走行時間アラーム表示	● 設定した時間まで連続走行したことを知らせます。	● 表示・非表示の設定ができます。 設定 (🔧 P.157)
⚠ 警告  パワースイッチを押してください	電源ポジションOFF忘れ警告	● パワースイッチがアクセサリで「Pレンジに入れてください」と警告メッセージが表示されているとき、セレクトレバーを操作してシフトポジションを P にすると表示します。 ● 上記の操作後、パワースイッチをONにしたときに表示します。	● パワースイッチをOFFにしてください。 📖 知識 ● 次の場合、電源ポジションOFF忘れ警告表示が消えます。 - ー パワースイッチをOFFにしたとき - ー シフトポジションを P 以外にしたとき
⚠ 警告  バッテリー残量低下 充電をしてください	リチウムイオンバッテリー残量警告	● リチウムイオンバッテリーの残量が低下し、リチウムイオンバッテリー残量警告灯  が黄色く点灯すると同時に表示します。	● すみやかに最寄りの充電施設で充電してください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 △警告 EVシステム高温 走行制限中 ゆっくり運転してください	出力制限警告 A	● 外気温が高いときや連続で高速走行や登坂走行をしたことにより、走行モーターやリチウムイオンバッテリーなどの温度が極端に上がったとき、出力制限表示灯  が点灯すると同時に表示します。	● 表示すると出力が制限され、アクセルペダルを踏み込んでも速度が上がらなくなります。 ● リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下して点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、EVカスタマーセンター（0120-230-834）へご連絡ください。
 △警告 EVシステム低温 走行制限中	出力制限警告 B	● 真冬の屋外などで、リチウムイオンバッテリーの温度が極端に低くなったとき、出力制限表示灯  が点灯すると同時に表示します。	
 △警告 バッテリー残量低下 走行制限中 充電をしてください	出力制限警告 C	● リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下したとき、出力制限表示灯  が点灯すると同時に表示します。	
 △警告 走行制限中	出力制限警告 D	● 出力制限警告A、出力制限警告B、出力制限警告C以外の出力制限される原因があるとき、出力制限表示灯  が点灯すると同時に表示します。	
 充電プラグが 接続されています	プラグイン表示	● 充電コネクタが接続されているときに表示します。	-
走行できません 充電プラグを抜いてください	充電コネクタ 取り外し警告	● 車両に充電コネクタが接続された状態で、EVシステムを始動（パワースイッチON）しようとしたときに表示します。	● EVシステムを始動するときは、充電コネクタを取り外してからパワースイッチを押してください。
 △警告 12V充電システム故障 安全に停車してください	12V充電系警告 A	● 走行中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、EVシステムに異常がなく出力が制限されていないときに表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 △警告 12V充電システム故障 走行制限中 安全に停車してください	12V充電系警告B	● 走行中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 12V充電システム故障 EVシステム停止 安全に停車してください	12V充電系警告C	● 走行中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、EVシステムが停止されていると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 12V充電システム故障 パーキングブレーキをかけてください	12V充電系警告D	● 停車中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生している则表示します。	● すみやかにパーキングブレーキをかけ、日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 12V充電システム故障 販売店で点検してください	12V充電系警告E	● 停車中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、EVシステムに異常がなく出力が制限されていないときに表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 12V充電システム故障 走行制限中 販売店で点検してください	12V充電系警告F	● 停車中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 12V充電システム故障 EVシステム停止 販売店で点検してください	12V充電系警告G	● 停車中、12Vバッテリー系の充電システムに異常が発生し、EVシステムが停止されていると表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 EVシステム故障 走行制限中 販売店で点検してください	EVシステム警告A	● 停車中、EVシステムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 EVシステム故障 走行制限中 安全に停車してください	EVシステム警告B	● 走行中、EVシステムに異常が発生し、出力が制限されていると表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ 車両情報画面

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 △警告 EVシステム故障 販売店で点検してください	EVシステム警告C	● 停車中、EVシステムに異常が発生し、EVシステムが停止せず、出力が制限されていないときに表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 EVシステム停止 安全に停車してください	EVシステム警告D	● 走行中、EVシステムに異常が発生し、EVシステムが停止しているときに表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 EVシステム停止 パーキングブレーキをかけてください	EVシステム警告E	● 停車中、EVシステムに異常が発生し、EVシステムが停止しているときに表示します。	● すみやかにパーキングブレーキをかけ、日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 EVシステム停止 販売店で点検してください	EVシステム警告F	● 停車中、EVシステムに異常が発生し、EVシステムが停止しているときに表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 EVシステム故障 次回起動できません 販売店で点検してください	EVシステム警告G	● EVシステムに異常が発生し、EVシステムが再始動できないときに表示します。	● すみやかに日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 EVシステム故障 安全に停車してください	EVシステム警告H	● 走行中、EVシステムに異常が発生し、EVシステムが停止せず、出力が制限されていないときに表示します。	● すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
 △警告 ブレーキを踏んでください	ブレーキペダル操作警告	● e-Pedalを使用して、坂道などで停車状態の保持をしているときに車両が動き出すと、ブレーキペダルを踏むまで警告音とともに表示します。	● すみやかにブレーキペダルを踏んでください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
 ブレーキを踏み e-Pedalスイッチを 操作してください	ブレーキペダル踏み込み表示	● 停車の保持中にブレーキペダルを踏まずにe-PedalをOFFにしようとする则表示します。	● ブレーキペダルを踏みながらe-Pedalスイッチを引いてください。
△警告 e-Pedalシステム異常 減速、停車する際は ブレーキを踏んでください	e-Pedalシステム異常警告	● e-Pedalシステムに異常があると表示します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
△警告  駐車時は必ず パーキングブレーキを かけてください	電制シフト警告A	● 電制シフトに異常が発生したとき。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● 駐車するときは、パーキングブレーキを確実にかけてください。パーキングブレーキをかけていないと、パワースイッチをOFFにできないことがあります。
△警告 トランスミッション システム異常 販売店で点検してください	電制シフト警告B	● 電制シフトに異常が発生したとき。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 ● シフトポジションがすぐに切り替わらないことがあるため、目的のシフトポジションの位置でセレクトレバーを保持し、シフトポジションが切り替わったことを確認してから手を離してください。 ● オートP機能(ⓅP.251)が作動しないことがあるため、駐車するときはセレクトレバー上部のⓅスイッチを押し、Pに切り替わったことを確認してください。

画面表示	名称	表示する条件	説明・対処方法
△警告 シフトレバーの位置を確認してください	シフトポジション警告	● セレクトレバーが中央の位置以外で保持され続けたとき。	● セレクトレバーが中央の位置にあるか確認してください。 ● セレクトレバーが中央の位置にあるときに表示された場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

■ プロパイロット警告メッセージ

警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 作動範囲外のため現在使用できません	● VDCをOFFにしたとき。 ● プロパイロット パーキングが作動しているとき。	● VDCがOFFの場合はプロパイロットを使用することができません。 ● プロパイロット パーキングが作動しているときは、プロパイロットを使用することができません。
 カメラが認識できないため現在使用できません	● 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき ● 前方から強い光を受けたとき ● ワイパーを高速で作動させたとき	● 状況が改善すると、プロパイロットを使用することができます。 ● 警告表示が出続ける場合は、安全な場所に停車し、パワースイッチをOFFにしてカメラ前方のフロントガラスの汚れなどを取り除いてください。
 カメラが高温のため現在使用できません	● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき	● 室内の温度が下がるとプロパイロットを使用することができます。
 パーキングブレーキが作動しているため使用できません	● 電動パーキングブレーキが作動したとき	● 電動パーキングブレーキが作動しているときはプロパイロットは使用することができません。
 シートベルトが解除されているため使用できません	● 運転席のシートベルトを解除したとき	● 運転席のシートベルトが解除されている場合はプロパイロットは使用することができません。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 △警告  システムが故障しているため 使用できません	● システム故障	● 安全な場所に停車して、一度パワースイッチをOFFにしてからEVシステムを再始動します。再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
△警告  停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください	● プロパイロットにより車両が停止中、運転席ドアが開いたが電動パーキングブレーキが正常に作動しなかったとき	● 速やかにブレーキを踏んでください。
 滑りやすい路面のため 現在使用できません	● VDC/TCSが作動したとき ● タイヤの空転を検出したとき	● VDC/TCSが作動する、または、タイヤが空転するような状況ではプロパイロットは使用できません。
 ハンドル支援は一時的に作動できません	● 両側の車線を検出しなくなったとき ● 車速が約50km/h以下で、先行車を検出しなくなったとき	● 作動条件を再度満たすと自動的にハンドル支援機能は再開されます。
△警告 	● ハンドルを持っていない、またはハンドル操作がないとき	● 速やかにハンドルを持って操作してください。運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯し、自動的にハンドル支援機能が復帰します。
レーンを認識できません ハンドル支援を解除します	● ワイパーを低速で作動させたとき ● 走行車線内にレーンマーカーに見えるようなものがあるなど、レーンマーカーが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカーなど）	● 再びハンドル支援機能を使用したいときは、レーンマーカーがはっきりと描かれている道路でプロパイロットを解除し、再度セットしてください。

各種設定画面

運転支援システムのON・OFF設定をはじめ、時計の調整やアラームの設定などができます。
ステアリングスイッチの使いかたは (➡ P.131) をお読みください。

設定 ⚙

各種設定画面では、次の機能の設定ができます。
ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定 ⚙ を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。
走行中は操作できません。

➡ 設定例1 (画面カスタマイズ) (P.164)

➡ 設定例2 (タイヤ) (P.165)

■ VDC設定

項目1	機能
システム	● VDC機能のON・OFFを設定します。

■ 運転支援システム

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定 ⚙ を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。
走行中は操作できません。

項目1	項目2	項目3	機能
プロパイロット★	ハンドル支援		● ハンドル支援のON・OFFを設定します。 ➡ <u>プロパイロット★</u> (P.301)
側方支援	LDW (車線逸脱警報)		● LDW (車線逸脱警報) のON・OFFを設定します。 ➡ <u>LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) ★</u> (P.376)
	LDP (車線逸脱防止支援) ★		● インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) のON・OFFを設定します。 ➡ <u>LDW (車線逸脱警報) / インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) ★</u> (P.376)

項目1	項目2	項目3	機能
後側方支援★	BSW（後側方車両検知警報）		● BSW（後側方車両検知警報）のON・OFFを設定します。 ➡ BSW（後側方車両検知警報）★ (P.367)
	インジケータの明るさ設定		● インジケータの明るさを、明るい、標準、暗いから選択します。 ➡ BSW（後側方車両検知警報）★ (P.367)
エマージェンシーブレーキ	システム		● インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト★のON・OFFを設定します。 ➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.337) ➡ 踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.347)
標識検知			● 標識検知のON・OFFを設定します。 ➡ 進入禁止標識検知 (P.396)

項目1	項目2	項目3	機能
駐車支援★	ソナー	ソナーシステム	● ソナーシステムを、OFF、フロント、フロント&リアから選択します。 ➡ ソナー表示★ (P.175)
		ソナー画面切替	● 障害物に近づいたときの、割り込み表示ON・OFFを設定します。 ➡ ソナー表示★ (P.175)
		ボリューム	● ボリューム（警報音）の大きさを、大、中、小から選択します。 ➡ ソナー表示★ (P.175)
		センサー感度	● センサー感度を、遠距離、中距離、近距離から選択します。障害物をより遠い状態から検知させたいときは、センサー感度を「遠距離」に設定します。 ➡ ソナー表示★ (P.175)
	移動物検知		● インテリジェント アラウンドビューモニターの移動物 検知機能のON・OFFを設定します。 インテリジェント アラウンドビューモニターの移動物 検知機能については別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
	クロストラフィックアラート		● RCTA（後退時車両検知警報）のON・OFFを設定します。 ➡ RCTA（後退時車両検知警報）★ (P.384)
ふらつき警報★			● インテリジェント DA（ふらつき警報）のON・OFFを設定します。 ➡ インテリジェント DA（ふらつき警報）★ (P.393)

アドバンスドドライブアシストディスプレイ 各種設定画面

項目1	項目2	項目3	機能
走行時間	---分/---分		● 設定した時間まで連続走行したことを知らせます。 ▲▼スイッチで分が切り替わり、OK スイッチを押すと決定します。 ー 最大360分まで設定できます。 ー 設定時間は30分単位で切り替わります。 ( スイッチを押すと設定前の画面に戻ります。)
	リセット		「はい」を選択すると、走行した時間をリセットできます。
凍結注意			● 外気温が3℃以下になったときに表示する凍結注意表示のON・OFFを設定します。
シャシー制御	コーナーリングスタビリティアシスト		● インテリジェント トレースコントロール (コーナーリング安定性向上システム) のON・OFFを設定します。  <u>インテリジェント トレースコントロール (コーナーリング安定性向上システム) (P.293)</u>
e-Pedal	モード記憶		● e-Pedal機能のモード記憶のON・OFFを設定します。 ONにすると、EVシステム再始動後も、設定状態を維持できます。  e-Pedal (P.277)

■ 画面カスタマイズ

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定  を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
表示項目選択		● インフォメーショングループ i（表示項目）で表示させたい項目を選択することができます。ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで項目を切り替えて、表示させたい項目で OK スイッチを押します。 ➡ <u>インフォメーショングループ（表示項目）</u> (P.138)
エコ情報設定	エコドライブレポート	● エコドライブレポートのON・OFFを設定します。OFFにすると、エコドライブレポートが表示されなくなります。 ➡ <u>エコドライブレポート画面</u> (P.174)
	電費履歴リセット	● 電費履歴画面を表示します。（リセットを選択すると履歴を消去します。）
ナビゲーション設定★	自動割込み設定	● 走行中、次の右左折点に接近したとき、メーター内にポップアップでお知らせする機能のON・OFFを設定します。
プロパイロット画面切替★		● プロパイロット画面切替のON・OFFを設定します。ONにすると、プロパイロットのシステムをONにしたとき、自動的に画面がプロパイロット画面に切り替わります。 ➡ <u>プロパイロット★</u> (P.301)

項目1	項目2	機能
メータ演出	スワイプ演出	● スワイプ演出のON・OFFを設定します。  知識 スワイプ演出 ● EVシステムを始動すると、スピードメーターの指針が一度最大値付近を指し、戻ります。
	ディスプレイ演出	● ディスプレイ演出のON・OFFを設定します。OFFにすると、EVシステム始動時のアニメーションが表示されなくなります。

■ 車両設定

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定  を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目1	項目2	機能
ライト/照明	自動室内灯	● キー連動室内照明のON・OFFを設定します。  室内灯 (P.400)
	オートライト感度調整	● インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）の点灯タイミングを、より早い、早い、標準、遅いから選択します。  AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた (P.264)
ロック	I-keyエントリー	● ドアハンドルのスイッチでの施錠・解錠機能のON・OFFを設定します。  ドアスイッチでの施錠・解錠のしかた (P.186)

項目1	項目2	機能
ワイパー	車速連動	● 車速連動のON・OFFを設定します。 ➡ フロントワイパーの使いかた (P.273)
ミラー自動格納★		● ドアロック連動自動格納機能のON・OFFを設定します。 ➡ ドアロック連動自動格納機能について★ (P.218)

■ EV設定

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定  を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目1	機能
充電コネクタロック	● 充電コネクタロックモードを、AUTO、LOCK、UNLOCKから選択します。 ➡ 充電コネクタロック (P.38)
タイマー充電1	● タイマー充電を設定できます。 詳細については➡ タイマー充電のしかた (P.54)をお読みください。
タイマー充電2	
自宅でタイマー充電★	● メーカーオプションのナビゲーションシステムで自宅を登録しているときのみ表示します。 ● 自宅でタイマー充電モードのON・OFFを設定します。 ➡ 自宅でタイマー充電モードについて（メーカーオプションナビゲーションシステム装着車） (P.58)

項目1	機能
充電時間表示設定	● 予想充電時間に表示させる充電電力値（固定値）を、6.0kW（AC 200-240V）、3.0kW（AC 200-240V）、1.1kW（AC 100-127V）、50kW（急速充電）から選択します。 ➡ 予想充電時間について (P.134)
タイマーエアコン1	● タイマーエアコンを設定できます。 詳細については➡ タイマーエアコンの設定のしかた (P.236)をお読みください。
タイマーエアコン2	

■ メンテナンス

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定 ⚙ を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目	機能
タイヤ ユーザー	● [メンテナンス]では、次回メンテナンスを行うまでの距離を設定できます。設定値を越えるとメンテナンスする距離がきたことを表示で知らせます。(定期交換部品等の交換距離については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。) － ▲▼スイッチで距離が切り替わり、 OK スイッチを押すと決定します。（ ➡ スイッチを押すと設定前の画面に戻ります。） － 500km～30,000kmまでの範囲内で距離を設定できます。 － 設定距離は500km単位で切り替わります。（長押しすると1,000km単位で切り替わります。） － リセットを選択して OK スイッチを押すと走行した距離をリセットできます。 ●機能を停止することができます。 － 停止する場合は、距離表示を“――”に合わせ OK スイッチを押して決定します。

次ページに続く

各種設定画面

■ 時計

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定  を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

メーカーオプションナビゲーションシステム非装着車

項目	機能
時計調整	時計を調整します。 ① OK スイッチを押すと「時」調整画面に切り替わります。 ② ▲▼ スイッチを押して「時」を調整します。 ③ OK スイッチを押すと「分」調整画面に切り替わります。 ④ ▲▼ スイッチを押して「分」を調整します。 ⑤ OK スイッチを押すと時刻が設定されます。 (◀ スイッチを押すと前の調整画面に戻ります。)
12H/24H	● OK スイッチを押すと12時間表示、24時間表示を切り替えます。

メーカーオプションナビゲーションシステム装着車

機能
● 『ナビまたは、オーディオディスプレイで設定してください』と表示します。 詳しくは、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。 ● パワースイッチをONにしたときや、GPS受信時などに、ナビゲーションシステムの時計とメーターの時計が一時的にずれることがありますが、しばらくすると自動的に調整されます。自動的に調整されなかった場合は、一度パワースイッチをOFFにしてからONにしたあと、しばらくそのままにしてください。

■ 単位

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定  を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

項目	機能
温度	● 温度の単位を °C または °F に切り替えます。

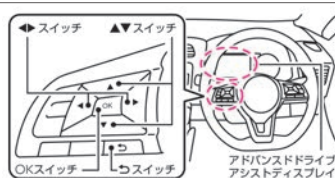
■ 工場出荷設定

ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチで設定  を選び、 ▲▼ スイッチを押して選択します。 **OK** スイッチで決定することができます。走行中は操作できません。

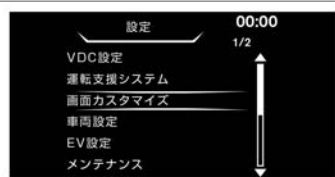
機能
工場出荷時の設定にリセットすることができます。 ● 「はい」を選択すると、各種設定が初期化されます。

設定例1 (画面カスタマイズ)

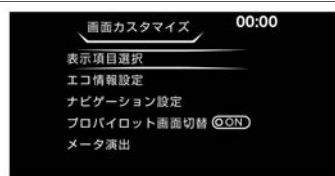
- 1 ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチを数回押し、[設定] 画面を表示します。



- 2 ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、[画面カスタマイズ] を選択し、[OK] スイッチを押して決定します。



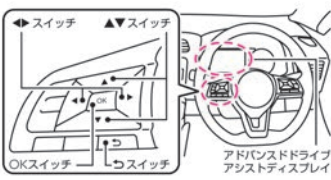
- 3 ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、[表示項目選択] を選択し、[OK] スイッチを押して決定します。



- 4 表示させたい項目を、ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで選択し、[OK] スイッチを押して選択すると表示できるようになります。



設定例2 (タイヤ)

1	ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチを数回押し、[設定]  画面を表示します。	
2	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、[メンテナンス] を選択し、OK スイッチを押して決定します。	
3	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、[タイヤ] を選択し、OK スイッチを押して決定します。	
4	ステアリングスイッチの OK スイッチを押して変更画面に進みます。(“---/---” の右側の表示) ※ “---/---” の左側は、設定以降走行した距離を表示します。	

知識

- 手順4でリセットを選択してステアリングスイッチの **OK** スイッチを押すと走行した距離をリセットできます。(“--- / ---” の左側の表示)

各種設定画面

5

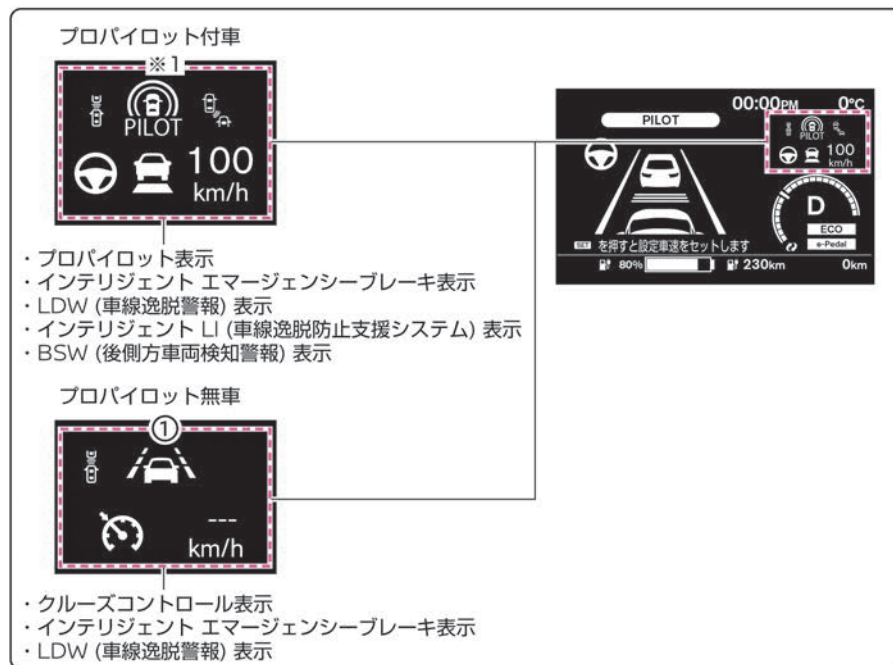
次回メンテナンスを行う距離を設定できます。(手順4 “---/---” 右側の表示)
ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、距離を切り替え、**OK** スイッチを押して決定します。

設定距離は500km単位で切り替わります。
(長押しすると1,000km単位で切り替わります。)

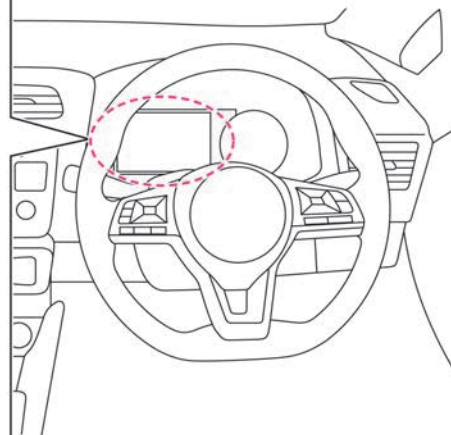
※機能を停止する場合は、距離表示を「---」にあわせ **OK** スイッチを押して決定します。



アドバンスドドライブアシストディスプレイ 走行支援機能画面



※1 LDW (車線逸脱警報)、インテリジェント LI (車線逸脱防止支援システム) 作動時は①が表示されます。



メーターの見た

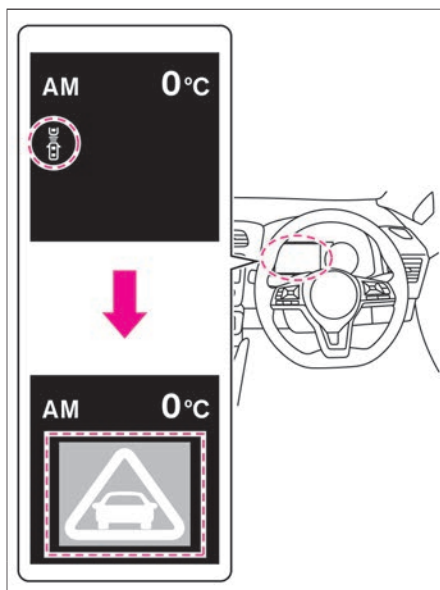
次ページに続く

走行支援機能画面

インテリジェント エマージェンシーブレーキ表示

- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音とともにメーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示（接近警報表示）がオレンジ色に点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突危険性が高まったときには、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が赤色の緊急警報表示になり、警報音とともに軽いブレーキが自動的にかけられます。
- さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキが自動的にかけられます。

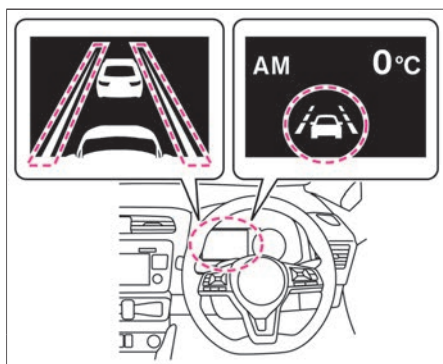
インテリジェント エマージェンシーブレーキについては、（➡P.337）をお読みください。



LDW（車線逸脱警報）表示

- 車両が右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、オレンジ色に点滅します。

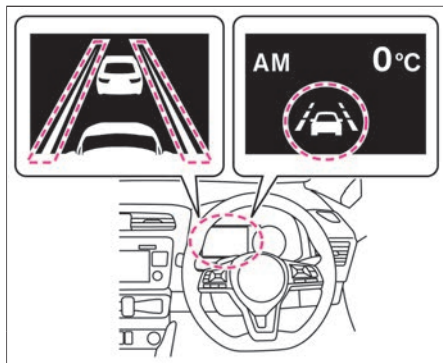
LDW（車線逸脱警報）については、
➡ P.376）をお読みください。



インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）表示★

- 車両が右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、オレンジ色に点滅します。
- インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）に異常があると、オレンジ色に点灯します。

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）については、
➡ P.376）をお読みください。



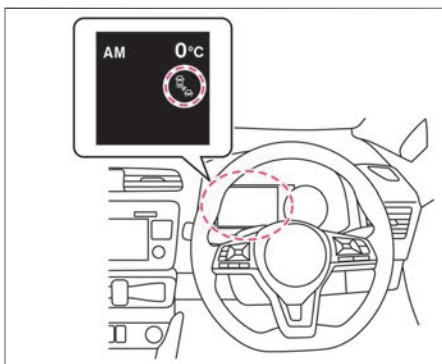
アドバイス

- 表示がオレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。再始動後もオレンジ色に点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

BSW（後側方車両検知警報）表示★

- 隣車線の車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると点滅します。

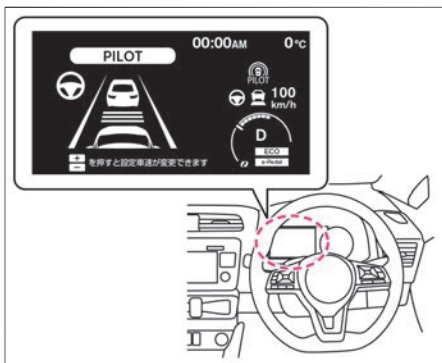
BSW（後側方車両検知警報）については、
➡P.367）をお読みください。



プロパイロット表示★

- プロパイロットスイッチ  をONにすると表示します。
- プロパイロットの作動状態を表示します。
- プロパイロットに異常があると、オレンジ色に点灯します。

プロパイロットについては、（➡P.301）をお読みください。

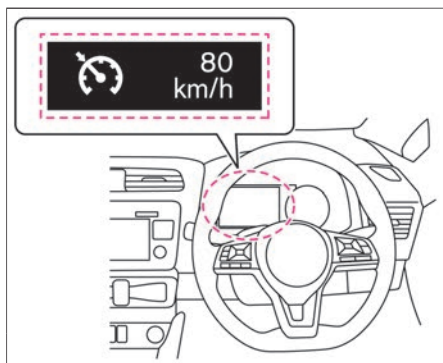


アドバイス

- 表示がオレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。再始動後もオレンジ色に点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

クルーズコントロール表示★

- クルーズコントロールをONにすると表示します。
 - クルーズコントロールシステムに異常があると、表示が点滅します。
- クルーズコントロールについては、
(➡P.283) をお読みください。



タイマー設定状態確認表示

- パワースイッチをOFFにすると、約30秒間表示されます

①：充電予定時刻

タイマー充電がONの場合、前回のタイマー充電時の電力値で予想充電時間を計算し、開始時刻、停止時刻を表示します。

タイマー充電がOFFの場合、即充電を開始したとき、満充電になる停止時刻を表示します。停止時刻は、充電時間表示設定で選択されている電力値で予想充電時間を計算し、停止時刻を表示します。

②：タイマー充電の設定状況

タイマー充電がONの場合、タイマー充電の開始時刻、停止時刻を確認できます。

③：タイマーエアコンの設定状況

タイマーエアコンがONの場合、タイマーエアコンの出発時刻を確認できます。

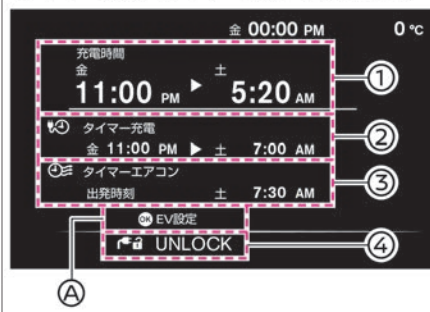
④：充電コネクタロックモードの設定状況

現在設定されている、充電コネクタロックモードを確認できます。

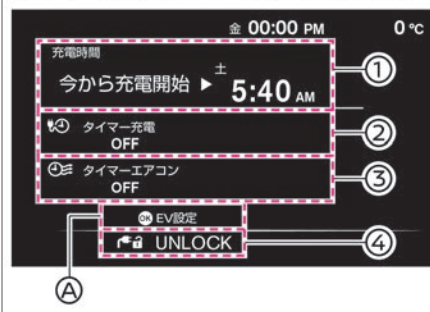
④：表示中に **OK** ボタンを押すと、「EV設定」に移行します。

タイマー充電、タイマーエアコン、充電コネクタロックモードの設定を変更できます。

タイマー充電・タイマーエアコン設定 ON



タイマー充電・タイマーエアコン設定 OFF



知識

- 表示中に画面切り替え操作を行うと、表示時間が操作から30秒延長されます。
- パワースイッチをOFFにして、ドアを施錠すると、表示が消えます。
- メーカーオプションナビゲーションシステム装着車は曜日也表示されます。
- 充電予定時刻は10分単位で表示されます。24時間以上の充電時間は「24時間以上」と表示されます。
- タイマー充電とタイマーエアコンの時刻が重なると、充電予定時刻が長めに計算され表示されます。
- 充電ケーブルを接続するとすぐ充電が開始する条件では、充電開始時刻が「今から充電開始」と表示されます。
- 充電中は、実際に充電を開始した時刻が開始時刻として表示され、充電している電力値で予想充電時間を計算し、停止時刻を表示します。
- 満充電後または、V2H充電で充電中は、①充電予定時間は「---」となります。
- メーカーオプションナビゲーション

タイマー設定状態確認画面

知識

システム装着車は、自宅でタイマー充電モードをONにしていると、自宅でパワースイッチをOFFしたときのみ、①にタイマー充電予定時刻が表示されます。

➡ 自宅でタイマー充電モードについて（メーカーオプションナビゲーションシステム装着車）（P.58）

自宅以外でパワースイッチをOFFにした場合、即充電モードになり充電開始時刻が「今から充電開始」と表示されます。

- 満充電優先モードがONのときに、タイマー開始時刻からタイマー停止時刻の設定時間帯だけでは満充電にならない場合、①に表示されるタイマー充電予定時刻は、タイマー設定時間帯を越えた時刻が表示されます。

➡ 満充電優先モードについて（P.59）

- 充電停止時刻は目安です。予定された停止時刻に満充電にならないことがあります。
- タイマー充電とタイマーエアコンの時刻が重なると、予定された停止時刻に満充電にならないことがあります。
- 各電力値で充電時間を確認したい場

知識

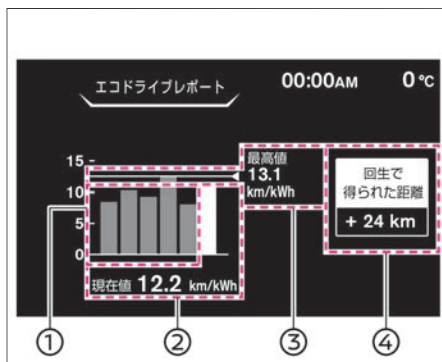
合、「予想充電時間」表示で確認するか、タイマー充電をOFFにして確認してください。

➡ 予想充電時間について（P.134）

エコドライブレポートについて

パワースイッチをOFFにしてから、ステアリングスイッチの▲▼スイッチを押し、エコドライブレポート画面を表示します。エコドライブレポートの結果は、約500m以上走行したときのみ表示します。

- ① **履歴**
過去5回分の平均電費を表示します。
- ② **現在値**
今回の平均電費を表示します。
- ③ **最高値**
過去のベスト電費を表示します。
- ④ **回生電力量**
今回の走行で回生した電力量を距離換算で表示します。



知識

- パワースイッチをOFFにしてから、約30秒間表示されます。
- 表示中に画面切り替え操作を行うと、表示時間が操作から30秒延長されます。
- パワースイッチをOFFにして、ドアを施錠すると、表示が消えます。
- 走行したルートのおよそ半分以上が下り坂だった場合、回生量が大きく、④回生で得られた距離が走行した距離以上になることがあります。
- 走行したルートのおよそ半分以上が下り坂だった場合、回生量が大きく、②現在値が99.9km/kWhになることがあります。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「画面カスタマイズ」⇒「エコ情報設定」⇒「エコドライブレポート」を選択すると、「エコドライブレポート」の表示・非表示を切り替えることができます。設定の詳細については、画面カスタマイズをお読みください。
➡ 画面の切り替えかた (P.131)
➡ 画面カスタマイズ (P.158)

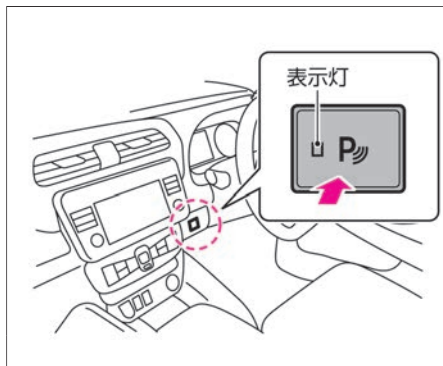
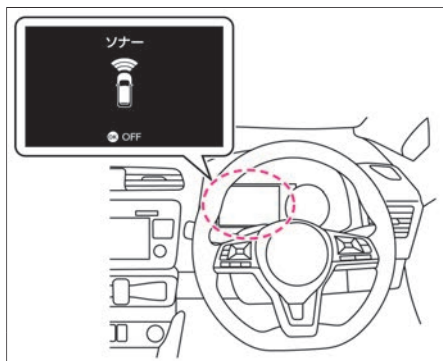
その他の表示機能★

障害物に近づいたときや、ハンズフリーフォン★、音声操作★を使用したときは、アドバンスドドライブアシストディスプレイに作動状態などを表示することができます。

ソナー表示★

- 車両が障害物に近づくと、アドバンスドドライブアシストディスプレイのソナー表示色が緑→黄→赤の順に切り替わり、警報音が鳴ります。
- 次の場合にソナー機能が作動します。
 - － シフトポジションを **R** にしたとき
 - － シフトポジションが **D** で障害物を検知したとき (10km/h 以下)
- ソナー表示中にステアリングスイッチの **OK** スイッチまたはソナースイッチを押すと、一時的にソナー機能を停止できます。(スイッチの表示灯が消灯します。)
- ただし次の場合は、一時停止が解除されます。
 - － シフトポジションを **R** 以外にしてから再度 **R** にしたとき
 - － 約15km以上に加速したのち約10km以下に減速したとき
 - － パワースイッチをOFFにして、再度ONにしたとき

表示色	警報音
緑	ピッ、ピッ、ピッ...
黄	ピピピピピ...
赤	ピー

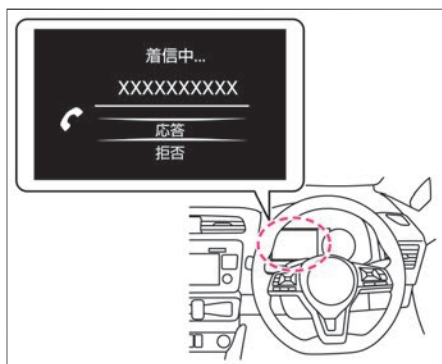


知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「駐車支援」⇒「ソナー」を選択すると、ソナー機能の各種設定が行えます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
➡ 画面の切り替えかた (P.131)
➡ 運転支援システム (P.154)
- ソナーが障害物を検知すると、ソナー画面が割り込み表示します。割り込み表示はOFFにすることができます。
➡ 運転支援システム (P.154)
- ソナー表示の見かたについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
ソナーのお手入れについては、
(➡ P.505) をお読みください。
- 障害物の検知は前方4個、後方4個のソナーセンサーを使用して検知します。

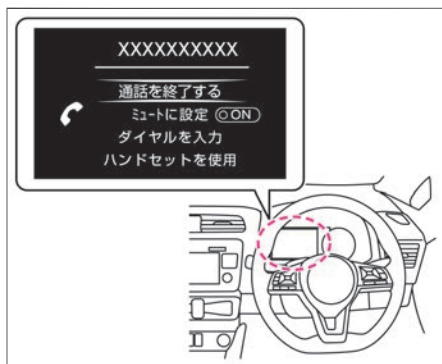
着信表示★

- 携帯電話をハンズフリー接続しているときに、着信すると表示します。
ハンズフリーフォンについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。



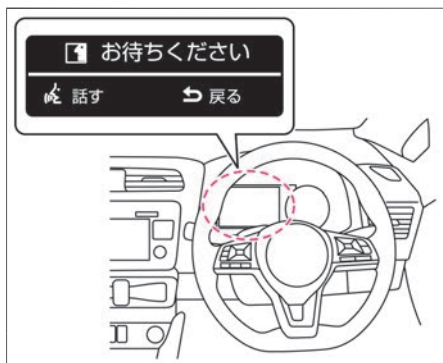
通話表示★

- 携帯電話をハンズフリー接続しているときに、通話すると表示します。
ハンズフリーフォンについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。



音声操作表示★

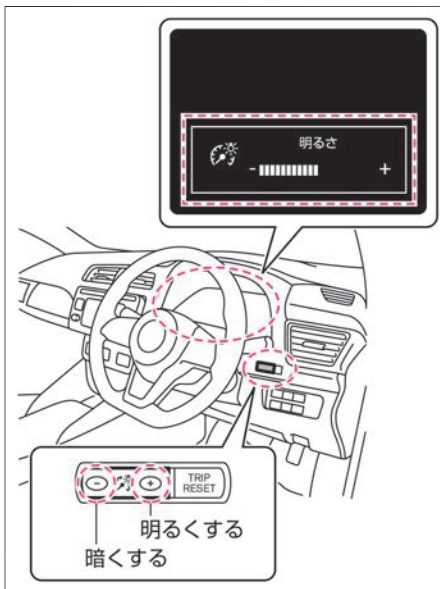
- メーカーオプションのナビゲーションシステムで音声操作を行うと、アドバンスドドライブアシストディスプレイに音声操作表示をします。
音声操作については、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。



メーターの明るさの調節のしかた

パワースイッチがONのとき、メーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを押して調節します。
- 明るさのレベル表示は、アドバンスドドライバアシストディスプレイに表示されます。



知識

- 12Vバッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

キー

キー（インテリジェントキー）	P.180
キー（インテリジェントキー）に関する注意事項	P.182

ドアの施錠と解錠

ドア	P.186
バックドア	P.193

シートの調節

前席シート	P.198
後席シート	P.201

ハンドルの調節

ハンドル	P.205
------	-------

ミラーの調節

ルームミラー★	P.206
インテリジェント ルームミラー★	P.207
ドアミラー	P.216

窓ガラスの開閉

パワーウインドー	P.219
----------	-------

エアコンの操作

オートエアコン（メーカーオプションナビゲーションシステム装着車）	P.221
オートエアコン（メーカーオプションナビゲーションシステム非装着車）	P.225
吹き出し口	P.229
エアコンを使うときに注意すること	P.230

タイマーエアコンの操作

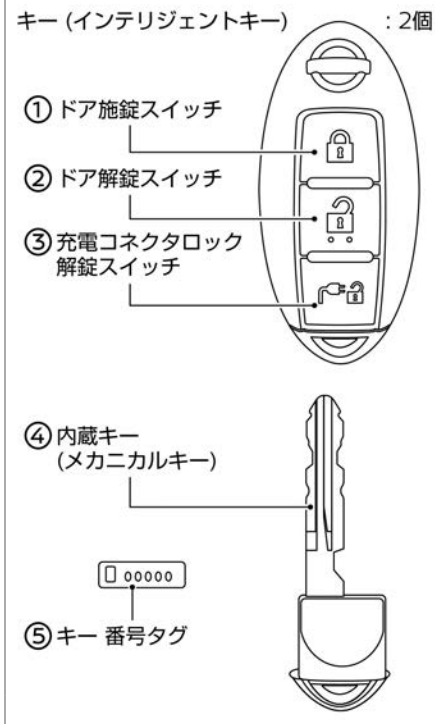
タイマーエアコンの設定のしかた	P.236
タイマーエアコンに関する注意事項	P.241

キー (インテリジェントキー)

キーを携帯するだけでドアの施錠・解錠およびEVシステムの始動操作ができます。
 ドアの施錠・解錠のしかたは➡P.186、始動操作は➡P.244をお読みください。

各部名称と機能

- ① **ドア施錠スイッチ**
 スイッチを押すと、全ドアが施錠します。
- ② **ドア解錠スイッチ**
 スイッチを押すと、全ドアが解錠します。
- ③ **充電コネクタロック解除スイッチ**
 充電ポートリッドが閉まっているときにスイッチを約1秒以上押すと、充電ポートリッドが開きます。
 ➡ 充電ポート (P.36)
 普通充電コネクタがロックされているときにスイッチを約1秒以上押すと、ロックが約30秒間解除されます。
- ④ **内蔵キー (メカニカルキー)**
 キーの電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。
 ➡ 内蔵キー (メカニカルキー) でのドアの開けかた (P.436)
- ⑤ **キー番号タグ**
 キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。



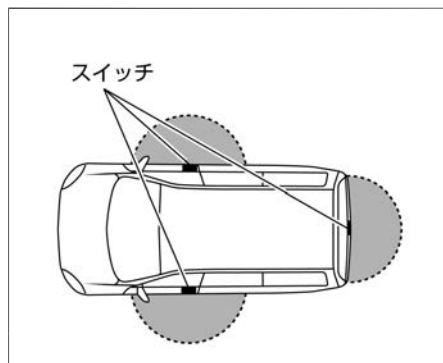
知識

- キーは2個ついています。
- キーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- 普通充電コネクタをロックしているとき、ドアを解錠すると、約30秒間ロックが解除されます。また、ロックが解除されている約30秒間にドアを施錠すると、普通充電コネクタは再びロックされます。
 ➡ 充電コネクタロック (P.38)
- キーの電池が切れても、ドアの施錠・解錠やEVシステムの始動 (パワースイッチON) を行うことができます。
 ➡ ドアが開かないときは (P.436)
 ➡ EVシステムを始動できないときは (P.440)

■ ドアの施錠・解錠の作動範囲

作動範囲は各ドアハンドルのスイッチから周囲約80cm以内です。作動範囲は各ドアハンドルのスイッチを中心に球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。

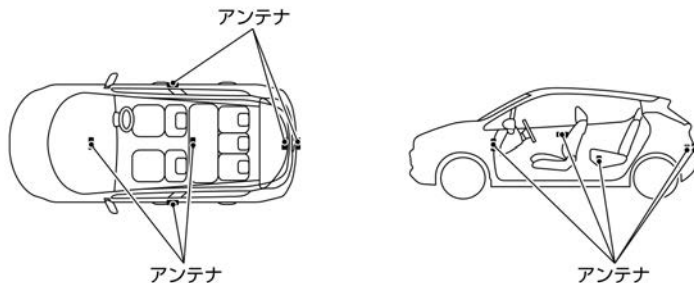
キー（インテリジェントキー）が作動範囲内にある場合は、キーを携帯している人以外でもドアハンドルのスイッチを押して施錠・解錠できます。



- ドアハンドルのスイッチを押してドアを施錠したあとは、ドアが確実に施錠されていることを確認してください。
- ドアハンドルのスイッチを押す前にドアハンドルを引かないでください。ドアは解錠されますが、開きません。一度ドアハンドルを離してから再び引いて開けてください。
- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずパワースイッチをOFFにして施錠してください。

警告

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用している方は、アンテナから約22cm以下の範囲に装着部位を近づけない。
ドアおよびバックドア開閉時、ドアハンドルのスイッチ操作時、EVシステム始動時などにキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用している方は、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してから使用する。
キーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があります。
- 航空機内ではキーのスイッチを押さない。
万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあるため、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。





アドバイス

- キーは運転者が必ず携帯してください。
- キーは、必ず内蔵キー（メカニカルキー）を内蔵した状態で携帯してください。
- キーはドアポケットに入れないでください。ドアを閉めるときの衝撃により破損するおそれがあります。また、ドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車室内に封じ込めるおそれがあります。
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キーは微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では機能に障害が起こるため、ドアハンドルのスイッチやキーのスイッチが正常に作動しない場合があります。
 - － 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき
 - － 無線機や携帯電話などの無線通信機器と一緒に携帯しているとき
 - － キーが金属製の物に接したり、覆われたりしているとき
 - － 近くで電波式のリモコンスイッチを操作しているとき
 - － キーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
 - － コインパーキングに駐車したとき（車両検出用の電波の影響があるため）
 - － 近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき
 - － 極端に気温が低いとき（電池の性能が低下するため）
- キーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
 - － 電池を交換するとき以外は分解しない（分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています）
 - － 日本国内のみで使用する

 アドバイス

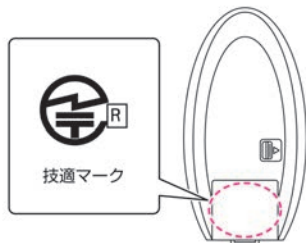
- キーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年程度です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。

 キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.495)

- キーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。
- キーは送信機を内蔵している精密機械です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - ー 長時間高温になる場所に置かない
 - ー 分解しない
 - ー 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない
 - ー 水にぬらさない
 - ー 超音波洗浄器などにつけない
 - ー 磁気を帯びたキーホルダーなどをつけない
 - ー テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない

知識

- キーの認証技適マークはキーの裏面で確認できます。



アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のための非常点滅表示灯が作動します。(施錠時1回、解錠時2回)

キー連動室内照明システム

- ドアを解錠すると、室内照明（ラゲッジルームランプを除く）が約15秒間点灯します。
- 詳しくは、室内灯（➡P.400）をお読みください。

オートロック機能

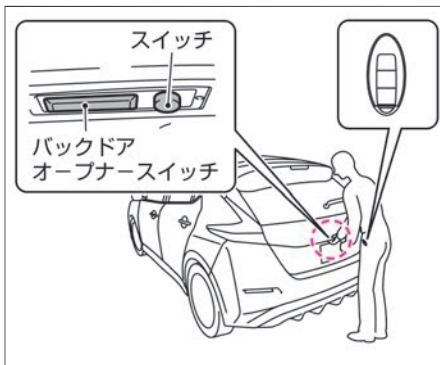
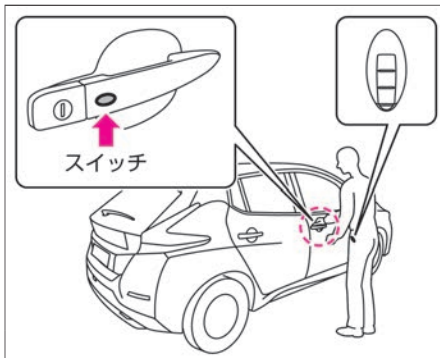
- 解錠スイッチを押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。
（施錠されるまでの間に、再度解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）

ドアハンドルのスイッチやキー（インテリジェントキー）のスイッチで施錠・解錠します。
施錠したあとは、必ず施錠されていることを確認してください。

ドアスイッチでの施錠・解錠のしかた

- キーを携帯し、運転席、助手席ドアまたはバックドアにあるスイッチを押すと全ドアが施錠・解錠します。
- キーが各スイッチから周囲80cm以内にあるときに作動します。
- 施錠・解錠したときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅



アドバイス

- 車両に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- 急にドアハンドルを操作すると、ドアハンドルが引かれるため、施錠できないことがあります。

知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ロック」⇒「I-keyエントリー」を選択すると、ドアハンドルスイッチでの施錠・解錠機能の**ON・OFF**を切り替えることができます。設定の詳細については、車両設定をお読みください。
 - ➡ 画面の切り替えかた (P.131)
 - ➡ 車両設定 (P.159)
- 次のような場合は、作動しません。
 - ー パワースイッチがONまたはアクセサリするとき
 - ー ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
 - ー キーが施錠・解錠の作動範囲内にないとき

 知識

- － 携帯しているキー以外に自車のキーが車室内にあるとき
(解錠のみできます)
- － キーの電池が切れているとき
- スイッチを押したときのブザーおよび非常点滅表示灯の点滅を停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

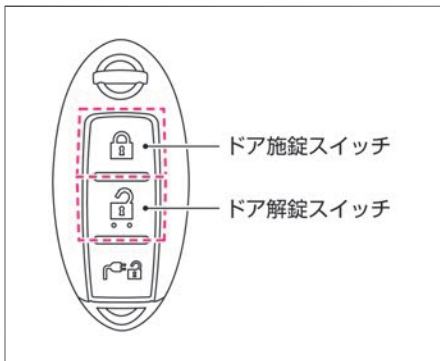
オートロック機能

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドアハンドルのスイッチを押して解錠したときは、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

キー（インテリジェントキー）のスイッチでの施錠・解錠のしかた

- 全ドアを施錠するときは、ドア施錠スイッチ  を押します。
- 全ドアを解錠するときは、ドア解錠スイッチ  を押します。
- 作動範囲は、車両から約1mです。
- 施錠・解錠をしたときは、ブザーおよび非常点滅表示灯が次のように作動します。

	ブザー音	非常点滅表示灯
施錠	ピッ	1回点滅
解錠	ピピッ	2回点滅



知識

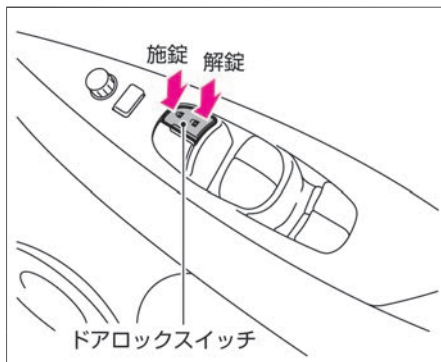
- キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。
- ➡ キー（インテリジェントキー）の電池交換 (P.495)
- キーの電池が切れ、施錠・解錠ができないときは、内蔵キー（メカニカルキー）で施錠・解錠ができます。
- ➡ 内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた (P.436)
- 次のような場合は、作動しません。
 - ー パワースイッチがONまたはアクセサリするとき
 - ー ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
（解錠のみできます）
 - ー 車から離れすぎているとき
 - ー キーの電池が切れているとき

オートロック機能

- 盗難防止のため、自動的に施錠する機能です。ドア解錠スイッチを押して解錠したときは、約30秒間ドアを開けないと再び全ドアが施錠されます。

■ ドアロックスイッチでの施錠・解錠のしかた

- 施錠するときは、ドアロックスイッチを施錠側  に押します。
- 解錠するときは、ドアロックスイッチを解錠側  に押します。

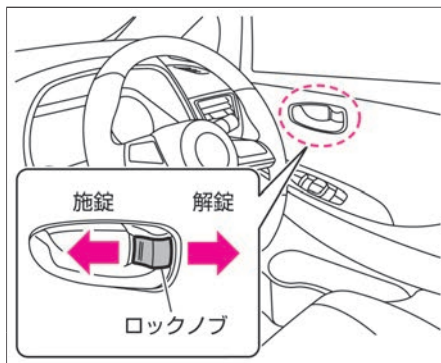


知識

- ドアロックスイッチを押すと、全ドアが施錠または解錠します。

■ ロックノブでの施錠・解錠のしかた

- 施錠するときは、施錠するドアのロックノブを施錠側に押し込みます。
- 解錠するときは、解錠するドアのロックノブを解錠側に引きます。



知識

- 運転席のロックノブで全ドアが施錠または解錠します。
- 運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが同時に解錠します。

次ページに続く

キーを使用しない施錠のしかた

前席ドア

- ロックノブを押し込み、ドアハンドルを引ながらドアを閉めます。

後席ドア

- ロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。

知識

キー封じ込み防止機能

- キー（インテリジェントキー）を車室内に置き忘れたまま施錠することを防ぐ機能です。ドアを閉めたときや施錠しようとしたときに、キーが車室内に残っているとブザーでお知らせしたり、全ドアを自動的に解錠したりします。

■ チャイルドセーフティドアロック

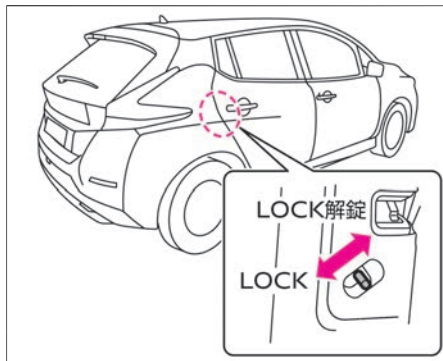
後席に乗せたお子さまなどが、誤って後席のドアを開けないようにロックできます。

ロックするには

- 後席ドアにあるロックレバーをLOCK位置にしてドアを閉めます。

ドアを開けるには

- チャイルドセーフティドアロックがかかっているときは、車外のドアハンドルを引いて開けます。



知識

- 車室内から開けるときは、ドアロックノブが解錠していることを確認し、窓ガラスを下げ、手を外に出して車外のドアハンドルを引きます。

ドアに関する注意事項

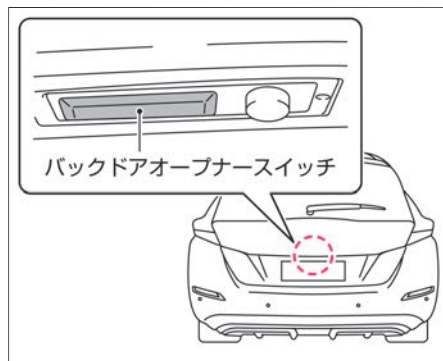


警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせない。
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にドアを確実に閉める。
走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

バックドアの開けかた

- 解錠されているときは、バックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。
- 施錠されているときは、キー(インテリジェントキー)を携帯してバックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。(ドアも同時に解錠します。)

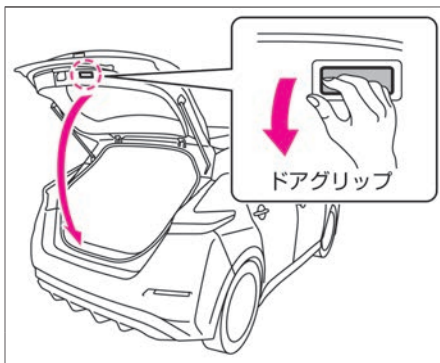


アドバイス

- バックドアオープナースイッチを押したまま、リモコンでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因になります。

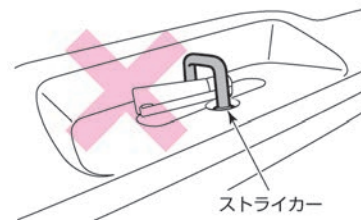
バックドアの開めかた

ドアグリップを持ってバックドアを降ろし、確実にロックするまで押しつけます。



🚗 アドバイス

- バックドアを閉めるときは、ストライカーに異物を挟まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。



ドア・バックドアに関する注意事項



警告

- バックドアの開閉はお子さまにはさせない。
手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- バックドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。
後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にバックドアを確実に閉める。
走行中に突然バックドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めない。
手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手をかけない。
手を挟まれてケガをするおそれがあります。必ず外から押して閉めてください。
- ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しない。
急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

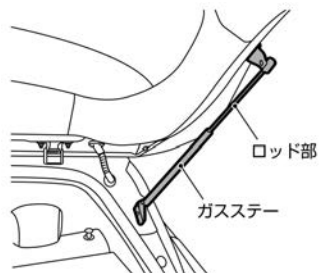
次ページに続く

注意

- バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミなどの重量物を取り除く。
重量物が付いたままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。
- バックドアを開けるときは、必ず全開にする。
途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときにバックドアを開ける場合は特に注意する。
風にあおられ、急に閉まることがあります。
- バックドアを閉めるときは、手などを挟まないように注意する。

バックドアガスステーについて

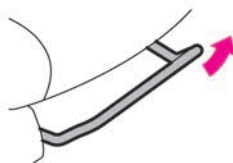
- バックドアのガスステーは、バックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことを守る。
 - ー ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない
 - ー ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をロッド部に付着させない
- ガスステーを持って、バックドアを閉めたり、ぶら下がったりしない。
手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。



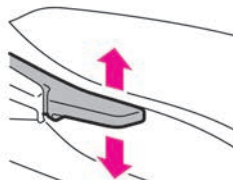
シートの調節のしかた



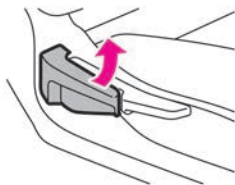
- 前後位置の調節 (スライド)
- レバーを引いたまま調節したい方向にシートを動かします。



- 上下位置の調節 (運転席／リフター)
- 引き上げると高くなります。
- 押し下げると低くなります。



- 背もたれの角度調節 (リクライニング)
- レバーを引いたまま、調節したい方向に背もたれを動かします。



⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを必要以上に倒したまま走行しない。
シートベルトが効果を十分に発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- 背もたれと背中の上にクッションなどを入れない。
運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれの角度を調節するときは、背もたれを支えながら調節する。
顔や身体にあたり、思わぬケガをするおそれがあります。

 注意

- シートの下に手を入れるときは注意する。

車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなどは、シートレールやシートフレームにあたり、ケガをするおそれがあります。



アドバイス

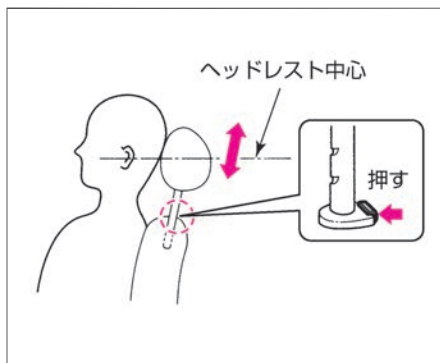
- 助手席にお子さまや小柄な方を乗せたり、クッションなどを使用したりすると、シートベルトリマインダーが正常に作動しなくなるおそれがあります。

シートベルトリマインダー
(➡ P.123)

ヘッドレストの調節のしかた

ヘッドレストの中心が、耳の高さになる位置に調節します。

- 高くするときには、ヘッドレストを引き上げます。
- 低くするときには、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。



⚠ 警告

- ヘッドレストを外したまま走行しない。
万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

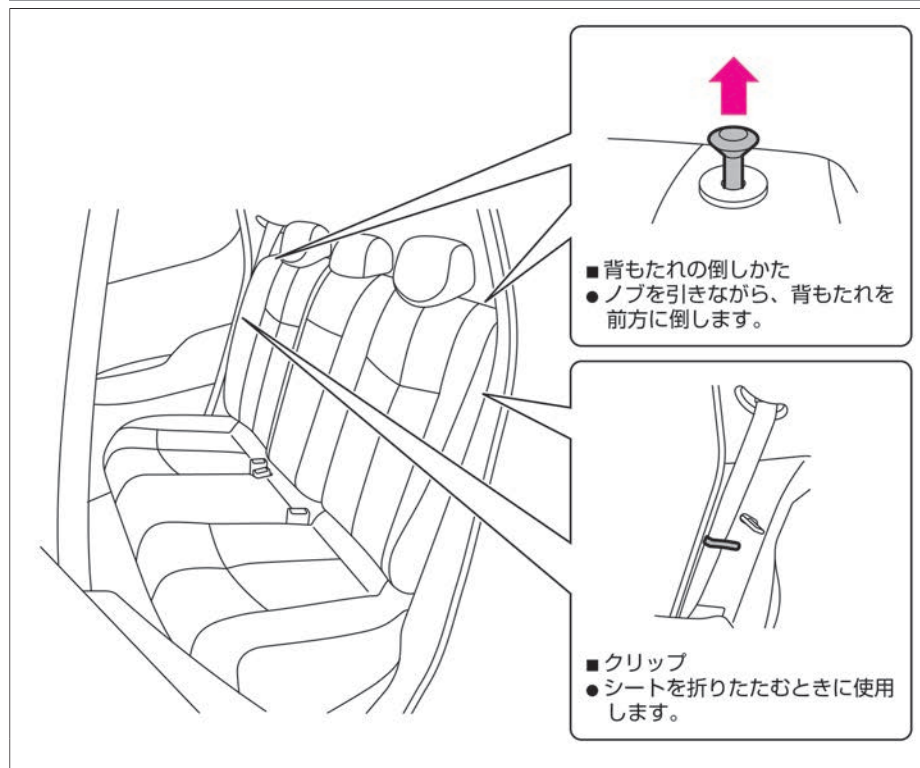
⚠ 注意

- ヘッドレストを取り付けるときは、前後の向きを間違えない。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。
- ヘッドレストを取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認する。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分に発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

■ ヘッドレストの外しかた、付けかた

- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

シートの調節のしかた



⚠ 警告

- シートは必ず走行前に調節する。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
固定されていないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

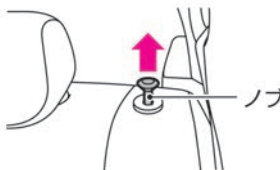
- シートを調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけない。
挟まれてケガをするおそれがあります。

シートの折りたたみかた

- 1 シートベルトをクリップで留めます。



- 2 ノブを引きながら、背もたれを前に倒します。
折りたたみたい方のノブを引きます。



- 3 元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押し付けてロックします。



⚠ 警告

- シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らない。
シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻す。
急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- シートは必ず固定する位置で使用する。

⚠ 注意

- シートを倒すときは十分に注意する。
物や飲物などを置いたままシートを折りたたまないでください。物を壊したり車室内を汚すおそれがあります。
- ラゲッジルーム（荷室）に荷物を積むときは、シートベルトに傷をつけないように注意する。



アドバイス

- 前席シートに当たりシートが折りたためないときは、ヘッドレストを格納するか、前席シートの前後位置を調節してください。
- 背もたれを元に戻したとき、ノブの赤い部分が見える場合は、シートが正しくロックされていません。

■ ヘッドレストの使いかた

- ヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。
 - ー 上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。
 - ー 下げるときは、ボタンを押しながら下げます。

■ ヘッドレストの外しかた、付けかた

- 脱着のしかたは、前席シートと同じです。
➡ ヘッドレストの調節のしかた (P.200)

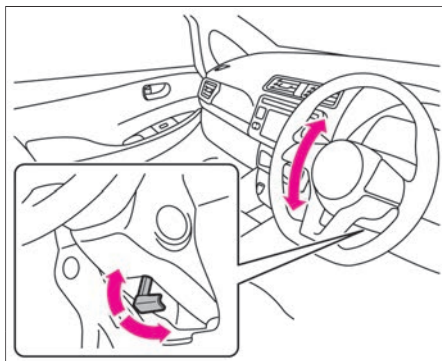
注意

- 後席シートのヘッドレストは、ロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認する。
格納状態では機能が十分に発揮できません。

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドル位置を調節します。

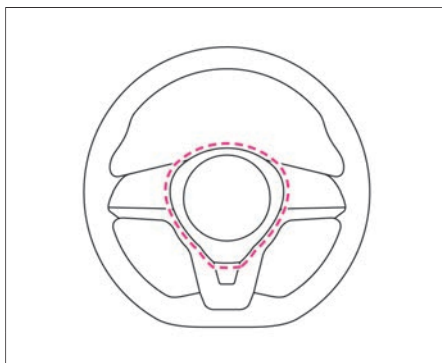
■ ハンドル位置の調節のしかた

- ハンドル下のレバーを手前に引き上げ、ハンドルを上下に動かします。
- 適切な位置で止め、レバーを押し下げて固定します。



■ ホーンの鳴らしかた

ホーンを鳴らすには、ハンドル中央のパッド面を押します。



⚠ 警告

- ハンドルの調節は、必ず走行前に行う。
走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 調節したあとは、確実に固定されたことを確認する。
ハンドル位置が固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ルームミラーは、後方が十分確認できるように、正しい運転姿勢で座ってから調節します。

■ ルームミラーの調節のしかた

- ミラー本体を持ち、角度を調節して適切な位置に合わせます。
- 夜間など後続車のヘッドランプがまぶしいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。
- 昼間など通常走行時は、防眩切り替えレバーを元の位置に戻してお使いください。



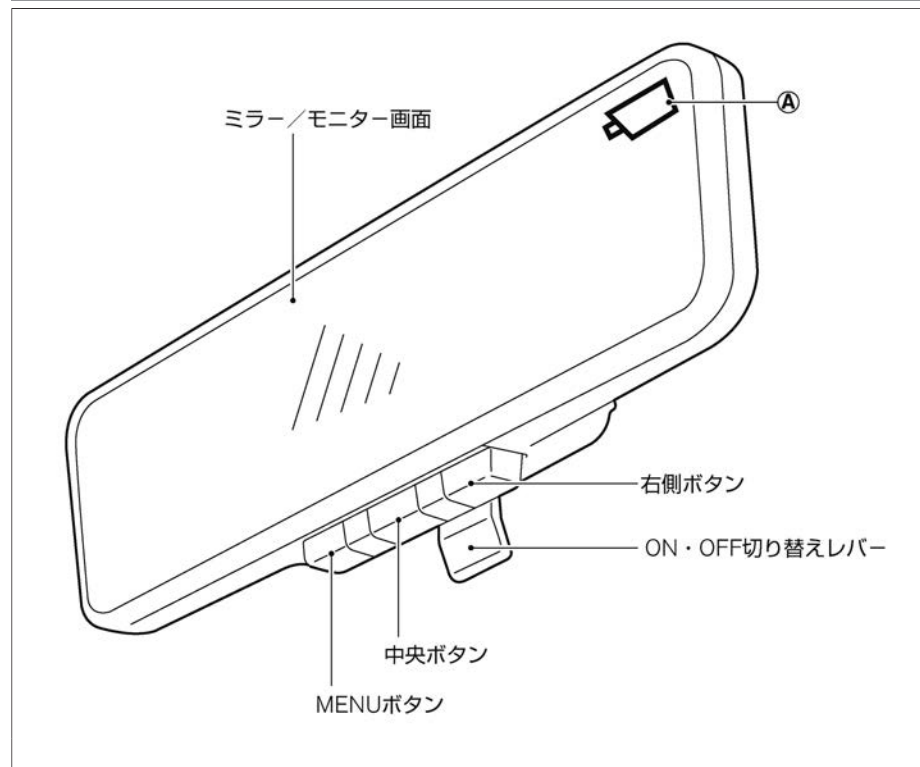
⚠ 警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。また、防眩への切り替えは必要となときのみ行う。
走行中にミラーを調節したり、不必要に防眩へ切り替えたりしていると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

インテリジェント ルームミラー★

乗員、ヘッドレスト、積載物などでさえぎられがちなルームミラーの後方視界をクリアに保ちます。車室内の状況に関わらず、車両後方にあるカメラの画像をルームミラーに映し出します。ON・OFF切り替えレバーでミラー状態とモニター表示状態を切り替えることができます。

インテリジェント ルームミラーの使いかた



⚠ 注意

- 走行前に、ルームミラーの調節を必ず行う。
ルームミラーモード（ミラー状態）にして正しい姿勢で運転席に座り、後方がよく見える位置に調節してください。調節をしないで運転を始めると、インテリジェント ルームミラーモード（モニター表示状態）にしたときにミラーの反射でモニターが見えにくくなる場合があります。

📖 知識

ルームミラーモード

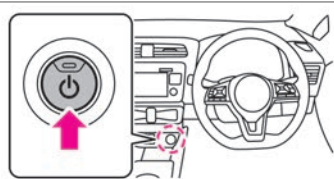
- ミラーとして使用します。

インテリジェント ルームミラーモード

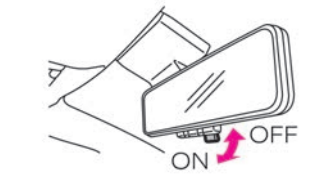
- モニターとして使用します。
(インテリジェント ルームミラーモードのときは、①が表示されます。)

インテリジェント ルームミラー★

1 パワースイッチをONにします。



2 インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを手前に引きます。



3 インテリジェント ルームミラーモードに切り替わり、モニターに車両後方の画像が表示されます。
インテリジェント ルームミラーのON・OFF切り替えレバーを車両前方側へ倒すと、モニター画面がOFFになり、ルームミラーモードとして使用できます。

 知識

- 周囲の明るさにより見づらかったり、眩しく感じたときはインテリジェント ルームミラーモードをOFFにし、ルームミラーモードでご使用ください。

インテリジェント ルームミラーの画質調整

インテリジェント ルームミラーモードのときに、MENUボタンを押すと、モニター画像の各種調節ができます。MENUボタンを押すごとに調整項目が切り替わります。

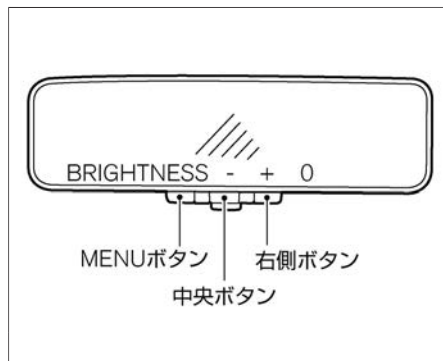
調整項目の切り替わりかた

MENU（通常画面）⇒明るさ（BRIGHTNESS）⇒上下（DOWN/UP）⇒左右（LEFT/RIGHT）
⇒回転（ROTATION）⇒モニター文字表示、非表示の切り替え（INDICATION）⇒MENU
（通常画面）

■ 明るさ調節のしかた

MENUボタンを1回押すと、明るさ調節（BRIGHTNESS）モードになります。

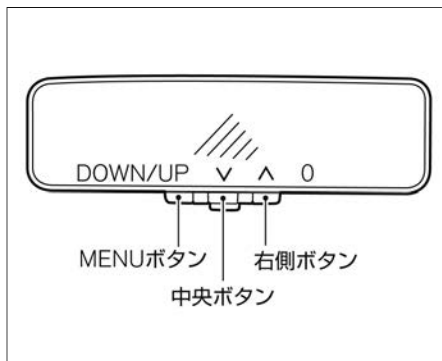
- 中央ボタンを押すと、画面が暗くなります。
- 右側ボタンを押すと、画面が明るくなります。
- 調節幅：-8(暗い)～+8(明るい)



■ 画面の上下位置調節のしかた

MENUボタンを2回押すと、画像位置の上下調節 (DOWN/UP)モードになります。

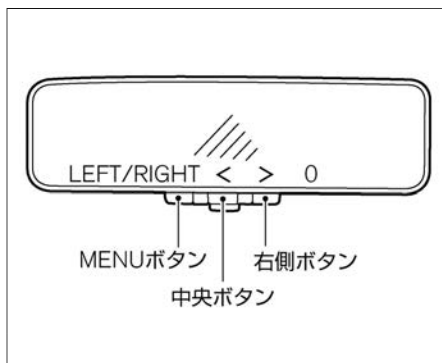
- 中央ボタンを押すと、画像が下に移動します。
- 右側ボタンを押すと、画像が上に移動します。
- 調節幅：-4(下方向)～+4(上方向)



■ 画面の左右位置調節のしかた

MENUボタンを3回押すと、画像位置の左右調節 (LEFT/RIGHT)モードになります。

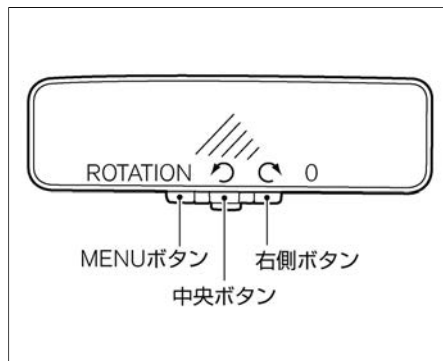
- 中央ボタンを押すと、画像が左に移動します。
- 右側ボタンを押すと、画像が右に移動します。
- 調節幅：-4(左)～+4(右)



■ 画面の回転位置調節のしかた

MENUボタンを4回押すと、画像位置の回転調節 (ROTATION)モードになります。

- 中央ボタンを押すと、画像が左に回転します。
- 右側ボタンを押すと、画像が右に回転します。
- 調節幅：-8(左回り)～+8(右回り)

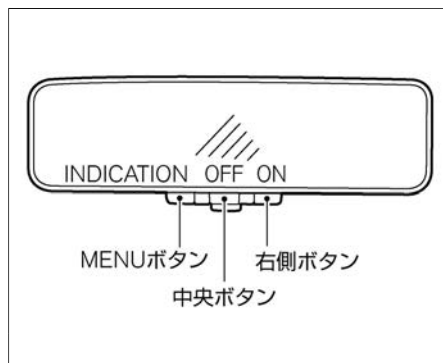


■ モニター文字表示のON・OFFのしかた

MENUボタンを5回押すと、モニター文字表示、非表示を切り替える (INDICATION)モードになります。

- 中央ボタンを押すと、モニター文字表示が非表示になります。
- 右側ボタンを押すと、モニター文字表示が表示されます。

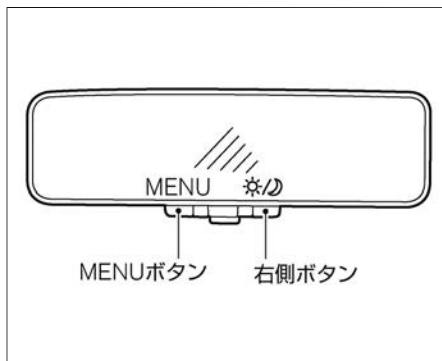
もう一回MENUボタンを押す（通常画面から6回）と、通常画面に戻ります。



■ 夜モードと昼モードの切り替えかた

車幅灯、またはヘッドランプを点灯させると、自動でモニターが夜モード  になります。夜モード  ではモニター画面の明るさを弱め、眩しさを軽減します。

日中や薄暮時、ヘッドランプを点灯させたときでも夜モード  にしたくないときは、右側ボタンを押すと昼モード  になります。



知識

- MENUボタンで画質調整の項目を切り替えるときは、前の項目で調整したあと、5秒以内にボタンを押して切り替えてください。5秒以上経過すると、MENU（通常画面）に戻ります。

インテリジェント ルームミラー使用時の注意事項

 警告

- あらかじめ死角範囲を確認する。
インテリジェント ルームミラーには死角があります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- ミラー本体やカメラ、配線を分解したり改造したりしない。
異臭がする、煙が出るなどした場合は、ただちに使用を中止し日産販売会社にご相談ください。
- 走行中に操作しない。
走行中に操作を行うと、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

 注意

- ミラー本体、カメラ、配線類にはタバコなどの火気を近づけない。
破損や車両火災の原因となります。
- インテリジェント ルームミラーが故障したときは、すぐにルームミラーモードに戻す。
- モニターを凝視しない。
 - ー 前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ー 同乗者が凝視すると、車酔いを起こすおそれがあります。
- 太陽や後方車両のヘッドランプなどの強い光源がカメラに入ると、インテリジェント ルームミラーのモニターに光のスジが入ったり、明るい光源がモニター上に広がったりする場合があります。その際には、必要に応じてルームミラーモードに戻してご使用ください。

 アドバイス

- パワースイッチがOFFのときに長時間使用すると12Vバッテリーがあがるおそれがあります。
- 無線機のアンテナをインテリジェント ルームミラー近くに取り付けしないでください。無線機の電波により、インテリジェント ルームミラーの映像に乱れが出る場合があります。
- ボタンを強く押しすぎたり、レバーを強く操作したりすると故障の原因となります。また、ミラー本体が落下するおそれがあります。
- ミラーを90度以上回転させないでください。配線が断線するおそれがあります。
- ミラー本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 車両後方についているカメラやカメラカバーに無理な力をかけないでください。カメラが外れたり、故障するおそれがあります。
- 外部光による影響でモニターが見えにくいときは、ルームミラーモード（ミラー状態）にして使用してください。
- LED光源を使用した照明の一部が映った場合、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 外部環境の乱反射により、画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 素早い動きにはモニター表示が追従できない場合がありますが、故障ではありません。
- 夕暮れ時やトンネル、立体駐車場などではヘッドランプを点灯してください。ヘッドランプを点灯すると、モニターおよびカメラシステムが夜間モードになり、眩惑を防ぎます。
- ルームミラーとは後方の見えかたが異なります。インテリジェント ルームミラーの機能を過信せず、直接後方を確認するなど、責任のある運転を心掛けてください。



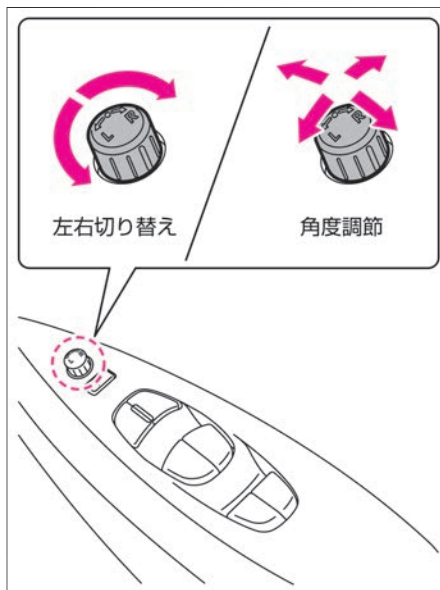
アドバイス

- モニターの明るさを明るく調節し過ぎると、運転中に目が疲れることがあります。明るさを適切に調節してください。
- 雨天時はリヤワイパーを併用してください。リヤワイパーを併用してもカメラ映像が不鮮明の場合、リヤワイパーゴムの劣化を確認してください。
- リヤワイパー使用中は、カメラ前をリヤワイパーが通過した際に、画面がちらつくように見える場合がありますが、故障ではありません。
- カメラ映像が不鮮明な場合は、インテリジェント ルームミラーカメラ前面のバックドアガラスを清掃してください。清掃してもカメラ映像が不鮮明な場合は、ガラス面に油膜が付いているおそれがあります。油膜取りを使用して清掃してください。
🔄 外観リヤ (P.3)、🔄 インテリジェント ルームミラーのお手入れ★ (P.509)
- バックドアガラスがくもった場合は、リヤデフォグガーを使用し、バックドアガラスのくもりを取ってください。くもりが完全に取れるまではルームミラーモードで使用してください。
- インテリジェント ルームミラーのモニターが熱を帯び、高温になることがあります。故障ではありません。
- 遠いものや暗いときは色が認識しにくいことがあります。故障ではありません。
インテリジェント ルームミラーのお手入れについては (🔄 P.509) をお読みください。

パワースイッチがONまたはアクセサリーの状態のときに操作できます。

ドアミラーの角度調節のしかた

- 左右切り替えスイッチを、調節したいミラーの方に動かします。
- 角度調節スイッチを前後左右に押して、鏡面角度を調節します。



警告

- ミラーの調節は、必ず走行前に行う。
走行中にミラーを調節すると、前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

■ ドアミラーの格納のしかた

- スイッチを押すと、左右のミラーが格納されます。
- スイッチをもう一度押すと、元の位置に戻ります。



⚠ 注意

- **ミラーが動いているときは手を触れない。**
手を挟む、またミラーが故障するおそれがあります。
- **ミラーを格納したまま走行しない。**
後方確認ができないため危険です。
- **手動でミラーを開閉しない。**
手動で開閉すると、走行中にミラーが規定位置より前方または後方に倒れ、後方確認ができなくなるおそれがあります。手動で開閉してしまったときは、走行前にスイッチで開閉操作を行ってください。

📖 知識

- スイッチ操作を連続して行くと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- 手動で開閉した場合、格納スイッチの位置により、パワースイッチがONまたはアクセサリーの状態にしたときにミラーが動き出すことがあります。

次ページに続く

■ ドアロック連動自動格納機能について★

ドアの施錠に連動させ、ミラーを格納することができます。ドアミラー格納スイッチが押し込まれていない状態で使います。

- リモコンまたは、ドアハンドルのスイッチで施錠すると、左右のミラーが格納されます。
- パワースwitchをアクセサリまたはONにすると、元に戻ります。

知識

- ドアミラー格納スイッチが押し込まれているときは、ドアロック連動自動格納機能は作動しません。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「車両設定」⇒「ミラー自動格納」を選択すると、ドアロック連動自動格納機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、車両設定をお読みください。
 画面の切り替えかた (P.131)
 車両設定 (P.159)

■ ドアミラーヒーターの使いかた★

パワースwitchがONのとき、リヤデフォグスイッチ ( P.456) を押すと、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりを取ります。

パワースイッチがONのときに操作できます。

■ パワーウィンドーの開けかた、閉めかた

運転席のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。助手席のスイッチおよび後席のスイッチでは自席の窓ガラスの開閉ができます。

開けるには

- スイッチを軽く押すと、押ししている間だけ開きます。

閉めるには

- スイッチを軽く引き上げると、引き上げている間だけ閉まります。

自動開閉するには

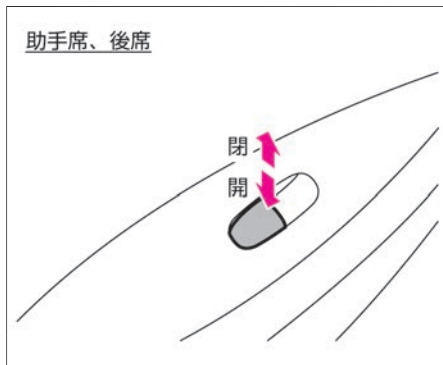
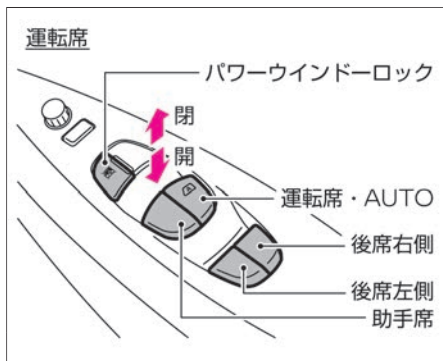
運転席の窓ガラスはワンタッチで自動開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引き上げます。

開閉操作をロックするには

お子さまが誤って窓ガラスを開閉することを防止できます。

- パワーウィンドーロックスイッチを押し込むと、運転席以外の窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すとロックが解除されます。



⚠ 警告

- 走行中は顔や腕、物などを車外に出さない。
走行中に車外の物に当たる、また急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 窓ガラスを閉めるときは、窓から手や顔などを出していないことを確認する。
手や顔などを窓ガラスに挟むと、重大な傷害につながるおそれがあります。
- お子さまにはパワーウィンドーを操作させない。
重大な傷害につながるおそれがあるため、パワーウィンドーロックスイッチを押し込んでください。

📖 知識

キーOFF後作動機構

- 運転席の窓ガラスは、パワースイッチがOFFまたはアクセサリ状態にしたあとでも、約15分間は開閉することができます。ただし、その約15分間に運転席ドアを開けて閉める（ドアが開いているときは閉める）と、窓ガラスの開閉はできなくなります。

次ページに続く

挟み込み防止機構

- 運転席の窓ガラスをワンタッチで閉めているとき、車体と窓ガラスの間に異物が挟まると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し開きます。

注意

- 指などを挟まれないように注意する。
窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。

知識

- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると挟み込み防止機構が作動することがあります。
- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

知識

- 初期設定を行うときは、ドアを閉めて操作してください。

正常に作動しないとき

運転席窓ガラスのワンタッチ開閉、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないときは、次の操作を行い初期設定してください。

- ① パワースイッチをONにします。
- ② スイッチを押して、窓ガラスを全開にします。
- ③ スイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
- ④ 正常に作動することを確認し、正常に作動しないときは、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

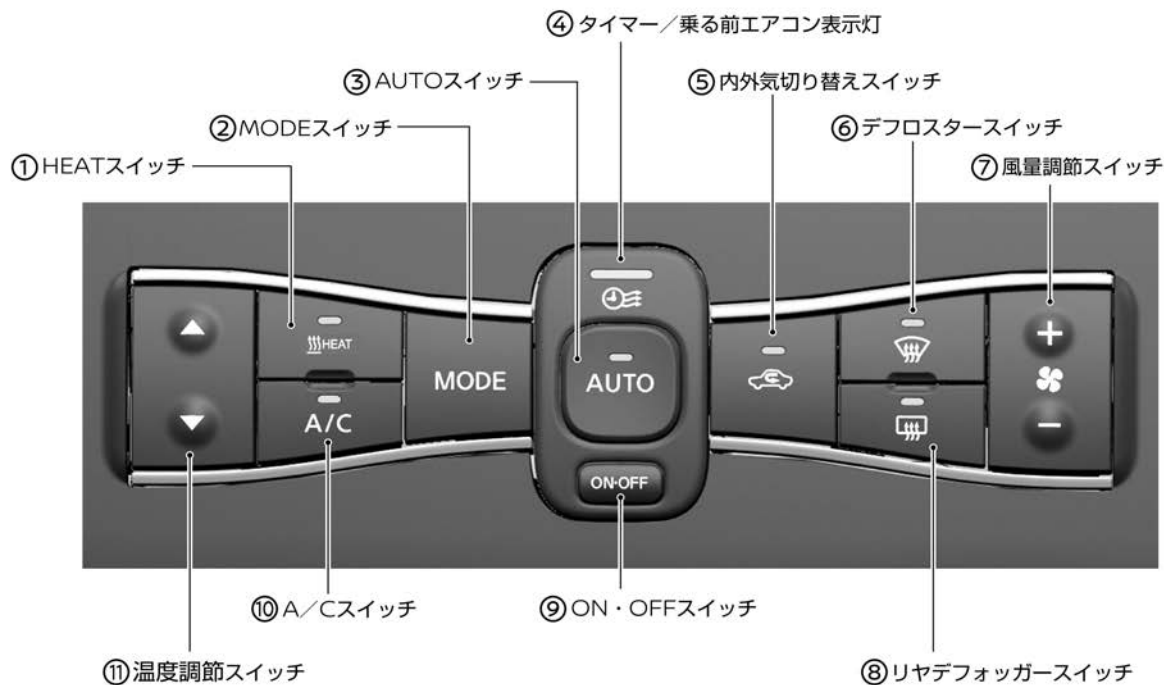
オートエアコン（メーカーオプションナビゲーションシステム装着車）

エアコンは、パワースイッチの状態により使用できる機能が異なります。

詳しくは、➡P.230をお読みください。

冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。

各スイッチの名称と機能



次ページに続く

オートエアコン（メーカーオプションナビゲーションシステム装着車）

- ① **HEATスイッチ**
暖房機能のON・OFFを切り替えます。
- ② **MODEスイッチ**
吹き出し口を切り替えます。
- ③ **AUTOスイッチ**
自動制御に切り替えます。冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。
- ④ **タイマー／乗る前エアコン表示灯**
タイマーエアコン（➡P.236）を設定しているときに点灯します。
タイマーエアコンまたは乗る前エアコン（リモート）が作動しているときは点滅します。
- ⑤ **内外気切り替えスイッチ**
内気循環／外気導入を切り替えます。
内気循環（表示灯が点灯）：トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車室内に入れたくないとき
外気導入（表示灯が消灯）：換気を行うとき
- ⑥ **デフロスタースイッチ（➡P.455）**
フロントガラスのくもりを取ります。
- ⑦ **風量調節スイッチ**
風量を切り替えます。
- ⑧ **リヤデフォグースイッチ（➡P.456）**
バックドアガラスのくもりを取ります。また、ドアミラーヒーター付車はドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりを取ります。
- ⑨ **ON・OFFスイッチ**
オートエアコンのON・OFFを切り替えます。
- ⑩ **A/Cスイッチ**
冷房・除湿機能のON・OFFを切り替えます。
- ⑪ **温度調節スイッチ**
設定温度を切り替えます。（18℃～32℃）



アドバイス

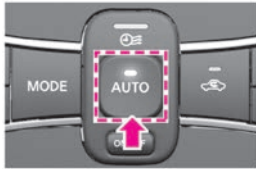
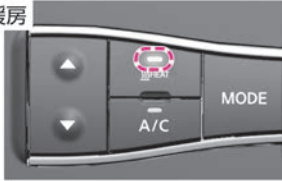
- A/Cスイッチの表示灯とHEATスイッチの表示灯が同時に点灯しているときは、エアコンの消費電力が多くなるため、航続可能距離が減少することがあります。



知識

- HEATスイッチの表示灯とA/Cスイッチの表示灯が同時に点灯しているときは、除湿暖房運転になります。
➡ 運転モードについて（P.231）
- 除湿暖房運転は、窓がくもった場合など必要などきのみ使用してください。エアコンの消費電力を抑え、航続可能距離を延ばすことができます。

オートでの使いかた

1	AUTOスイッチを押します。 （スイッチの表示灯が点灯）	
2	温度調節スイッチを押して、設定温度を調節します。 ▲：設定温度を上げる ▼：設定温度を下げる	
3	A/CスイッチまたはHEATスイッチのどちらかの表示灯が点灯します。 A/Cスイッチ点灯時：冷房・除湿機能ON HEATスイッチ点灯時：暖房機能ON	冷房・除湿  暖房 

知識

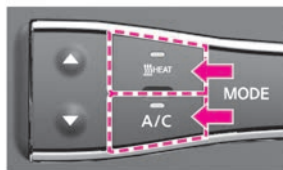
- オートで使用中に次のいずれかの操作をすると、AUTOスイッチの表示灯は消灯しますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。
 - － 冷房・暖房の切り替え
 - － 風量の調節
 - － 吹き出し口の切り替え
- AUTOスイッチの表示灯が点灯しているときは、消費電力を抑えた最適な状態でエアコンが作動します。

送風運転のしかた

- 1** AUTOスイッチを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）



- 2** A/CスイッチまたはHEATスイッチ（表示灯が点灯しているスイッチ）を押し、表示灯を消灯させます。
（このとき、AUTOスイッチの表示灯が消灯）



- 3** 風量調節スイッチで風量を調節します。



知識

- 送風では、ナビゲーション画面に温度表示が表示されなくなります。
- AUTOスイッチ、A/Cスイッチ、HEATスイッチの表示灯がすべて消灯すると、送風になります。
- 送風で使用すると、冷房、暖房、除湿機能が作動せず、ファンのみがまわって車室内の空気を循環させます。
- 送風で使用すると、エアコンの消費電力が抑えられるため、航続可能距離を延ばすことができます。

オートエアコン（メーカーオプションナビゲーションシステム非装着車）

エアコンは、パワースwitchの状態により使用できる機能が異なります。
詳しくは、➡P.230をお読みください。

各スイッチの名称と機能



次ページに続く

次ページに続く

オートエアコン（メーカーオプションナビゲーションシステム非装着車）

- ① **風量調節ダイヤル**
ダイヤルを回して風量を切り替えます。
- ② **ON・OFFスイッチ**
オートエアコンのON・OFFを切り替えます。
- ③ **内外気切り替えスイッチ**
内気循環／外気導入を切り替えます。
内気循環（表示灯が点灯）：トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車室内に入れたくないとき
外気導入（表示灯が消灯）：換気を行うとき
- ④ **デフロスタースイッチ** (👉P.455)
フロントガラスのくもりを取ります。
- ⑤ **リヤデフォグgersスイッチ** (👉P.456)
バックドアガラスのくもりを取ります。また、ドアミラーヒーター付車はドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりを取ります。
- ⑥ **温度調節ダイヤル**
ダイヤルを回して設定温度を切り替えます。（18℃～32℃）
- ⑦ **AUTOスイッチ**
自動制御に切り替えます。冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。
- ⑧ **A/Cスイッチ**
冷房・除湿機能のON・OFFを切り替えます。
- ⑨ **MODEスイッチ**
吹き出し口を切り替えます。
- ⑩ **HEATスイッチ**
暖房機能のON・OFFを切り替えます。



アドバイス

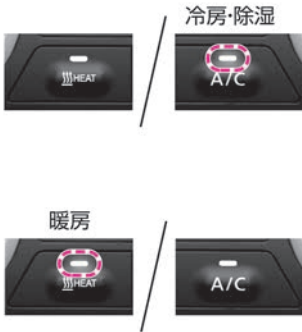
- A/Cスイッチの表示灯とHEATスイッチの表示灯が同時に点灯しているときは、エアコンの消費電力が多くなるため、航続可能距離が減少することがあります。



知識

- HEATスイッチの表示灯とA/Cスイッチの表示灯が同時に点灯しているときは、除湿暖房運転になります。
👉 運転モードについて (P.231)
- 除湿暖房運転は、窓がくもった場合など必要なときのみ使用してください。エアコンの消費電力を抑え、航続可能距離を延ばすことができます。

オートでの使いかた

1	AUTOスイッチを押します。 （スイッチの表示灯が点灯）	
2	温度調節ダイヤルを回して、設定温度を調節します。 右回し：設定温度を上げる 左回し：設定温度を下げる	
3	A/CスイッチまたはHEATスイッチのどちらかの表示灯が点灯します。 A/Cスイッチ点灯時：冷房・除湿機能ON HEATスイッチ点灯時：暖房機能ON	

知識

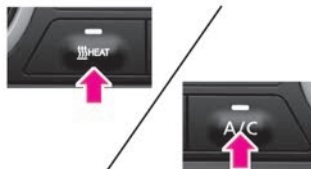
- オートで使用中に次のいずれかの操作をすると、AUTOスイッチの表示灯は消灯しますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。
 - － 冷房・暖房の切り替え
 - － 風量の調節
 - － 吹き出し口の切り替え
- AUTOスイッチの表示灯が点灯しているときは、消費電力を抑えた最適な状態でエアコンが作動します。

送風運転のしかた

- 1** AUTOスイッチを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）



- 2** A/CスイッチまたはHEATスイッチ（表示灯が点灯しているスイッチ）を押し、表示灯を消灯させます。
（AUTOスイッチの表示灯が消灯）



- 3** 風量調節ダイヤルで風量を調節します。

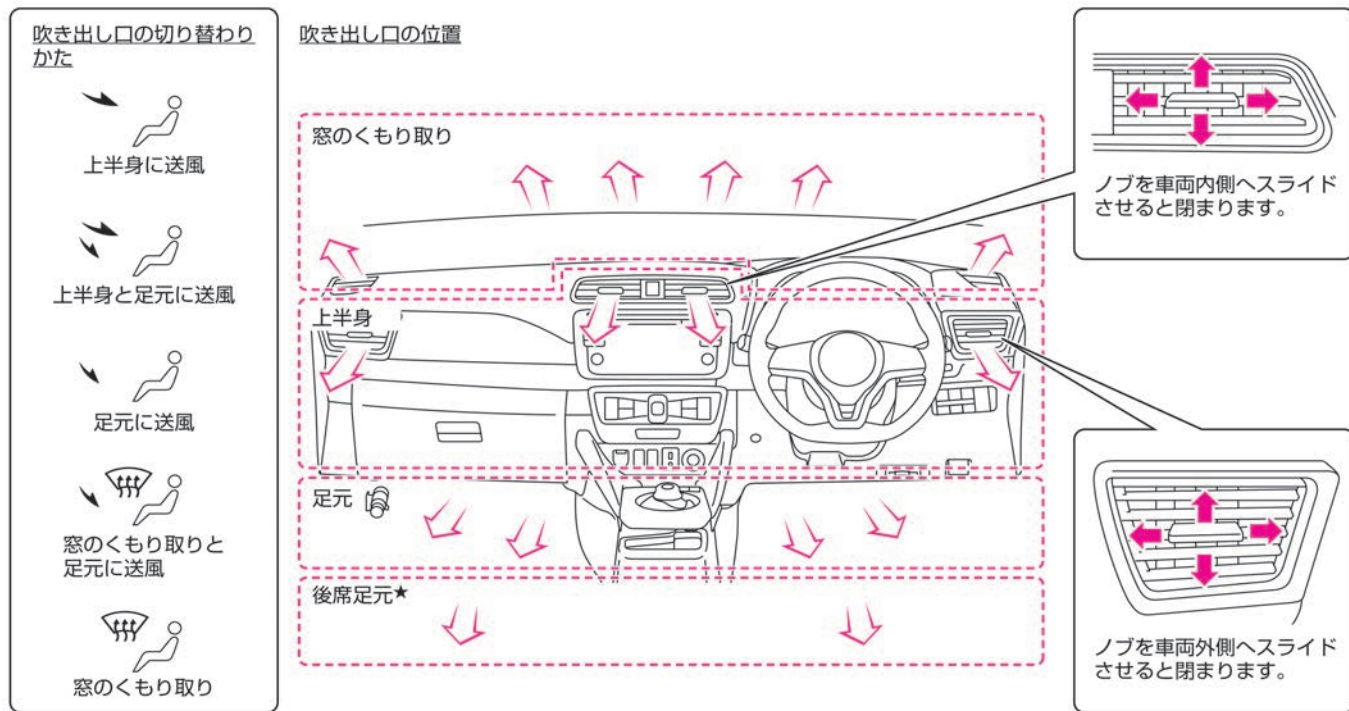


知識

- 送風では、操作パネルに温度表示が表示されなくなります。
- AUTOスイッチ、A/Cスイッチ、HEATスイッチの表示灯がすべて消灯すると、送風になります。
- 送風で使用すると、冷房、暖房、除湿機能が作動せず、ファンのみがまわって車室内の空気を循環させます。
- 送風で使用すると、エアコンの消費電力が抑えられるため、航続可能距離を延ばすことができます。

エアコンの操作 吹き出し口

吹き出し口は、MODEスイッチを押すごとに切り替わります。



エアコンを使うときに注意すること

各機能の作動条件について

- この車両のエアコンは、送風機能、冷房／暖房機能、タイマーエアコンまたは乗る前エアコン（リモート）★でそれぞれ使える条件が異なります。
それぞれの機能は次の条件のときに使用できます。

パワースイッチ	OFF	アクセサリー	ON	ON (走行可能表示灯  が点灯)
送風機能	-	-	○	○
冷房／暖房機能	-	-	○※1	○
タイマーエアコン	○	○	-	-
乗る前エアコン (リモート) ★	○	○	-	-

※1： 充電中のみ使用できます。

運転モードについて

- この車両のエアコンは4つの運転モードがあります。
- HEATスイッチおよびA/Cスイッチの表示灯の点灯・消灯で、運転モードを確認することができます。

運転モード	HEATスイッチの状態	A/Cスイッチの状態
送風運転 車室内の空気を循環させたいとき		
冷房運転 車室内を冷やしたいとき		
暖房運転 車室内を暖めたいとき		
除湿暖房運転 窓ガラスのくもりを取りながら車室内を暖めたいとき		

知識

- イラストは、メーカーオプションナビゲーションシステム装着車です。
- 除湿暖房運転は、窓がくもった場合など必要なときのみ使用することでエアコンの消費電力を抑え、航続可能距離を延ばすことができます。

プラズマクラスターイオン®フルオートエアコン（除菌機能付）★

- 送風中は常時作動し、高濃度プラズマクラスターイオンをエアコンの吹き出し風に含ませ、除菌とともに内装に染みついたにおいを低減します。さらに肌の保湿効果をプラスしました。
- プラズマクラスター、プラズマクラスターイオンおよびPlasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。

エアコンに関する注意事項

警告

- 内気循環で長時間使用しない。
窓ガラスがくもりやすくなり、視界が損なわれ危険ですので、一時的に使用してください。

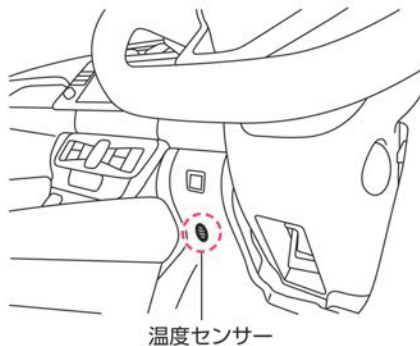
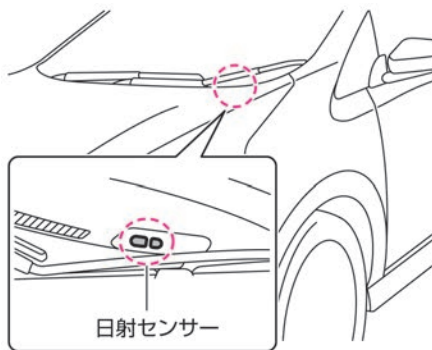
注意

- 吹き出し風を長時間連続して身体にあてない。
特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間あたらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- デフロスタースイッチをONにしているときに、エアコンの設定温度を低くしない。
フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

- 自動温度調節は日射センサーと温度センサーで行っています。センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。

アドバイス



アドバイス

- エアコンの消費電力は、外気温とエアコンの設定温度により変化します。特に夏に車室内を冷やしすぎたり、冬に車室内を温めすぎたりすると、消費電力が多くなり航続可能距離が大幅に減少する原因になります。
- ほこり、花粉、粉じんなどを集じんし、タバコやペットなどのにおいをフィルター内の活性炭が吸着除去するクリーンフィルター（脱臭機能付）を装着しています。集じん・脱臭性能を維持するため、クリーンフィルター（脱臭機能付）は定期的に交換してください。
交換時期：1年ごとまたは12,000km走行ごと
- クリーンフィルター（脱臭機能付）が交換時期に満たない場合でも、吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。なお、取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。
- エアコン装置のオイル循環を切らさないために、ときどきA/CスイッチをONにして作動させてください。なお、外気温が0℃近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。
- エアコンガスは必ずHFC134a（R134a）を入れてください。
- 地球温暖化防止のためエアコンガスを大気放出しないでください。
- この車両では、エアコンのシステムに特殊なオイルを使用しています。エアコンの修理、メンテナンスは日産販売会社にご相談ください。

知識

- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。
- 外気温が0℃近くまで下がると、A/Cスイッチが点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- エアコンがONのとき、またはOFFにした直後に、“カチカチ”、“シュー”、“コツン”などの音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- タイマーエアコンまたは乗る前エアコン（リモート）★の作動時もコンプレッサーおよび冷却ファンの音がしますが、異常ではありません。
- 始動直後で吹き出し風の温度が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- エアコンの運転中、運転後または充電中などに車両の下に水が垂れることがあります。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。

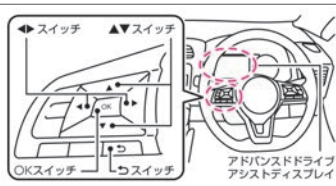
エアコンのにおいについて

- エアコン装置は、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じる場合があります。
- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

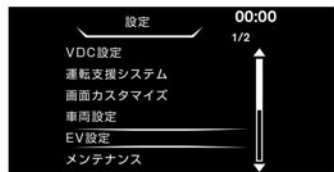
タイマーエアコンの設定のしかた

メーター内のアドバンスドドライブアシストディスプレイでタイマーエアコンの出発予定時刻を設定しておく、その時間にあわせてお出かけ前に車室内を快適な温度にすることができます。そのため、走行を始めてからのエアコンの電力を抑えることができます。

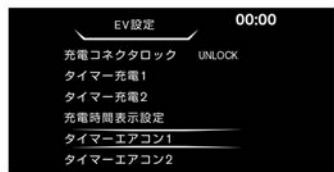
- 1 ステアリングスイッチの ◀▶ スイッチを数回押し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「設定 ⚙️」画面を表示します。



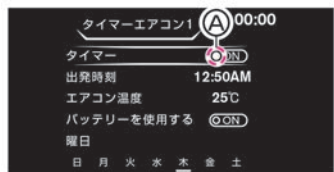
- 2 ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、「EV設定」を選択し、**OK** スイッチを押して決定します。



- 3 ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、「[タイマーエアコン1] または [タイマーエアコン2]」を選択し、**OK** スイッチを押して決定します。
時刻は2種類設定することができます。ここではタイマーエアコン1の登録方法を説明します。



- 4 ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで「タイマー」を選択し、**OK** スイッチを押してⒶを点灯させます。



警告

- お子さまや介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さない。
タイマーエアコンを設定していても、システムの自動停止などの理由で車室内が高温または低温になることがあり、最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。

知識

- タイマーエアコンは、リチウムイオンバッテリー残量警告灯 が黄色く点灯しているときは、作動しません。
➡ リチウムイオンバッテリー残量計 (P.111)
- 設定した2種類の時刻は、1週間分予約できます。設定した予約は継続されるため、毎回設定する必要はありません。（メーカーオプションナビゲーションシステム装着車）

タイマーエアコンの設定のしかた

5	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで [出発時刻] を選択し、 OK スイッチを押して決定します。	
6	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで “時” を調整し、 OK スイッチを押します。	
7	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで “分” を調整し、 OK スイッチを押します。設定時間は10分単位で切り替わります。	
8	ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで [エアコン温度] を選択し、 OK スイッチを押して決定します。設定温度は18℃～32℃の範囲で設定できます。	

知識

- 充電ケーブルが接続されていないと、タイマーエアコンは作動しませんが、[バッテリーを使用する] をONにすると、充電ケーブルを接続していなくても、約15分間作動します。
➡ バッテリーを使用するモードについて (P.240)
- タイマーエアコンが作動すると、タイマー／乗る前エアコン表示灯（メーカーオプションナビゲーションシステム装着車）と充電インジケーターが点滅します。
- タイマーをOFFにすると予約が解除されます。予約を解除しても設定した時刻、曜日（メーカーオプションナビゲーションシステム装着車）は消去されません。再度タイマーをONにすると、現在の設定条件で予約をすることができます。

タイマーエアコンの設定のしかた

9

ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで設定温度を調整し、 **OK** スイッチを押します。



10

メーカーオプションナビゲーションシステム装着車は曜日を選択します。ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、[曜日] を選択し、 **OK** スイッチを押して決定します。下線表示されている曜日が現在の曜日になります。



11

日曜日から土曜日までそれぞれON・OFFを選択します。ステアリングスイッチの ▲▼ スイッチで、曜日を選択し、 **OK** スイッチを押してON・OFFを選択します。



12

曜日を選択後、 ↺ スイッチを押します。現在選択されている曜日が白く点灯します。



知識

- メーカーオプションナビゲーションシステム非装着車は、タイマーエアコンをONにすると毎日繰り返して作動します。

タイマーエアコンの設定のしかた

13

パワースイッチをOFFにし、充電ケーブルを接続します。充電ケーブルの接続方法は、即充電のしかた（➡P.49）の手順1～6をお読みください。V2H充電の充電ケーブルの接続方法は、急速充電のしかた（➡P.52）の手順1～4をお読みください。

※：出発時刻に設定した温度になるように、エアコンが自動的に作動します。

タイマーエアコンの設定のしかた

バッテリーを使用するモードについて

- [バッテリーを使用する] をONにすると、充電ケーブルを接続していなくても、リチウムイオンバッテリーの電力を使用して、タイマーエアコンが約15分間作動します。



知識

- リチウムイオンバッテリー残量警告灯 が黄色く点灯したら、エアコンが停止します。
- ➡ リチウムイオンバッテリー残量計 (P.111)
- リチウムイオンバッテリーが消費されるため、タイマーエアコンの必要が無いときは、[バッテリーを使用する] をOFFに切り替えてください。

タイマーエアコンに関する注意事項

タイマーエアコンを使用するときの注意事項

- 充電中にタイマーエアコンが作動すると、充電に必要な時間が延びることがあります。
- 出発時刻になると、エアコンが自動的に停止します。設定した出発時刻よりも早く、または遅れて車に乗り込むと、車室内の温度が快適な温度になっていない場合があります。
- 外気温が低いときにタイマーエアコンを作動させると、リチウムイオンバッテリーの残量が低下することがあります。この場合、出発するときに充電が完了していないことがあります。
- 充電施設によっては、利用できない時間帯が設定されていることがあります。タイマーエアコンを使用する場合は、利用可能な時間帯を確認してください。また、タイマーエアコンを設定する場合は、充電器の電源がONになっていることを確認してください。
- タイマーエアコン作動中でも設定した時刻を変更することができます。設定変更後にパワースイッチをOFFにすると、新しい設定が反映されます。
- タイマーエアコンは、家や充電器などから供給される電力を使用するため、外気温が極端に高い、または低いとき、AC100Vの充電ケーブル（コントロールボックス付）を使用しているとき、設定温度と外気温の差が大きいときなどは、エアコンの性能が制限され、車室内が設定した温度にならないことがあります。
- バッテリーを使用するモードは、リチウムイオンバッテリーの消費を抑えるために作動時間を約15分間のみとしており、外気温によっては車室内が設定した温度にならないことがあります。

MEMO

始動する

パワースイッチ	P.244
---------	-------

運転する

セレクトレバー	P.249
パーキングブレーキ★	P.252
電動パーキングブレーキ★	P.253
発進・走行	P.258
停車・駐車	P.262

ランプをつける、ワイパーを使う

ライトスイッチ	P.263
ヘッドランプレベライザースイッチ★	P.270
フォグランプスイッチ★	P.272
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.273

運転支援機能

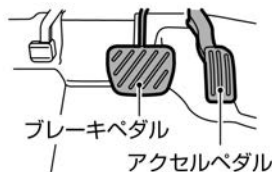
e-Pedal	P.277
ECOモード	P.282
クルーズコントロール★	P.283
ABS（アンチロックブレーキシステム）	P.288
VDC（ビークルダイナミクスコントロール）	P.289
シャシー制御	P.293
ヒルスタートアシスト	P.295
車両接近通報装置	P.297
走行支援システム★	P.299
プロパイロット★	P.301
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	P.337
踏み間違い衝突防止アシスト★	P.347
BSW（後側方車両検知警報）★	P.367
LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI （車線逸脱防止支援システム）★	P.376
RCTA（後退時車両検知警報）★	P.384
インテリジェント DA（ふらつき警報）★	P.393
進入禁止標識検知	P.396

パワースイッチ

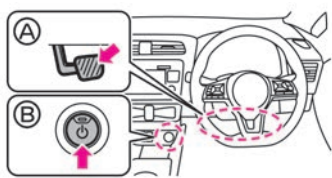
この車両はエンジンがないため、エンジン音の代わりに走行可能表示灯の点灯・消灯で、EVシステムの始動・停止を確認します。

始動のしかた（パワースイッチON）

- 1** キー（インテリジェントキー）を携帯して車両に乗り込みます。
アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢（ P.66）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。



- 2** ブレーキペダル①をしっかりと踏み込みながら、パワースイッチ②を押します。



- 3** メーター内の走行可能表示灯が点灯し、走行できるようになります。



警告

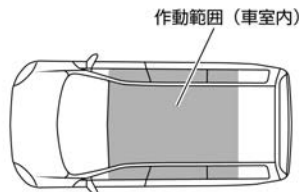
- **EVシステムを始動する前にペダルの位置を確認する。**
ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

注意

- **EVシステムを始動するときは、必ず運転席に座る。**
車外から行くと、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **EVシステムを始動したあとは、e-PedalのON・OFF状態を確認してから走行する。**
e-PedalがONのときとOFFのときでは、アクセルペダルの特性が大きく異なるため、走行前に確認してください。

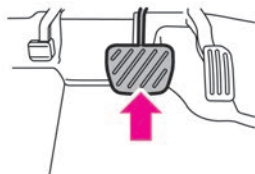
知識

- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- キーによるEVシステムの始動の作動範囲は車室内です。（ラゲッジルーム内は除きます。）

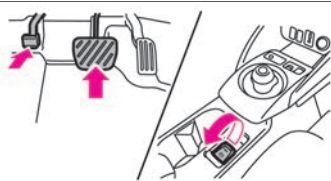


停止のしかた (パワースイッチOFF)

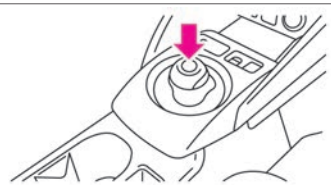
- 1 ブレーキペダルを踏んで、車両を完全に停車させます。



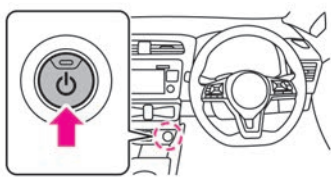
- 2 ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。
➡ パーキングブレーキのかけかた (P.252)
➡ 電動パーキングブレーキのかけかた (P.253)



- 3 セレクトレバー上部のⓅスイッチを押し、シフトポジションをPに切り替えます。



- 4 パワースイッチを押します。
ブレーキペダルからゆっくりと足を離し、走行可能表示灯Ⓡが消灯していることを確認します。

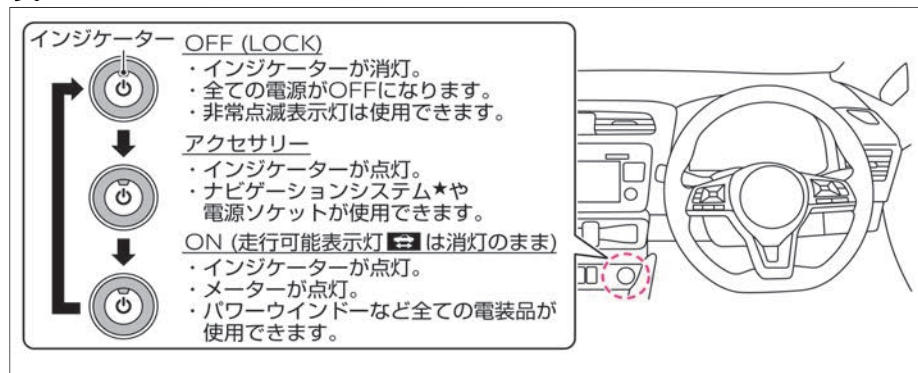


⚠ 注意

- パワースイッチをOFFにするときは、e-Pedalで停車状態を保持していても、パーキングブレーキを確実にかけ、シフトポジションがPであることを確認する。
車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ パワースイッチでのモードの切り替えかた

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、次のようにモードが切り替わります。



アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、電装品はEVシステムを始動した状態でご使用ください。やむをえず使用するときは、長時間使用したり、同時に複数の電装品を使用したりしないでください。
- 次の条件がそろった状態でしばらくすると自動的にパワースイッチがOFFになります。
 - ー パワースイッチがアクセサリまたはON（走行可能表示灯  は消灯）の状態のとき
 - ー 全ドアが閉まっているとき
 - ー シフトポジションが  のとき

知識

- ブレーキペダルを踏みながらパワースイッチを押すと、EVシステムが始動して走行可能表示灯  が点灯します。
 始動のしかた（パワースイッチON）（P.244）

■ 非常停止のしかた

緊急時など、走行中に強制的にEVシステムを停止（パワースイッチOFF）させるときは、次のいずれかの操作を行ってください。

- パワースイッチをすばやく3回押す
- パワースイッチを2秒以上押し続ける



警告

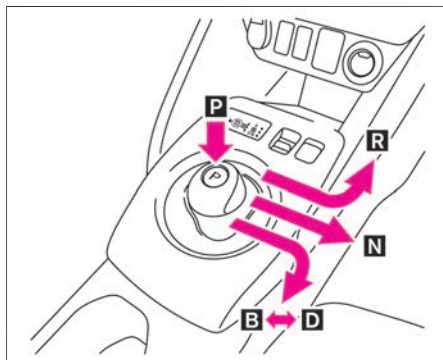
- 非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行う。
非常停止後は、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

セレクトレバー

走行可能表示灯  が点灯しているとき、すべてのシフトポジションに切り替えることができます。
セレクトレバーを操作したあとは、目的のシフトポジションに切り替わっていることを必ず確認してください。

セレクトレバーの操作

P	セレクトレバー上部のⓅスイッチを押します。
R	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って車両前方へスライドさせます。
N	ブレーキペダルを踏みながら、右にスライドさせ、しばらく保持します。
D	ブレーキペダルを踏みながら、セレクトレバーをゲートに沿って右手前にスライドさせます。
B	D のときに右手前にスライドすると B に切り替わります。もう一度スライドすると D に戻ります。



警告

- セレクトレバーには物を掛けない。
車両が突然発進するなど、事故の原因になるおそれがあります。

アドバイス

- セレクトレバーを中央の位置以外で保持し続けしないでください。故障の原因になります。

知識

- セレクトレバーは、操作後に手を離すと中央に戻ります。
- セレクトレバーが中央に無いときは、Ⓟスイッチを押しても**P**に切り替えられません。また、Ⓟスイッチを押しながら、セレクトレバーを操作しても、他のシフトポジションには切り替えられません。
- シフトポジションを**R**に切り替えるとブザーが鳴ります。
- 次の操作は無効とみなされ、ブザーが鳴るとともにシフトポジションは**N**に切り替わります。
ー 前進中にシフトポジションを**R**に切り替える

知識

- 後退中にシフトポジションを **D** に切り替える
- この車両にはオートP機能 (➡P.251) がありますが、電制シフトが故障した場合は、シフトポジションが **P** 以外でパワースイッチをOFFにしようとしても、ブザーが鳴り、パワースイッチをOFFに切り替えられません。
パワースイッチをOFFにできないときは、次の操作を行ってください。
- ①停車してパーキングブレーキをかけます。
- ②ブレーキペダルを踏み込みながらパワースイッチを押して、パワースイッチをONに切り替えます。
- ③セレクトレバー上部の⑨スイッチを押して **P** に切り替えます。
- パワースイッチがONでも走行可能表示灯  が点灯していないときは、**D・B・R** には切り替えられません。
- 以下の条件が重なったとき、シフトポジションが自動で **P** に切り替わる場合があります。

知識

- e-Pedalで停車状態を保持しているとき
- 運転席シートベルトを外したとき
- 運転席ドアを開けたとき

各シフトポジションの働き

シフトポジション	役割
P	駐車およびEVシステムを始動するときの位置
R	後退するときの位置
N	動力が伝わらない状態の位置
D	通常走行するときの位置
B	下り坂などで、強い回生ブレーキが必要なときの位置 (満充電時や低温時などはブレーキが弱くなる場合があります。)

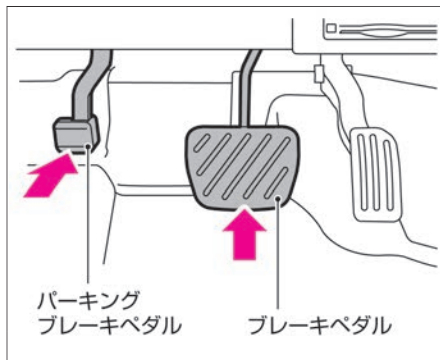
知識

- シフトポジションを**P**に切り替えずにパワースイッチをOFFにすると、自動的にシフトポジションが**P**に切り替わります。(オートP機能)
- 充電中はシフトポジションを切り替えることができません。

停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキをかけると、後輪が固定されます。パーキングブレーキペダルで操作します。

パーキングブレーキのかけかた

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。



警告

- **パーキングブレーキをかけたまま走行しない。**
ブレーキが過熱することによって、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

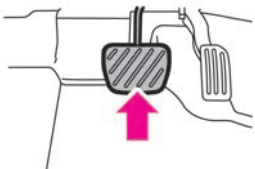
- 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。
- パーキングブレーキをかけ直したいときは、一度解除してから踏み込み直してください。

パーキングブレーキの解除

- 右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。

停車中や駐車時に使用するブレーキです。パーキングブレーキをかけると、後輪が固定されます。電動パーキングブレーキスイッチで操作します。

電動パーキングブレーキのかけかた

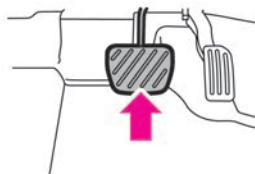
1	ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。	
2	電動パーキングブレーキスイッチを引き上げます。 スイッチを引き上げると、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯とメーター内の電動パーキングブレーキ警告灯（赤色）が、約2秒後に点灯します。	

知識

- インテリジェント クルーズコントロール★により自車が停止状態を保持しているとき、インテリジェント クルーズコントロールが解除されると電動パーキングブレーキが作動することがあります。詳しくは、 P.317)をお読みください。

電動パーキングブレーキの解除のしかた

1 ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。



2 電動パーキングブレーキスイッチを押し下げます。
スイッチを押し下げると、電動パーキングブレーキが解除され、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯とメーター内の電動パーキングブレーキ警告灯（赤色）が消灯します。



警告

- 電動パーキングブレーキを作動させたまま走行しない。
ブレーキに不具合が生じ、事故につながるおそれがあります。

知識

- 電動パーキングブレーキは、パワースイッチがONのときのみ解除できます。

自動解除のしかた

電動パーキングブレーキスイッチを操作しなくても、パーキングブレーキを解除することができます。

渋滞や上り坂での発進に便利です。

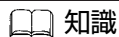
- 電動パーキングブレーキがかかっている状態でシフトポジションを **D**、または **R** にし、アクセルペダルをゆっくり踏んでください。
パーキングブレーキが自動的に解除され、電動パーキングブレーキ警告灯が消灯します。
- パーキングブレーキの自動解除は、以下の条件を満たしている必要があります。
 - ー 運転席シートベルトを着用している
 - ー 走行可能表示灯  が点灯している
 - ー シフトポジションが **P**、**N** 以外するとき

電動パーキングブレーキに関する注意事項



警告

- 車両を離れるときは、シフトポジションを **P** 位置にしたあと電動パーキングブレーキをかける。
- 電動パーキングブレーキをかけたり、解除したりの操作を短時間に繰り返さない。
システムの過熱を防ぐために電動パーキングブレーキが作動しなくなる場合があります。
- 寒冷時に駐車するときは、電動パーキングブレーキをかけずにシフトポジションを **P** 位置に入れる。
電動パーキングブレーキを解除したまま車輪の前後に適切な輪留めをしてください。
寒冷時に電動パーキングブレーキをかけると、パーキングブレーキが凍結し、解除できなくなるおそれがあります。
- 電動パーキングブレーキが12Vバッテリーあがりや故障などで解除できなくなったときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。



知識

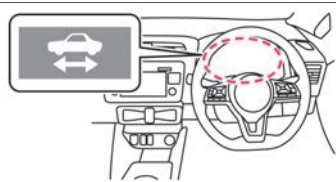
- 電動パーキングブレーキをかけたり解除したりすると、車両の後方部から作動音が聞こえることがありますが、これは異常ではありません。
- 電動パーキングブレーキは、パワースイッチがONのときのみ解除できます。
- 走行中、非常事態で電動パーキングブレーキをかける必要が生じたときは、電動パーキングブレーキスイッチを引き上げ続けてください。ブザーが鳴り、電動パーキングブレーキがかかります。スイッチから手を離すと、電動パーキングブレーキは解除されます。

知識

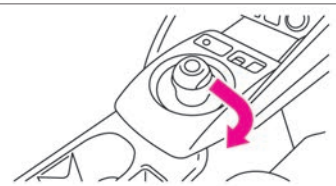
- パワースイッチがOFFまたはアクセサリーのときに、電動パーキングブレーキスイッチを引くと、電動パーキングブレーキスイッチの表示灯がしばらく点灯状態になることがあります。

発進のしかた

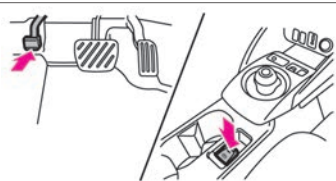
- 1 ブレーキペダルを踏んだままパワースイッチを押して、メーター内の走行可能表示灯が点灯していることを確認します。
➡ 始動のしかた (パワースイッチON) (P.244)



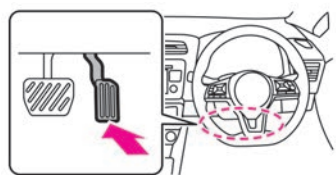
- 2 ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクトレバーを右手前にスライドさせ、シフトポジションをに切り替えます。



- 3 パーキングブレーキを解除します。
➡ パーキングブレーキの解除 (P.252)
➡ 電動パーキングブレーキの解除のしかた (P.254)



- 4 ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。



警告

- 発進するときは、アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。
急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

注意

- 停車中、e-PedalがOFFのときはブレーキペダルをしっかりと踏む。e-PedalがONのときは、アクセルペダルから足を離すことで自動的に停車状態を保持するが、必要に応じてブレーキペダルを踏む。
クリープ現象や坂道の傾斜により車が動き出し、事故につながるおそれがあります。
➡ e-Pedal (P.277)

アドバイス

- 電動パーキングブレーキをかけ、運転席シートベルトを着用せずにアクセルペダルを踏むと、電動パーキングブレーキが解除されず、電動パーキングブレーキが故障するおそれがあります。(電動パーキングブレーキ付車)

 知識

- 電制シフトの故障などにより、メーター内でシフトポジションを確認できないときは、セレクトレバー奥のシフトインジケーターで確認してください。
- 急な上り坂で発進するときは、ヒルスタートアシスト (🔄 P.295) が作動します。

走行のしかた

- シフトポジションを **D** にしたまま走行します。アクセルペダルとブレーキペダルの操作で、加速、減速を行います。
- 高速道路の入り口などで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込みます。
- 下り坂では、ガソリン車のエンジンブレーキの代わりに回生ブレーキ (➡ P.13) を併用して走行します。シフトポジションが **D** のときより **B** のほうが、回生ブレーキの効きが強くなります。速度が出すぎるときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。
- 回生ブレーキは、満充電時や低温時などにブレーキが弱くなることがあります。回生ブレーキが弱いときは、ブレーキペダルを踏んで減速してください。

警告

- 走行中はシフトポジションを **N** に切り替えない。
回生ブレーキが作動しないため、事故につながるおそれがあります。
- **e-Pedal**がOFFのときは、下り坂ではフットブレーキと回生ブレーキを併用する。
ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなり危険です。坂の勾配に応じて回生ブレーキを併用してください。
➡ [e-Pedal \(P.277\)](#)
- **e-Pedal**がOFFのときに、回生ブレーキの効きが弱くなった場合は、ブレーキペダルを踏んで減速する。
- **e-Pedal**がOFFのときに、坂道で駐車するときは、ブレーキペダルを踏んで車両を停止させる。
ブレーキペダルを踏まずにアクセルペダル操作のみで車両を停止させ続けると、走行用モーターが過熱するおそれがあります。停車時にはアクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。
- **e-Pedal**がONのときは、アクセルペダルを離すことで、強めの減速度で

警告

停車するまで減速し、停車中は停車状態を保持するが、必要に応じてブレーキペダルを踏む。



アドバイス

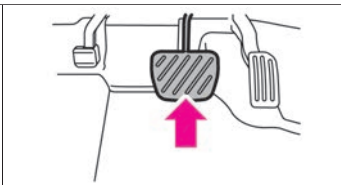
- 上り坂では、クリーブ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停車状態を保つような停車はしないでください。車両故障のおそれがあります。
- 上り坂でシフトポジションを **D** または **B** のまま故意に車両を後退させたり、下り坂で **R** のまま故意に車両を前進させたりしないでください。車両故障のおそれがあります。

知識

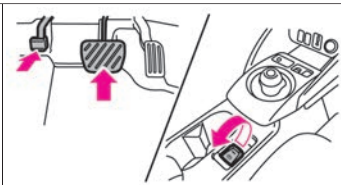
- 走行中にセレクトレバー上部の **Ⓢ** スイッチを押した場合は、操作が無効となります。（ブザーが鳴り、操作前のシフトポジションが維持されます。）

停車・駐車のかた

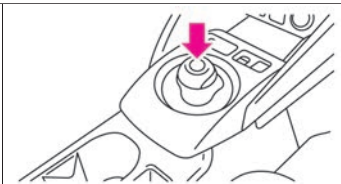
- 1 停車するときは、シフトポジションは**D**または**B**のままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。



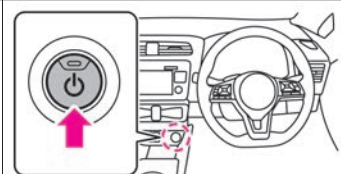
- 2 そのまま駐車するときは、ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。
 ① パーキングブレーキのかけかた (P.252)
 ② 電動パーキングブレーキのかけかた (P.253)



- 3 ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバー上部の③スイッチを押し、シフトポジションを**P**に切り替えます。



- 4 パワースイッチを押します。
 走行可能表示灯④が消灯していることを確認してから、ブレーキペダルからゆっくりと足を離します。



警告

- 駐車するときは、ガスライターなどに注意する。
 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしたり、しないでください。荷物を押しこんだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。

注意

- 長期間車両を駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があるので注意する。

アドバイス

- 炎天下で駐車するときは、車室内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車室内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

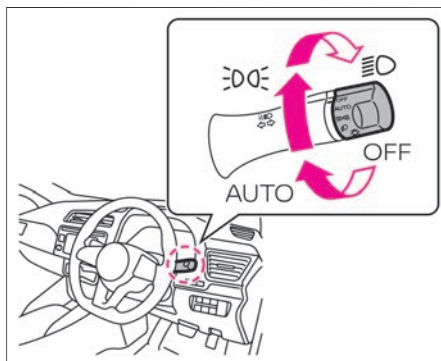
ライトスイッチ

ライトスイッチは、パワースイッチの状態に関係なく使用できます。

ライトスイッチの使いかた

スイッチを回すと、次のように点灯、消灯します。ランプが点灯しているときはテールランプ表示灯  が点灯します。

スイッチ位置	点灯するランプ
OFF	全ランプが消灯
AUTO	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯
	車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯



アドバイス

- 走行可能表示灯  が点灯していないときは、長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。

知識

バッテリーセーバー

- ランプを点灯したままパワースイッチをOFFにし、リモコンまたはドアハンドルのスイッチで施錠すると12Vバッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。（次回、運転席ドアを開けるとランプが再点灯します。）

オートレベライザー★

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると、自動的に照射方向を調整するシステムです。

ヘッドランプ消し忘れ警報

- パワースイッチがON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、ライトスイッチがOFFまたはAUTO以外の位置にあるとブザーが鳴ります。

ライトスイッチ

AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた

- スイッチ位置をAUTOの位置にすると、パワースイッチがONのとき、車外の明るさに応じてヘッドランプや車幅灯などを自動的に点灯、消灯させます。
- パワースイッチがOFFのときは消灯します。
- スイッチ位置がAUTOのときにフォグランプスイッチ★をONにすると、車外の明るさに関係なくフォグランプとヘッドランプが点灯します。

➡ フォグランプスイッチ★ (P.272)

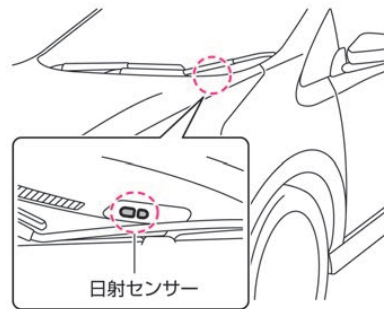
フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもしろライト」機能

- 歩行者事故が多く発生している夕暮れ時や雨天でのワイパー使用時にもランプを自動点灯します。



アドバイス

- 日射センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「オートライト感度調整」を選択すると、インテリジェントオートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもしろライト」機能付）の感度調整ができます。設定の詳細については、車両設定をお読みください。



- ② 画面の切り替えかた (P.131)
- ② 車両設定 (P.159)

ライトスイッチ

ハイビームアシストについて

先行車または対向車や周囲の明るさなどに
応じ、自動的に上向きと下向きを切り替え
ます。

- ライトスイッチがAUTOの位置でレバー
を前方に押すと、ハイビームアシストが
ONになります。
- 約25km/h以上で走行中、ヘッドランプ
が点灯すると作動します。
(メーター内のハイビームアシスト表示
灯が点灯)
- 約15km/h以下になると、下向きに切り
替わります。

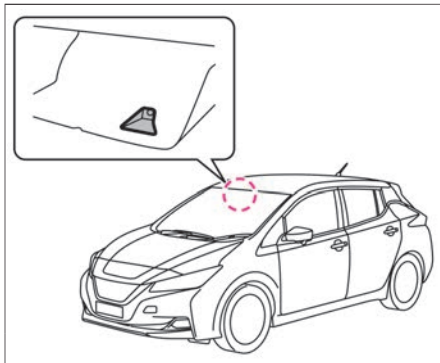
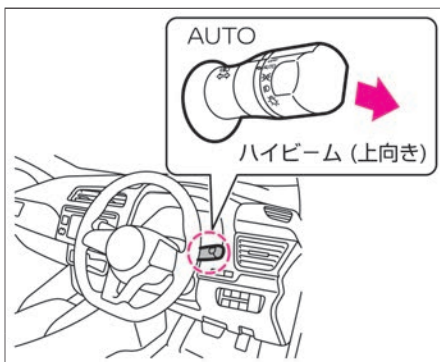
マルチセンシングフロントカメラについて

フロントガラス上部に周囲の状況を感じ
るためのカメラがあります。

ハイビームアシストを正しく作動させる
ため、次のことをお守りください。

- フロントガラスが汚れたら清掃してく
ださい。
- カメラの周辺にアクセサリやステッ
カーなどを取り付けないでください。
- カメラのレンズには触れないでくだ
さい。
- カメラおよびその周囲に強い衝撃を与
えないでください。

➡ マルチセンシングフロントカメラの取
扱い (P.502)



警告

- システムを過信しない。
常に周囲の状況を確認し、必要に応
じて上向きと下向きを手動で切り替
えてください。
- 次のようなときは、ハイビームアシ
ストが正しく作動しない場合がある
ため、必要に応じて上向きと下向き
を手動で切り替える。
 - － 悪天候のとき (雨、霧、雪、強風
など)
 - － 周囲にヘッドランプや尾灯に似た
光源があるとき
 - － 対向車または先行車が無灯火の
とき
 - － 対向車のヘッドランプが汚れてい
たり、光軸がずれているとき
 - － 明るさの急激な変化が連続してい
るとき
 - － 段差や起伏のある道路を走行して
いるとき
 - － カーブが多い道路を走行してい
るとき
 - － ミラーや標識など反射の強いもの
が前方にあるとき

ライトスイッチ

警告

- トレーラーやコンテナなど先行車両の後部の反射が強いとき
- 対向車のヘッドランプが破損または汚れているとき
- バンクやけん引などで車両が傾いているとき
- 次のような原因で、上向きと下向きの切り替わるタイミングが変化することがある。
 - 対向車または先行車のランプの明るさ
 - 対向車または先行車の向きや動き
 - 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している
 - 対向車または先行車が二輪車
 - 道路状況（カーブやこう配、路面状況など）
 - 乗車している人数や荷物の量

アドバイス

- ハイビームアシストが正しく作動しなかったり、作動中にメーターにハイビームアシスト表示灯が点灯しなかったりしたときは、ハイビームアシストが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。



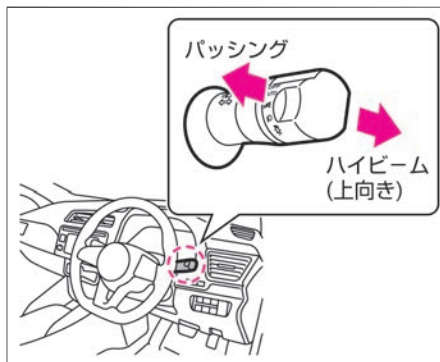
アドバイス

ハイビームアシスト表示灯 (P.129)

ライトスイッチ

ハイビーム（上向き）への切り替えかた

- ヘッドランプが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。
- 元の位置（中立位置）に戻すとロービームに戻ります。
- パッシングするときは、ライトスイッチの位置に関係なく、レバーを手前に引きます。
- ハイビームに切り替えているときは、ヘッドランプ上向き表示灯  が点灯します。
- ライトスイッチがAUTOの位置でハイビームに切り替えると、ハイビームアシスト（ P.266）が作動します。



アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

知識

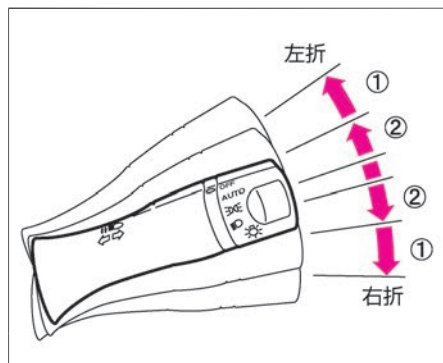
- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。

方向指示器の使いかた

パワースイッチがONのとき使えます。

- 右折または左折するときは、ライトスイッチを①の位置まで動かします。
- 車線変更などのときは、ライトスイッチを②の位置まで動かし軽く押さえます。スイッチを押さえている間、方向指示器が点滅します。

また、スイッチ②の位置まで上または下に押さえたあと、すぐに手を離したときは3回点滅し消灯します。（コンフォートフラッシャー機能）



アドバイス

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。

➡ 電球（バルブ）交換 (P.484)

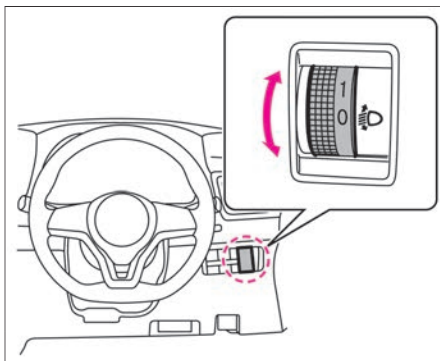
ヘッドランプレベライザースイッチ★

ダイヤル位置をヘッドランプの照らす方向（光軸）を調節します。
乗員の人数や荷物の重さなどに応じ、調節してください。

ヘッドランプレベライザースイッチの使いかた

ヘッドランプが下向きするとき、ダイヤルを回して調節します。

- 通常は、ダイヤルが0の位置で使います。
- ダイヤルを大きな数字の方へ回すほど、照らす方向は下向きになります。



アドバイス

- 乗車人員や荷物量の違いにより、ヘッドランプが上側を照らすときや、アップダウンの多い山道などで、前を走行する車のミラーや対向車のフロントガラスを照らすようなときは、照らす向きを下側に調節してください。



知識

- LEDヘッドランプ付車は、ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると、自動的に照射方向を調整するオートレベライザー機能が付いています。

ヘッドランプレベライザースイッチ★

■ ダイヤル位置の目安

次の表を目安に、乗員の人数や荷物の量に応じてダイヤル位置を選択してください。

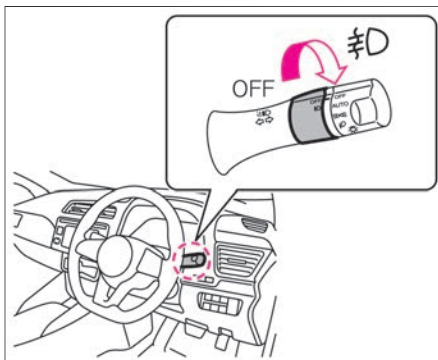
乗員	ラゲッジルームの積載状況	スイッチ位置
運転席のみ	積載なし	0
前席2名		
5名	積載なし	1
	満載	2
運転席のみ	満載	3

ランプをつける、ワイパーを使う フォグランプスイッチ★

雨、霧、雪などで視界が悪いとき、ヘッドランプの補助として使用します。

フォグランプの使いかた

- ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているとき使用できます。
- スイッチを回して ㊦ を●の位置に合わせて使用します。
- フォグランプが点灯しているときは、フォグランプ表示灯 ㊦ が点灯します。



知識

- ライトスイッチ位置がAUTOのときにフォグランプスイッチをONにすると、車外の明るさに関係なくフォグランプとヘッドランプが点灯します。

フォグランプ戻し忘れ警報

- ライトスイッチ位置がAUTOのとき、フォグランプスイッチをONにしたままパワースイッチをOFFにすると、約2秒間ブザーが鳴ります。

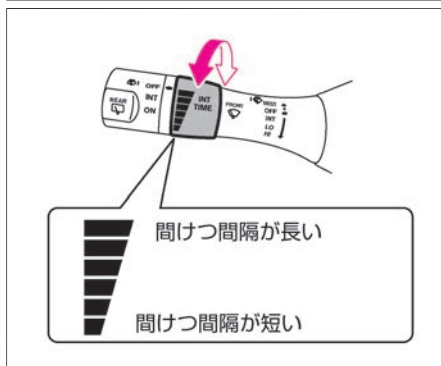
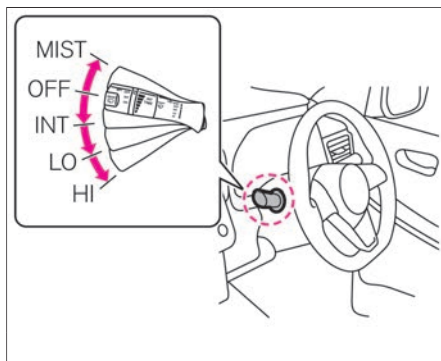
ワイパー・ウォッシャースイッチ

パワースイッチがONのとき使用できます。

フロントワイパーの使いかた

スイッチを動かすと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
MIST	レバーを上げている間作動します。 手を離すと自動的にOFFに戻ります。
OFF	停止します。
INT	間けつで作動します。 スイッチを回し、ワイパーの間けつ時間を調節します。
LO	低速で連続して作動します。
HI	高速で連続して作動します。



知識

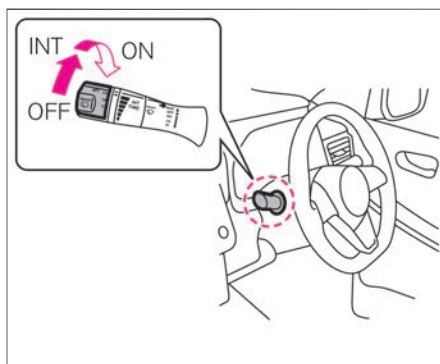
- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。
- ライトスイッチがAUTO位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくヘッドランプが点灯します。
➡ AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた (P.264)
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「車両設定」⇒「ワイパー」⇒「車速連動」を選択すると、車速連動機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、車両設定をお読みください。
➡ 画面の切り替えかた (P.131)
➡ 車両設定 (P.159)

ワイパー・ウォッシャースイッチ

リヤワイパーの使いかた

スイッチを回すと、次のように作動します。

スイッチ位置	作動
OFF	停止します。
INT	間けつで作動します。
ON	低速で連続して作動します。



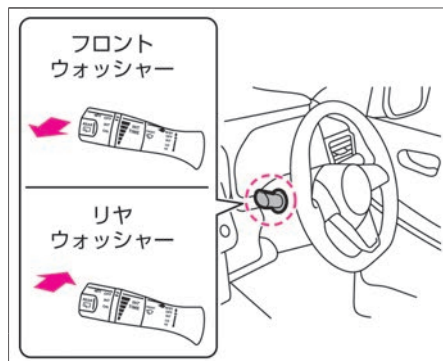
ウォッシャーの使いかた

フロントウォッシャー

- スイッチを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを引いている間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。

リヤウォッシャー

- スイッチを車両前方に押すと、ウォッシャー液が噴射します。
- スイッチを押している間はウォッシャー液の噴射とワイパーの作動が続き、レバーを離すとワイパーが数回作動してから停止します。



知識

- ウォッシャースイッチを操作したあと、ガラスに残ったウォッシャー液をふき取るため、約3秒後に一度ワイパーが作動します。(ドリップ拭き取り機能)

ワイパー・ウォッシャーを使うときの注意事項



警告

- 寒冷時は、ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターでガラスを温める。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にする。
寒冷時は、ガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



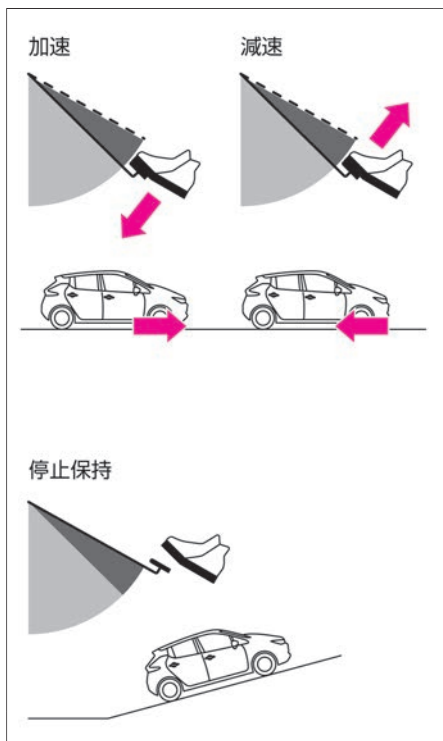
アドバイス

- 雪が降りそうなきや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分間程度）待ってから、再度スイッチを操作してください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでワイパーゴムがガラスに張り付いているときは、ワイパーを作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- 窓ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーをご使用ください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないときは、連続して30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

アクセルペダルの操作のみで減速や停車、停車状態の保持を行い、ブレーキペダルへの踏み替え負荷を低減することができます。

e-Pedalについて

- e-PedalをONにすると、回生ブレーキを強め、アクセルペダルの操作のみで楽に速度調整することができます。
また、アクセルペダルを緩めると、ブレーキペダル操作なしでもなめらかに停車し、停車したあとは自動的に停車状態を保持します。



警告

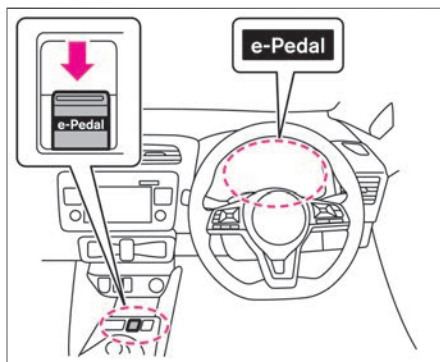
- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
機能には限界があるため、状況に応じてブレーキペダル操作を行い、安全運転に心がけてください。

知識

- e-Pedalはアクセルペダルを離したときの減速度が従来の車より強いいため、アクセルペダルを完全に離さず微調整することで、なめらかに減速することができます。

e-Pedalの使いかた

- パワースイッチがONのとき、e-Pedalスイッチを引くごとにON・OFFが切り替わります。（メーター内のe-Pedalインジケータに状態を表示します。）
- ➡ e-Pedalインジケータ (P.115)
- 停車中にe-PedalをOFFにするときは、ブレーキペダルを踏みながらe-Pedalスイッチを引いてください。



知識

- 一度パワースイッチをOFFにしてからEVシステムを再始動すると、e-PedalはOFFになります。
- 再始動後もe-Pedalの設定状態を維持したい場合は、アドバンスドライバアシストディスプレイで「設定 ⚙」⇒「運転支援システム」⇒「**e-Pedal**」⇒「モード記憶」を選択してください。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
- ➡ [画面の切り替えかた \(P.131\)](#)
- ➡ [運転支援システム \(P.154\)](#)
- e-PedalをOFFにすると、クリープ現象が発生します。
- e-PedalのON・OFFを切り替えると、減速の度合いが変化します。

e-Pedalの作動について

走行～停車

- アクセルペダルの操作によって加速・減速の度合いを調整できます。
- アクセルペダルを離すと、e-PedalがOFFのときよりも強めの減速度で、停車するまで減速します。
- 車速によって最大減速度が変わります。
- アクセルペダルを離しても減速度が足りないときは、ブレーキペダルを踏んでください。
- 所定以上の減速度のときは制動灯が点灯します。
- e-PedalがONのときも、ブレーキペダルを使用することができます。

停車～発進

- 停車したら、アクセルペダルを離している間は停車状態を保持します。
- 停車状態の保持中は制動灯が点灯します。
- 長時間停車するときは、シフトポジションを **P** に戻し、パーキングブレーキをかけてください。
- アクセルペダルを踏むことで、発進します。

後退

- シフトポジションが **R** のときも **D** と同じようにアクセルペダルの操作のみで加速・減速を調整し、停車状態を保持できます。

e-Pedalに関する注意事項



警告

- メーターに「e-Pedalシステム異常 減速、停車する際はブレーキを踏んでください」と警告メッセージ（ P.150）が表示されたときは、e-Pedalが作動しない場合があるため、ただちに日産販売会社で点検を受ける。
- メーターに「ブレーキを踏んでください」と警告メッセージ（ P.149）が表示されたときは、ブレーキペダルを踏む。
車両が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 停車状態を保持中に車両が動き出したり、減速中の減速度合いが足りない場合は、ただちにブレーキペダルを踏む。
車両が動きだしたり、止まりきらなかったりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 次の場合はシフトポジションを にしてパーキングブレーキが確実にかかっているか確認する。
車両が不意に動き出し重大な傷害や事故を起こすおそれがあります。
 - － 人が乗車するとき
 - － 荷物の積み下ろしをするとき
 - － 長時間停車するとき
- 過積載、急勾配、氷結路などの制動力が低下するときは、通常時の性能が発揮されない場合があるので、必要に応じてブレーキペダルを使用する。
e-Pedalによる減速および停車状態を保持の効果が十分に得られず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 次の場合はe-PedalをOFFにする。
 - － 洗車機を使用するとき
 - － 他の車両にけん引されるとき



アドバイス

- e-PedalがONのときは、e-PedalがOFFのときと比べてアクセルペダルの特性が大きく異なります。運転する前に、e-PedalのON・OFFをメーターで確認してから走行してください。
- e-PedalがONのとき、シフトポジションを **D** から **B** または、**B** から **D** に切り替えてもe-Pedalの特性は変わりません。
- e-Pedalのスイッチを誤って操作しないように注意してください。
- e-Pedalのモード記憶設定 (➡ P.278) は、「工場出荷設定」の「初期化」をしてもリセットされません。



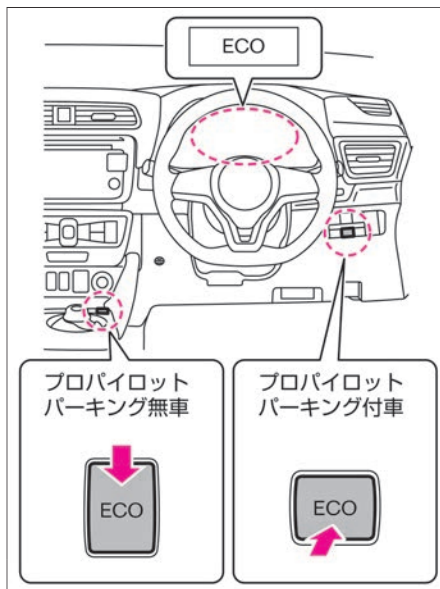
知識

- 以下の場合、e-Pedalは作動しません。
 - シフトポジションが **P**、**N** のときは、e-Pedalは作動しません。
 - 運転支援機能（クルーズコントロール★、プロパイロット★、インテリジェント エマージェンシーブレーキ）が作動しているときは、運転支援機能が優先されます。
 - 勾配では完全に停車しない、または停車状態の保持ができない場合があるので、必要に応じてブレーキペダルを踏んでください。

ECOモードを使うと、走行用モーターに供給する電力を抑えるため、航続可能距離を延ばすことができます。

ECOモードの使いかた

- パワースイッチがONのとき、ECOモードスイッチを押すごとにON・OFFが切り替わります。（ONのときはECOモードインジケータ「ECO」が点灯します。）



知識

- ECOモードのON・OFF設定は、パワースイッチをOFFにしても、再度設定変更するまで、その状態が維持されます。
- ECOモードを解除すると駆動力が変化します。ECOモードを解除するときは、周囲の安全を確認し、アクセルペダルから足を離して、スイッチの操作をしてください。
- 次のような加速が必要な場合は、必要に応じてECOモードをOFFにしてください。
 - ー 乗車人員や荷物量が多いとき
 - ー 急勾配を登坂走行するとき
- クルーズコントロール★またはプロパイロット★を使用しているときは、車両を一定速度に保つことを優先します。そのため、ECOモードをONにしても表示灯は点灯しますが航続可能距離は延びません。

クルーズコントロール★

クルーズコントロールは、アクセルペダルを踏まなくても一定の速度（約40km/h～100km/h）で走行できるシステムです。

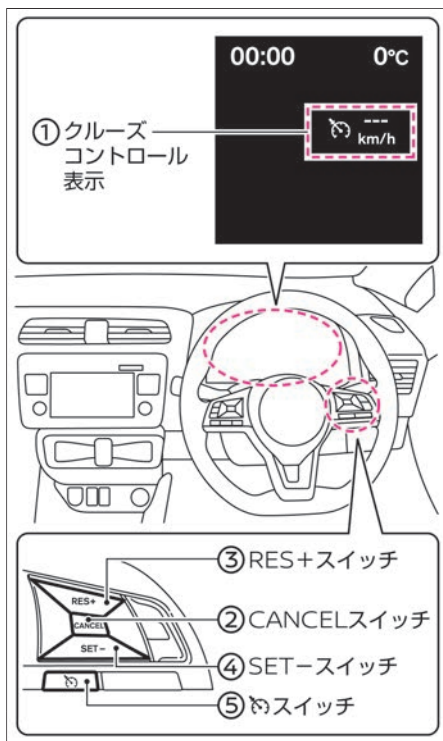
各部名称と機能

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

- ① **クルーズコントロール表示**
 スイッチをONにすると点灯します。セットすると設定した速度を表示します。

ステアリングスイッチ

- ② **CANCELスイッチ**
 クルーズコントロールを解除します。
- ③ **RES+スイッチ**
 設定速度を上げます。
 クルーズコントロールを解除後、解除前の設定速度に再度セットします。
- ④ **SET-スイッチ**
 設定速度を下げます。
 クルーズコントロールをセットします。
- ⑤ **スイッチ**
 クルーズコントロールのON・OFFができます。



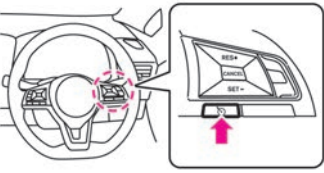
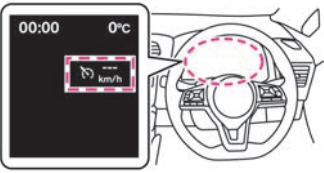
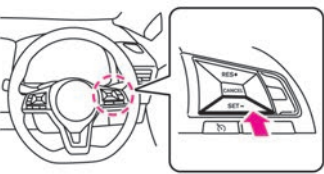
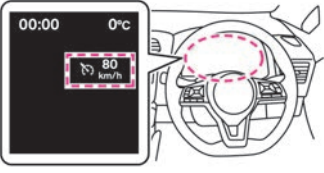
⚠ 注意

- クルーズコントロールを使用するときは、十分な車間距離をとる。
 車間制御は行わないため、ブレーキ操作制御や警報は行われません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。
- 次の状況では、クルーズコントロールを使用しない。
 - － 交通量の多い道や急カーブのある道
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
 - － 急な下り坂
- クルーズコントロールを使用しないときは、 スイッチを必ずOFFにする。
 誤ってセットされると事故につながるおそれがあります。
- クルーズコントロール表示が点滅し続けたりセットできないときは、日産販売会社で点検を受ける。
 クルーズコントロール表示が点滅したときは、安全な場所に停車して、パワースイッチを一旦OFFにし、再始動

注意

してから再度クルーズコントロールを
セットしてください。点滅が続いたり、
セットできないときは日産販売会
社で点検を受けてください。

定速走行のしかた

1	ハンドルにある  スイッチを押し、クルーズコントロールをON（待機状態）にします。	
2	アドバンスドドライブアシストディスプレイにクルーズコントロール表示が点灯していることを確認します。 (表示が白色に点灯)	
3	設定したい速度まで加速または減速し、SET-スイッチを押します。	
4	スイッチを離すと、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示された速度で定速走行を開始します。 (表示が緑色に点灯)	

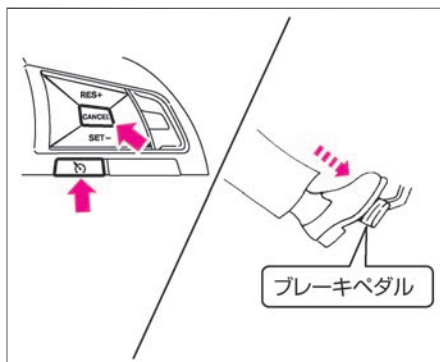
知識

- 定速走行中、一時的に加速したいときはアクセルペダルを踏みます。加速後にアクセルペダルを離すと、徐々に設定車速に戻ります。

定速走行の解除のしかた

次の操作をすると、定速走行が解除されます。

- CANCELスイッチを押す
-  スイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む



アドバイス

- CANCELスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。(アドバンスドドライブアシストディスプレイ内のクルーズコントロール表示が白色に点灯)
もう一度、定速走行にする場合は、再度SET-スイッチを押します。(アドバンスドドライブアシストディスプレイ内のクルーズコントロール表示が緑色に点灯)
- 次の場合は、自動的に解除されます。
 - ー 速度が30km/h以下になったとき
 - ー 設定速度より約13km/h以上速度が低下したとき
 - ー VDCが作動したとき
 - ー タイヤが空転したとき
 - ー シフトポジションを**N**に入れたとき
 - ー システムに異常があるとき

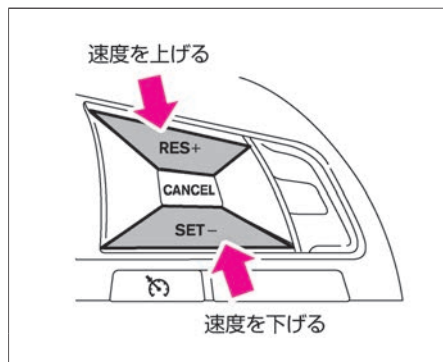
設定速度の変更のしかた

速度を上げる

- 定速走行中にRES+スイッチを押し続けると加速します。希望の速度で手を離します。

速度を下げる

- 定速走行中にSET-スイッチを押し続けると減速します。希望の速度で手を離します。



知識

- アクセルペダルまたはブレーキペダルの操作でも設定速度を調節できます。アクセルペダルまたはブレーキペダルの操作で速度を調節し、希望の速度でSET-スイッチを押します。

ABS（アンチロックブレーキシステム）

ABSとは、急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロックを防止して、車両の安定性を向上させるとともにハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

■ ABSについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- 危険だと感じたら、ためらわず思い切りブレーキペダルを踏み込んでください。
- ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。
- パワースイッチをONにしたときや、EVシステムを始動後最初の発進時に、モータールーム内から音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

なお、車両を確実に停車させるため、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが約10km/h以下では作動しません。

警告

- **カーブの手前では十分に減速する。**
ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車両と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早めの操作で安全運転を心がけてください。
- **でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、特に速度を控え、車間距離を十分にとる。**
ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなる場合があります。このような道を走行するときは、特に速度を控え、車間距離を十分にとって運転してください。
- **タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着する。**
ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

VDCは、横滑りや駆動輪の空転を抑えて走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

VDCの機能について

- VDCのシステムには次の機能があります。
 - － VDC機能：走行中の横滑り状態をセンサーで判別し、走行時の車両安定性を向上させる機能です。
 - － トラクションコントロール機能：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、モーターの出力を抑えることにより、駆動力およびハンドルの操作性を向上させる機能です。
 - － ブレーキLSD機能：滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保する機能です。
 - － ABS機能：ABS（➡P.288）

注意

- **滑りやすい路面やカーブの手前では速度を落とす。**
この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では、特に速度を落とし安全運転を心がけてください。
- **次の場合、VDC警告灯が点灯し正常に作動しないことがあるので注意する。**
 - － サスペンション、タイヤ、ブレーキなどを純正品以外に交換したり、改造したとき
 - － サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗および劣化した状態で走行したとき
- **VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着する。**

知識

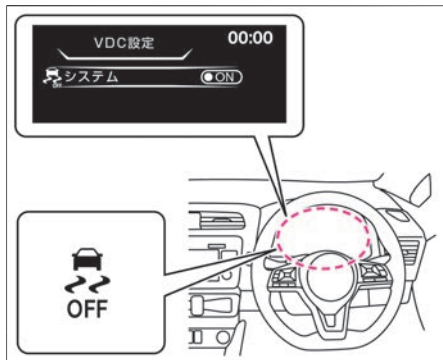
- VDC作動時は、ブレーキの作動により音や振動を発生する場合がありますが異常ではありません。

VDCの作動について

- VDCの作動と警告灯
 - － VDCが作動しているときは、メーター内のVDC警告灯  が点滅します。
 - － トラクションコントロール機能のみが作動しているときもVDC警告灯  が点滅します。VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。
- 次の場合、VDC警告灯  が点灯することがあります。一度パワースイッチをOFFにし、再度ONするとVDC警告灯は消灯します。
 - － 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動く物の上に車があるとき
 - － 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行したとき

VDCのON・OFFのしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「VDC設定」⇒「システム」を選択すると、VDC機能のON・OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、VDC設定をお読みください。
 - ➡ 画面の切り替えかた (P.131)
 - ➡ VDC設定 (P.154)
- VDC機能をOFFに切り替えると、VDCが停止し、VDC OFF表示灯  が点灯します。
- 再度、VDCを使用（ON）するときは、もう一度アドバンスドドライブアシストディスプレイでVDC機能をONに切り替えます。VDC OFF表示灯  が消灯し、VDCがONになります。



アドバイス

- VDCが作動しているときは、ぬかるみや雪道から脱出するときに、スリップ状態を検知するため、アクセルペダルを踏み込んでタイヤの回転数が上がらないことがあります。タイヤの回転数を上げたいときはアドバンスドドライブアシストディスプレイでVDCを停止してください。
- VDC機能をOFFにすると、VDCのすべての機能と、次の機能が停止します。(ABS機能およびブレーキLSD機能を除く)
 - ー インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）（➡P.293）
 - ー プロパイロット★（➡P.301）
 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキ（➡P.337）
 - ー 踏み間違い衝突防止アシスト★（➡P.347）
 - ー インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）★（➡P.376）

知識

- パワースイッチをONにするたびに、VDCは自動的にONになります。
- VDCが作動すると発進時や加速時に車体およびペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- パワースイッチをONにしたときや、EVシステムを始動後最初の発進時に、モータールーム内から音が聞こえることがありますが、システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

シャシー制御

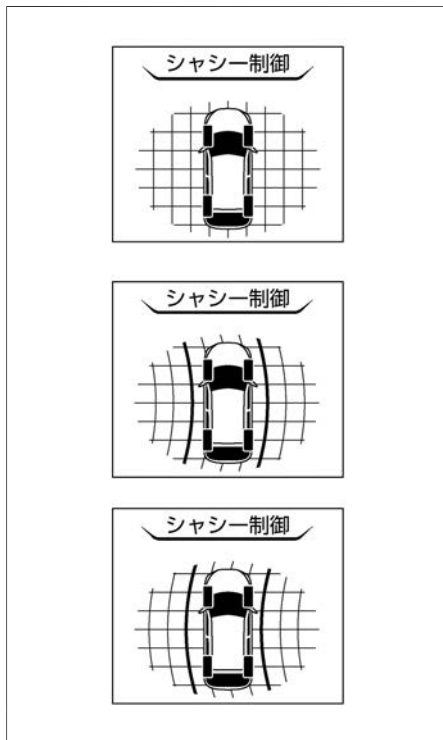
シャシー制御には、インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）があります。

■ インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）

運転者のハンドル、アクセル、ブレーキ操作を検知し、それらの情報から各輪のブレーキを制御して、車両の挙動を滑らかにすると同時に、応答性を高めるなどして安定感のあるコーナリングを実現します。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「シャシー制御」に切り替えると、インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）の作動を画面で確認することができます。画面はハンドル操作に合わせた表示を行います。

詳しくは、➡ 画面の切り替えかた (P.131)をお読みください。



⚠ 注意

- インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）の機能を過信しない。
インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）は、すべての走行環境において効果があるわけではないため、機能を過信せず安全運転を心がけてください。

🚗 アドバイス

- アドバンスドドライブアシストディスプレイに「シャシー制御システム故障」と警告が表示されたときは、故障により機能が正しく作動しないことがあります。警告が表示されたときは、日産販売会社で点検を受けてください。
警告メッセージ (➡ P.143)

📖 知識

- ハンドル操作(方向)に合わせていずれかの画面が表示されます。
- インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上シ

次ページに続く

知識

システム)をOFFにしている場合、急ハンドル時などには作動する場合があります。

- VDCをOFFにすると、インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）もOFFになります。

（VDCをOFFにしたときは、インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）が完全に停止します。）

- システムが作動すると、ブレーキペダルに振動を感じたり、音が聞こえたりする場合がありますが、システムの作動音で異常ではありません。また、減速感を感じることがありますが、異常ではありません。

- アドバンスドドライバアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「シャシー制御」⇒「コーナリングスタビリティアシスト」を選択すると、インテリジェント トレースコントロール（コーナリング安定性向上システム）機能の **ON・OFF** を切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

知識

- ➡ 画面の切り替えかた (P.131)
- ➡ 運転支援システム (P.154)

ヒルスタートアシスト

ヒルスタートアシストは、上り坂での発進を補助するシステムです。

ヒルスタートアシストについて

- 上り坂で発進するとき、ブレーキペダルからアクセルペダルへ踏み替える間に発生する車両の後退を防ぎます。
- シフトポジションが **P**、**N** 以外するとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。

注意

- **ヒルスタートアシストの機能を過信しない。**
凍結している路面や泥状の坂道では、車両がスリップして後退することがあります。特に安全運転に心がけてください。
- **坂道での駐停車にヒルスタートアシストを使用しない。**
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **停車するときは、ブレーキペダルを踏み続ける。**
この装置は、ブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。駐車するときは確実にシフトポジションを **P** に入れ、パーキングブレーキをかけてください。

アドバイス

- セレクトレバーを操作した直後はブレーキを踏んだ状態で約1秒待ってから発進してください。シフトポジションを **P** から **D** または **N** から **D** に操作した直後は、ヒルスタートアシストが作動しないことがあります。

次ページに続く

知識

- VDC警告灯  (➡P.123) が点灯したときは作動しません。
- ヒルスタートアシストが作動しているとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生することがありますが、異常ではありません。

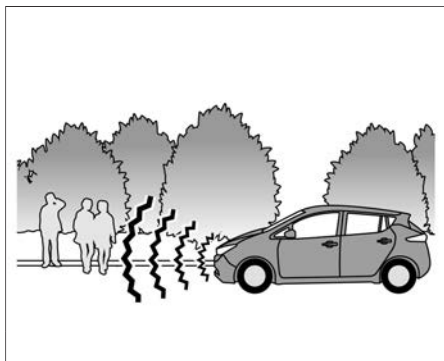
車両接近通報装置

車両接近通報装置は、低速走行中に車両が接近していることを音で歩行者に知らせるシステムです。

車両接近通報装置について

車両接近通報装置は、走行可能表示灯が点灯しているとき、次の場合に作動します。

- 発進時、車速が30km/h以内のとき
- 減速時、車速が25km/h以下になったとき
- シフトポジションが**R**のとき



注意

- 車両接近通報装置は、必要最低限以外は**OFF**にしない。
高速道路での渋滞中など、周囲に音を出し、歩行者に注意を知らせる必要が明らかにない場合を除きOFFにしないでください。車両の接近に歩行者が気付かず、事故の原因になるおそれがあります。
- 車両接近通報装置の音が聞こえないときは、日産販売会社で点検する。
車両接近通報装置の音が聞こえないときは、安全で静かな場所に停車し、音が聞こえるか確認してください。ブレーキペダルを確実に踏みながら、シフトポジションを**R**にし、窓を開けて音が聞こえるか確認します。車両前方から音が聞こえないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

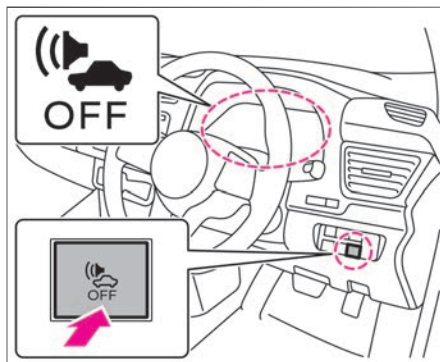
知識

- 車両接近通報装置の音を大きくしたい場合は、日産販売会社へご相談ください。音を小さくすることはできません。

車両接近通報装置の一時的な停止のしかた

車両接近通報装置の音を一時的に停止（OFF）するときには、車両接近通報装置一時停止スイッチを押します。

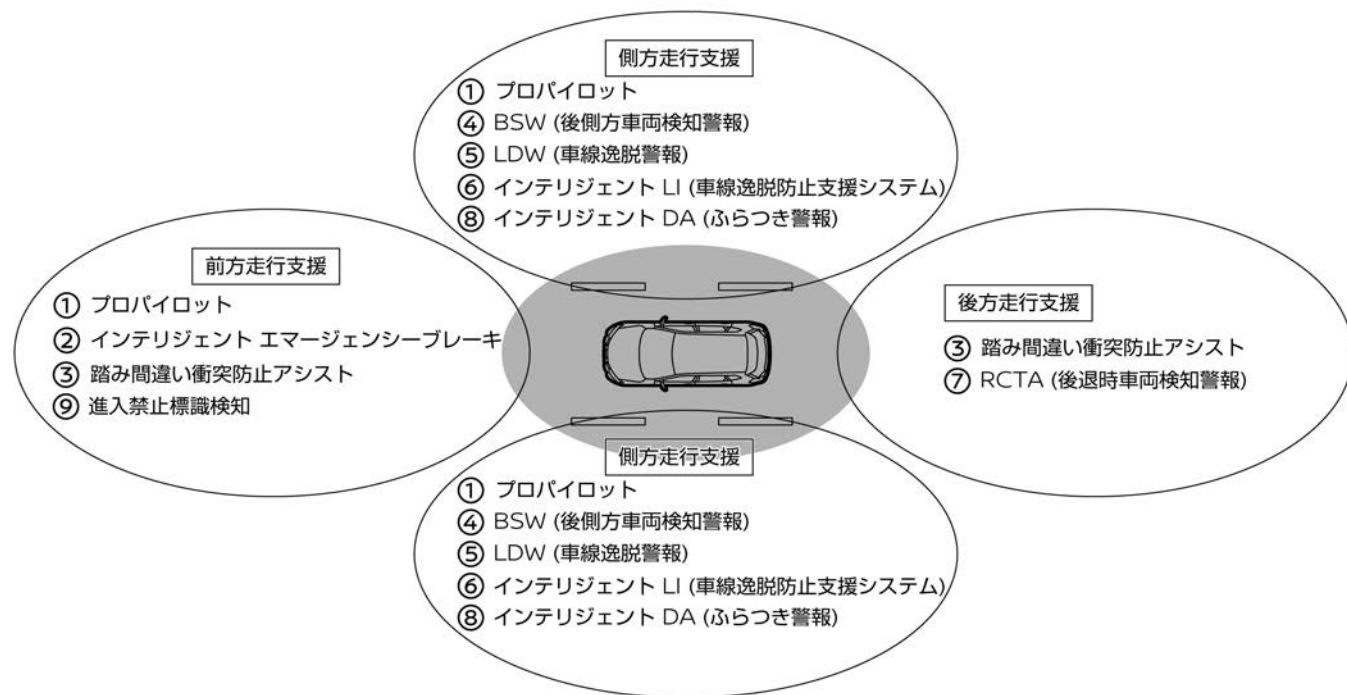
- 一時的に音が出なくなり、車両接近通報音一時停止表示灯  が点灯します。
- 再度、車両接近通報装置を使用（ON）するときには、もう一度車両接近通報装置一時停止スイッチを押します。車両接近通報音一時停止表示灯  が消灯し、車両接近通報装置がONになります。



知識

- パワースイッチをONにするたびに、車両接近通報装置は自動的にONになります。

走行支援システムについて

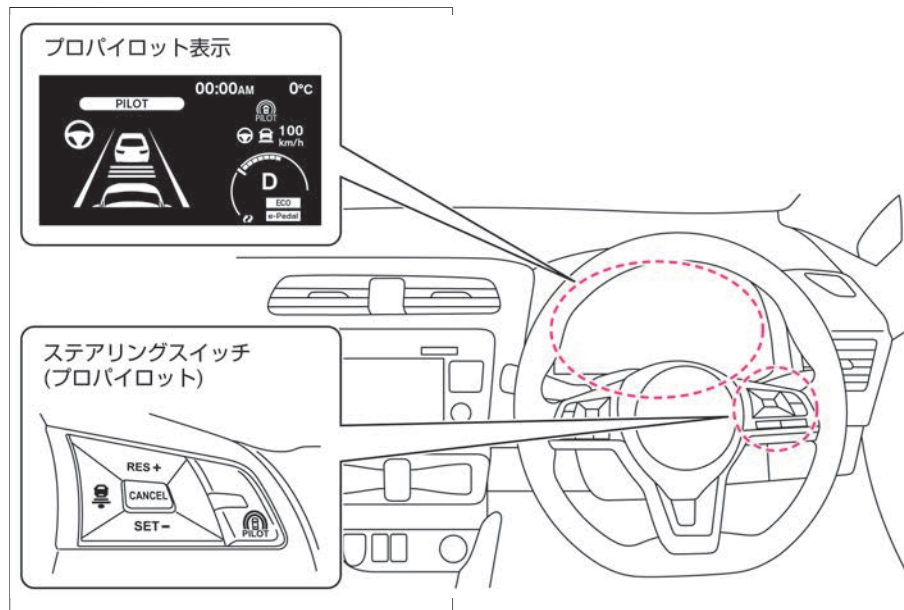


- ① **プロパイロット★**
走行中、前方車両との車間距離を自動制御し、前方車両停止時は停車してその状態を保持します。また、走行車線内を走行するようにステアリングを制御することで運転操作の負担を減らします。(➡ P.301)
- ② **インテリジェント エマージェンシーブレーキ**
前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報と自動ブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。(➡ P.337)
- ③ **踏み間違い衝突防止アシスト★**
進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などがいる場所で、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いやブレーキ操作が遅れたとき、警報音と表示で警告し、さらに過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。(➡ P.347)
- ④ **BSW（後側方車両検知警報）★**
車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合には警報によって運転者に注意を促します。(➡ P.367)
- ⑤ **LDW（車線逸脱警報）**
運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報によって注意を促します。(➡ P.376)
- ⑥ **インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）★**
運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、運転者が車線内に戻す操作を支援します。(➡ P.376)
- ⑦ **RCTA（後退時車両検知警報）★**
後退時に、後方を横切ろうとする車両に衝突するおそれがあるとき、警報によって注意を促します。(➡ P.384)
- ⑧ **インテリジェント DA（ふらつき警報）★**
ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したとき、警報音と表示により運転者に休憩を促します。(➡ P.393)
- ⑨ **進入禁止標識検知**
運転者に車両進入禁止標識があることを知らせ、車両進入禁止区域を走行しないように注意を促します。(➡ P.396)

プロパイロット★

プロパイロットは、運転者が設定した車速を上限に先行車と車速に応じた車間距離を保ちながら、車線中央付近を走行するための運転操作を支援します。

システムに関連する表示とスイッチ



⚠ 警告

- 高速道路や自動車専用道路で使用する。
プロパイロットは、高速道路や自動車専用道路の直線や緩やかなカーブでの使用を想定して設計されています。一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので使用しないでください。
- プロパイロットの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転に心がける。
自車の前への急な割り込みや先行車が急ブレーキをかけたとき、急なカーブを走行するとき、悪天候などでは、適切な減速や操舵制御が行えず先行車に接近したり、レーンマーカーに近づくことがあります。先行車との車間距離、自車の車線内の位置、周囲の状況に応じて自らアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作し、常に安全運転に心がけてください。レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは、左側に引かれた線のことを示します。
- 手放し運転を行うことはできない。
運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転に心がけてください。

次ページに続く



警告

- 停止中の車両には反応しない。
料金所や渋滞の最後尾で停止中の車両に対しては減速しません。十分注意してください。

プロパイロットについて

- プロパイロットのシステムには次の機能があります。

インテリジェント クルーズコントロール

- 先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速(約30km/h～100km/h)を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。
 - 先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。一度停止すると、インテリジェント クルーズコントロールは停止した状態を保持します。
 - 先行車が発進したときは、ステアリングスイッチのRES+スイッチを押すか、アクセルペダルを踏むと停止状態を解除し、再びインテリジェント クルーズコントロールによる追従走行を開始します。
 - 先行車を検出していない場合は運転者がセットした車速で定速走行します。(約30km/h以下では前方に車両がない場合使用できません。)
- ➡ インテリジェント クルーズコントロールの作動 (P.309)

ハンドル支援

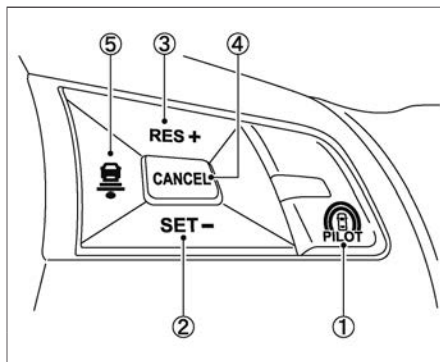
- 車線中央付近を走行するようにステアリングを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。(約50km/h以下では前方に車両がいる場合に作動できます。)
- ➡ ハンドル支援の作動 (P.319)

知識

- アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができる定速制御機能については、➡ 定速制御機能について (P.331)をお読みください。

ステアリングスイッチ

- ① **プロパイロットスイッチ** 
プロパイロットのON・OFFができます。
- ② **SET-スイッチ**
SET-スイッチを押したときの車速でプロパイロットを開始できます。設定速度を下げるができます。
- ③ **RES+スイッチ**
プロパイロットを解除後、解除前の設定速度で再び開始することができます。設定速度を上げることができます。
- ④ **CANCELスイッチ**
プロパイロットの解除ができます。
- ⑤ **車間設定スイッチ** 
車間設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。

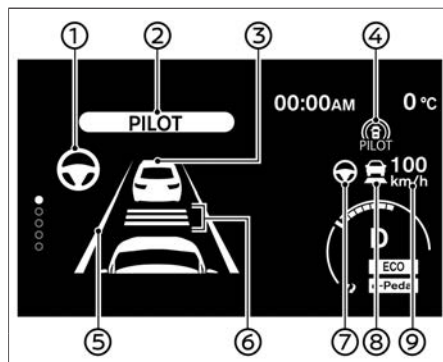


知識

- プロパイロットをONにすると、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）も同時にONになります。詳しくは、 LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）★(P.376)をお読みください。

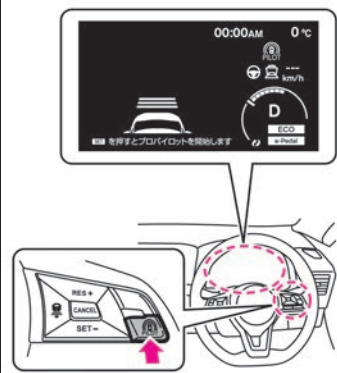
■ アドバンスドドライブアシストディスプレイ

- ① ハンドル支援作動表示
ハンドル支援の作動状態を色で表示します。
- ② プロパイロット作動表示
プロパイロットが作動すると表示します。
- ③ 先行車検出表示
先行車検出の有無をお知らせします。
- ④ プロパイロット作動灯
プロパイロットの作動状態を色で表示します。
- ⑤ 車線検出表示
車線検出の有無をお知らせします。
- ⑥ 車間設定表示
車間設定を表示します。
- ⑦ ハンドル支援作動灯／警告灯
ハンドル支援の作動状態を色で表示します。
- ⑧ 車速制御作動灯／警告灯
車速制御の作動状態を色と形で表示します。
- ⑨ 設定車速表示
設定車速を表示します。



プロパイロットの使いかた

- 1** プロパイロットスイッチ  を押します。
 ・プロパイロットがONになります。
 ・アドバンスドドライブアシストディスプレイにプロパイロットの状態が表示されます。



- 2** 設定したい速度まで加速または減速します。

知識

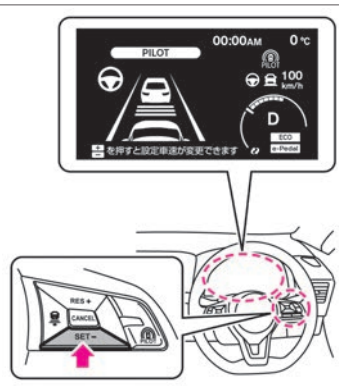
- プロパイロットには次の機能があります。
 - ➡ インテリジェント クルーズコントロールの作動 (P.309)
 - ➡ ハンドル支援の作動 (P.319)
- 次の場合は、プロパイロットの制御を開始することができません。（設定車速表示が約2秒間点滅します。）



- ー 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアが開いているとき
- ー 運転席シートベルトを着用していないとき
- ー 車速が約30km/hを下回っていて、先行車両を検出していないとき
- ー シフトポジションが**D**または**B**以外のとき
- ー 電動パーキングブレーキが作動しているとき
- ー ブレーキを踏んでいるとき

3

SET-スイッチを押します。
スイッチを押したときの速度が設定速度になり、プロパイロットの制御が開始します。
(車速30km/h以下で先行車を検出しているときにスイッチを押した場合、設定速度は30km/hになります。)
プロパイロット作動灯、プロパイロット作動表示が青色で点灯します。



知識

- プロパイロットスイッチ  を約1.5秒押し続けると、定速制御機能に切り替わります。
➡ 定速制御機能について (P.331)
- 車間設定はプロパイロットスイッチ  をONするたびに「長」に設定されます。
- パワースイッチをOFFにするとプロパイロットは自動的にOFFになります。
- プロパイロットには次の機能があります。
➡ インテリジェント クルーズコントロールの作動 (P.309)
➡ ハンドル支援の作動 (P.319)
- 次の場合は、プロパイロットの制御を開始することができません。
(設定車速表示が約2秒間点滅します。)



- ー プロパイロット パーキング★が作動しているとき
- ー VDCをOFFにしたとき
- ー VDC/TCSが作動したとき

次ページに続く

知識

- ー タイヤが空転したとき
- ー 雨、雪、霧、またはカメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき
- ー ワイパーを高速で作動させたとき
- 車間設定はプロパイロットスイッチ  をONするたびに「長」に設定されます。
- パワースイッチをOFFにするとプロパイロットは自動的にOFFになります。

インテリジェント クルーズコントロールの作動

先行車を検出しているとき

- 運転者がセットした車速(約30km/h～100km/h)を上限に、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。先行車検出表示が点灯し、車速制御作動灯が定車間表示(緑)で点灯します。

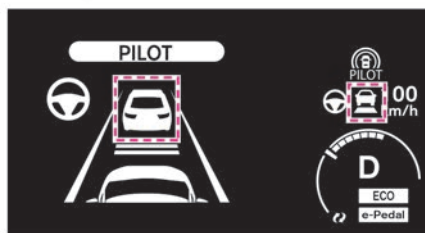
先行車が停止したとき

- インテリジェント クルーズコントロールで走行中に先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。一度停止すると、インテリジェント クルーズコントロールは停止した状態を保持します。(停止した状態を保持しているときは、“RES+を押すと再開します”と表示されます)

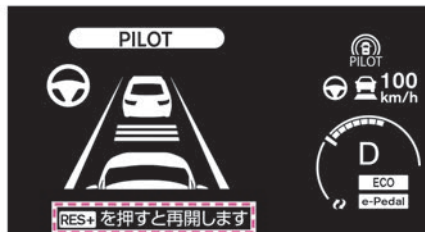
先行車が発進したとき

- インテリジェント クルーズコントロールで停止状態を保持しているときに先行車が発進したときは、RES+スイッチを押すか、アクセルペダルを踏むと停止状態は解除され、再びインテリジェント クルーズコントロールによる追従走行を開始します。

追従走行時



車両停止保持時



⚠ 注意

- インテリジェント クルーズコントロールで自車が停止した場合、停止した状態を保持するまでは注意してください。

📖 知識

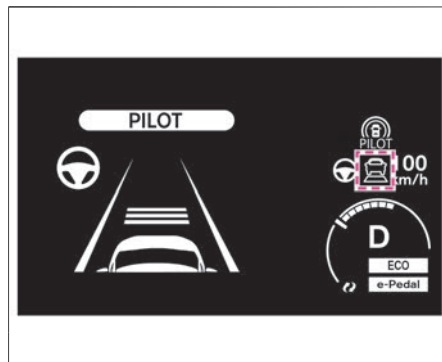
- 車間設定スイッチ により、車間を設定することができます。
➡ 車間距離設定の変更のしかた (P.314)
- インテリジェント クルーズコントロールの制御によりブレーキが作動した場合は、自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。
- 車両停止保持状態のときに、RES+スイッチを押すと、約3秒間は発進待機状態になります。(車両停止保持状態が解除されます)
- インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止した後、約3分を経過すると、解除音とともに電

 知識

動パーキングブレーキが作動し、インテリジェント クルーズコントロールは解除されます。

先行車を検出していないとき

- 運転者が設定した速度で、定速走行します。先行車検出表示が消灯し、車速制御作動灯が定速表示（緑）で点灯します。



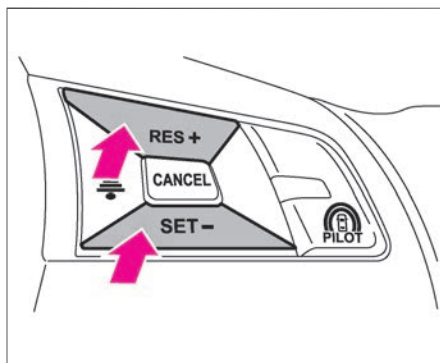
知識

- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 先行車を検出していない場合、車速が約25km/h以下になると、インテリジェント クルーズコントロールは解除されます。

設定車速の変更のしかた

設定車速が5km/hきざみで変更できます。

- 設定車速を上げたいときは、RES+スイッチを押します。
- 設定車速を下げたいときは、SET-スイッチを押します。



⚠ 注意

- 車間制御しているときは、先行車に合わせた車速に制御されるため、**RES+スイッチを押して、設定車速を上げても加速しません。**

このとき機能上は設定車速を変更しているため、先行車を検出しなくなるとその設定した車速まで加速します。設定車速はアドバンスドライバアシストディスプレイの設定車速表示を確認しながら変更してください。

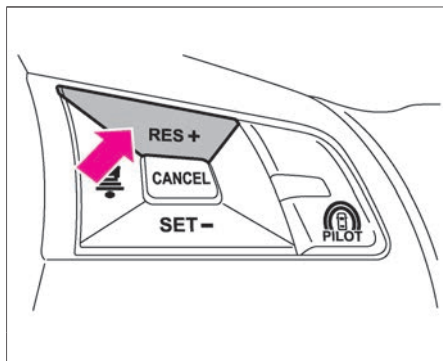
■ 一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

- アクセルペダルを踏むと、加速します。
- アクセルペダルを離すと、元の制御状態に戻ります。

減速したいとき

- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。
- 解除前の設定速度で再びセットしたいときは、RES+を押します。



⚠ 注意

- アクセルペダルを踏んでいるときは、インテリジェント クルーズコントロールによるブレーキ制御も接近警報も行わない。
- 通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて自動的に加速、減速を行います。しかし車線変更などで加速が必要なときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

📖 知識

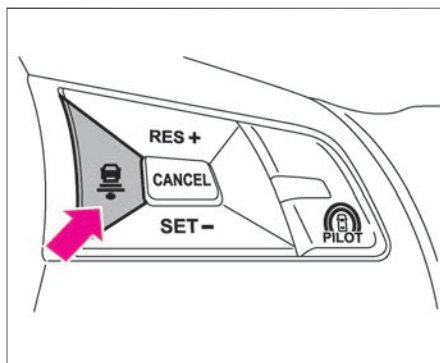
- アクセルペダルを踏んで加速した場合や、SET-で設定速度を下げた場合などで設定速度より実際の速度の方が高くなったときは、設定速度表示が点滅します。



車間距離設定の変更のしかた

先行車との車間距離を交通状況に応じて選ぶことができます。インテリジェント クルーズコントロール制御中またはセット待機状態のときに車間設定を切り替えることができます。

- 車間設定スイッチを押すごとに「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。



知識

- 車間距離は車速に応じて変わり、速度が高いほど長くなります。

車間設定	ディスプレイ
長	
中	
短	

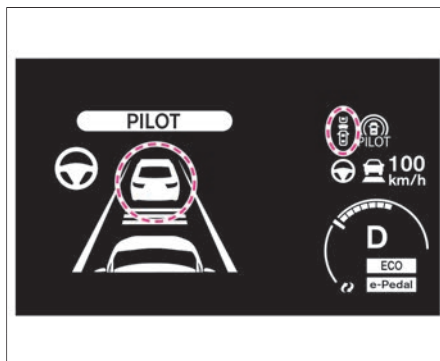
- プロパイロットをOFFにすると、車間設定は「長」に戻ります。（プロパイロットスイッチ  をONするたびに車間設定は「長」に戻ります。）

割り込み検知

- 自車に近い位置に他車が割り込んできたときは、“ポーン”という音とともに先行車検出表示が点滅し、運転者にお知らせします。

接近警報

- 車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーとアドバンスドドライバアシストディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。
- 先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときはブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴り、アドバンスドドライバアシストディスプレイの先行車検出表示および接近警報表示が点滅します。



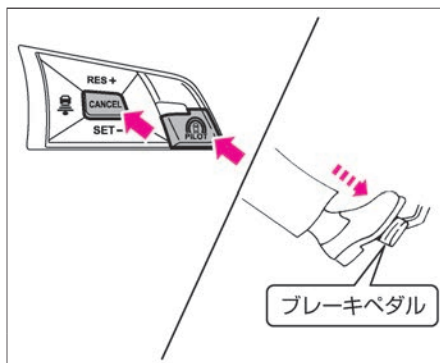
知識

- 接近警報が頻繁に作動するような状況では、インテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合には接近警報が作動しないことがあります。
 - ー 先行車との相対速度が小さいとき（ほぼ同じ速度で走っているとき）
 - ー 先行車の方が自車より速いとき（車間距離が次第に離れていくとき）
 - ー 他車が至近距離に割り込んできたとき
- 料金所や渋滞の最後尾で停止中の車両に対しては接近警報は作動しません。

インテリジェント クルーズコントロールの解除のしかた

次のいずれかの操作でインテリジェント クルーズコントロールが解除されます。

- CANCELスイッチを押す
- プロパイロットスイッチ  を押す
- ブレーキペダルを踏む
(インテリジェント クルーズコントロールにより、自車が停止状態を保持しているときを除く)



注意

- 車から離れるときは、必ずプロパイロットスイッチを押し、プロパイロットをOFFにし、シフトポジションを  に入れ、パワースイッチをOFFにする。

インテリジェント クルーズコントロールの自動解除

- 次の場合は、解除音とともにインテリジェント クルーズコントロールが自動的に解除されます。
 - － 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアを開けたとき
 - － 運転席のシートベルトを解除したとき
 - － 先行車を検出していないときに、車速が約25km/hを下回ったとき
 - － インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止後、約3分が経過したとき
 - － シフトポジションを **D** または **B** 以外にしたとき
 - － 電動パーキングブレーキをかけたとき
 - － VDCをOFFにしたとき
 - － VDC/TCSが作動したとき
 - － タイヤが空転したとき
 - － 雨、雪、霧、またはカメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき
 - － ワイパーを高速で作動させたとき
 - － プロパイロット パーキング★の制御を開始したとき



アドバイス

- インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止状態を保持中に運転席ドアを開けたとき、電動パーキングブレーキが正常に作動しなかった場合は“停車を維持できません ブレーキを踏んでください”と警告メッセージが表示されます。



知識

- インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止状態を保持しているとき、次の条件により、インテリジェント クルーズコントロールが解除されると電動パーキングブレーキが作動します。
 - － 運転席、助手席、後席、またはバックドアのいずれかのドアを開けたとき
 - － 運転席のシートベルトを解除したとき
 - － インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止後、約3分が経過したとき
 - － シフトポジションを **D** または **B** 以外にしたとき
 - － VDCをOFFにしたとき

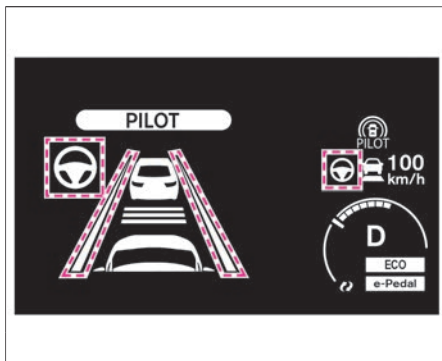
知識

- － 雨、雪、霧、またはカメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき
- － ワイパーを高速で作動させたとき
- － インテリジェント クルーズコントロールに異常があるとき
- － CANCELスイッチを押したとき
- － プロパイロットスイッチ  を押したとき

■ ハンドル支援の作動

車線中央付近を走行するようにステアリングを制御し、運転者のハンドル操作を支援します。

- ハンドル支援は、次の条件を満たすとき作動することができます。
 - － インテリジェント クルーズコントロールの制御が開始しているとき
 - － 両側のレーンマーカータを検出しているとき
レーンマーカータとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。
 - － 先行車を検出しているとき（車速が約50km/hを下回っている場合のみ）
 - － 運転者がハンドルを持っているとき
 - － 車線の中央を走行しているとき
 - － 方向指示器が作動していないとき
 - － ワイパーが高速または低速で作動していないとき
- ハンドル支援が作動すると、ブザーが鳴るとともにハンドル支援表示灯、ハンドル支援作動表示、車線検出表示が緑色になります。



■ ハンドル支援のON・OFFのしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「プロパイロット」⇒「ハンドル支援」を選択すると、ハンドル支援のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

➡ [画面の切り替えかた \(P.131\)](#)

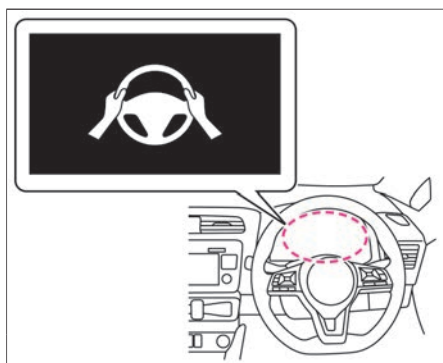
➡ [運転支援システム \(P.154\)](#)

知識

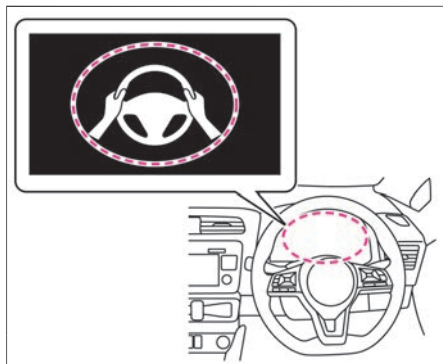
- アドバンスドドライブアシストディスプレイの車両情報画面がプロパイロット画面のときは、ステアリングにある **OK** スイッチを押すとプロパイロットの設定画面が表示されます。
- ハンドル支援のON・OFF設定はパワースイッチをOFFにしても再度設定が変更されるまで、その状態を維持します。

手放し警告について

- 運転者がハンドルを持っていない、または操作していない場合、アドバンスドドライバアシストディスプレイに手放し警告が表示されます。



- 手放し警告が表示がされているにもかかわらず、運転者のハンドル操作が検出されない場合は、警告音とともに手放し警告が点滅し、ハンドル支援機能は一時待機状態となります。



⚠ 注意

- **手放し運転を行うことはできません。**
運転者は必ずハンドルを持ち、安全運転を心がけてください。

🚗 アドバイス

- ハンドルに手を軽く添えて運転をしている場合など、ハンドル操作を検出できず、手放し警告が表示されることがあります。

📖 知識

- 手放し警告によりハンドル支援が一時的待機状態となった後、再び運転者がハンドル操作すると手放し警告は消灯し、自動的にハンドル支援機能が復帰します。

■ ハンドル支援の一時待機について

運転操作による一時待機

- 方向指示器を作動させたときは、ハンドル支援機能が一時待機状態になります。（再び作動条件を満たすと自動的に作動を再開します）
- ハンドル支援表示灯、ハンドル支援作動表示、車線検出表示が灰色になります。プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ（🔊 P.323）

システムによる一時待機

- 次の場合は、ブザーとともに警告メッセージが表示され、ハンドル支援機能が一時待機状態になります。（再び作動条件を満たすと自動的に作動を再開します）
 - － 両側の車線を検出しなくなったとき
 - － 車速が約50km/h以下で、先行車を検出しなくなったとき
- ハンドル支援表示灯、ハンドル支援作動表示、車線検出表示が灰色になります。プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ（🔊 P.323）

■ ハンドル支援の自動解除

- 次の場合は、警告メッセージが表示され、ハンドル支援機能が解除されます。
 - － ワイパーを高速または低速で作動させたとき
 - － 走行車線内にレーンマーカに見えそうなものがあるなど、レーンマーカが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカなど）
- プロパイロット（ハンドル支援）警告メッセージ（🔊 P.323）

知識

- ハンドル支援によるステアリング制御は、運転者のハンドル操作によりいつでも修正することができます。

■ プロパイロット警告メッセージ

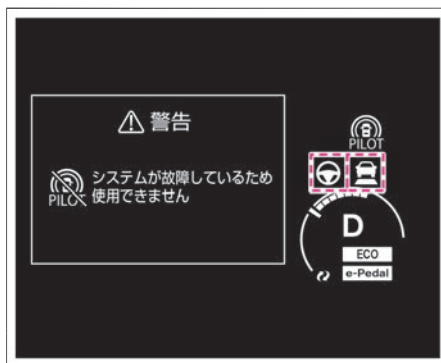
警告メッセージが表示されたときは、次の「説明・対処方法」に従ってください。表示は、グレード、オプションなどにより異なります。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 作動範囲外のため現在使用できません	● VDCをOFFにしたとき。 ● プロパイロット パーキングが作動しているとき。	● VDCがOFFの場合はプロパイロットを使用することができません。 ● プロパイロット パーキングが作動しているときは、プロパイロットを使用することができません。
 カメラが認識できないため現在使用できません	● 雨、雪、霧または、カメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき ● 前方から強い光を受けたとき ● ワイパーを高速で作動させたとき	● 状況が改善すると、プロパイロットを使用することができます。 ● 警告表示が出続ける場合は、安全な場所に停車し、パワースイッチをOFFにしてカメラ前方のフロントガラスの汚れなどを取り除いてください。
 カメラが高温のため現在使用できません	● カメラおよびカメラ周辺の温度が高いとき	● 室内の温度が下がるとプロパイロットを使用することができます。
 パーキングブレーキが作動しているため使用できません	● 電動パーキングブレーキが作動したとき	● 電動パーキングブレーキが作動しているときはプロパイロットは使用することができません。
 シートベルトが解除されているため使用できません	● 運転席のシートベルトを解除したとき	● 運転席のシートベルトが解除されている場合はプロパイロットは使用することができません。

警告表示	表示する条件	説明・対処方法
 △警告 システムが故障しているため 使用できません	● システム故障	● 安全な場所に停車して、一度パワースイッチをOFFにしてからEVシステムを再始動します。再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
 △警告 停車状態を維持できません ブレーキを踏んでください	● プロパイロットにより車両が停止中、運転席ドアが開いたが電動パーキングブレーキが正常に作動しなかったとき	● 速やかにブレーキを踏んでください。
 滑りやすい路面のため 現在使用できません	● VDC/TCSが作動したとき ● タイヤの空転を検出したとき	● VDC/TCSが作動する、または、タイヤが空転するような状況ではプロパイロットは使用できません。
 ハンドル支援は一時的に作動できません	● 両側の車線を検出しなくなったとき ● 車速が約50km/h以下で、先行車を検出しなくなったとき	● 作動条件を再度満たすと自動的にハンドル支援機能は再開されます。
 △警告 	● ハンドルを持っていない、またはハンドル操作がないとき	● 速やかにハンドルを持って操作してください。運転者のハンドル操作を検出すると警告は消灯し、自動的にハンドル支援機能が復帰します。
レーンを認識できません ハンドル支援を解除します	● ワイパーを低速で作動させたとき ● 走行車線内にレーンマーカーに見えるようなものがあるなど、レーンマーカーが正しく検出できない状態が長時間続いたとき（雪のわだち、雨の日の周辺の光の反射、消し忘れのレーンマーカーなど）	● 再びハンドル支援機能を使用したいときは、レーンマーカーがはっきりと描かれている道路でプロパイロットを解除し、再度セットしてください。

プロパイロットの故障について

- システムに異常があると、警告音とともにアドバンスドドライバアシストディスプレイ内に車速制御警告灯（オレンジ）、およびハンドル支援警告灯（オレンジ）が点灯し、警告が表示され、システムが自動的に停止します。
車速制御警告灯（➡ P.305）
ハンドル支援警告灯（➡ P.305）



アドバイス

- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

プロパイロットに関する注意事項



注意

- プロパイロットは脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意での運転操作を補助するものではありません。
先行車との車間距離、車線内の位置、周囲の状況に応じてアクセル、ブレーキ、ハンドルを操作するなどして、常に安全運転に心がけてください。
- プロパイロットの性能には限界があります。次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、プロパイロットを使用しないでください。
 - － 急カーブや曲がりくねった道
プロパイロットは直線路や緩やかなカーブ路での使用を想定して設計しているため、車線中央付近を維持できなくなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - － 急勾配の坂道
停止状態を保持できず、車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - － 急な下り坂
設定車速を超えてしまうおそれがあります。また先行車がいる場合は、ブレーキが過熱して十分な減速ができなくなるおそれがあります。
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
 - － 頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況
ブレーキ作動が遅れて車間距離が短くなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - － 道路構造物（壁、ガードレール、ポール、縁石など）と、レーンマーカーが極端に近い道
道路構造物に接近し思わぬ事故につながるおそれがあります。

 注意

- 次のような状況では先行車との車間距離が正確に検出できない、またはレーンマーカーが検出できない場合があります。適切に制御できず、思わぬ事故につながるおそれがありますのでプロパイロットを使用しないでください。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
 - － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - － 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - － 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
 - － トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - － 工事などによる車線規制や仮設のレーンマーカーがあるとき
 - － 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - － 急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行するとき
- プロパイロットを正しく作動させるために、カメラ前方のフロントガラスのお手入れを行ってください。
 - ➡ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い (P.502)
- 次のような状況ではプロパイロットは正しく機能しません。プロパイロットを使用しないでください。
 - － タイヤの空気圧が適正ではないとき

 注意

- － 摩耗しているタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
- － 純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき
- － カメラの視界を妨げるようなものを取り付けたとき
- － 極端に重い荷物を積んでいるとき
- － けん引しているとき

● 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

インテリジェント クルーズコントロールについて

● 次のような状況では車両の形状を正しく検出できず、適切な車間制御を行えない場合があります。

- － 先行車が背景と似た色合いで区別ができないとき
- － 先行車が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいるとき
- － 先行車が路面の水たまりの付近にいるとき(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
- － 先行車が建物や街路樹などの影と重なっているとき
- － 先行車と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき

● 次のような車両は正しく検出できず、適切な車間制御が行えない場合があります。

- － 車高の低い車両
- － 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
- － 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
- － 前方の至近距離に割り込んだ車両
- － 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両

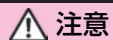
 注意

- － 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
 - － リヤタイヤから車両後端までが長い車両
 - － 四輪車以外の車両(二輪車など)
 - － 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
 - － バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
- 路面または壁面の模様・ペイントや前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、ブレーキ制御や接近警報を行う場合があります。

ハンドル支援機能について

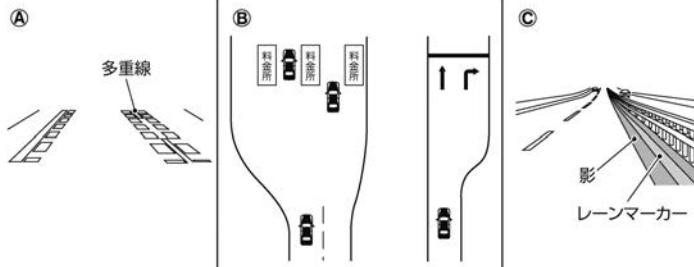
- 次のような状況ではレーンマーカを正しく検出できず、適切なハンドル制御が行えない場合があります。
- － レーンマーカが消えかかっている、汚れているなど不明瞭なとき
 - － レーンマーカが路面の色と似ていて見えにくいとき
 - － レーンマーカが多重に描かれているとき①
 - － 消されたレーンマーカが、まだ薄く残っているとき
 - － 料金所や交差点手前などでレーンマーカがない、またはレーンマーカが大きく変化しているとき②
 - － 車線幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき
 - － 停止禁止部分または立ち入り禁止部分がある道を走行しているとき
 - － 濡れている、または水たまりがある路面を走行しているとき
 - － 工事などで車線内に複数のレーンマーカがある道を走行しているとき

次ページに続く



注意

- 道路構造物、街路樹、建物などの影が差している路面を走行しているとき◎
- 合流、分岐路を走行しているとき

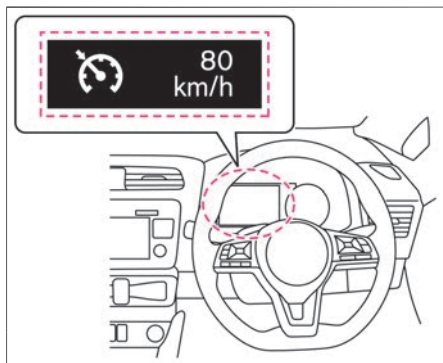


定速制御機能について

定速制御機能を使用すると、シフトポジションが**D**または**B**のとき、アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。（ハンドル支援や車間制御は行いません。）約40km/h～100km/hの間で任意の速度にセットできます。

定速制御機能表示

- スイッチをONにすると点灯し、システムの作動状態を色で表示します。セットすると設定した速度を表示します。
 - － 白色：
メインスイッチを1.5秒以上押し、システムがONになると表示します。
 - － 緑色：
車速を設定すると表示します。
 - － オレンジ色（警告灯）：
システムが故障すると表示します。



⚠ 注意

- 定速制御機能を使用するときは、十分な車間距離をとる。
定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 次の状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、定速制御機能を使用しない。
 - － 交通量の多い道や急カーブのある道
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
 - － 急な下り坂
- 定速制御機能使用時は、ハンドル支援を行いません。
- 定速制御機能表示（オレンジ）が点灯したときは、日産販売会社で点検を受ける。
定速制御機能表示がオレンジ色に点灯

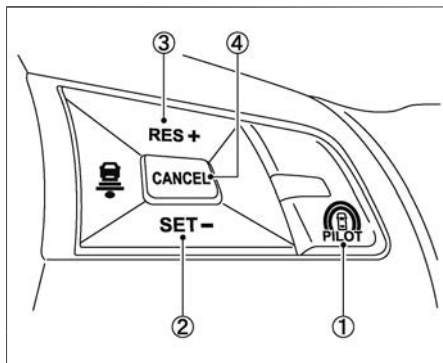
次ページに続く

 注意

したときは、安全な場所に停車して、パワースイッチをOFFにし、再始動してから再度定速制御機能をセットしてください。EVシステム再始動後もセットできない、または定速制御機能表示がオレンジ色に点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

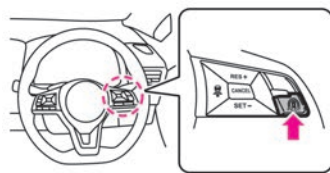
■ステアリングスイッチ（定速制御機能）

- ① **プロパイロットスイッチ** 
1.5秒以上押すと、定速制御機能がON（待機状態）になります。
もう一度押すとOFFになります。
- ② **SET-スイッチ**
スイッチを押したときの車速で定速制御機能をセットできます。
設定車速を下げるができます。
- ③ **RES+スイッチ**
定速制御機能を解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
設定速度を上げることができます。
- ④ **CANCELスイッチ**
定速制御機能の解除ができます。



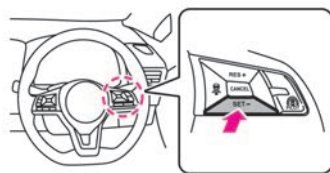
定速走行のしかた

- 1 ハンドルにあるプロパイロットスイッチ  を1.5秒以上押して定速制御機能をON（待機状態）にします。
アドバンスドドライブアシストディスプレイに定速制御機能表示が点灯します。



- 2 設定したい速度まで加速または減速します。

- 3 SET-スイッチを押します。
SET-スイッチを押したときの車速で定速走行を開始します。



知識

- 定速走行中、一時的に加速したいときはアクセルペダルを踏みます。加速後にアクセルペダルを離すと、徐々に設定車速に戻ります。

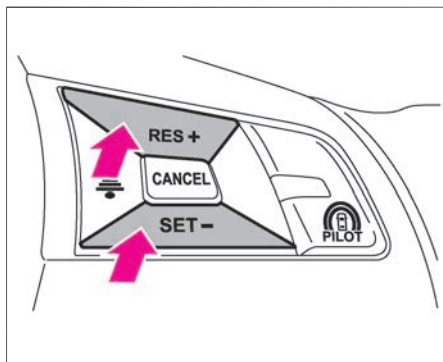
設定車速の変更のしかた

速度を上げる

- 定速走行中にRES+スイッチを押し続けると加速します。希望の速度で手を離します。

速度を下げる

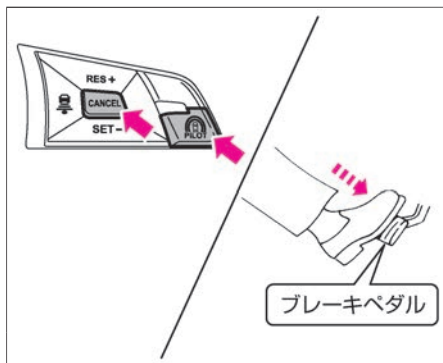
- 定速走行中にSET-スイッチを押し続けると減速します。希望の速度で手を離します。



定速走行の解除のしかた

次の操作をすると、定速走行が解除されます。

- CANCELスイッチを押す
- プロパイロットスイッチ  を押す
- ブレーキペダルを踏む



アドバイス

- CANCELスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。解除前の設定車速で再びセットしたときは、RES+を押します。
(車速が約40km/h～100km/hのとき戻せます。)
- 次の場合は、“ピー”という音とともに制御が自動的に解除されます。
ー 速度が30km/h以下になったとき



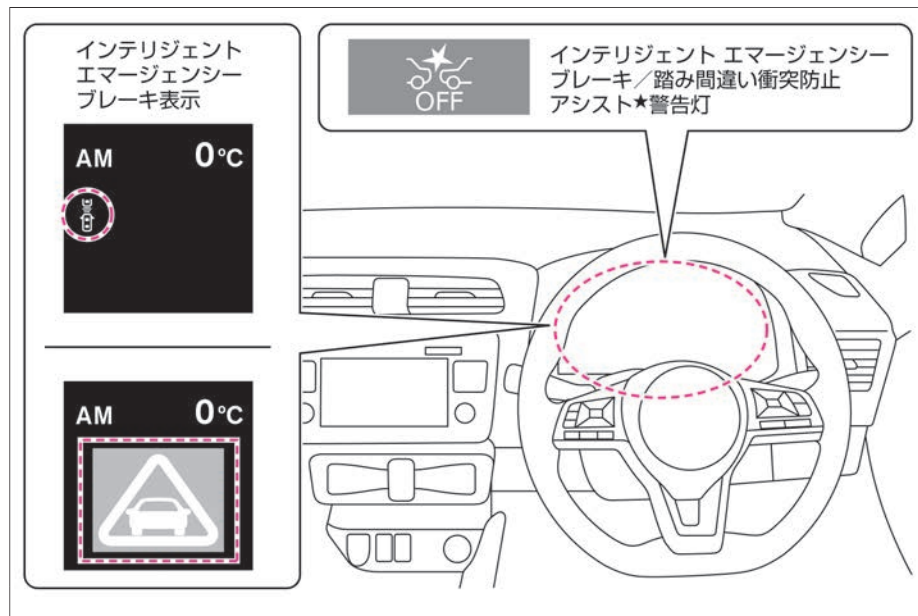
アドバイス

- － 設定速度より約13km/h以上速度が低下したとき
- － VDC/TCSが作動したとき
- － タイヤが空転したとき
- － シフトポジションを **D** または **B** 以外にしたとき
- － システムに異常があるとき

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報と自動ブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

システムに関連する表示



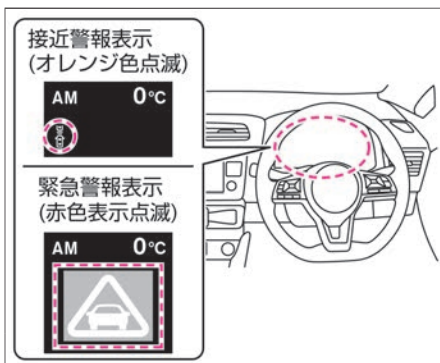
警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
インテリジェント エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありません。
必ず周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を十分に維持して安全運転を心がけて走行してください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

インテリジェント エマージェンシーブレーキについて

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。
- 車速約10km/h～80km/hの範囲で作動します。
(車速約60km/h以上では、歩行者に対しては作動しません。)
- 衝突するおそれがあると判断すると、警報音とともにメーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示（接近警報表示）がオレンジ色に点滅します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突危険性が高まったときには、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が赤色の緊急警報表示になり、警報音とともに軽いブレーキが自動的にかけられます。
- さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキが自動的にかけられます。



知識

- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
 - ー アクセルペダルを強く踏み込んだとき
 - ー ハンドルを大きく、または素早くきったとき
 - ー 前方の車両や歩行者との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が遅れたり、作動しない場合があります。
- 前方車両と自車の速度の差が小さいときは作動しません。
- システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「セーフティ・シールド」および「プロパイロット★」に切り替えると、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動状態をア

知識

ドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。

詳しくは、 画面の切り替えかた (P.131)をお読みください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

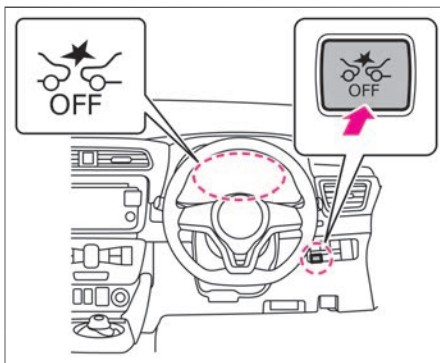
インテリジェント エマージェンシーブレーキの停止のしかた

スイッチでのON・OFFの設定★

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチを押すごとにON・OFFを切り替えることができます。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
(インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯)

メーターでのON・OFFの設定

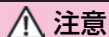
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「運転支援システム」⇒「エマージェンシーブレーキ」⇒「システム」を選択すると、インテリジェント エマージェンシーブレーキ機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
- ➡️ 画面の切り替えかた (P.131)
- ➡️ 運転支援システム (P.154)
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
(インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト★警告灯が点灯)



知識

- EVシステムを再始動するとONになります。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト★は、メーター内の設定またはスイッチの両方でON・OFFの切り替えができます。
両方のON・OFF切り替えは連動しています。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると、踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.347) もOFFになります。

インテリジェント エマージェンシーブレーキに関する注意事項



注意

- 次のような障害物は検知しません。
 - － 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - － 夜間やトンネル内など暗い場合の歩行者
 - － 対向車両
 - － 道路構造物(ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物)
- システムは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - － バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - － 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - － 前方を横切って通過する車両
 - － 斜めもしくは前向きに止まっている車
- 次のような場合は、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - － 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
 - － 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき

⚠ 注意

- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- カーブを走行しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- 対象物の位置や動きが大きく変化した場合(自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
- 始動してから約15秒間のあいだ
- カメラの視界がさえぎられているとき(フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード)
- カメラの向きがずれているとき
- 以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
 - 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 以下の対象物にはシステムが作動しない場合があります。
 - 車高の低い車両
 - 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両

⚠ 注意

- 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
- 前方の至近距離に割り込んだ車両
- 前方の至近距離に飛びだしてきた歩行者
- 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
- 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
- リヤタイヤから車両後端までが長い車両
- 四輪車以外の車両(二輪車など)
- 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- 以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - 複数の対象物同士が近接している場合
 - 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。
- 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。
 - 滑りやすい路面を走行しているとき
 - 勾配のある路面を走行しているとき
 - 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき
 - 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
 - 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
 - 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき

注意

- 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
- 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 車両が傾いているとき(重い荷物を積載しているとき)
- 路面または壁面の模様・ペイントや前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。

インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト★警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
 - ー VDCをOFFにしたとき
- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト★警告灯およびインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が点滅し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - ー フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - ー 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - ー 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき
(室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。)
- システムに異常があると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト★警告灯が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが自動的に停止します。
警告灯 (👉 P.126)
警告メッセージ (👉 P.144)



アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(👉 P.502)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 (👉 P.126)

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

知識

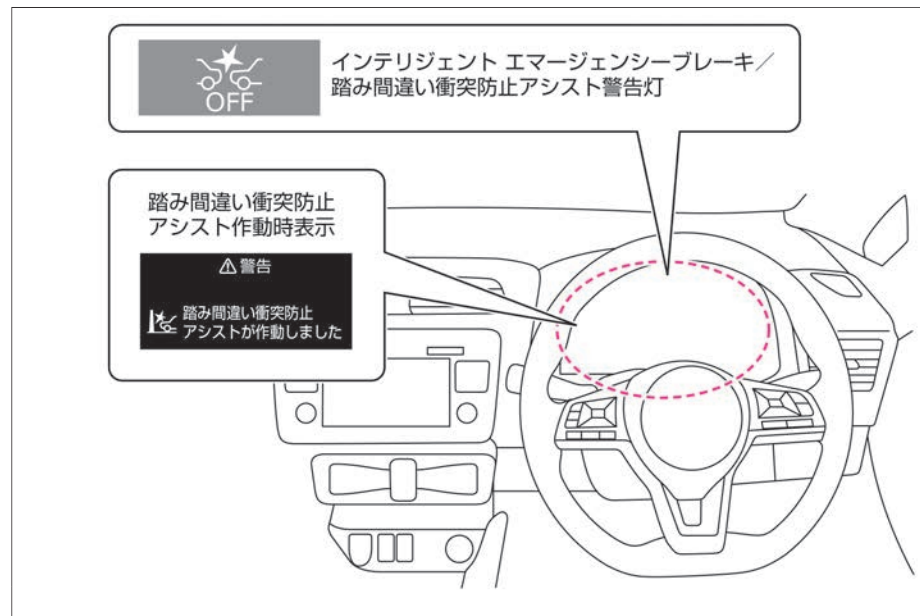
- VDCをOFFにしたときは、メーターの表示と警報音のみ作動します。
- 夜間、ライトをつけずに走行するなどで、カメラの視界が真っ暗な状態になった場合は、インテリジェントエマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト★警告灯が点滅する場合があります。

踏み間違い衝突防止アシスト★

踏み間違い衝突防止アシストは、進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などがある場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込んだり、ブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。

さらに自動的にモーター出力やブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

システムに関連する表示



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えることにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。

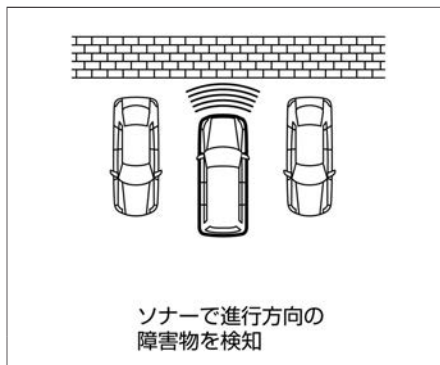
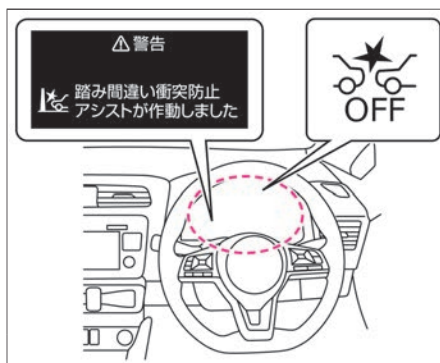
踏み間違い衝突防止アシストについて

前進時

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩者を検知します。
- フロントバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。

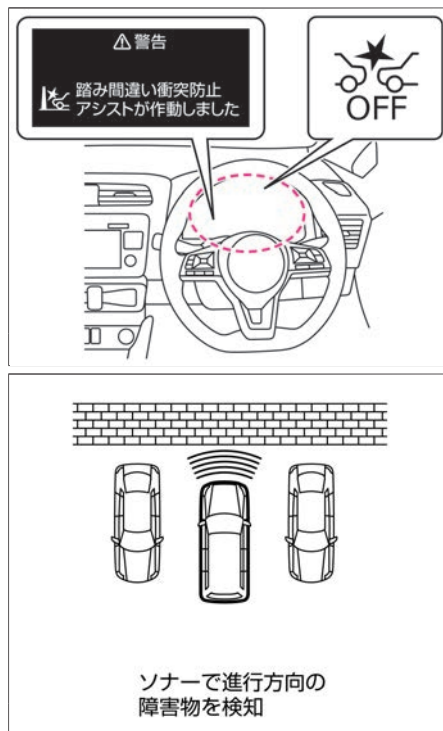
後退時

- リヤバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。
- 踏み間違い衝突防止アシストには、2つの機能があります。次ページ以降をお読みください。



低速加速抑制機能

- 前進時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間自動で加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 後退時（停車時含む）、進行方向に壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間自動で加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 車両、歩行者に対しては、車速約0～25km/hの範囲で作動します。
- 壁などの障害物に対しては、車速約0～15km/hの範囲で作動します。
- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音と警告灯の点滅によって運転者に警告します。
警告灯（➡P.126）
警告メッセージ（➡P.143）

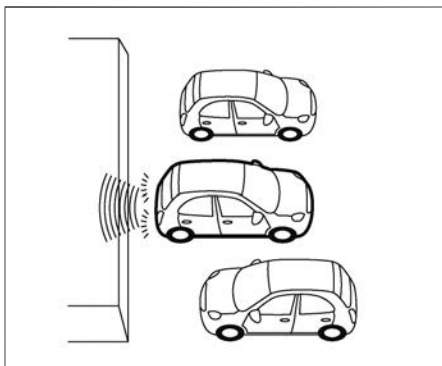
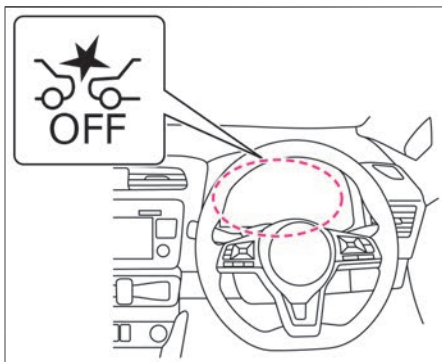


警告

- 故意にアクセルペダルを踏み込まない。
低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

低速衝突軽減ブレーキ機能

- 前進、または後退時、進行方向の障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、自動的にモータ出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車速約2～15km/h の範囲で作動します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音と警告灯の点滅によって運転者に警告します。
警告灯 (👉 P.126)



知識

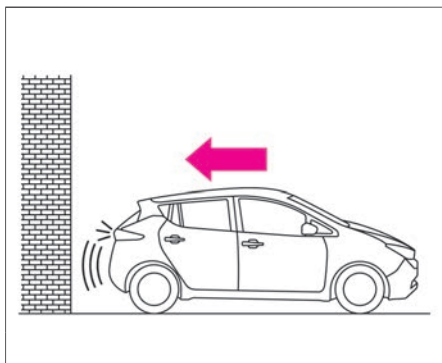
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。

低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

クルマ止めのない駐車場などで、壁などに衝突しそうになったとき

万一、運転者のブレーキ操作が遅れ、壁などに衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音と警告灯が点滅し、自動的にブレーキをかけて衝突を回避または被害を軽減します。

- 自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。
- システムは、ブレーキペダルを踏みながら車両を移動する（駐車場での操作）など低速における支援を目的にしています。アクセルペダルを踏んで前進・後退する状況などでは作動が遅れ十分に機能しない場合があります。

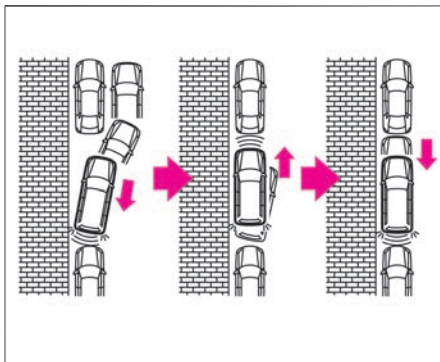


知識

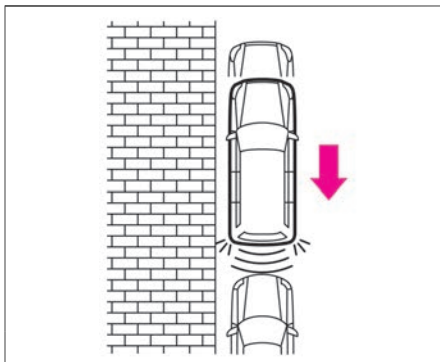
- 駐車時に壁などに近づくなどでシステムがモーター出力を抑制する場合があります。アクセルペダルの踏み込み量を調整してください。

縦列駐車をするとき

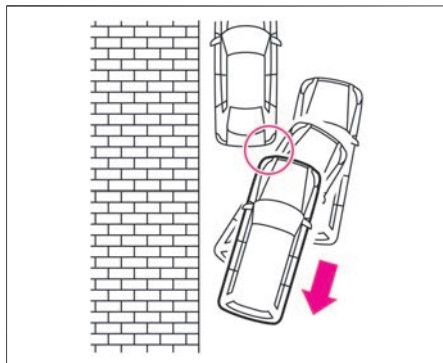
シフトポジションを **D** から **R**、または **R** から **D** に操作して切り替えたときは、セレクトレバーの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知して自動ブレーキ制御が作動します。



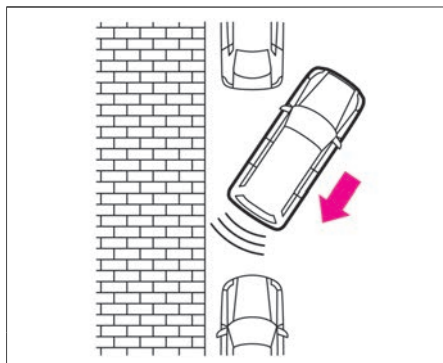
- 自動ブレーキ制御が作動したあと、セレクトレバーを切り替えずにさらに同じ障害物に向かって前進、または後退をしたときは、自動ブレーキ制御は作動しません。



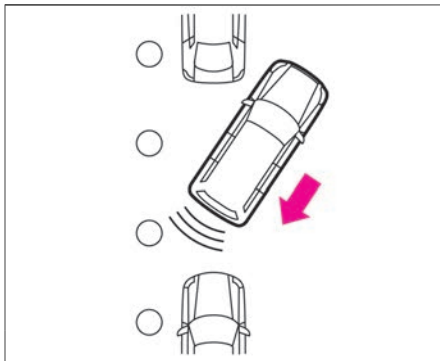
- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。



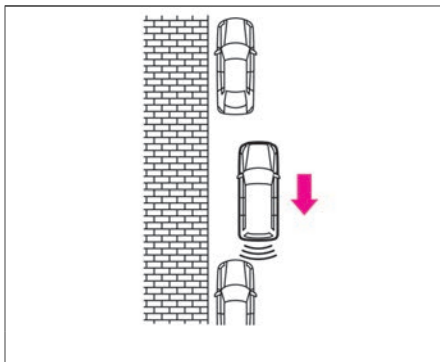
- 障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。



- 幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。

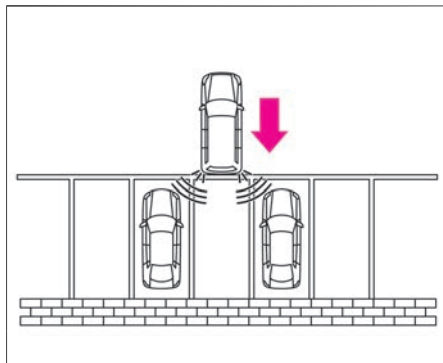


- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。

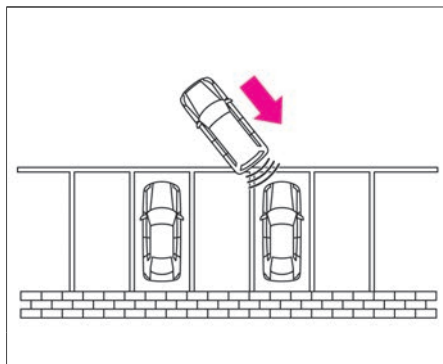


並列駐車をするとき

- 狭いスペースに進入するときに作動することがあります。

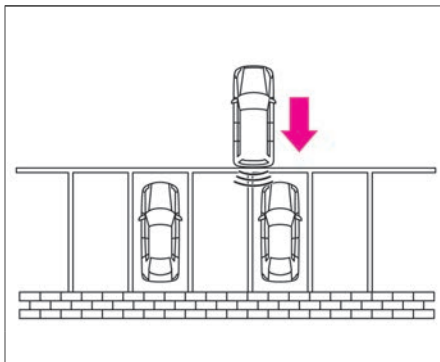


- 他の車両の角部に向かって接近したときは作動しない場合があります。

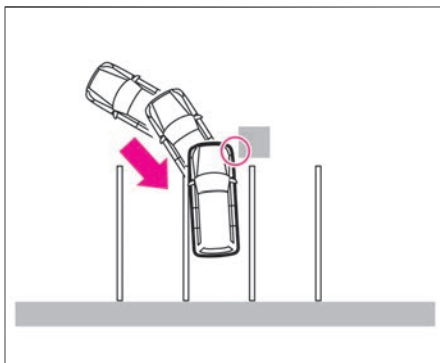


踏み間違い衝突防止アシスト★

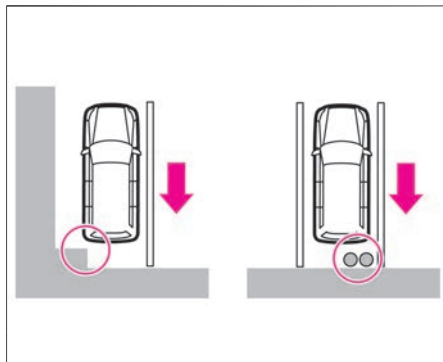
- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。



- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。



- 壁から突き出している柱や配管などに対しては作動しません。



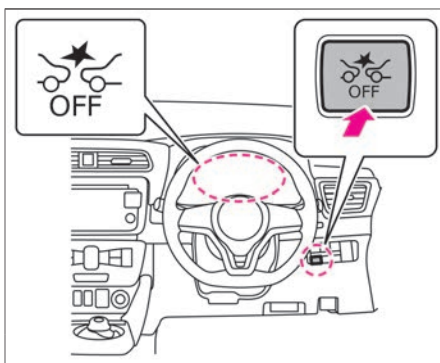
踏み間違い衝突防止アシストの停止のしかた

スイッチでのON・OFFの設定

- インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストスイッチを押すごとにON・OFFを切り替えることができます。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
(インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯)

メーターでのON・OFFの設定

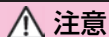
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「運転支援システム」⇒「エマージェンシーブレーキ」⇒「システム」を選択すると、踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
- ➡️ 画面の切り替えかた (P.131)
- ➡️ 運転支援システム (P.154)
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
(インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯)



知識

- 踏み間違い衝突防止アシストの設定は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定と連動しています。
- EVシステムを再始動するとONになります。

踏み間違い衝突防止アシストに関する注意事項



注意

- 次の場合は、システムが正常に作動しなかったり、機能を十分に発揮できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
 - － 勾配が急な坂道を走行しているとき
 - － 段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
 - － 滑りやすい路面を走行しているとき
 - － ハンドルを大きくきって旋回しているとき
 - － 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - － 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
 - － 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
 - － 長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
 - － 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
 - － 車両が傾いているとき（後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき）
- 動いている物体に対しては踏み間違い衝突防止アシストは作動しません。（前方の車両、歩行者を除く）
- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにする。
 - － けん引するとき
 - － トレーラーなどに積載するとき



注意

- シャシーダイナモを使用するとき
- 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
(車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります)
- ソナーは次のような障害物は検知しません。
 - 背の低い障害物
 - 幅の狭い障害物
 - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - バンパーに非常に近い障害物
 - 急に進行方向に現れた障害物
- ソナーは次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
 - 地面から高い位置に存在する障害物
 - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しないことがあります。
 - 雨、雪、氷、汚れなどがソナーセンサーに付着しているとき
 - 周囲で大きな音が鳴っているとき
 - 周囲に超音波を発するものがあるとき
 - 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
- ソナーは次のような場合は検知することがあります。
 - 周囲に草が生い茂っているとき
 - 車両側面の近くに壁があるとき
 - 路面上に段差や突起物があるとき
 - 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき

⚠ 注意

- － 車両周辺に雪のかたまりがあるとき
- － 他車のソナーなど超音波を発生するものが付近にいたとき
- マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物は検知しません。
 - － 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - － 夜間やトンネル内など暗い場合の歩行者
 - － 対向車両
 - － 道路構造物(ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物)
- マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。
 - － バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
 - － 幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
 - － 前方を横切って通過する車両
 - － 斜めもしくは前向きに止まっている車
- マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - － 前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
 - － 夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき



注意

- 夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
- トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
- カーブを走行しているとき
- 勾配の変化があるところを走行しているとき
- 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
- 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- 前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
- 対象物の位置や動きが大きく変化した場合(自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など)
- 始動してから約15秒間のあいだ
- カメラの視界がさえぎられているとき(フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード)
- カメラの向きがずれているとき
- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。
 - 対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
 - 対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
 - 対象物が路面の水たまりの付近にいる場合(周りの風景が水たまりに映りこむなど)
 - 対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
 - 対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき
- 以下の対象物にはマルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。

⚠ 注意

- － 車高の低い車両
- － 最低地上高(地面から車体までの高さ)が極端に低いもしくは極端に高い車両
- － 特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
- － 前方の至近距離に割り込んだ車両
- － 前方の至近距離に飛びだしてきた歩行者
- － 自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
- － 後端面積が小さい車両(空荷のトラックなど)
- － リヤタイヤから車両後端までが長い車両
- － 四輪車以外の車両(二輪車など)
- － 荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。
 - － 複数の対象物同士が近接している場合
 - － 対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

低速加速抑制機能について

- ソナーで検出した壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。車両の幅以下の障害物は検知しません。
- マルチセンシングフロントカメラで検出した衝突のおそれのある前方の車両や歩行者に対して作動します。
- 低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。

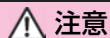


注意

- アクセルペダルを踏み続けた場合は、作動を開始してから約6秒後に自動的に解除されます。
- 渋滞中などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 信号待ちや右折待ちなどで、車間距離の短い状態から前の車に続いて発進する際、アクセルペダルを素早く深く踏み込むと低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 次の場合は作動しません。
 - ー 車速が約15km/h以上のとき（前方の車両、歩行者に対しては約25km/h以上）
 - ー ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - ー シフトポジションが **D**、**B**、**R** 以外のとき
 - ー トラクションコントロールが作動しているとき
 - ー タイヤが空転しているとき
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。
- 路面または壁面の模様・ペイントや前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、マルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動する場合があります。

低速衝突軽減ブレーキ機能について

- システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行う。
車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。



注意

- 自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいても作動しません。
- 自動ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。
- 車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏む。
低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動で解除され、車両が動き出します。
- 次の場合は作動しません。
 - ー 車速が約2km/h未満、または約15km/h以上のとき
 - ー シフトポジションが **D**、**B**、**R** 以外のとき
- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。
- 前進時は車両後方の障害物に対しては作動しません。同様に、後退時は車両前方の障害物に対しては作動しません。
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

踏み間違い衝突防止アシストの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内の警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにしたとき
 - ー VDCをOFFにしたとき
- インテリジェント エマージェンシーブレーキが一時的に作動できなくなったときは、インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点滅し、踏み間違い衝突防止アシストも一時的に作動しなくなります。
詳しくは、➡ インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき (P.345)をお読みください。
- システムに異常があると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが自動的に停止します。
警告灯 (➡ P.126)
警告メッセージ (➡ P.144)



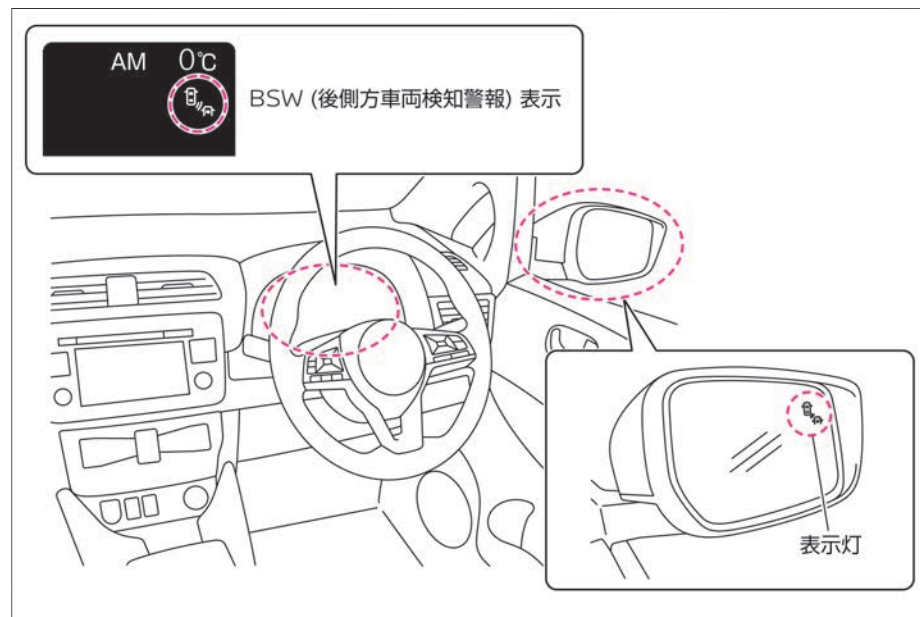
アドバイス

- システムを正しく作動させるためにソナーセンサーはいつもきれいにしておいてください。ソナーセンサーの取り扱いについては、(➡ P.505)をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
警告灯 (➡ P.126)

BSW（後側方車両検知警報）★

BSW（後側方車両検知警報）は、車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合には警報によって運転者に注意を促します。

システムに関連する表示



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

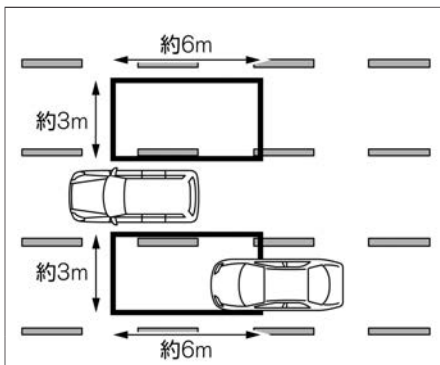
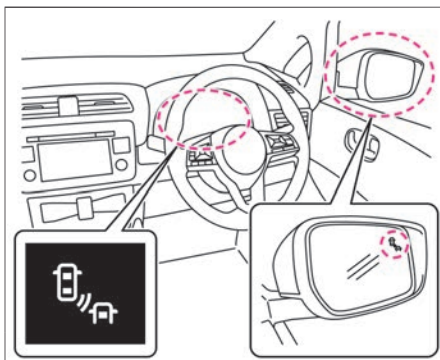
BSW（後側方車両検知警報）は、ドアミラーによる周囲の検知を代行に行ったり、車両や障害物との接触を防ぐ機能ではありません。車線変更を行うときは、機能に頼った確認をせず、必ずドアミラーおよびルームミラーで側方および後方の安全を確認してください。

BSW（後側方車両検知警報）について

- 車両後部のレーダーセンサーにより隣車線の車両を検知します。
- 車速約30km/h以上で作動します。
- レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知すると、検知した側のドアミラー鏡面にある表示灯が点灯します。
- 隣車線の車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると、警報音とともにメーター内のBSW（後側方車両検知警報）表示と、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。

検知範囲について

- レーダーセンサーは、自車両の左右にある検知範囲内にいる車両を検知します。
- 検知範囲は、自車両のドアミラーから後方に約6m、車両の側面から横方向に約3mです。



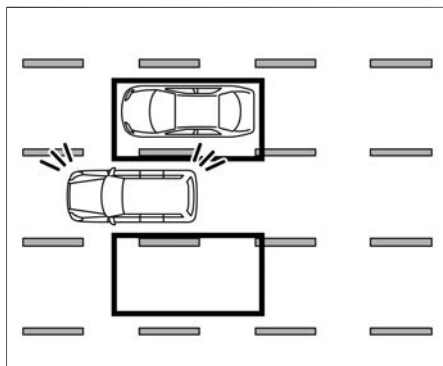
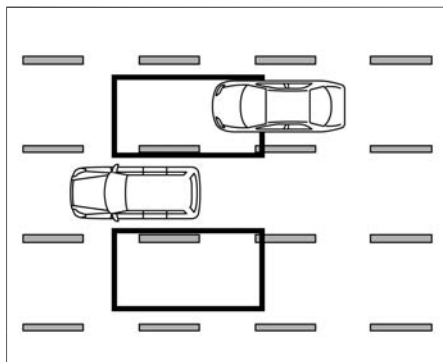
知識

- ドアミラー鏡面の表示灯はパワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって自動的に切り替わります。
- 方向指示器が作動しているときに、レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知した場合には、表示灯は点滅しますが音は鳴りません。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「セーフティ・シールド」に切り替えると、BSW（後側方車両検知警報）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。
詳しくは、🔍 画面の切り替えかた (P.131)をお読みください。

■ 作動するとき・しないとき

後方から車両が接近してくるとき

- 後方から車両が接近してくる場合、その車両が検知範囲内に入るとドアミラー鏡面にある表示灯が点灯します。
- 車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音が鳴るとともに、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。



⚠ 注意

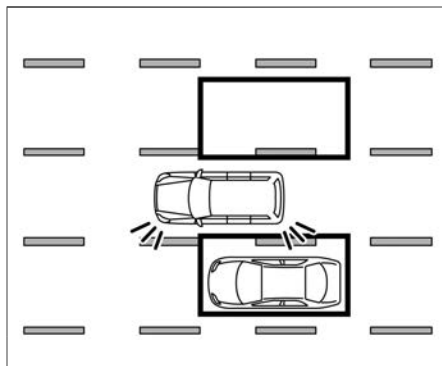
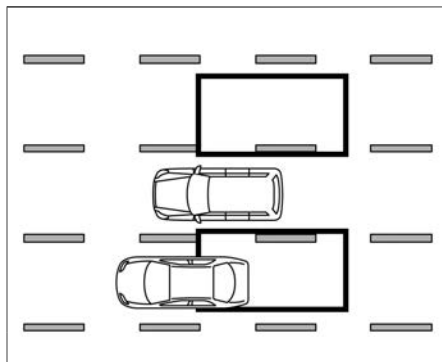
- 車線変更を行うときは、必ずドアミラーおよびルームミラーを使用して周囲の安全を確認する。
自車両より極端に速い速度で接近してくる車両は検知できないことがあります。

📖 知識

- 方向指示器を作動した後に、検知範囲に車両が入ってきたときは、表示灯は点滅しますが警報音は鳴りません。

他の車両を追い越すとき

- 他の車両を追い越すとき、追い越される車両が検知範囲内に2秒以上とどまるとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。
- 車両を検知し表示灯が点灯しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音が鳴るとともに、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。

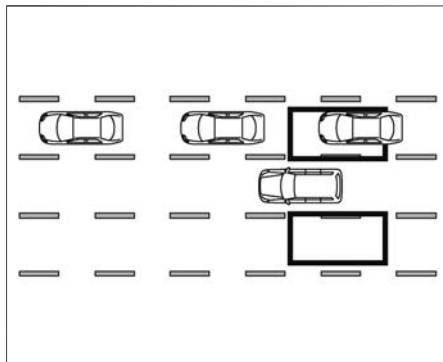


知識

- 速度の遅い車両を素早く追い越したときはシステムが検知しません。

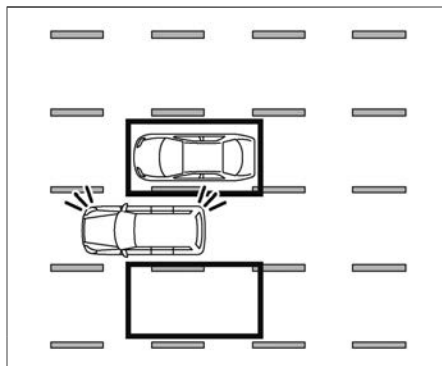
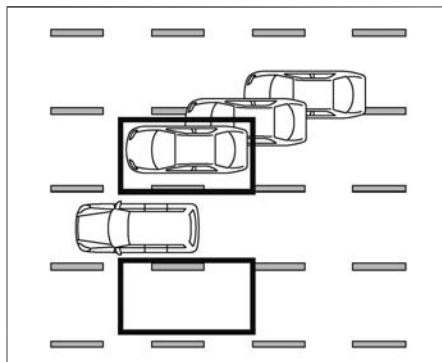
他の車両に追い越されるとき

- 複数の車両に一度に追い越されるとき、追い越す車両の車間距離が短い場合は、1台目の車両以外が検出されないことがあります。



他の車線から車両が接近してきたとき

- 車線変更などで車両が接近してきたときは、検知範囲内に入るとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。
- 車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると警報音が鳴るとともに、ドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。



知識

- 自車両とほぼ同じ速度で走行する車両が車線変更してきた場合、検出できないことがあります。
- 方向指示器を作動させたあとに、検知範囲に車両が入ってきたときは、表示灯は点滅しますが警報音は鳴りません。

BSW（後側方車両検知警報）の使いかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「後側方支援」⇒「BSW（後側方車両検知警報）」を選択すると、BSW（後側方車両検知警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「後側方支援」⇒「インジケータの明るさ設定」を選択すると、ドアミラー鏡面にある表示灯の明るさを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.131)

➡ 運転支援システム (P.154)

知識

- 設定は、EVシステムを再始動しても維持されます。

BSW（後側方車両検知警報）に関する注意事項



注意

- レーダーセンサーは次のような障害物は検知しません。
 - － 歩行者、自転車、動物など
 - － 対向車
- 次のような車両は、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。
 - － 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両
 - － 停車状態から検知範囲に居続ける車両
 - － 後方から速い速度で接近してくる車両
 - － 自車両が速い速度で追い越した車両
 - － 合流や車線変更で自車両の横にほぼ同じ速度で移動してきた車両
- 次のような場合は、隣の車線の車両を検知できないことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
 - － 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － 雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 車線の幅が極端に広い道路を運転する場合、隣の車線にいる車両を検知できないことがあります。また、車線の幅が極端に狭い道路を運転する場合、2つ隣の車線にいる車両を検知することがあります。
- レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないよう設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、植物、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

作動が停止するとき

- 次の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに「サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。
 - ー レーダーセンサーが汚れているとき
 - ー レーダーセンサーに雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが自動的に停止します。
警告メッセージ (➡ P.144)



アドバイス

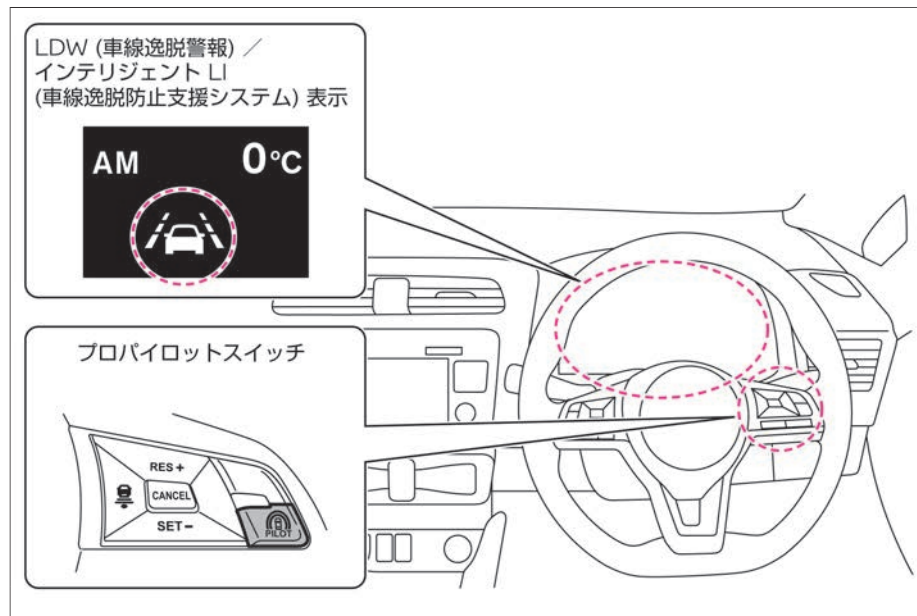
- レーダーセンサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサーの周辺の汚れなどを取り除いてからEVシステムを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、(➡ P.501)をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。
EVシステム再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）★

LDW（車線逸脱警報）は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報によって注意を促します。

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、運転者が車線内に戻す操作を支援します。

システムに関連する表示



警告

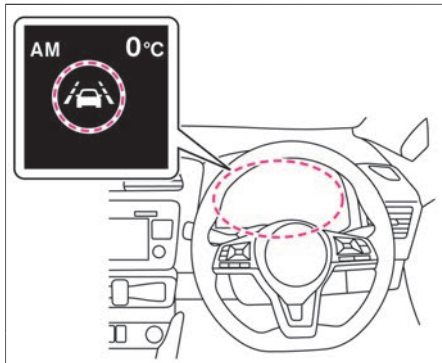
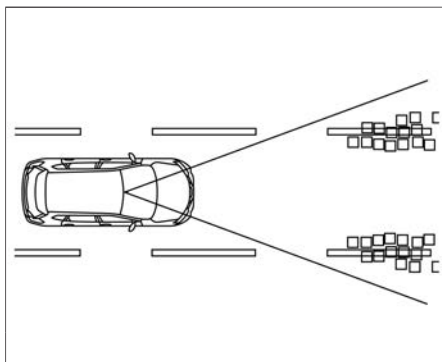
- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。

LDW（車線逸脱警報）について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカーを検知します。
- 車速約60km/h以上で作動します。
- 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、ステアリングホイール（ハンドル）の振動とともにメーター内のLDW(車線逸脱警報)表示が点滅します。

レーンマーカーとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。

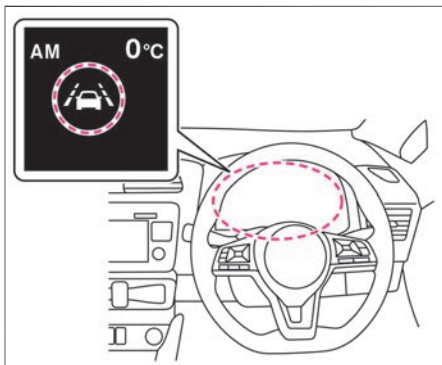
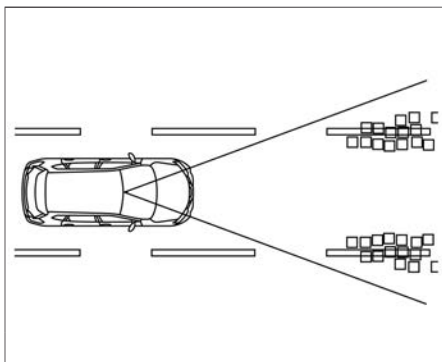


知識

- 方向指示器を作動させている場合は警報を行いません。
（方向指示器を解除したあと、約2秒間は警報を行いません）
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイを「セーフティ・シールド」に切り替えると、LDW（車線逸脱警報）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。
詳しくは、運転支援システムをお読みください。
- ➡ 画面の切り替えかた (P.131)
- ➡ 運転支援システム (P.154)

インテリジェント L（車線逸脱防止支援システム）について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより走行車線のレーンマーカを検知します。
 - 車速が約60km/h以上で作動します。
 - 走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカに近づいたと判断すると、ステアリングホイール（ハンドル）の振動とともにメーター内のインテリジェント L（車線逸脱防止支援システム）表示が点滅します。
同時にブレーキを短時間制御し、車両を車線内に戻す方向に制御力を短時間発生させて車両を車線内に戻す操作を促します。
- レーンマーカとは、走行車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。



知識

- 方向指示器を作動させている場合は警報もブレーキ制御も行いません。
（方向指示器を解除したあと、約2秒間は作動しません）
 - アドバンスドドライブアシストディスプレイを「セーフティ・シールド」に切り替えると、インテリジェント L（車線逸脱防止支援システム）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイ内で確認することができます。
詳しくは、運転支援システムをお読みください。
- ➡ 画面の切り替えかた (P.131)
- ➡ 運転支援システム (P.154)

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）の使いかた

LDW（車線逸脱警報）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「側方支援」⇒「LDW（車線逸脱警報）」を選択すると、LDW（車線逸脱警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

 画面の切り替えかた (P.131)

 運転支援システム (P.154)

知識

- 設定は、EVシステムを再始動しても維持されます。
- パワースイッチをOFFにするとインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は自動的にOFFになります。

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「側方支援」⇒「LDP（車線逸脱防止支援）」をONにしているとき、プロパイロットスイッチ  を押すとシステムがONになります。

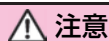
その際、セーフティ・シールドの設定状態が“セーフティ・シールドが支援モードになりました”と表示されます。

設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

 画面の切り替えかた (P.131)

 運転支援システム (P.154)

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）に関する注意事項



注意

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）を使用しないでください。
 - － 悪天候（雨、雪、霧など）のとき
 - － 凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
 - － 急なカーブ、急な上り坂・下り坂が繰り返されるとき
 - － 工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
 - － 車線の幅が狭い道路を走行するとき
 - － 摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
 - － 純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 次のような状況では、レーンマーカを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - － 検出しにくいレーンマーカ（不明瞭なレーンマーカ、黄色のレーンマーカ、一般的でないレーンマーカ、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカ）がある道路を走行するとき
 - － 急なカーブのある道路を走行するとき
 - － 消されたレーンマーカがまだ見えている道路を走行するとき
 - － 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカとして検出して警報する場合があります）
 - － 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
 - － 自車がレーンマーカに対してまっすぐに走行していないとき
 - － 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき

 注意

- － 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
- － 汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
- － 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
- － 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）

■ 作動が停止するとき

LDW（車線逸脱警報）

- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったときは、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「カメラが高温のため現在使用できません」と警告が表示され、一時的に作動が停止します。（室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。）
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが自動的に停止します。
警告メッセージ（🔊P.144）



アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（🔊P.502）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。
EVシステム再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

- 次の場合は、“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「作動範囲外のため現在使用できません」と警告が表示され、自動的に作動を解除します。
 - ー ABSまたはVDC（トラクションコントロールは含まない）が作動したとき
 - ー VDCをOFFにしたとき
 システムを再び作動させる場合は、解除されたときの状態が改善されてから一度プロパイロットスイッチ  をOFFにし、再度インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）をONにしてください。
- 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったときは、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「カメラが高温のため現在使用できません」と警告が表示され、一時的に作動が停止します。システムを再び作動させる場合は、室内の温度が下がってから再びシステムをONにしてください。
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが自動的に停止します。
警告メッセージ  P.144

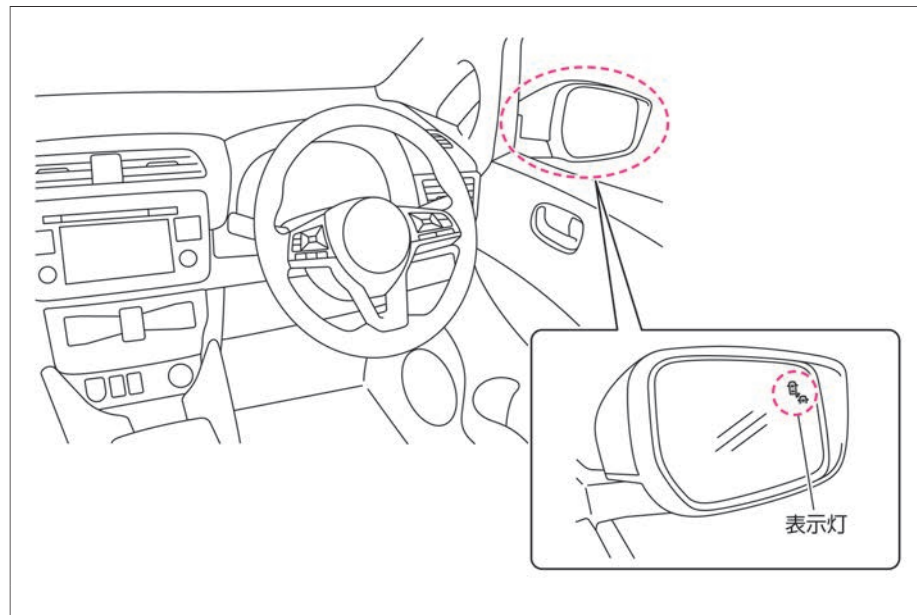
アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、 P.502）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。
EVシステム再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

RCTA（後退時車両検知警報）★

RCTA（後退時車両検知警報）は、後退時に後方を横切ろうとする車両に衝突するおそれがあるとき、警報によって注意を促します。

システムに関連する表示



警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
RCTA（後退時車両検知警報）は、運転者の代わりに周囲を確認したり、車両と障害物との接触を防いだりする機能ではありません。駐車スペースから後退するときは、機能に頼らず、必ず運転者自身で周囲の安全を確認してください。

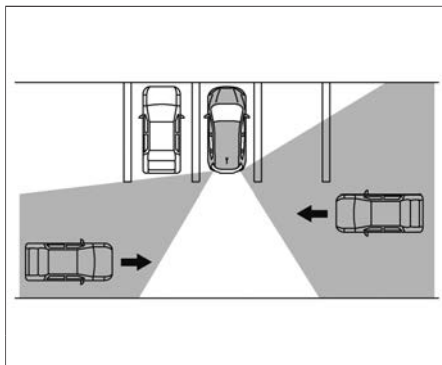
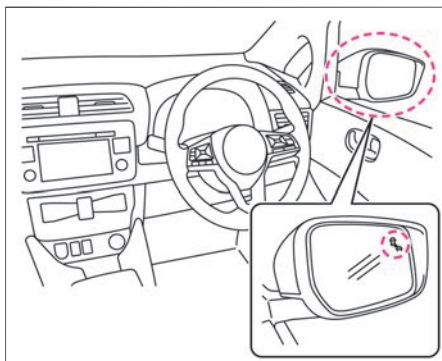
RCTA（後退時車両検知警報）★

RCTA（後退時車両検知警報）について

- 車両後部のレーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知します。
- シフトポジションが **R** で、車速約 8km/h以下のとき作動します。
- レーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知すると、警報音とともに検知した側のドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。

検知範囲について

- レーダーセンサーは、約20m先から近づいてくる車両を検知します。



知識

- ドアミラー鏡面の表示灯はパワースイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって自動的に切り替わります。

RCTA（後退時車両検知警報）の使いかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「駐車支援」⇒「クロストラフィックアラート」を選択すると、RCTA（後退時車両検知警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
- ➡ [画面の切り替えかた \(P.131\)](#)
- ➡ [運転支援システム \(P.154\)](#)

知識

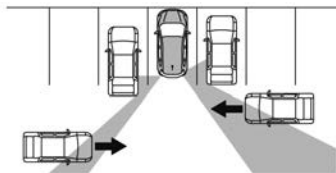
- 設定は、EVシステムを再始動しても維持されます。

RCTA（後退時車両検知警報）に関する注意事項



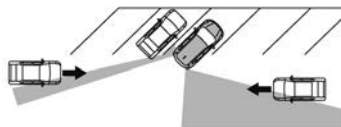
警告

- 後退する前に、必ず目視で周囲の状況を確認してください。レーダーセンサーは接近している（動いている）車両を検知します。次のようなものは検知できないことがあります。
 - － 歩行者、自転車、動物など
 - － 約30km/h以上の速度で通過する車両
 - － 約8km/h以下の速度で通過する車両
- 次のような状況では、レーダーセンサーが接近する車両を検知できないことがあります。
 - － 隣に駐車している車両などが、レーダーセンサーの検出エリアを妨げているとき

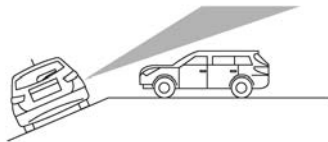


警告

- 駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき



- 傾斜した地面に駐車しているとき

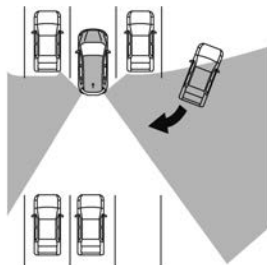


RCTA（後退時車両検知警報）★

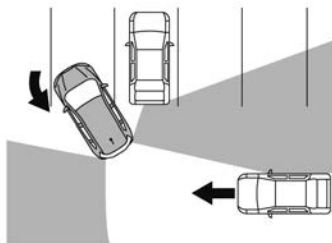


警告

- 回り込むようにして自車両後方へ車両が接近してきたとき



- 接近してきた車両の向きが、自車両の向きと同じまたはそれに近いとき



- 次のような場合は、思わぬ事故につながるおそれがありますので、システムを使用しないでください。

- 悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき

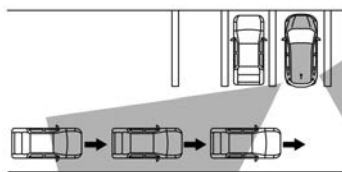
RCTA（後退時車両検知警報）★

警告

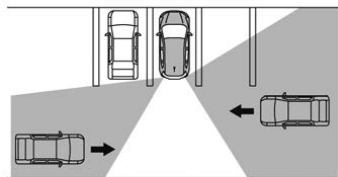
- － 水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
- － 雪や氷、泥などがレーダーセンサー付近に付着しているとき
- レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないように設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

知識

- 複数の車両が連続して後方を通過する場合や、最初に検知した車両と逆方向から車両が接近してきた場合、2台目以降に対して警報が作動しない場合があります。



知識



RCTA（後退時車両検知警報）の作動が停止するとき

- 次の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに「サイドレーダー及びその周辺が汚れています 拭いてください」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。
 - ー レーダーセンサーが汚れているとき
 - ー レーダーセンサーに雨、雪、氷などが付着しているとき
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが自動的に停止します。
警告メッセージ (👉 P.144)



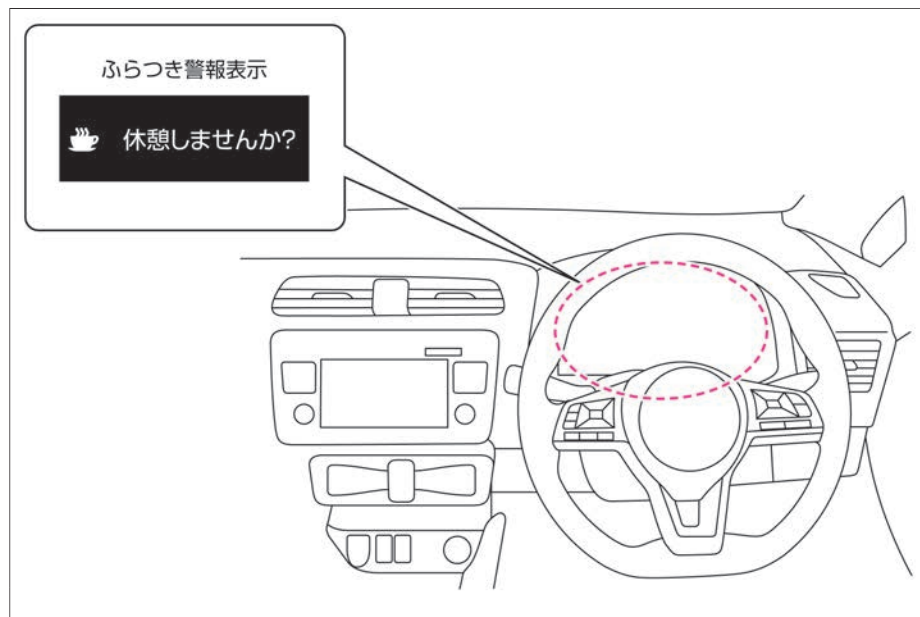
アドバイス

- レーダーセンサー周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサー周辺の汚れなどを取り除いてからEVシステムを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、(👉 P.501)をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。
EVシステム再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント DA（ふらつき警報）★

インテリジェント DA（ふらつき警報）は、ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、アドバンスドドライブアシストディスプレイの表示と音により運転者に休憩を促します。

システムに関連する表示



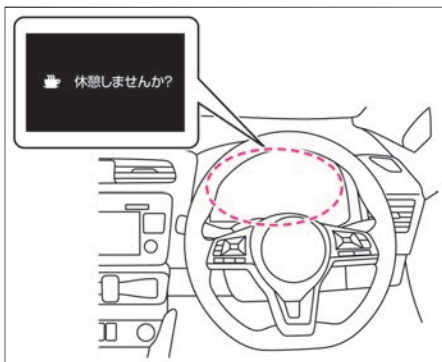
⚠ 警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故に至る危険がありますので、運転前に十分に休憩をとり、安全運転に努めてください。

インテリジェント DA（ふらつき警報）★

インテリジェント DA（ふらつき警報）について

- 車速約60km/h以上で走行中、運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに、警報音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに“休憩しませんか？”とメッセージを表示します。
警告メッセージ (➡P.145)



インテリジェント DA（ふらつき警報）の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「運転支援システム」⇒「ふらつき警報」を選択すると、インテリジェント DA（ふらつき警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。
設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
➡ 画面の切り替えかた (P.131)
➡ 運転支援システム (P.154)

知識

- 設定は、EVシステムを再始動しても維持されます。
- プロパイロット★作動中は、インテリジェント DA（ふらつき警報）のシステムはOFFになります。
➡ プロパイロット★ (P.301)

インテリジェント DA（ふらつき警報）の作動が停止するとき

- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、自動的に作動が停止します。
警告メッセージ (➡ P.144)



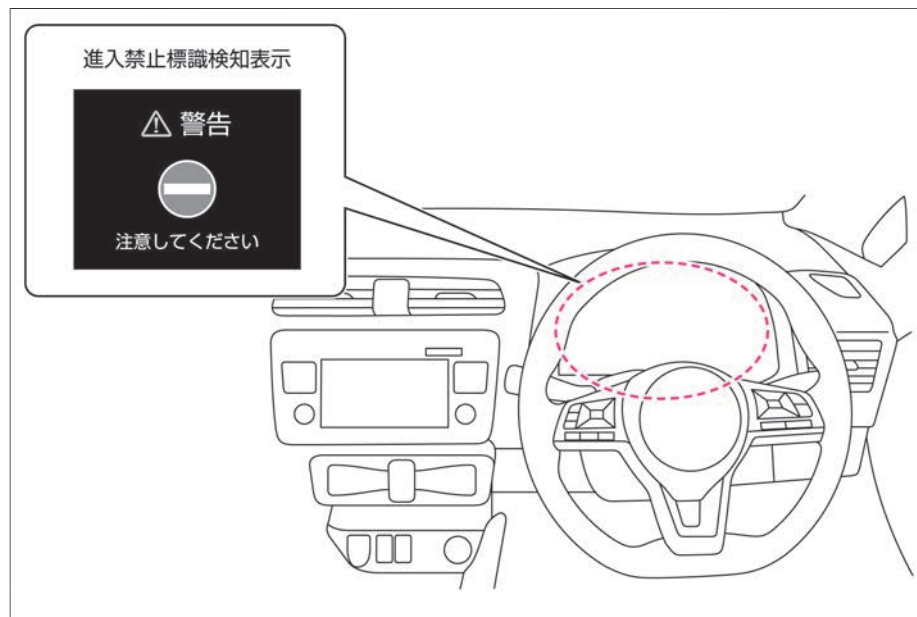
アドバイス

- 安全な場所に停車し、一度パワースイッチをOFFにしてから再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。
通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

進入禁止標識検知

進入禁止標識検知は、運転者に車両進入禁止標識があることを知らせます。

システムに関連する表示

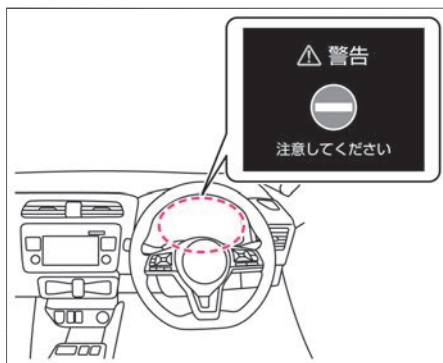


警告

- 機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がける。
進入禁止標識検知には限界があります。交通標識などに十分注意し、安全運転に心がけてください。

進入禁止標識検知について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより、前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合にはアドバンスドドライバアシストディスプレイに警告表示します。
- 万一、車両進入禁止標識を通過した場合には警報音が鳴ります。



⚠ 注意

- 車両の状態、走行状況、交通環境、天候、標識の状態などによっては、標識を検知できない場合があります。
- 次のような場合は、車両進入禁止標識の検知が遅れたり、検知できないことがあります。
 - － 標識の一部が樹木や汚れなどによって隠れて不明瞭なとき
 - － 標識が折り曲がっているなど形状が変わってしまっているとき
 - － 車両進入禁止標識が曲がり角やカーブの先にあるとき
 - － 速い速度で走行しているとき
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

🚗 アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、(📍P.502)をお読みください。

進入禁止標識検知の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定  」⇒「運転支援システム」⇒「標識検知」を選択すると、進入禁止標識検知機能のON・OFFを切り替えることができます。

設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。

➡ [画面の切り替えかた \(P.131\)](#)

➡ [運転支援システム \(P.154\)](#)

知識

- 設定は、EVシステムを再始動しても維持されます。

室内灯

マップランプ／ルームランプ	P.400
---------------	-------

収納装備

グローブボックス	P.404
センターコンソールボックス	P.405
カップホルダー／ボトルホルダー	P.406
ゴルフバッグの収納	P.408
充電ケーブル（コントロールボックス付）の収納	P.409

その他の室内装備

ステアリングヒーター	P.411
ヒーターシート★	P.412
電源ソケット	P.413
フロアカーペット	P.415
サンバイザー／バニティミラー	P.417
チケットホルダー	P.418

マップランプの使いかた

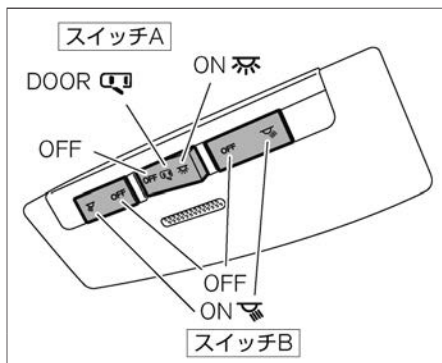
- 次のように点灯・消灯します。

スイッチA

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
DOOR (中立)	スイッチが中立位置にあるときにドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。
OFF	消灯

スイッチB

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
OFF (水平)	スイッチAが中立のとき、ドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。



アドバイス

- パワースイッチがOFFのときは、マップランプを長時間点灯させないでください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。

知識

キー連動室内照明システム

- ドアの施錠、解錠に連動して、スイッチAがDOOR 位置にあると、次の条件で点灯します。
 - － パワースイッチをOFFにしてから約15秒間
 - － パワースイッチがOFFのとき、ドアを解錠してから約15秒間
 - － パワースイッチがOFFのとき、ドア（バックドアを除く）を閉めてから約15秒間
 - － ドア（バックドアを除く）が開いているとき
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「自動室内灯」を選択すると、キー連動室内照明システム機能のON・OFFを切り替えることができます。

 知識

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.131)

➡ 車両設定 (P.159)

バッテリーセーバー

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、マップランプは15分以上点灯し続けると、自動的に消灯します。

ルームランプの使いかた/ラゲッジルームランプについて

ルームランプの使いかた

- 次のように点灯・消灯します。

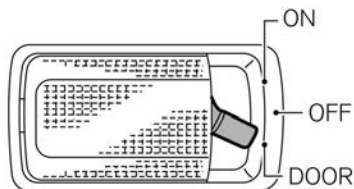
スイッチ	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯します。
OFF	常時消灯します。
DOOR	ドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。

ラゲッジルームランプについて

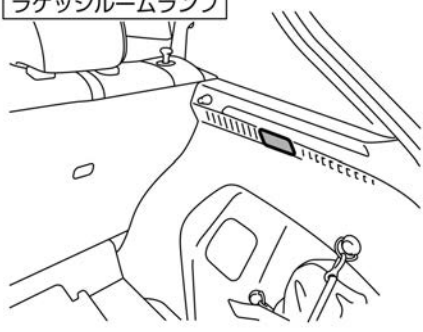
ラゲッジルームランプはラゲッジルームの右側にあります。

- バックドアを開けると自動で点灯し、バックドアを閉めると消灯します。

ルームランプ



ラゲッジルームランプ



🚗 アドバイス

- パワースイッチがOFFのときは、ルームランプおよびラゲッジルームランプを長時間点灯させないください。12Vバッテリーがあがるおそれがあります。

📖 知識

キー連動室内照明システム（ラゲッジルームランプ除く）

- ルームランプのスイッチがDOOR位置にあると、次の条件で点灯します。
 - ー パワースイッチをOFFにしてから約15秒間
 - ー パワースイッチがOFFのとき、ドアを解錠してから約15秒間
 - ー パワースイッチがOFFのとき、ドア（バックドアを除く）を閉めてから約15秒間
 - ー ドア（バックドアを除く）が開いているとき
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定 ⚙️」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「自動室内

 知識

灯」を選択すると、キー連動室内照明システム機能の**ON・OFF**を切り替えることができます。

設定の詳細については、車両設定をお読みください。

➡ 画面の切り替えかた (P.131)

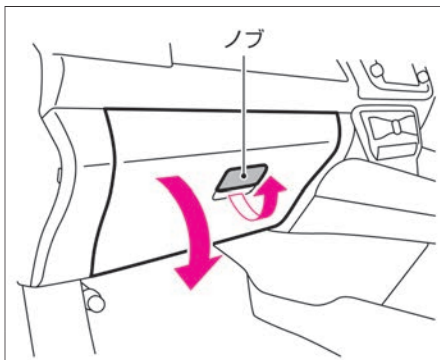
➡ 車両設定 (P.159)

バッテリーセーバー

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、ルームランプおよびラゲッジルームランプは15分以上点灯し続けると、自動的に消灯します。

グローブボックスの使いかた

- 開けるときは、ノブを手前に引きます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。



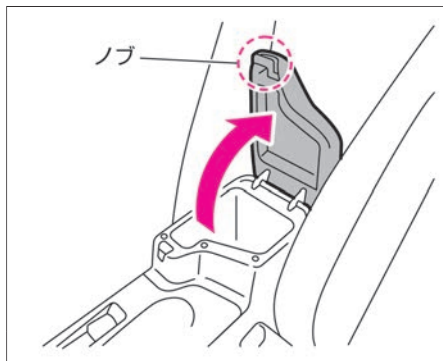
⚠ 注意

- グローブボックスを開けたまま走行しない。
ブレーキをかけたとき収納したものが飛び出したり、ふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開ける。
ふたを全開にしたとき身体に当たるおそれがあります。

センターコンソールボックス

センターコンソールボックスの使いかた

- 開けるときは、ノブを引きながら、ふたを引き上げます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。

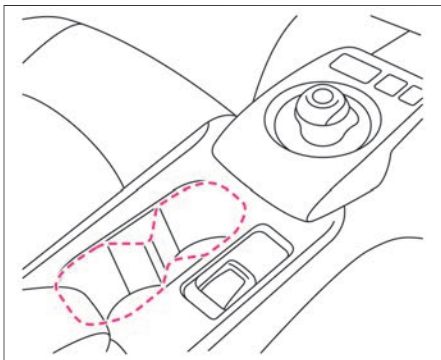


⚠ 注意

- センターコンソールボックスを開けたままにしない。
開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。

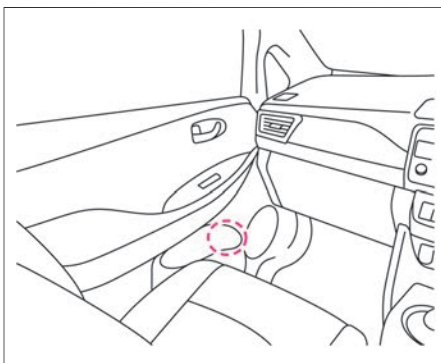
■ カップホルダー

- カップホルダーは、センターコンソールにあります。

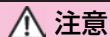


■ ボトルホルダー

- ボトルホルダーは、前席シートおよび後席シートのドアポケットにあります。



■ カップホルダー／ボトルホルダーに関する注意事項



注意

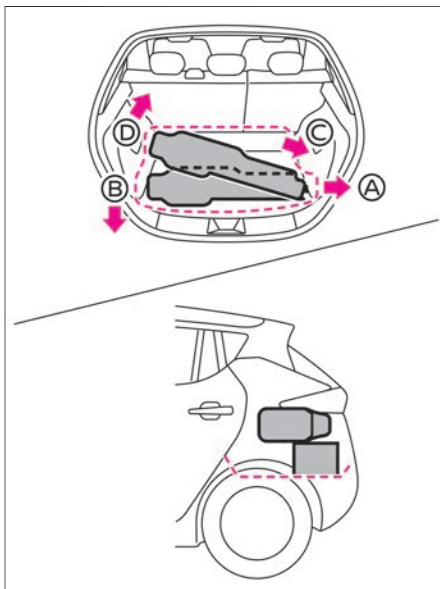
- **運転中に飲物を出し入れしない。**
運転中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。運転中は信号待ちなどの停車中に飲物を出し入れしてください。
- **熱い飲物を置かない。**
熱い飲物をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、飛び散ったりして、乗員がやけどを負うおそれがあります。
- **いっぱい満たされた容器を置かない。**
飲物や液体がいっぱいに満たされた容器をカップホルダーに置くと、走行中にこぼれたり、漏れだしたりして、車両の電子機器などに損傷を与えるおそれがあります。
- **飲物をこぼさないように注意する。**
飲物の容器の形によっては、確実に固定されないおそれがあります。
- **車室内のスイッチや画面などに飲物をこぼさないようにする。**
故障や火災のおそれがあります。

ゴルフバッグの収納

ラゲッジルーム内には2個のゴルフバッグを上下に重ねて収納できます。

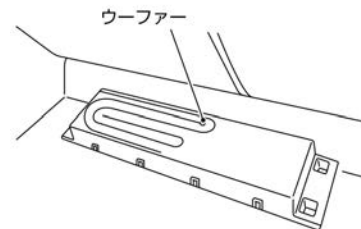
ゴルフバッグの収納のしかた

- ① 1個目のゴルフバッグ上部をラゲッジルームの右側の方向**①**へ入れます。
- ② バッグを**②**の方向に収めます。
- ③ 2個目のゴルフバッグ上部をラゲッジルームの右側の方向**③**へ入れます。
- ④ バッグを**④**の方向に収めます。



🚗 アドバイス

- ゴルフバッグを収納するときは、ウーファー★に干渉しないように収納してください。走行時の衝撃やゴルフバッグの重量で、ウーファーが破損するおそれがあります。



📖 知識

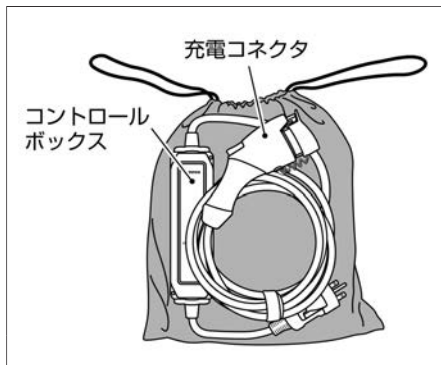
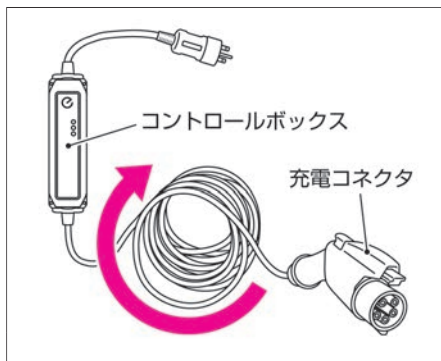
- 充電ケーブル格納ネットが干渉する場合は、ネットを取り外してください。
- ➡ 充電ケーブル（コントロールボックス付）の収納（P.409）
- ゴルフバッグの大きさや種類によっては、2個積めない場合があります。

充電ケーブル（コントロールボックス付）の収納

充電ケーブル（コントロールボックス付）は、収納袋に入れてラゲッジルームの右側に収納します。

充電ケーブル収納袋への収納のしかた

- 充電ケーブル（コントロールボックス付）を袋に収納するときは、コントロールボックスの表示部を上面にして、コントロールボックスに対して時計周りにケーブルを巻いて収納袋に収納します。時計周りに収納することで、充電ケーブルを長持ちさせることができます。



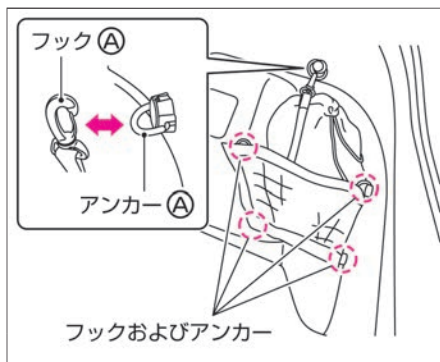
⚠ 警告

- 充電ケーブル（コントロールボックス付）を車載するときは、必ず収納袋に入れてネットで確実に固定する。また、全てのフックがアンカーに確実に固定されていることを確認する。
全てのフックがアンカーに確実に掛かっていないと、ブレーキをかけたときや事故のときに充電コネクタやコントロールボックスなどが飛び出し、思わぬケガをするおそれがあります。

充電ケーブル（コントロールボックス付）の収納

充電ケーブル格納ネットの使いかた

- 収納袋を出し入れするときは、アンカー①からフック②を取り外します。充電ケーブルが収納されているときは、必ず全てのフックをアンカーにしっかりと掛けてください。
- ゴルフバッグを積むときなど、格納ネットを取り外したいときは、全てのフックをアンカーから取り外します。

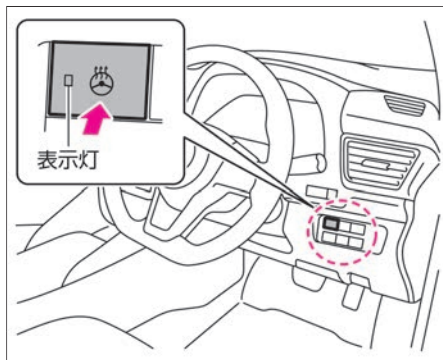


ステアリングヒーター

ハンドルを温めます。
パワースイッチがONのときに使えます。

■ ステアリングヒーターの使いかた

- スイッチを押すと約30分間作動します。
(スイッチの表示灯が点灯)
- 作動中は、ハンドルの表面温度が約20℃を超える温度を保ちます。
- 作動中にスイッチを押すと作動が停止します。
(スイッチの表示灯が消灯)



📖 知識

- ハンドルの温度が約20℃以上のときは、スイッチを押してもステアリングヒーターは作動しません。
- 外気温が低い(約10℃以下)とき、タイマーエアコンまたは乗る前エアコン(リモート)★を作動させると、次のようにステアリングヒーターが自動的に作動します。
 - ー タイマーエアコン作動時：設定した出発時刻の約15分前から作動
 - ー 乗る前エアコン(リモート)作動時：エアコンの作動開始から約15分間作動

ヒーターシート★

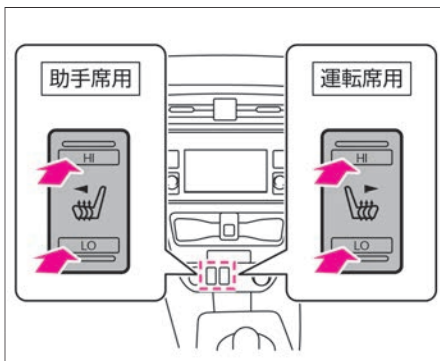
前席シートまたは後席シートを温めます。（後席は、左右席の座面部分のみ温まります。）
 パワースイッチがONのときに使えます。

ヒーターシートの使いかた

- スイッチのHI側またはLO側を押すと作動します。
 （スイッチの表示灯が点灯）

スイッチ	働き
HI	早く温めたいとき
LO	保温したいとき

- 止めるときは、スイッチを水平な位置に戻します。
 （スイッチの表示灯が消灯）
- スイッチをHI側またはLO側にしておくと、タイマーエアコンおよび乗る前エアコン（リモート）★作動時、同時に作動します。



⚠ 注意

- 長時間の連続使用はしない。
 低温やけどの原因になります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意してください。
- シートに毛皮や座布団を載せたり、日産純正以外のシートカバーを使用しない。
 過熱するおそれがあります。
- 硬くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートを突き刺したりしない。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しない。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取る。

🚗 アドバイス

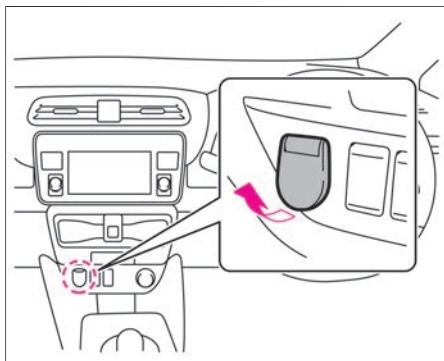
- 12Vバッテリーあがりを防止するため、走行可能表示灯🚗が点灯しているときに使ってください。

電源ソケット

カーアクセサリーの電源をとるときに使います。
パワースイッチがONまたはアクセサリー状態のとき使えます。

電源ソケットの使いかた

- ふたを開けて使います。
- 使用しないときは、ふたを閉めます。
- 容量は、12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。
- 相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源をOFFにするか、パワースイッチをOFFにしてください。



⚠ 注意

- 電源ソケットを使うときは、次のことを守る。
電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどのおそれがあります。
- ー 2マタソケットなどでタコ足配線をしてください。
- ー 消費電力120W以下のものを使ってください。
- ー 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入してください。
- ー 使用中や使用後はソケットやプラグに注意してください。
- ー シガーライターをソケットに差し込まないでください。
- ー ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしないでください。



アドバイス

- 12Vバッテリーあがりを防止するため、走行可能表示灯が点灯しているときに使用してください。ま



アドバイス

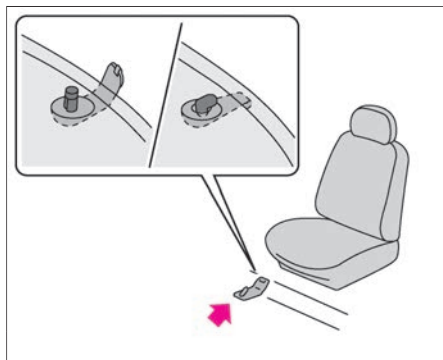
た、長時間使ったり、エアコン、ヘッドランプ、リヤデフォグガーなどを同時に使用しないでください。

フロアカーペット

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。
床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

固定のしかた

- 床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
- フロアカーペットを床の形状に合わせて敷き、取り付け穴に固定クリップのピンを通して確実に固定します。
- 車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。



⚠ 警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用する。
フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことを守る。
 - － 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない。
 - － フロアカーペットでペダルを覆わない。
 - － フロアカーペットを重ねて敷かない。
 - － 運転席専用のフロアカーペットを使用する。
 - － フロアカーペットを前後さかさまにしたり、裏返して使用しない。
- 運転する前にフロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。
- 運転に支障がないことを確認する。
運転する前、パワースイッチがOFF

次ページに続く



警告

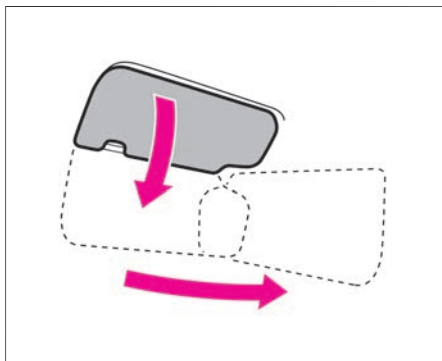
の状態でご各ペダルをいっばいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないことを確認してください。

- **タバコの火種をフロアカーペットなどに落とさない。**

火災につながるおそれがあります。

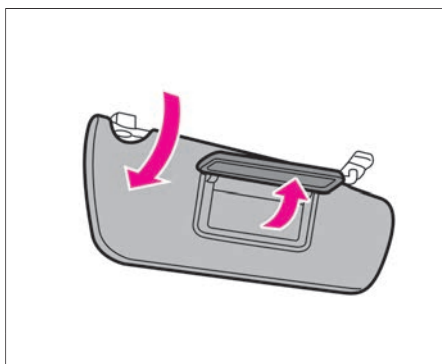
サンバイザー

- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。



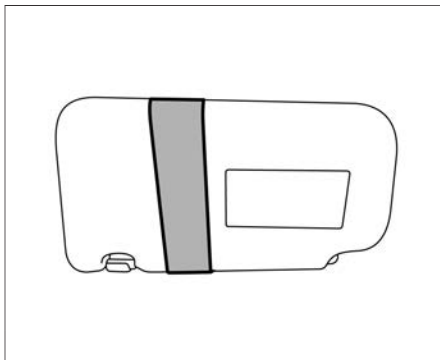
バニティミラー

- サンバイザーを下に下げ、ふたを開けて使います。



■ チケットホルダーの使いかた

- 運転席側のサンバイザーにチケットホルダーが付いています。
- カードをスライドさせ、差し込みます。



アドバイス

- 炎天下での駐車は車室内が大変高温になりますので、カードを入れたままにしないでください。カードが変形するおそれがあります。

トラブルがおきたときは

まずはじめに

故障したときは	P.420
発炎筒	P.421
けん引について	P.422

緊急時の対処法

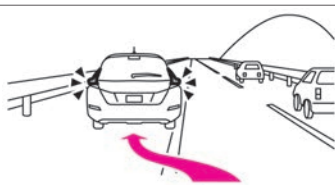
パンクしたときは	P.426
ドアが開かないときは	P.436
充電ポートリッドが開かないときは	P.438
充電コネクタロックが解除できないときは	P.439
EVシステムを始動できないときは	P.440
12Vバッテリーがあがったときは	P.441
出力制限表示灯が点灯したときは	P.445
リチウムイオンバッテリーの残量がなくなったときは	P.446
警告灯がついたときは	P.447
ブザー（警報音）が鳴ったときは	P.453
窓ガラスがくもったときは	P.455
雪道やぬかるみにはまったときは	P.457

故障したときは

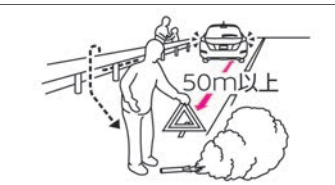
高速道路や自動車専用道路で車両が故障したときは、次の手順で対応してください。

故障したときの対応のしかた

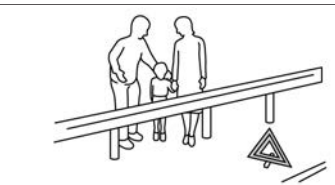
- 1** 非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。路肩が無い場所では、可能な限り広いところまで自走します。



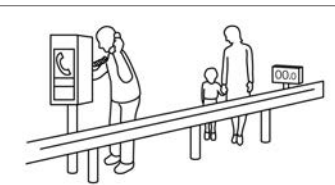
- 2** 同乗者をガードレールの外側などに避難させ、車両の50m以上後方に発炎筒と停止表示板（停止表示灯）を置きます。
➡ 発炎筒 (P.421)



- 3** 運転者もガードレールの外側などに避難します。避難するときは、停止車両への追突事故が発生したときに巻き込まれないよう注意してください。



- 4** 非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。



警告

- 発炎筒はトンネル内では使用しない。
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

注意

- 走行中に走行可能表示灯  が消灯したときは、慎重に運転する。
故障により走行可能表示灯が消灯すると、ブレーキやパワーステアリングが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなるので慎重に運転してください。

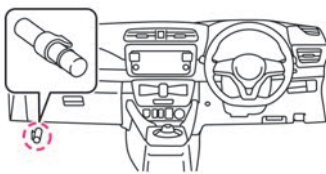
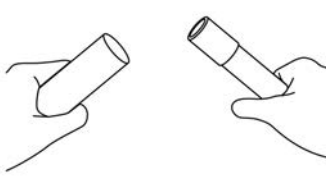
アドバイス

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。
- 高速道路上では1kmごとに非常電話が設置されています。

発炎筒

高速道路や踏み切りなどで故障・事故により緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。
発炎時間は約5分です。非常点滅表示灯と併用してください。

発炎筒の使いかた

1	助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。	
2	本体を回しながらケースから引き抜き、本体を逆さにして差し込みます。	
3	先端のふたを取り、ケースのすり薬で発炎筒の先端をこすって着火します。	

警告

- お子さまには触らせない。
いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使用しない。
引火するおそれがあります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけない。
やけどをするおそれがあります。
- トンネル内では使用しない。
煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり、事故につながるおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

アドバイス

- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

けん引について

けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。
やむを得ずけん引するときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。

けん引時の注意事項

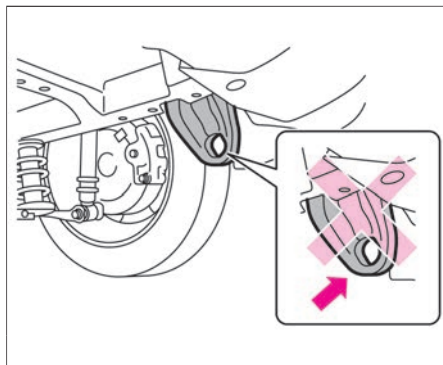
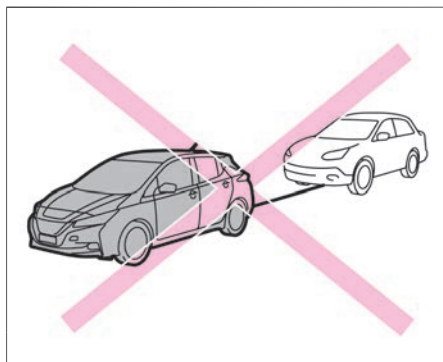
- 車両が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- 前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。
- やむをえず4輪接地の状態でけん引されるときは、シフトポジションを**N**にした状態で行ってください。
- この車両は、オートP機能（➡P.251）により、パワースイッチがOFFのときはシフトポジションを**P**から**N**に切り替えることができません。そのため、12VバッテリーあがりなどでパワースイッチがOFFから切り替えられないときは、4輪接地の状態でけん引できません。
- 4輪接地でけん引してもらうときは、速度30km/h以下でできる限り短距離の移動のみとしてください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。
- けん引中は、e-PedalをOFFにする。
- けん引中は、プロパイロット★をOFFにする。
- けん引中は、踏み間違い衝突防止アシスト★をOFFにする。

注意

- 前輪を持ち上げてけん引するときは、パワースイッチを**OFF**にする。
VDCが作動し、ブレーキがかかることがあります。

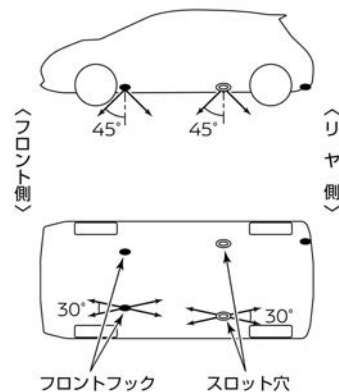
他車のけん引について

この車両で他車をけん引することはできません。後ろ側についているフック（リヤフック）は船舶輸送時の固定専用です。けん引やトレーラー輸送などの固定には絶対使用しないでください。



アドバイス

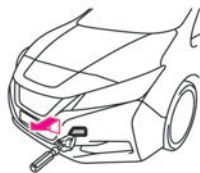
- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。
- トレーラーなどで輸送するときは、フロントフック、スロット穴を使い固定してください。



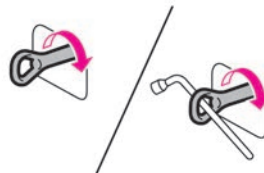
- 船舶輸送時は、フロントのけん引フックとリヤフックを使い固定してください。

やむをえず4輪接地でけん引されるときは

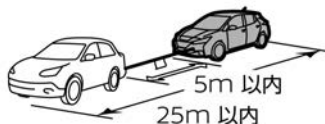
- 1** 先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、フロントバンパーのカバーの溝に差し込んでカバーを外します。



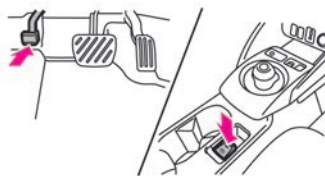
- 2** ホイールナットレンチを使って、けん引フックを取り付けます。
 ➡ 工具の収納場所 (P.462)



- 3** 自車および他車のけん引フックにロープを掛け、ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を取り付けます。



- 4** パーキングブレーキを解除し、EVシステムを始動してシフトポジションを **N** に切り替えます。
 EVシステムを始動できないときはパワースイッチをONにし、シフトポジションを **N** にしてください。



⚠ 注意

- 走行可能表示灯  が消灯していると、ブレーキやハンドルが正しく機能せず、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなるので注意して運転する。
- けん引フックに指定以外のフックは絶対に使用しない。
 フック部が破損するおそれがあります。
- 長い下り坂ではけん引しない。
 ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。
 このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。

アドバイス

- 4輪接地の状態でけん引されるときは、EVシステムを始動するかパワースイッチをONにしてシフトポジションを **N** にした状態で行ってください。パワースイッチがOFFのときは、オートP機能によりシフトポジションを **N** に切り替えられないため、けん引することができません。
 ➡ 各シフトポジションの動き (P.251)



アドバイス

- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するために使用しないでください。



知識

- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

パンクしたときは

この車両には、スペアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。
タイヤがパンクしたときは、タイヤ応急修理キットで応急修理ができます。

■ 応急修理する前に

応急修理を行うときは、次の準備をしてください。

- 地面が固く平らな場所に車両を移動する。
- パーキングブレーキをかける。
- シフトポジションを **P** にする。
- パワースイッチをOFFにする。
- 非常点滅表示灯を点滅させる。



アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜かずにそのまま修理してください。

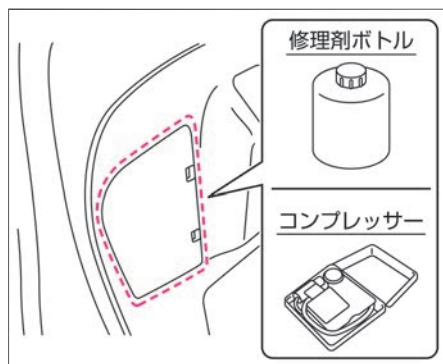


知識

- 次の場合はタイヤ応急修理キットでは応急修理ができません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。
 - － 約6mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
 - － タイヤサイド部が損傷を受けたとき
 - － ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
 - － タイヤがホイールから外れているとき
 - － ホイールが破損しているとき
 - － タイヤが2本以上パンクしているとき
 - － 修理剤の有効期限が切れているとき

■ タイヤ応急修理キットについて

- タイヤトレッド部（接地面）の軽度なパンクは、タイヤ応急修理キットで応急修理できます。
- タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルームに格納されています。
- ➡ 工具の収納場所 (P.462)
- 応急修理を目的としているため、修理後に長期間の走行はできません。修理後はすみやかに日産販売会社または専門の修理業者で点検、恒久修理またはタイヤ交換を行ってください。



※：車種により、コンプレッサーの形状が異なります。

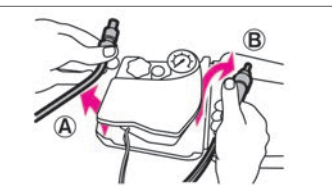
応急修理のしかた

■ コンプレッサーの準備

- 1 ラゲッジルームからタイヤ応急修理キットを取り出します。



- 2 コンプレッサーからホース①と電源プラグ②を取り出します。



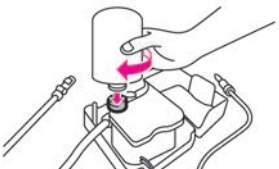
- 3 コンプレッサーから、ボトルホルダーのキャップを外します。



知識

- 車種により、コンプレッサーの形状が異なります。

パンクしたときは

4	修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたをつけたままボトルホルダーに取り付けます。 （ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。）	
5	コンプレッサーの速度制限シールをはがし、運転者の良く見えるところに貼ります。	

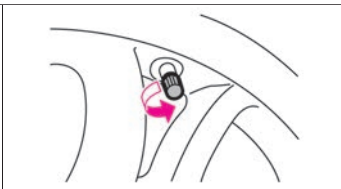
⚠ 注意

- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らない。
SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

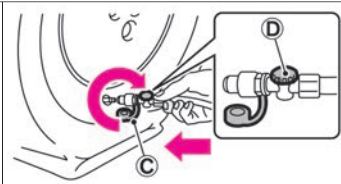
パンクしたときは

■ エアの注入

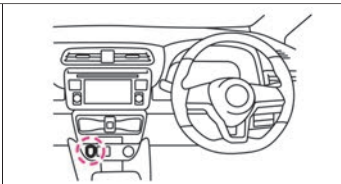
- 1 パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。



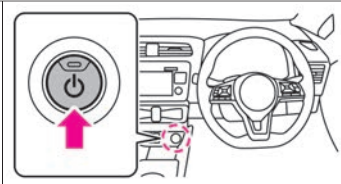
- 2 ホース先端の保護キャップ◎を外し、ホースをパンクしたタイヤのバルブに確実にねじ込みます。
このとき、排気バルブ◎が閉まっていることを確認してください。



- 3 コンプレッサーのスイッチがOFFの状態で、電源プラグを車室内の電源ソケットに差し込みます。



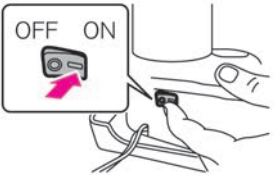
- 4 パワースイッチをアクセサリ状態にします。



⚠ 注意

- ホースとタイヤのバルブを確実に接続する。
ホースとタイヤの接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 破裂の危険があるので応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れる。
- タイヤに亀裂や変形が生じている場合、ただちにコンプレッサーのスイッチをOFF（「○」の位置）にし、修理を中止する。
バルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。
- 空気を入れたあとは、ホースの口金が発熱することがあるため、やけどしないように注意する。

パンクしたときは

5	コンプレッサーのスイッチをON（「I」の位置）にし、タイヤを指定空気圧または180kPa以上になるまで空気を充てんします。この際、実際の空気圧が測れるようにコンプレッサーを一時停止して空気圧計で測定してください。 ※：タイヤの指定空気圧は、運転席ドア開口部に表示されています。	
6	指定空気圧または180kPa以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチをOFF（「O」の位置）にし電源プラグを電源ソケットから抜きます。	
7	ホースをタイヤのバルブからすばやく取り外し、タイヤのバルブにキャップを取り付けます。	

 アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。
- 修理剤ボトルは、コンプレッサーのボトルホルダーから取り外さないでください。取り外すとボトル内に残った液剤がこぼれるおそれがあります。

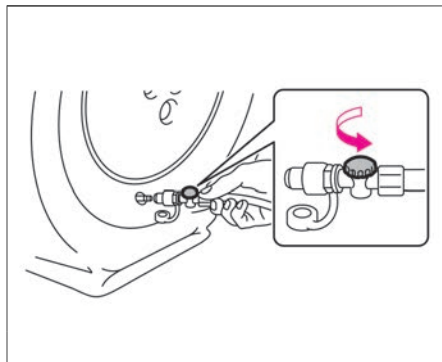
パンクしたときは

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。この場合は、本修理キットで応急修理をすることはできません。日産販売会社またはJAFなどに連絡してください。

空気を入れすぎてしまったとき

排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。



パンクしたときは

■ 点検走行

- 1 ただちに走行を始め、10分間または3km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。

- 2 走行後、再度タイヤ空気圧を測定します。コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）であることを確認します。コンプレッサーからのホースをタイヤのバルブに取り付け、タイヤ空気圧を確認してください。



注意

- 走行するときは、低速で慎重に運転し、特にカーブや旋回時には注意する。

130kPa未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

130kPa以上指定空気圧未満の場合

コンプレッサーのスイッチをON（「I」の位置）にして指定空気圧まで昇圧し、点検走行の作業を行います。上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

JAFの営業所一覧…別冊のメンテナンスノートをお読みください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

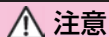
アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社または修理会社で点検を受けてください。

知識

- 修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換することをおすすめします。修理・再使用される場合は、専門の修理業者と相談してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、タイヤのバルブは新しいものと取り替えてください。
- 修理剤とホースは再使用できません。使用後は新しい修理剤とホースをお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

タイヤ応急修理キットの注意事項



注意

タイヤ応急修理キットについて

- タイヤ応急修理キットは、必ず日産純正品を使用する。
- タイヤ応急修理キットは搭載車両専用のため、他の車には使用しない。
- タイヤ応急修理キットは自動車用タイヤの空気充てんや空気圧チェック以外で使用しない。
- タイヤ応急修理キットはDC12V専用のため、他の電源での使用はしない。
- 水やほこりを避けて使用する。
- 分解、改造などは絶対にしない。
- コンプレッサーに衝撃を与えない。
故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意する。

修理剤について

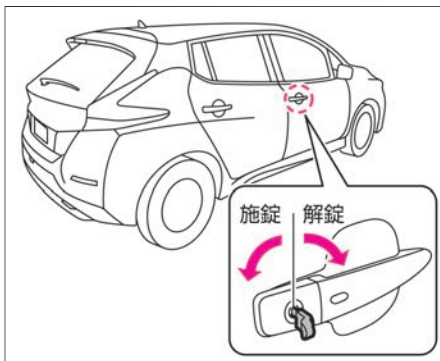
- 修理剤を口に入れない。
修理剤を飲みこむと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- 万一、目や皮膚に付着したときは、水でよく洗い流す。
それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

ドアが開かないときは

キー（インテリジェントキー）の電池が切れたときや、12Vバッテリーがあがったときなどドアが開かないときは、次の方法で施錠・解錠してください。

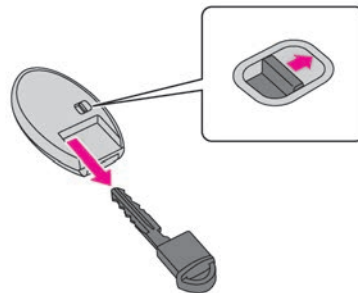
■ 内蔵キー（メカニカルキー）でのドアの開けかた

運転席ドアにある鍵穴に内蔵キーを差し込んで車両前方に内蔵キーを回すと解錠します。施錠するときは、車両後方に内蔵キーを回します。



知識

- 内蔵キーはキーに内蔵されています。

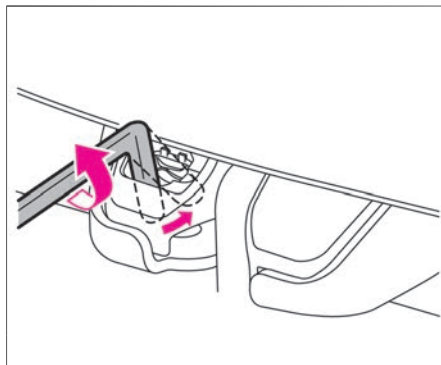
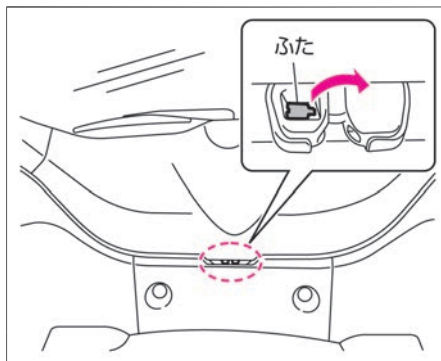


ドアが開かないときは

緊急時のバックドアの開けかた

12Vバッテリーあがりなどにより、バックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

- バックドアの車室内側にあるロック機構のふたを開けます。
- お手持ちの六角レンチを穴に差し込みレバーを矢印の方向に動かして解錠し、バックドアを持ち上げます。



アドバイス

- この手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは使用しないでください。
- バックドアオープナースイッチなどの故障につながるおそれがあるため、操作をしたときは日産販売会社で点検を受けてください。
- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

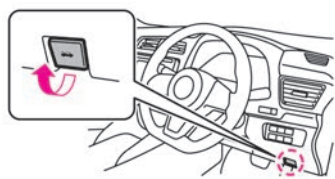
充電ポートリッドが開かないときは

緊急時の充電ポートリッドの開けかた

1

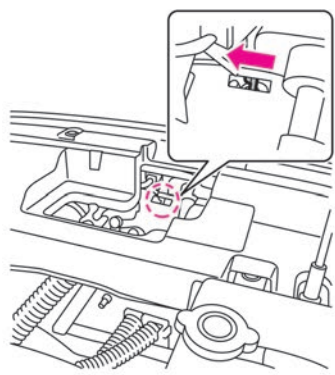
ボンネットを開けます。

➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.469)



2

お手持ちの工具（マイナスドライバーなど）で充電ポートリッド裏側のレバーを矢印の方向に動かすと、ロックが解錠されます。

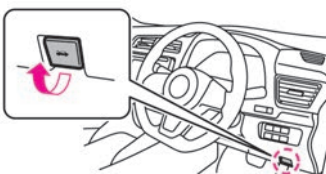
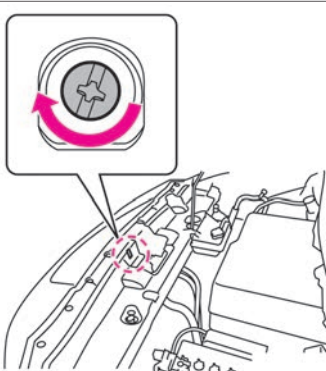


🚗 アドバイス

- この手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは行わないでください。
- 故障の原因になるため、矢印と逆方向には動かさないでください。

充電コネクタロックが解除できないときは

緊急時の充電コネクタロックの解除のしかた

1	ボンネットを開けます。 ➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.469)	
2	お手持ちの工具（プラスドライバーまたはマイナスドライバー）を準備します。 （ラゲッジルーム内のジャッキハンドルバーでも代用できます。）	
3	穴の奥にあるネジ部を矢印の方向に約45度回すと、ロックが解除されます。	



アドバイス

- この手順は、あくまで故障時の緊急手段です。故障の原因になるため、正常なときは行わないでください。
- 故障の原因になるため、矢印と逆方向には回さないでください。

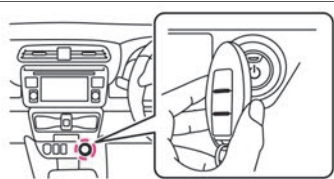
EVシステムを始動できないときは

キーの電池が切れたときや、使用環境によりキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順でEVシステムを始動してください。

始動のしかた（パワースイッチON）

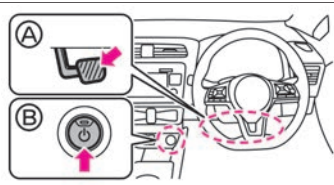
1

ブレーキペダルを踏み、キー（インテリジェントキー）の裏面をパワースイッチに接触させます。
（ブザーが“ピピッ”と鳴ります。）



2

ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダル①をしっかりと踏みながら、パワースイッチ②を押します。


 アドバイス

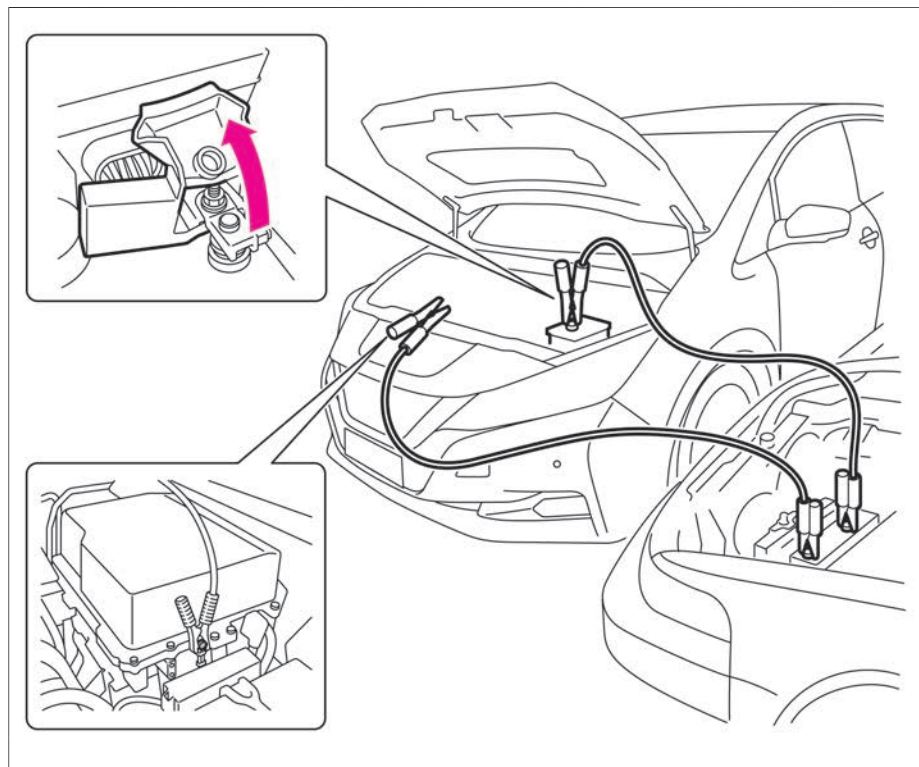
- 左記の手順でEVシステムを始動できない場合は、早めに日産販売会社に連絡してください。

 知識

- EVシステムの停止操作（パワースイッチOFF）は通常と同じ手順です。
- ドアの施錠・解錠は、内蔵キー（メカニカルキー）（➡P.436）を使って行ってください。
- キーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。
➡キー（インテリジェントキー）の電池交換（P.495）

12Vバッテリーがあがったときは

12Vバッテリーがあがり、EVシステムの始動ができなくなったときは救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。



⚠ 警告

- ジャンプスタートを行うときは換気を十分に行い、火気は近づけない。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受ける。バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。
- ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
- ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
- ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- バッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、

12Vバッテリーがあがったときは



警告

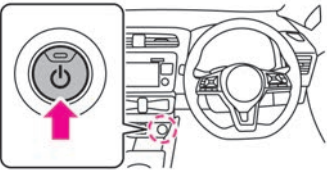
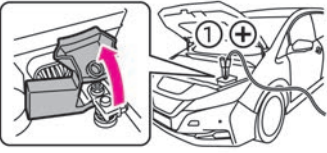
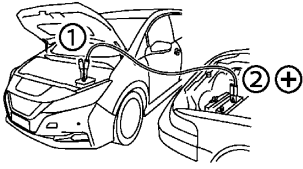
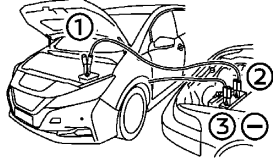
バッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

- **バッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。**

しっかり固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリーがあがったときは

ジャンプスタートのしかた

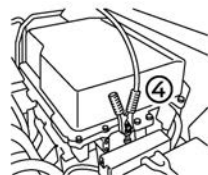
1	自車と救援車のパワースイッチをOFFにします。 ➡ パワースイッチ (P.244)	
2	ブースターケーブル①を自車の12Vバッテリーの⊕端子に接続します。	
3	手順2のケーブルの反対側②を救援車の12Vバッテリーの⊕端子に接続します。	
4	もう1本のブースターケーブル③を救援車の12Vバッテリーの⊖端子に接続します。	

⚠ 注意

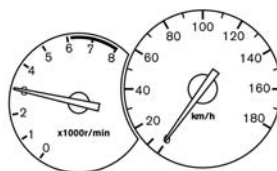
- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意する。
- ブースターケーブルは、確実に接続する。
 救援車のエンジン始動時の振動で外れたりしないように確実につないでください。
- 冷却ファンやベルトに注意する。
 ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

12Vバッテリーがあがったときは

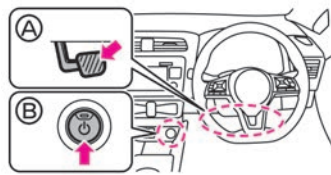
- 5** 手順4のケーブルの反対側④を自車の車体（12Vバッテリーから離れたステーなど）に接続します。



- 6** 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。



- 7** 自車のブレーキペダル①をしっかりと踏みながら、パワースイッチ②を一回押します。



- 8** 走行可能表示灯が点灯したことを確認し、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。



アドバイス

- 押しがけによる始動はできません。
- この車両を救援車として使用しないでください。
- 救援車には12Vバッテリー仕様の車両を使用してください。
- ジャンプスタートを行うときは、充電ケーブルを取り外してください。車両または充電機器を破損するおそれがあります。

出力制限表示灯が点灯したときは

外気温が高いときや連続で高速走行や登坂走行をしたとき、また、急速充電を繰り返したときは、リチウムイオンバッテリーの温度が上がり、出力制限表示灯  が点灯する場合があります。

出力制限表示灯が点灯したときは、加速性能や回生ブレーキ性能が制限されることがあるため、次の対処方法に従ってください。

点灯したときの状況	対処方法	注意事項
走行中に出力制限表示灯  が点灯したとき	高速道路を走行しているとき 80km/h以下で走行してください。次のパーキングエリアまたはサービスエリアで車両を止め、出力制限表示灯  が消灯するまで待ちます。 一般道を走行しているとき 安全な場所に停車し、出力制限表示灯  が消灯するまで待ちます。	出力制限表示灯  が消灯しないときは、日産EVカスタマーセンター（0120-230-834）にご連絡ください。
急速充電で出力制限表示灯  が点灯したとき	リチウムイオンバッテリーを冷やすため、パワースイッチをOFFにし、出力制限表示灯  が消灯するまで待ちます。（可能な場合、日かげで照り返しのない場所に移動してから待ちます。）	

リチウムイオンバッテリーの残量がなくなったときは

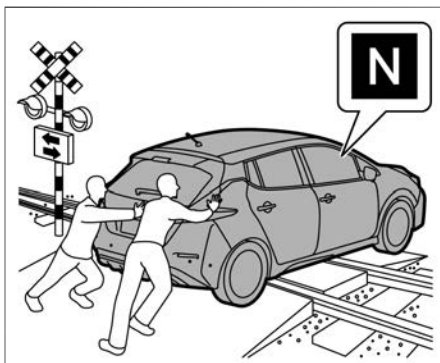
リチウムイオンバッテリーの残量が完全になると、走行可能表示灯が消灯し走行できなくなります。

バッテリーの残量が完全になくなったときの対処のしかた

リチウムイオンバッテリーの残量が完全になくなったときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産EVカスタマーセンター（0120-230-834）にご連絡ください。

万一、安全な場所に移動する前に走行できなくなったときは、付近の人に応援を求め、車両を手で押して安全な場所に移動してください。

このとき、シフトポジションは **N** にします。



アドバイス

- 救援を待つ間は、パワースイッチをOFFにしてください。パワースイッチをONまたはアクセサリーの状態のままにしておくと、12Vバッテリーがあがるおそれがあります。
- リチウムイオンバッテリーの残量が完全になると、走行可能表示灯が消灯し、シフトポジションも自動的に **N** に切り替わるため、自力での走行ができなくなります。
- リチウムイオンバッテリーの残量が完全になり、車両が停止するときに振動が発生することがありますが、異常ではありません。
- リチウムイオンバッテリーの残量が完全になくなったときは、リチウムイオンバッテリー残量警告灯（黄色）が消灯（白色）するまで充電してください。

警告灯がついたときは

運転中に警告灯・表示灯が点灯または点滅したときは、次の対処方法に従ってください。

車両故障のおそれがない表示灯の説明は、 表示灯の表示位置 (P.128)をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示された場合は、 警告 (P.140) をお読みください。

警告灯	名称	点灯・点滅する理由	説明・対処方法
	EVシステム警告灯	● モーターや高電圧システムなどに異常があると点灯します。	● アドバンスドドライブアシストディスプレイに「安全に停車してください」というメッセージが表示された場合、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。
	12V系充電警告灯	● 12Vバッテリーの充電系統に異常があると点灯します。	● アドバンスドドライブアシストディスプレイに「安全に停車してください」というメッセージが表示された場合、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。 また、走行可能表示灯  が点灯しているまま、12Vバッテリーを外部電力で充電しないでください。車両が破損するおそれがあります。
	ABS警告灯	● ABSのシステムに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 点灯したときはABSが作動しなくなるため、高速走行や急ブレーキを避けて運転してください。
	電動パーキングブレーキ警告灯★	● 電動パーキングブレーキがかかっていると点灯し、電動パーキングブレーキを解除すると消灯します。 ● 電動パーキングブレーキのシステムに異常があると点滅します。	● 電動パーキングブレーキが解除されていることを確認してください。 電動パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、すみやかに車両を安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。

警告灯	名称	点灯・点滅する理由	説明・対処方法
 電動パーキング ブレーキ無車	ブレーキ警告灯 (赤色)	● 次の場合に点灯し続けます。 - ー パーキングブレーキをかけているとき - ー ブレーキ液が不足しているとき - ー ブレーキシステムに異常があるとき	● パーキングブレーキがかかっているときは、パーキングブレーキを解除します。 ● パーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社にご連絡ください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 ブレーキの効きが極度に悪いときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、走行しないでください。 ● ブレーキ液が正常でABS警告灯と同時に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する理由	説明・対処方法
 電動パーキング ブレーキ付車	ブレーキ警告灯 (赤色)	● 次の場合は点灯し続けます。 － ブレーキ液が不足しているとき － ブレーキシステムに異常があるとき	● 走行中にブレーキ警告灯（赤色）が点灯した場合は、車両を停止し、以下の確認を行ってください。（ブレーキシステム警告灯（黄色）と同時にVDC警告灯  も点灯します。）日産販売会社で点検を受けてください。 － ブレーキ液の量が規定通りに入っていることを確認してください。ブレーキ液が不足している場合は、ブレーキ液を補充し日産販売会社で点検を受けてください。 － ブレーキ液の量が適正のときは、他に原因があることが考えられますので、日産販売会社で点検を受けてください。
	ブレーキシステム警告灯（黄色）	● パワースイッチがONのとき、次の機能に異常があると点灯します。 － ブレーキシステム － 回生ブレーキ － ヒルスタートアシスト － 電動パーキングブレーキ★	● パーキングブレーキを解除し、ブレーキ液量が正常でブレーキ警告灯（赤色）と同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。このときは、ブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効が悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 ● ブレーキ警告灯（赤色）と同時に点灯していないときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯・点滅する理由	説明・対処方法
	シートベルト警告灯	● 運転者および助手席の乗員がシートベルトを着用していないと点灯します。	● シートベルトを着用してください。走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
	SRSエアバッグ警告灯	● SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯を続けます。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。点灯したまま放置すると、万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
	VDC警告灯	● VDC作動中に点滅します。 ● VDCのシステムに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。点灯したときは、VDCの作動は停止するため、滑りやすい路面では注意して走行してください。
	EPS（電動パワーステアリング）警告灯	● 電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しないため、ハンドルの操作力が重くなります。注意して運転してください。
	リチウムイオンバッテリー残量警告灯	● リチウムイオンバッテリーの残量が低下すると黄色く点灯します。	● すみやかに最寄りの充電施設で充電してください。

警告灯	名称	点灯・点滅する理由	説明・対処方法
	出力制限表示灯	● 以下の状態になると点灯します。 － リチウムイオンバッテリーの残量が極端に少ないとき － リチウムイオンバッテリーの温度が低すぎるとき － リチウムイオンバッテリーや走行用モーター、冷却システムなどの温度が高すぎるとき － 車両が故障しているとき	状況に応じて以下の手順に従ってください。 ● リチウムイオンバッテリーの残量が極端に低下したときは、すみやかに充電してください。充電できる場所が近くにないときは、すみやかに安全な場所に停車し、EVカスタマーセンター（0120-230-834）にご連絡ください。 ● リチウムイオンバッテリー温度計（ P.133）の表示が極端に低いときは、充電をするか、車両を屋内などの暖かい場所へ移動させてください。 ● リチウムイオンバッテリー温度計の表示が極端に高いときは、 P.445をお読みください。 上記以外で表示灯が点灯したときは、故障のおそれがあります。日産販売会社にご連絡ください。
	電制シフト警告灯	● 電制シフトのシステムに異常があると点灯します。	● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。また、この警告灯が点灯したときは、パワースイッチを押してもパワースイッチがOFFにできないときがあります。その場合、パーキングブレーキを確実にかけた状態でパワースイッチを押すと、パワースイッチをOFFにできます。

警告灯	名称	点灯・点滅する理由	説明・対処方法
	インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト★警告灯	● 次の場合は点灯します。 - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしているとき - ー VDCをOFFにしているとき - ー インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき ● 次の場合は点滅します。 - ー 踏み間違い衝突防止アシストが作動したとき ● 次の場合はゆっくり点滅します。 - ー フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき - ー 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき - ー 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき - ー フロントガラスの結露や曇りなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき	● インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは、VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 ● 一度パワースイッチをOFFにしてから再始動しても警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ● フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。 ● 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると自動的に作動を復帰します。 ➡ <u>インテリジェント エマージェンシーブレーキ (P.337)</u> ➡ <u>踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.347)</u> ➡ <u>VDC (ビークルダイナミクスコントロール) (P.289)</u>
	マスターウォーニング	● アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示されると同時に点灯します。	● 同時に表示した警告メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従ってください。 ➡ <u>警告 (P.140)</u>

ブザー（警報音）が鳴ったときは

車両盗難などを防ぐため、車内外でブザー（警報音）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ…	ドアハンドルのスイッチを押したとき	パワースイッチはOFFになっているか キーを車室内に置き忘れていないか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にドアハンドルのスイッチを押していないか
		キー（インテリジェントキー）のドア施錠スイッチを押したとき	いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前に施錠スイッチを押してはいないか
		ドアを閉めたとき	無意識にドアハンドルのスイッチを押していないか
	ピッピッピッ	ドアを閉めたとき	パワースイッチがONまたはアクセサリーの状態のまま、キーが車外に持ち出されていないか
		キーの充電コネクタロック解除スイッチを押したとき 充電ポートリッドオープナースイッチを押したとき	充電ポートリッドが開いたことをお知らせする音で、異常ではありません
	ピッピッピッ… （約30秒）	充電コネクタを接続したとき	充電コネクタが正しく接続されているか
	キー（金属音）	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗していないか 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

ブザー（警報音）が鳴ったときは

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車室内	ピピピピッ、 ピピピピッ…	運転席ドアを開けたとき	パワースイッチがアクセサリーの状態のままになっていないか
	ピピッピピッピ ピッ	ドアを閉めたとき	パワースイッチがONまたはアクセサリーの状態のまま、キー（インテリジェントキー）が車外に持ち出されていないか
		パワースイッチを押したとき	キーを携帯しているか キーを携帯してもブザーが鳴るときは、キーの電池を交換してください
	ピピッピピッ…	運転席ドアを開けたとき	パワースイッチがONのままになっていないか シフトポジションを P にしているか

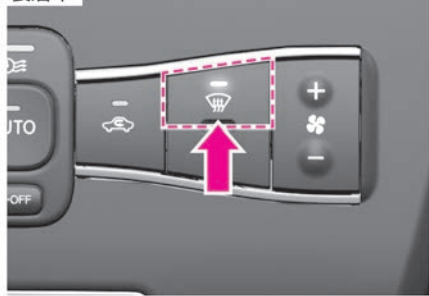
窓ガラスがくもったときは

パワースイッチがONのとき使えます。

フロントガラスのくもりの取りかた

- デフロスタースイッチを押すとエアコンが作動し、外気導入に切り替わります。
(スイッチの表示灯が点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。
(スイッチの表示灯が消灯)

メーカーオプションナビゲーションシステム
装着車



メーカーオプションナビゲーションシステム
非装着車



⚠ 注意

- デフロスタースイッチをONにしているときは、エアコンの設定温度を低くしない。
フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- デフロスタースイッチをONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。
- デフロスタースイッチは、連続して長時間ONにしないでください。消費電力が多いため、航続可能距離が減少する原因になります。

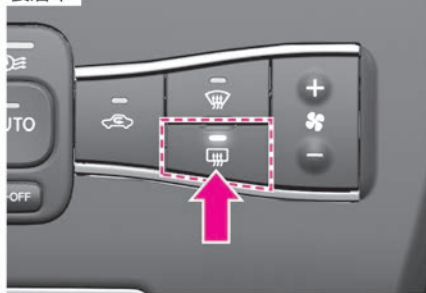
📖 知識

- デフロスタースイッチをONにすると、自動的にA/Cスイッチ、HEATスイッチの表示灯が点灯し、外気導入に切り替わります。

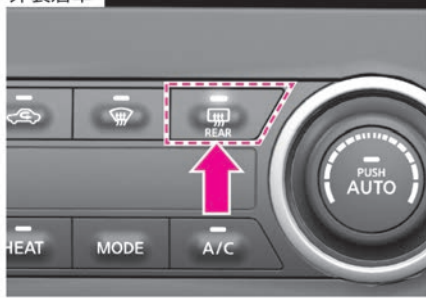
リヤガラスのくもりの取りかた

- リヤデフォグスイッチを押すと約15分間作動し、バックドアガラスの熱線が暖まります。
(スイッチの表示灯が点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。
(スイッチの表示灯が消灯)

メーカーオプションナビゲーションシステム
装着車



メーカーオプションナビゲーションシステム
非装着車



🚗 アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が多いため12Vバッテリーあがりの原因になります。

📖 知識

- ドアミラーヒーター付車は、リヤデフォグスイッチを押すと、ドアミラーヒーターも同時に作動します。

雪道やぬかるみにはまったときは

雪道、砂地、ぬかるみなどでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったときは、次の方法で脱出してください。

脱出のしかた

1	アドバンスドドライブアシストディスプレイでVDCをOFFにします。 ➡ VDCのON・OFFのしかた (P.291)	
2	車両の前後に障害物が無いことを確認し、ハンドルを左右に回して前輪の周囲をならしめます。 必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。	
3	ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。 周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。	

⚠ 警告

- **周囲の安全を必ず確認する。**
周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何も無いことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- **必要以上にアクセルペダルを踏み込まない。**
急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **脱出するときは、過度にタイヤを空転させない。**
タイヤがパースト（破裂）したり、駆動部品の異常加熱により思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

🚗 アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

MEMO

トラブルがおきたときは

メンテナンス

メンテナンスの前に

点検整備・工具について	P.460
-------------	-------

点検と整備

モータールーム	P.468
ウォッシャー液の補給	P.470
寒冷時の取り扱い	P.471
タイヤ	P.474
冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.478
ワイパー	P.479
ヒューズ	P.481
電球（バルブ）交換	P.484
キー（インテリジェントキー）の電池交換	P.495
12Vバッテリー	P.496

清掃・お手入れ

外装のお手入れ	P.497
内装のお手入れ	P.506

サービスデータ

点検値／交換油脂類	P.510
車両仕様	P.512
イベントデータレコーダ（EDR）	P.515
車両状態記録機能	P.517
知っておいていただきたいこと	P.518

点検整備・工具について

道路運送車両法により、定期点検と日常点検が義務付けられています。正しい点検整備を行いお車を安全にお使いください。
点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

点検整備の種類

● 日常点検

走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。
いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。（音、振動、
におい、水もれ、油もれなど）

● 定期点検

1年ごとに実施する点検です。12か月点検および24か月点検があります。

● その他の点検

新車時の無料点検や、厳しい使われかたをしたときに必要な点検があります。



警告

- 充電インジケータが点灯・点滅しているとき、またはタイマーエアコン表示灯*が点滅しているときは、整備作業を行わない。

高電圧システムが作動しているため、感電するおそれがあります。

➡ オートエアコン（メーカーオプションナビゲーションシステム装着車）（P.221）

- 整備作業を行うときは、車両から充電コネクタを取り外した状態でパワースイッチを一旦ONにし、再度OFFにしてから、12Vバッテリーの⊖端子を外す。

上記の作業を行わずに整備作業を行うと、高電圧システムが突然作動し、感電するおそれがあります。



知識

- 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。

■ 車検、点検整備のとき

- 車検、点検整備については、日産販売会社にご相談ください。
- 検査標章（ステッカー）の貼り付け位置について
- フロントガラスにあるマルチセンシングフロントカメラを避け、車室内から貼り付けます。車外から見やすい位置に貼り付けてください。
マルチセンシングフロントカメラ（➡ P.502）

工具の収納場所

- 工具・ジャッキ★・タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルーム左側に格納されています。
 - ➡ ジャッキ★の取り出ししかた (P.463)
 - ➡ 応急修理する前に (P.426)
 - ➡ タイヤ応急修理キットについて (P.427)



⚠ 注意

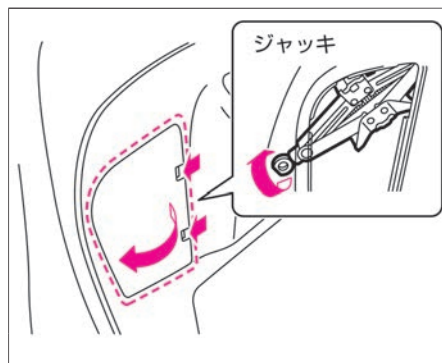
- 工具、ジャッキ★、タイヤ応急修理キットを使ったあとは、元の場所に収納する。
車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- この車両には、スペアタイヤおよびジャッキが標準で搭載されていません。ジャッキアップをする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類や発炎筒（➡ P.421）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

ジャッキ★の取り出し方

- ジャッキはラゲッジルーム左側に格納されています。
ジャッキはゆるめてから取り出します。
- ジャッキを格納するときは、取り出したときと逆の手順で行い、ガタツキがなくなるまでしっかりと締め付けます。



⚠ 注意

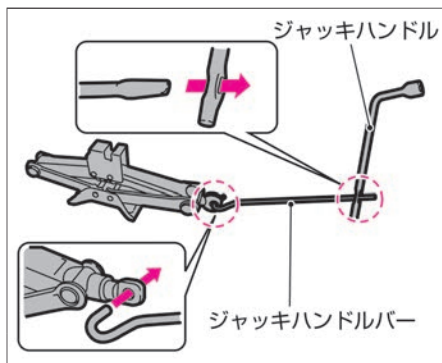
- ジャッキを取り出すときは、手をぶつけないように注意する。
金属部などに手をぶつけると、ケガをするおそれがあります。
- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使用しない。

🚗 アドバイス

- ジャッキを格納するときは、ドライバーなどで無理に締め付けないでください。ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。
- ジャッキが内装部品にぶつからないようにしてください。傷がつくおそれがあります。

ジャッキの使いかた★

- ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。
- ジャッキを使って車両を持ち上げるときは、正しい位置にジャッキを設置してください。

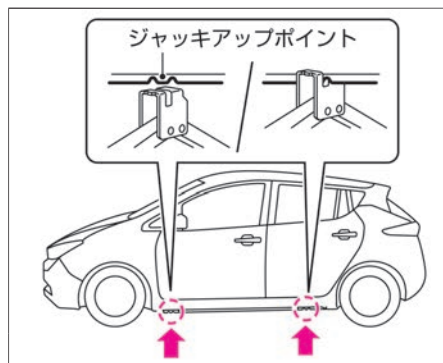


⚠ 注意

- 工具、ジャッキを使ったあとは、元の場所に収納する。
車室内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーをしっかりと握って回す。
ジャッキハンドルバーが回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。
- ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込む。
ジャッキハンドルバーが確実に差し込まれていないと、外れて思わぬケガをするおそれがあります。
- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らない。
ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ジャッキアップ中はEVシステムを始動しない。
車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

ジャッキアップポイント

- 矢印の位置がジャッキアップポイントです。



⚠ 注意

- ジャッキ★を使うときは、次のことを必ず守る。
 - ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使用しないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使用しないでください。
 - ジャッキはタイヤ交換又はタイヤチェーンの脱着以外には使用しないでください。
 - 平坦で硬いところに駐車して作業してください。
 - 使用前にパーキングブレーキをかけ、シフトポジションを **P** にしてください。
 - 輪止めなどで車を固定してください。
 - ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
 - 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

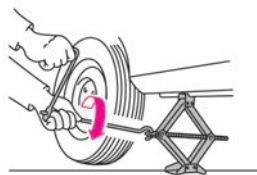
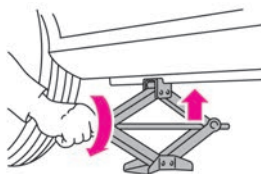
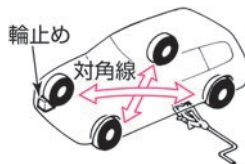


アドバイス

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキ★をかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

ジャッキアップのしかた★

1	交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。 🔗 停車・駐車のみ (P.262)
2	ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。 前輪をジャッキアップするとき：後輪の後ろ側 後輪をジャッキアップするとき：前輪の前側
3	ジャッキの上部がジャッキアップポイントに接触するまで、ジャッキを矢印の方向に手で回します。
4	ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



⚠ 注意

- やわらかい地面の上ではジャッキアップしない。
ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず傾斜地で作業するときは、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにする。

🚗 アドバイス

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体に変形するおそれがあります。

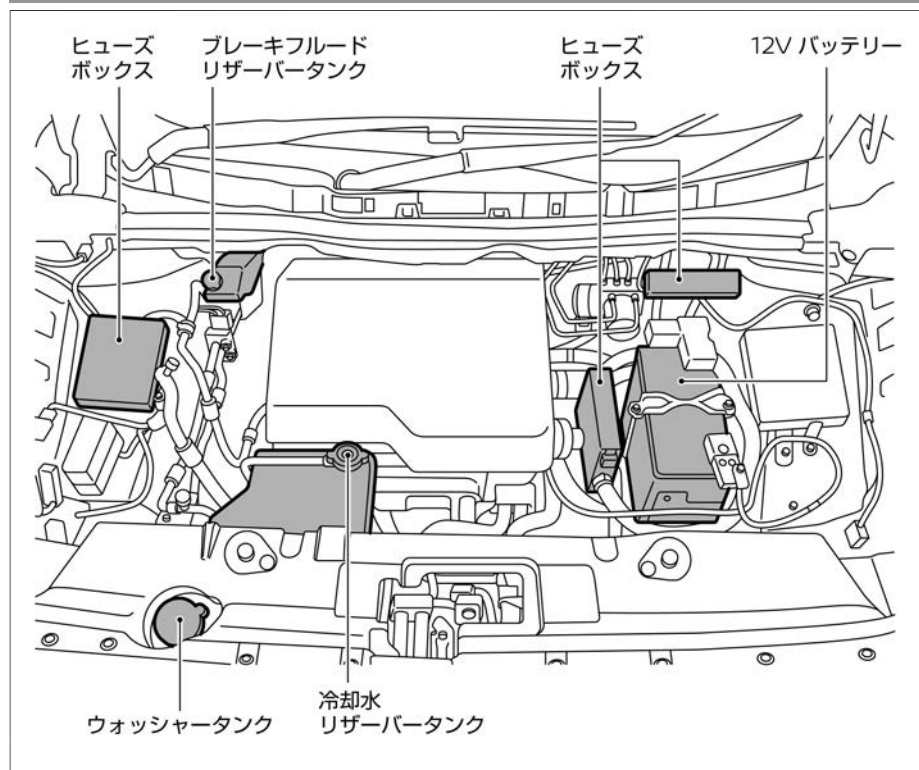
📖 知識

- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

モータールーム

モータールーム内を点検するときは安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でボンネットを開けます。

モータールーム内の配置図



⚠ 警告

- モータールーム内の作業をするときは、**パワースイッチをOFFにする**。
EVシステム作動中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。

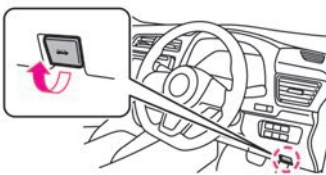
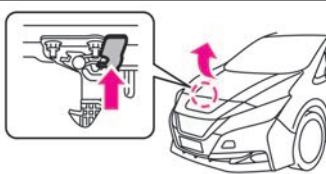
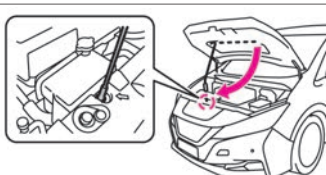
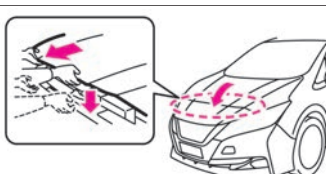
⚠ 注意

- 点検や整備に使用した工具や布などをモータールーム内に置き忘れない。
故障や車両火災につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ワイパーアームを起こしたままボンネットを開けないでください。ボンネットやワイパーを損傷します。
- 点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

ボンネットの開けかた、閉めかた

1	運転席の右下にある解除レバーを引きます。ボンネットが少し浮き上がります。	
2	ボンネット中央のレバーを引き上げながら、ボンネットを持ち上げます。	
3	ボンネット裏側に付いているステーをフックから外し、車体の穴（ステー差し込み位置）に確実に差し込みます。	
4	閉めるときはステーをフックに戻し、ボンネットをゆっくり降ろして20cm ～ 30cm の高さからボンネットを落とし、確実にロックします。	

⚠ 警告

- 走行前、ボンネットが確実に閉まっていることを、必ず確認する。
ロックされていないと、走行中にボンネットが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

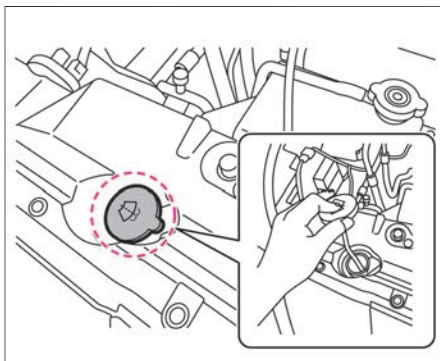
- 風が強いときは、ボンネットをしっかり持ってゆっくりと開ける。
- ボンネットを開けたときは、ボンネットに頭などをぶつけないよう注意する。
- ラジエーターなどの高温部には触れない。
やけどをするおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意して降ろす。

ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

補給のしかた

- ウォッシャータンクのふたの穴を押さえて引き抜くと、スポイト式にウォッシャー液の残量が確認できます。
- 減っているときは、ウォッシャータンクのふたを外し、ウォッシャー液を補給してください。
- ウォッシャー液は、必要に応じ水で薄めてください。希釈割合はウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にします。



⚠ 注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部につけない。出火するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

📖 知識

- フロントワイパーとリヤワイパーのウォッシャータンクは兼用です。
- ウォッシャー液の残量を確認したとき、ウォッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウォッシャータンクはほぼ空の状態です。
- 日産純正ウインドーウォッシャー液をおすすめします。
ウォッシャータンク容量 ➡ P.511

寒冷時に備えて、準備や点検などを正しく行ってください。

冬の前の準備

■ 冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

冷却水の濃度	凍結温度
30%	約-15°C
50%	約-35°C

- 冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。
サービスデータ（冷却水）➡ P.511

■ 12Vバッテリーの液量、比重の点検

- 別冊のメンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■ 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。
- タイヤチェーンは、タイヤサイズにあった日産純正品をおすすめします。

■ ウォッシャー液の濃度点検

- ウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の容器に記載してある凍結温度を参考に外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。



アドバイス

- 寒冷地仕様車の冷却水は工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■ 運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーなどが凍結したときは、無理に開けたり動かししたりせず、凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐに水分をふき取ってください。
- ガラスに雪や霜が積もっているときは、プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように雪を取り除いてください。
- 足まわり（ブレーキ周辺、フェンダーの裏側など）が凍りついているときは、部品を破損しないように注意しながら、付着した氷塊を取り除いてください。
- 車室内に乗り込むときは、靴についた雪を取り除いてください。



警告

- **ルーフに積もった雪は落とす。**
窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道の走行のしかた

■ 滑りやすい路面に注意

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

🔄 タイヤチェーンについて (P.478)

■ 走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。時々確認して雪を取り除いてください。

■ 駐車するときの注意

- シフトポジションを **P** にし、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなきや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。
- 雪が積もりそうなきはアンテナロッドを取り外してください。アンテナロッドが破損するおそれがあります。

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。日常的に点検を行ってください。

■ タイヤの点検項目

安全な走行のため、タイヤの点検は次の項目を点検してください。

詳細は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

タイヤ空気圧

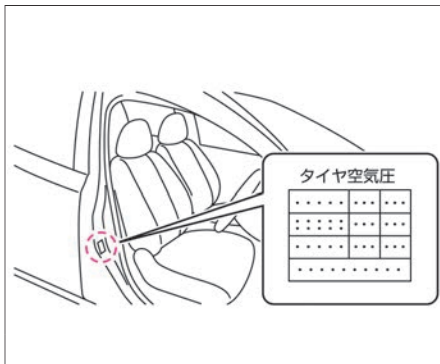
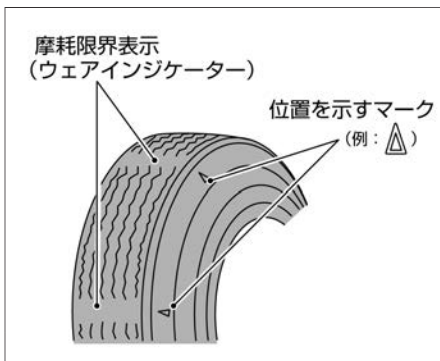
- すべてのタイヤの空気圧を点検してください。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してあります。

タイヤの亀裂・損傷の有無

- タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷および針などの異物が刺さっていないか点検してください。

タイヤの溝の深さ、異常な摩耗

- タイヤの溝の深さが十分であるか、ウェアインジケーター（摩耗限界表示）が表れているか点検してください。
- タイヤが摩耗して接地面とウェアインジケーター（摩耗限界表示）が同じ高さになったらタイヤを交換してください。



⚠ 注意

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行しない。**
バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **5～7年を目安に必ず点検する。**
タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。引き続き使用する場合は安全走行を確保するため、必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

📖 知識

- タイヤの空気は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- タイヤ空気圧の点検は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
- タイヤ側面の厚みが薄いタイヤは、空気圧が減っていることを目視で確認することが困難なため、必ずタイヤエアゲージを使用して点検してください。
- 走行直後はタイヤ空気圧が約1割程度上がる場合があります。

タイヤ・ロードホイールを交換するときは

- タイヤ交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。
- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。
- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。
ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

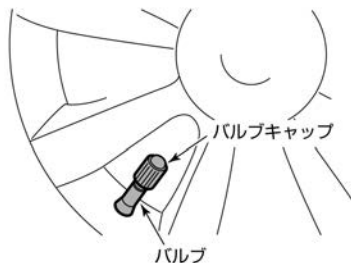
注意

- **指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けません。**
不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けます。**
径が異なるタイヤを装着すると車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。
 - － 摩耗差の大きいタイヤの装着
 - － 前輪または後輪だけに冬用タイヤを装着
 - － サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着



アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車のものは使えない場合があります。お手持ちのものをご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。日産純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。

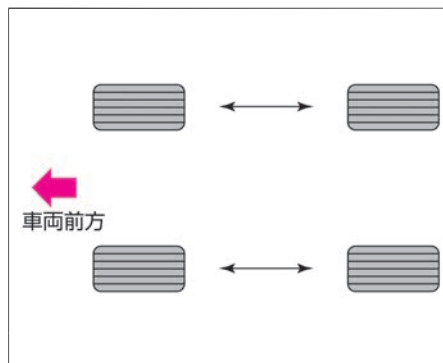


アドバイス

- バルブキャップを工具などを使用して締め付けると、バルブキャップが破損するおそれがあります。
- ホイールナットの締め付けトルクは、108N・m (11kg・m) です。

■ タイヤローテーションのしかた

左右それぞれで、前後タイヤの交換を行ってください。タイヤの偏磨耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約5,000km ごとにタイヤのローテーション（位置交換）を行うことをおすすめします。



⚠ 注意

- 著しく磨耗差のあるタイヤや空気圧が規定値と著しく異なるタイヤを装着しない。
車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。

🚗 アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

冬用タイヤ・タイヤチェーン

雪道や凍結した道路を走行するときは、冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

冬用タイヤについて

冬用タイヤを装着するときは、4輪とも指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のものに交換してください。

注意

- **タイヤチェーンを不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものを使用しない。**
ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

タイヤチェーンについて

タイヤチェーンを装着するときは、次のことを守ってください。

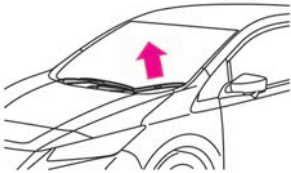
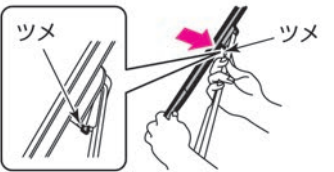
- タイヤチェーンを装着するときは、安全に作業できる平坦な場所に停車し、パワースイッチをOFFにして作業してください。
- タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って装着してください。
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、ホイールカバーやアルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行しないでください。また、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

ワイパーゴムが傷んでいると、きれいにふき取れなかったり、窓ガラスを傷つけたりします。定期的に点検し、傷んでいるときは次の手順に従って交換してください。

ワイパーブレードの交換のしかた

1	ワイパーアームを起こし、ワイパーブレードを少し傾けます。	
2	ワイパーブレードのツメを押したままにします。	
3	ワイパーブレードを矢印の方向に動かして取り外します。	
4	新しいワイパーブレードを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパーブレードが確実に固定されていることを確認します。	

⚠ 注意

- 交換するときは、ワイパーアームおよびワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつける。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

📖 知識

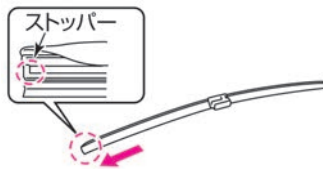
- リヤワイパーブレードの点検、交換が必要なときは、日産販売会社にご相談ください。

ワイパーゴムの交換のしかた

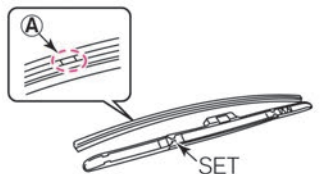
- 1** ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。



- 2** ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。



- 3** 取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。
- ワイパーゴムのストッパーがない方からブレードに沿って差し込みます。
 - ワイパーゴムのⒶ部をワイパーブレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。



知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

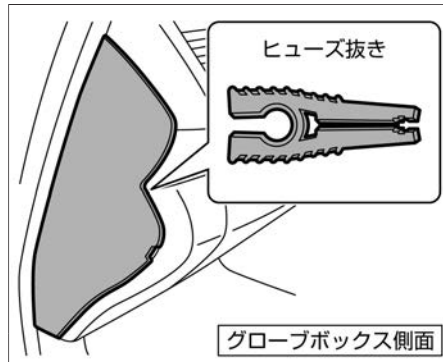
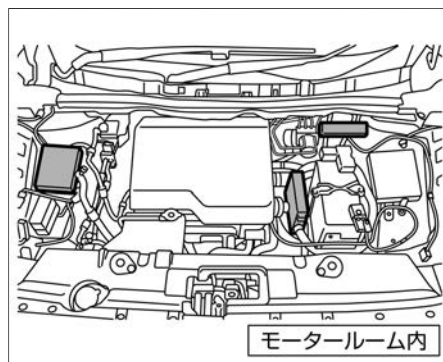
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。故障の状況から、関係するヒューズを確認してください。

ヒューズボックスの位置

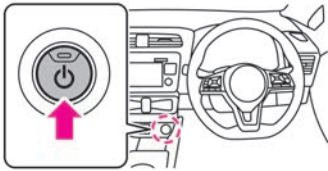
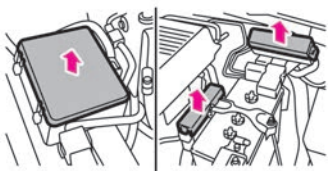
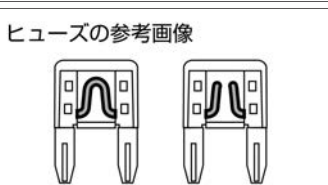
- ヒューズボックスは、次の位置にあります。
 - ー モータールーム内
 - ー グローブボックス側面
- 各ヒューズの位置は、ヒューズボックスのふたの裏側に表示してあります。

ヒューズ抜きについて

- グローブボックス側面のヒューズボックス内にヒューズ抜きがあります。



ヒューズの点検・交換のしかた（モータールーム内）

1	パワースイッチをOFFにし、ボンネットを開けます。 ➡ <u>ボンネットの開けかた、閉めかた</u> (P.469)	
2	ヒューズボックスのふたを外します。	
3	ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。 ➡ <u>ヒューズボックスの位置</u> (P.481)	 ヒューズ抜きで引き抜く
4	ヒューズが切れていないか点検します。 切れているときは新しいヒューズと交換します。	ヒューズの参考画像 

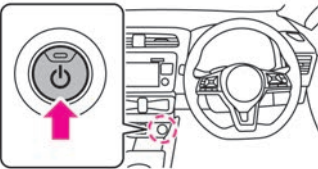
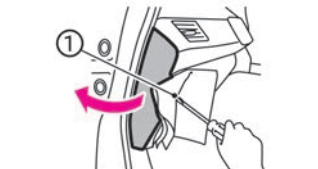
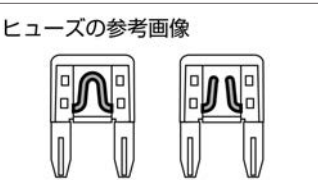
警告

- 高電圧部位、サービスプラグ、高電圧の配線（オレンジ色）およびそのコネクタに触れたり、取り外し、分解などは絶対に行わない。
重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。
電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

アドバイス

- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

ヒューズの点検・交換のしかた（グローブボックス側面）

1	パワースイッチをOFFにします。	
2	お手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を①のスリットに差し込み、ヒューズボックスカバーを外します。	
3	ヒューズ抜きを使用してヒューズを取り外します。 ➡ ヒューズボックスの位置 (P.481)	 ヒューズ抜きで 引き抜く
4	ヒューズが切れていないか点検します。 切れているときは新しいヒューズと交換します。	ヒューズの参考画像 

⚠ 警告

- 規定の容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使用しない。
電装システムの破損や火災につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

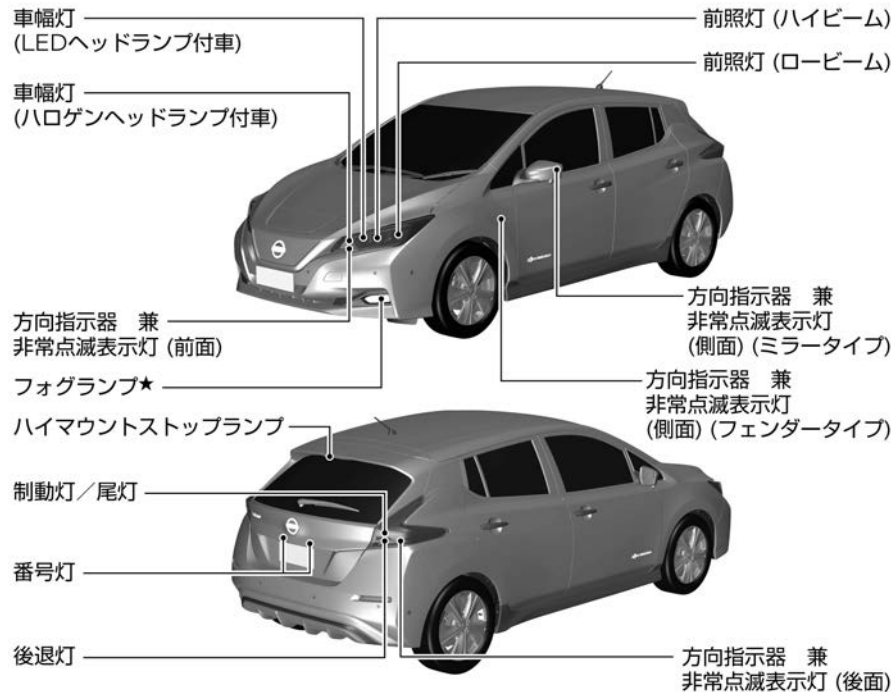
- お手持ちの工具を布などで覆い、傷をつけないように注意してください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。
- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

電球（バルブ）交換

外装ランプが点灯しないときは、電球の球切れが考えられます。

電球の交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

各電球の位置



⚠ 注意

- 電球交換は、ボンネットや電球が冷えた状態で行う。
やけどをするおそれがあります。
- 電球交換をするときは、軍手などを着用する。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように注意する。
- 電球は確実に取り付ける。
電球は点灯中、表面が高温になります。電球が正しく取り付けられていないと、走行中に電球が外れて周辺の部品に接触するなどし、発熱、発火につながるおそれがあります。



アドバイス

- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- 電球に油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。電球の寿命が短くなったり電球が破損するおそれがあります。

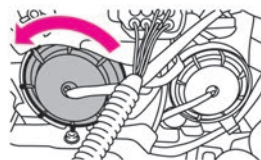
 知識

- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもると同様の現象で、機能上の問題ではありません。また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

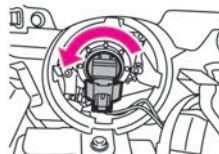
電球（バルブ）交換

ロービーム（ハロゲンヘッドランプ付車）

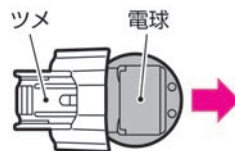
- 1 ボンネットを開け、カバーを取り外します。
 ➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.469)



- 2 ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



- 3 コネクターを取り外し、電球を交換します。
 （ツメを押しながら外します。）
 取り外したときと逆の手順で取り付けます。



⚠ 注意

- 電球の取り扱いには注意する。
 ヘッドランプに使用している電球は、電球内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。

🚗 アドバイス

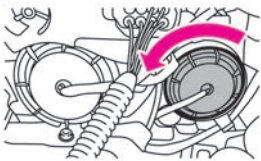
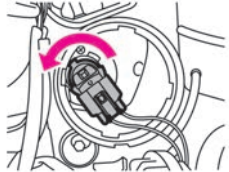
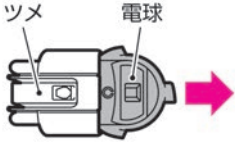
- ロービームヘッドランプ：12V-55W

📖 知識

- LEDヘッドランプ付車のロービームヘッドランプは交換できません。点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

電球（バルブ）交換

ハイビーム（ハロゲンヘッドランプ付車）

1	ボンネットを開け、カバーを取り外します。 ➡ <u>ボンネットの開けかた、閉めかた (P.469)</u>	
2	ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。 ※イラストは助手席側です。運転席側についてはソケットを逆方向に回して引抜きます。	
3	コネクタを取り外し、電球を交換します。 （ツメを押しながら外します。） 取り外したときと逆の手順で取り付けます。	

⚠ 注意

- 電球の取り扱いには注意する。
ヘッドランプに使用している電球は、電球内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。

📖 知識

- ハイビームヘッドランプ：12V-60W
- LEDヘッドランプ付車のハイビームヘッドランプは交換できません。点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

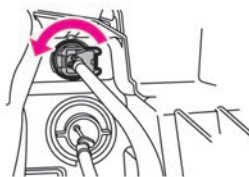
電球（バルブ）交換

車幅灯（ハロゲンヘッドランプ付車）

1

ボンネットを開け、ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。

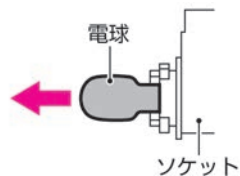
➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.469)



2

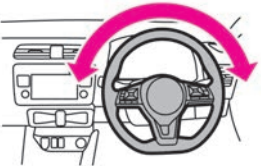
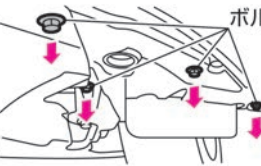
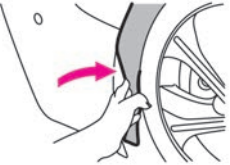
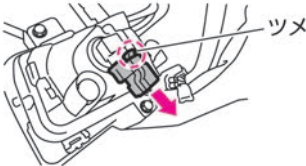
古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。

取り外したときと逆の手順で取り付けます。


 知識

- 車幅灯：12V-5W

フォグランプ★

1	作業スペースを確保するため、作業する側と反対方向にハンドルを切ります。	
2	お手持ちの工具でボルト4箇所を外します。	
3	カバーをめくり、作業スペースを確保します。	
4	コネクターを取り外します。 (ツメを押しながら外します。)	

アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

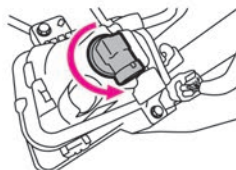
知識

- フォグランプ：12V-35W

電球（バルブ）交換

5

ソケットを矢印の方向に回して引き抜き、電球を交換します。



6

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）

1

ボンネットを開け、ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。

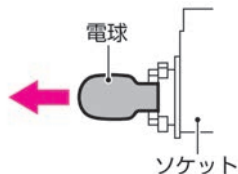
➡ ボンネットの開けかた、閉めかた (P.469)



2

古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。

取り外したときと逆の手順で取り付けます。

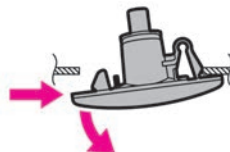


知識

- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）：12V-21W（アンバー）

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面/フェンダータイプ）

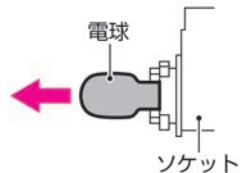
- 1 左右のスライドする方向に押しながら方向指示器全体を引き抜きます。



- 2 ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



- 3 古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。
取り外したときと逆の手順で取り付けます。

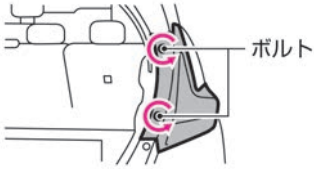
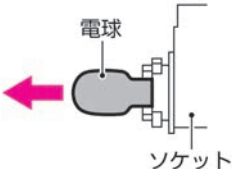

 アドバイス

- 無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- ソケットをテープなどで車体に貼り付けて電球を交換すると、フェンダー内部に落ちるのを防ぐことができます。

 知識

- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面）：12V-5W（アンバー）

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）／後退灯

1	バックドアを開けます。	
2	お手持ちの工具でリヤコンビランプのボルトを外し、ランプをまっすぐ後方に引いて取り外します。	 ボルト
3	交換したい電球のソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。	 方向指示器 兼 後退灯 非常点滅表示灯
4	古い電球を引き抜き、新しい電球をソケットに取り付けます。 取り外したときと逆の手順で取り付けます。	 電球 ソケット

知識

- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）：12V-21W（アンバー）
- 後退灯：12V-16W

次ページに続く

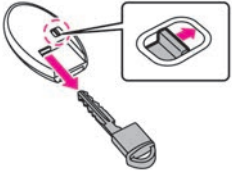
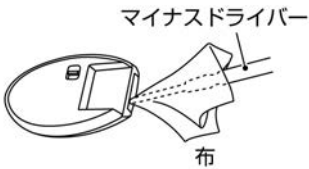
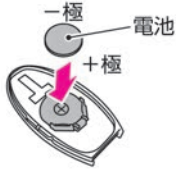
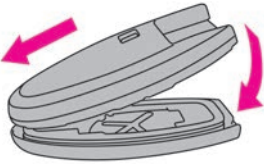
その他の電球

次の電球が点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

- ロービーム／ハイビーム（LEDヘッドランプ付車）
- 車幅灯（LEDヘッドランプ付車）
- 方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面/ミラータイプ）（LED）
- 制動灯／尾灯（LED）
- ハイマウントストップランプ（LED）
- 番号灯

キー（インテリジェントキー）の電池交換

キーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗が考えられます。
次の手順に沿って、電池を交換してください。

1	キー裏側のロックを外しながら、内蔵キー（メカニカルキー）を引き抜きます。	
2	すき間にマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。（カバーが傷つかないように、マイナスドライバーに布を巻いてください。）	 マイナスドライバー 布
3	消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+ 極を下にして取り付けてください。） 使用電池：CR2025	 一極 電池 +極
4	カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。	

⚠ 警告

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意する。

🚗 アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 電池交換後は、キーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。正常に作動しないときは故障が考えられますので、日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリー

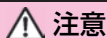
12Vバッテリーのメンテナンスについては、メンテナンスノートをお読みください。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

12Vバッテリーに関する注意事項



警告

- **12Vバッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけない。**
12Vバッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- **バッテリー液が付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診断を受ける。**
バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。



注意

- **12Vバッテリーの⊕側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにする。**
接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、12Vバッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- **12Vバッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようにしっかりと固定する。**
しっかりと固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

外装のお手入れ

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
 - － ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールトールなどが付着したとき
 - － 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - － ほこり、汚れがひどいとき

注意

- 下回りを洗うときは、ケガをしないように注意する。
- 洗車するときは、モータールーム内に水をかけない。
電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。

アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあった物をお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使用しないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

水洗いするときは

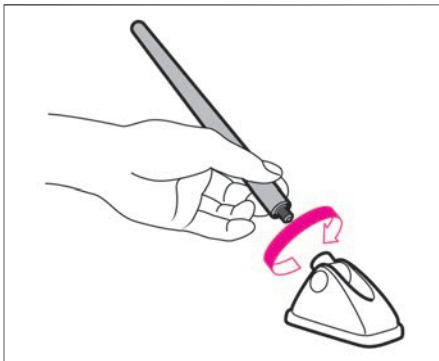
- ① 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- ② 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- ③ はん点が残らないように水をふき取ります。

洗車機を使うときは

- ルーフについているアンテナロッドを外してください。
- ドアミラーを格納してください。
-  ドアミラーの格納のしかた (P.217)
- 高圧洗車機を使用するときは、洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

アンテナロッドの外しかた

- アンテナロッドを取り外すときは、アンテナロッドの根元を持ち、矢印の方向に回して取り外します。
- 取り付けるときは、アンテナロッドの根元を持ち、矢印と逆方向に回し、確実に締め付けます。



アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車室内に水が漏れるおそれがあります。
- 自動洗車機で洗車すると、リヤワイパーを破損するおそれがあります。
- 洗車機の種類によってはスポイラーが引っ掛かり、洗車できないことがあります。

ワックスをかけるときは

- ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

- ① 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- ② 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスをご使用ください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- カメラ★のレンズ部にワックスを付けないでください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

■ アルミロードホイール★のお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - － 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使用しない
 - － 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
 - － 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す
 - － 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使用しない

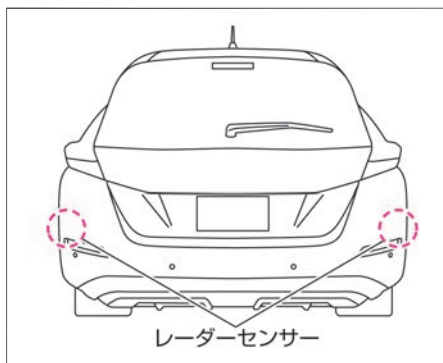
■ 軽い補修のしかた

- 塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

レーダーセンサー★の取り扱い

システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。

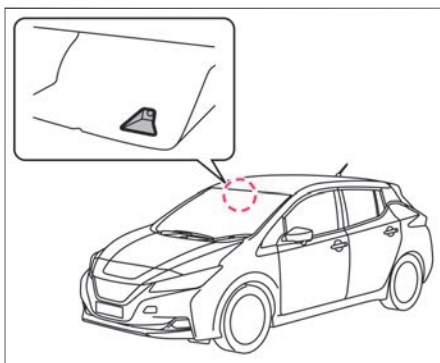
- レーダーセンサー周辺部はいつもきれいにしておいてください。
- レーダーセンサー周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでレーダーセンサー周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- レーダーセンサー周辺にステッカー（透明な物を含む）を貼ったり、アクセサリなどを取り付けたり、塗料を塗ったりしないでください。誤作動の原因になります。
- リヤバンパーを改造、脱着したり、塗装しないでください。リヤバンパーを改造したり塗装する場合は、日産販売会社にご相談ください。



マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

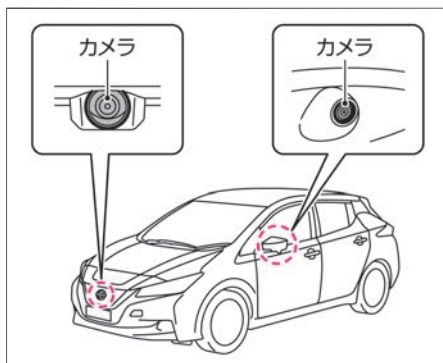
- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- カメラ前方のフロントガラスに車検の検査標章（ステッカー）を貼らないでください。正しい貼り付け位置は日産販売会社にご確認ください。
- インストルメントパネル上に鏡や白い紙などの光を反射しやすいものを置かないでください。太陽光が反射し、カメラの検知性能に影響が出るおそれがあります。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。



■ フロントビュー★／サイドビューカメラ★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- カメラ周辺部に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



⚠ 警告

- **カメラ部に強い衝撃を与えない。**
カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

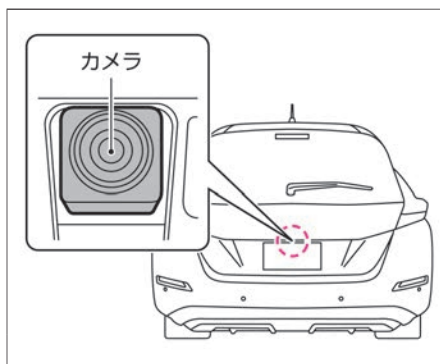
🚗 アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。映像へ影響が出ることがあります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

リヤビューカメラ★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。
中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。
- 光が反射するため、ナンバープレートのアクセサリを取り付けないでください。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



⚠ 警告

- **カメラ部に強い衝撃を与えない。**
カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。



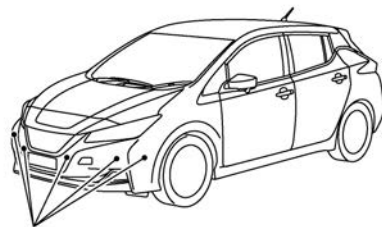
アドバイス

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。映像へ影響が出ることがあります。
- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

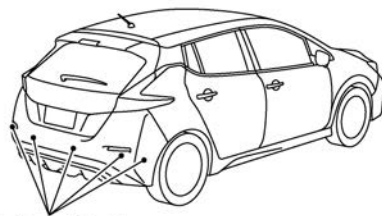
■ ソナーセンサー★の取り扱い

システムを正しく作動させるために、以下のことをお守りください。

- ソナーセンサーはいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- ソナーセンサーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーセンサーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでソナーセンサーの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- ソナーセンサーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。



ソナーセンサー



ソナーセンサー

カーペットの汚れ取り

- 電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

➡ フロアカーペット (P.415)

注意

- **車室内に水をかけない。**
オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。

布、ビニールレザーの汚れ取り

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

注意

- **車室内に水をかけない。**
オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。



アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。

■ 本革シートのお手入れ★

通常のお手入れ

- ガーゼなど柔らかい布でふきます。

水溶性の汚れを取るとき

- 柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

油性の汚れを取るとき

- ① めるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2 ～ 3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
- ② 真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
- ③ 乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。



注意

- **車室内に水をかけない。**
オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。



アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。
- 本革シートは、直射日光により変色、変質することがあるため、日よけに心がけてください。
- 本革シートが水などでぬれたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。



知識

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、日産販売会社にご相談ください。

メーター表面やその他光沢のあるプラスチック部品の汚れ取り

- 塵、ほこりを取り除き、柔らかい布を真水に浸して、固くしぼってから軽くふき取ります。
硬いブラシや布、ティッシュでこすると、傷がつくことがあります。



アドバイス

- 乾いた布やウェットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

バックドアガラスの汚れ取り

- ガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使用しないでください。

インテリジェント ルームミラーのお手入れ★

- ミラーやカメラ部は常にきれいな状態にしておいてください。汚れなどが付いていると見えにくくなるおそれがあります。
- ミラーやカメラ部を清掃するときは、乾いた柔らかい布などでそっとふいてください。
- 清掃するときはアルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品でミラーやカメラ部をふかないでください。変色、劣化、故障の原因となります。汚れがひどいときは、まず濡れた柔らかい布でふいてから乾いた柔らかい布でふいてください。
- カメラ前面のバックドアガラスはいつもきれいにしておいてください。中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた布でふき取ります。
油膜が付いているときは、油膜取りを使用して清掃してください。
- カメラ前面のバックドアガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。➡ [外観リヤ \(P.3\)](#)

点検値

項目		点検値
ブレーキペダル※1	遊び	3～11mm
	床板とのすき間 走行可能表示灯  が点灯時に約196N（20kg）で踏んだとき	90mm以上
パーキングブレーキ★ （足踏み式）	踏みしろ	6～7ノッチ
	走行可能表示灯  が点灯時に約196N（20kg）で踏んだとき	

※1： ブレーキが正常に作動しないときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの高さの調節が必要なときも、日産販売会社にご相談ください。

交換油脂類

お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。
指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。
下記は、おおよその規定量です。実際の量は、わずかに異なることがあります。
交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。

項目	規定量（ℓ）	指定油脂（規格）
減速機オイル	1.41	日産純正マチックフルードS ※1
ブレーキフルード	-	日産純正ブレーキフルードNo.2500（DOT3）
冷却水	4.6 ※2	日産純正スーパーロングライフクーラント ※3
ウォッシャー液	2.5	日産純正ウインドウウォッシャー液 ※4

- ※1： 必ず日産純正マチックフルードS を使用してください。日産純正マチックフルードS 以外のフルードを使用すると減速機が損傷するおそれがあります。
- ※2： リザーバタンクのMAX レベル容量（0.5ℓ）を含みます。
- ※3： 走行用モーターやインバーターなどが破損するおそれがあるため、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。
- ※4： 外気温に応じて濃度を調節してください。

■ 車載充電システム（3kW普通充電（車載用）／6kW普通充電（車載用）★）／急速充電

項目	内容
入力電圧	AC 100V ～ 240V
定格周波数	50Hz／60Hz
最大定格電流	18A（3kW普通充電器（車載用））、30A（6kW普通充電器（車載用））
漏電遮断器の検知電流	建屋側のブレーカーや接続している充電ケーブルによって異なります。 （日産純正品充電ケーブル：15mA）
EV充電モード／接続タイプ	Mode 2／Case B（普通充電、日産純正品充電ケーブルとの組み合わせ） Mode 3／Case B/C（3kW普通充電、6kW普通充電、公共充電スタンドなど） Mode 4／Case C（急速充電、V2H）
施工要求（短絡保護電流、保護機器の情報）	過電流、過電圧対策手段は、国内の法規、基準に従うことが必要です。家屋、ビルの配線に適切な過電流保護装置を必ず設置してください。
IP等級	IP44：充電中の充電ケーブル（コントロールボックス付）と充電ポート結合部（日産純正品充電ケーブルとの組み合わせ）
動作温度	車両の動作温度
保管温度	車両の保管温度
適合規格	SAE J1772:2010 EN61851-1:2011 EN61000-6-1:2007 EN61851-21:2002 EN61000-6-3:2007 IEC61851-1:2010 IEC61851-21:2001
アダプタ	充電ポート部にアダプタを使用しないでください。

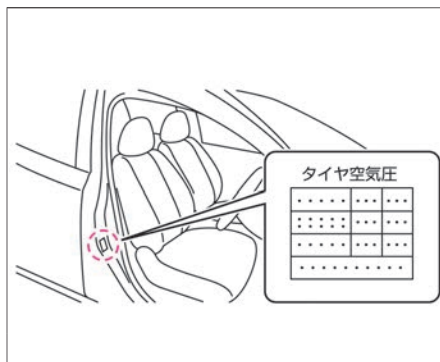
電球（バルブ）の容量

電球			容量（v-w）	電球のタイプ
前照灯（ヘッドランプ）	LEDヘッドランプ付車	ロービーム	-	LED
		ハイビーム	-	LED
	ハロゲンヘッドランプ付車	ロービーム	12-55	H11
		ハイビーム	12-60	HB3
前部霧灯（フォグランプ）★			12-35	H8
車幅灯	LEDヘッドランプ付車		-	LED
	ハロゲンヘッドランプ付車		12-5	W5W
番号灯			12-5	W5W
制動灯／尾灯			-	LED
ハイマウントストップランプ			-	LED
後退灯			12-16	W16W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	前面		12-21（アンバー）	WY21W
	側面（フェンダータイプ）		12-5（アンバー）	WY5W
	側面（ミラータイプ）		-	LED
	後面		12-21（アンバー）	WY21W

タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	インセット
205/55R16	16 × 6.5JJ	114.3mm (5穴)	40mm
215/50R17	17 × 6.5J		45mm

※： タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。



■ 車両データの記録・蓄積について

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはイベントデータレコーダ機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、イベントデータレコーダで車両が衝突したときなどの車両データを記録・蓄積しています。

知識

- イベントデータレコーダは一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

■ SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報

■ プロパイロットシステム★

プロパイロットシステムは下記車両データを記録・蓄積します。

- アクセルペダル、ブレーキペダル、ハンドルなどの操作状況
- 先行車やレーンマーカーなどの検知状況
- 車速などの車両情報
- プロパイロットの作動に関する情報
- プロパイロットの故障診断情報
- マルチセンシングフロントカメラの画像情報（SRSエアバッグ、インテリジェント エマージェンシーブレーキ作動時）

データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、イベントデータレコーダに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

車両状態の記録・蓄積について

車両状態記録機能は、下記車両データを記録・蓄積します。

- 車輪速などの車両走行情報
- バッテリー消費電力などの電力制御情報

車両状態記録機能

車両状態記録機能は電気自動車としての品質維持を目的として、車両の運行状態を常に記録・蓄積しています。

車両状態記録機能から得られたデータを元に的確なサービスを提供することができます。

知識

- 車両状態記録機能は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、車両状態記録機能に記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを次の場合を除き、第三者へ開示・提供することがありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

Telematic Control Unit Gen2Kについて

Telematic Control Unit Gen2K

この製品Telematic Control Unit Gen2Kには、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) Ficosa International, S.A. (「Ficosa」)により、またはFicosaのために開発されたソフトウェア
- (2) Ficosaにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) the GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE, Version 2.0 or the GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE, Version 2.1 (collectively “LGPL”), the Mozilla Public license v2 (“MPL”), the GPL-2.0 license with-OpenSSL-exception (“GPOpenSSL”) または GNU GENERAL PUBLIC LICENSE, Version 3 with GCC exception (以下、GPL ソフトウェアと併せて「Copyleft Software」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) Copyleft Software以外の条件に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、ライセンス条件のコピーは、以下のURLに示されるソースコードの中に含まれており、また、Copyleft Softwareのライセンス条件は、下記ウェブサイトをご参照ください。

GPL: <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

<https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.en.html>

LGPL: <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.0.html>

MPL: <https://www.mozilla.org/en-US/MPL/2.0/>

GPL-2.0-with-OpenSSL-exception:

<https://gitlab.com/cryptsetup/cryptsetup/blob/master/COPYING>

GPLv3 GCC Exception: <https://www.gnu.org/licenses/gcc-exception-3.1.en.html>

また、上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。

これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。

<https://www.ficosa.com/software/opensource/>

上記(3)、(4)に分類されるソフトウェア（「Copyleft Software」）は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、黙示的保証も含め、一切保証されません。

Ficosaは、製品発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に対してソースコードの提供に必要な物

知っておいていただきたいこと

理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、Copyleft Softwareに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。このソースコードをリクエスト頂く際は、製品をTelematic Control Unit Gen2K and version Cx9と特定ください。

また、上記のCopyleft Softwareに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<https://www.ficosa.com/software/opensource/>

【問い合わせ窓口】

FicosaへのOSS問い合わせは、下記メールへお願いします。

Focosa's Compliance Officer宛

e-mail address: FOSS@ficosa.com

ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

またインターネット接続環境はお客様で自身でご用意していただく必要があります。

Webサイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はお客様で負担となります。

B:ライセンスおよび著作権表示に関する情報

■上記(5)に分類されるソフトウェアには、次に記載するウェブサイトに記載があるライセンス情報が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム（OSS）が含まれています。

次に記載するウェブサイトには、ライセンスに関する条件（OSS licenses）およびこの製品に含まれるOSSに関するその他の情報が含まれています。

<https://www.ficosa.com/software/opensource/>

MEMO

- 3**
 3 点式シートベルト P.73
 3kW普通充電 P.45
- 6**
 6kW普通充電 P.46
- A**
 A/C (エアコン) P.221
 エアコンを使うときに注意すること P.230
 オートエアコン (メーカーオプションナビゲーションシステム装着車) P.221
 オートエアコン (メーカーオプションナビゲーションシステム非装着車) P.225
 タイマーエアコン P.236
 乗る前エアコン P.23
 吹き出し口 P.229
 プラズマクラスターイオン®
 オートエアコン P.231
- ABS
 ABS P.288
 ABS 警告灯 P.117
- AUX 外部端子 P.4
- B**
 BSW (後側方車両検知警報)
 BSW (後側方車両検知警報) P.367
 BSW (後側方車両検知警報) 表示 P.170
- E**
 ECO モード
 ECO インジケーター P.114
 ECO モード P.282
 ECO モードスイッチ P.282
 エコドライブレポート P.174
 EDR (イベントデータレコーダ) P.515
 ELR (緊急固定) 付シートベルト P.73
 e-Pedal P.277
 e-Pedalインジケーター P.115
 EPS (電動パワーステアリング) 警告
 灯 P.117
 EV システム警告灯 P.117
 EV システム始動操作表示 P.140
 EV システムを始動できないときは P.440
- I**
 INT (ワイパー) P.273, P.274
 ISO FIX 対応チャイルドシート用アン
 カー P.103
- L**
 LDW (車線逸脱警報)
 LDW (車線逸脱警報) P.376
 LDW (車線逸脱警報) 表示 P.169
- M**
 MIST (ワイパー) P.273
- O**
 ODO (オドメーター) P.113
- R**
 RCTA (後退時車両検知警報) P.384

S

SRS エアバッグ	P.78
SRS エアバッグ警告灯	P.117

T

TRIP (トリップメーター)	P.113
-----------------------	-------

U

USB 電源ソケット	P.4
------------------	-----

V

V2H 給電	P.48
V2H 充電	P.48
VDC	
VDC	P.289
VDC OFF 表示灯	P.128
VDC 警告灯	P.117

W

W数 (電球の容量)	P.513
------------------	-------

ア

アウターミラー (ドアミラー)	P.216
-----------------------	-------

アドバンスドドライブアシストディスプレイ	
アドバンスドドライブアシスト	
ディスプレイ	P.131
各種設定画面	P.154
警告メッセージ	P.140
車両情報画面	P.132
走行支援機能画面	P.167
アラーム (インテリジェントキー)	P.453
アルミロードホイールのお手入れ	P.500
安全にご利用いただくために	P.14
アンテナ	P.498

I

EV システム警告灯	P.117
EV システムを始動できないときは	P.440
e-Pedal	P.277
移動物 検知機能	P.154
イベントデータレコーダ (EDR)	P.515
イモビライザー (盗難防止装置)	
イモビライザー (盗難防止装置)	P.105
表示灯 (セキュリティインジケータ)	P.128
イルミネーションコントロール	P.178
インジケータ (表示灯)	P.128
インテリジェント DA (ふらつき警報)	P.393

インテリジェント LI	
(車線逸脱防止支援システム)	
インテリジェント LI	
(車線逸脱防止支援システム)	P.376
インテリジェント LI	
(車線逸脱防止支援システム) 表示	P.169
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	
インテリジェント エマージェンシーブレーキ	P.337
インテリジェント エマージェンシーブレーキ/踏み間違い衝突防止アシスト警告灯	P.117
インテリジェント エマージェンシーブレーキ/踏み間違い衝突防止アシストスイッチ	P.340
インテリジェント エマージェンシーブレーキ表示	P.168
インテリジェント クルーズコントロール	
インテリジェント クルーズコントロール	P.309
インテリジェント クルーズコントロールの解除のしかた	P.316
ステアリングスイッチ	P.304
インテリジェント トレースコントロール	
(コーナリング安定性向上システム)	P.293
インテリジェント ルームミラー	P.207

インテリジェントキー	
インテリジェントキーが正常に作動しないとき	P.436
機能・使いかた	P.180
電池交換のしかた	P.495
ドアの施錠・解錠の作動範囲	P.181
インナーミラー（ルームミラー）	P.206

ウ

ウインカー（方向指示器）	P.269
ウインドーガラス（パワーウインドー）	P.219
ウォーニング（警告灯）	P.117
ウォッシャー	
ウォッシャー液（規定量）	P.511
ウォッシャー液の補給	P.470
ウォッシャースイッチ	P.275
動けなくなったときは	P.420
運転するときに注意すること	P.68
運転する前に	P.66
運転前の準備	P.66

エ

エアコン	
エアコンを使うときに注意すること	P.230

オートエアコン（メーカーオプションナビゲーションシステム装着車）	P.221
オートエアコン（メーカーオプションナビゲーションシステム非装着車）	P.225
タイマーエアコン	P.236
乗る前エアコン	P.23
吹き出し口	P.229
プラズマクラスターイオン®	
オートエアコン	P.231
エアバッグ	P.78
エアバッグシステム	
SRS エアバッグ	P.78
SRS エアバッグ警告灯	P.117
SRS エアバッグシステム（前席）	P.82
SRS カーテンエアバッグシステム	P.89
SRS サイドエアバッグシステム（前席）	P.87
ABS	
ABS	P.288
ABS 警告灯	P.117
AUX 外部端子	P.4
ECO モード	
ECO インジケーター	P.114
ECO モード	P.282
ECO モードスイッチ	P.282
エコドライブレポート	P.174

オ

オイル	P.511
応急修理する前に	P.426
オートエアコン	
メーカーオプションナビゲーションシステム装着車	P.221
メーカーオプションナビゲーションシステム非装着車	P.225
オートレベライザー	P.263
オートロック機能	P.186, P.188
お子さまの安全のために	P.91
お子さまを乗せるときに注意すること	P.91
オドメーター（積算距離計）	P.113
音声操作表示	P.177

カ

外気温度計	P.109
回生ブレーキ	P.13
外装のお手入れ	P.497
カギ（インテリジェントキー）	P.180
各種設定画面	P.154
カップホルダー	P.406
カメラ	
フロントビュー／サイドビューカメラ	P.503
マルチセンシングフロントカメラ	P.502

リヤビューカメラ	P.504
ガラスのお手入れ（バックドアガラス）	P.509
寒冷時の取り扱い	P.471

キ

キー	
インテリジェントキー	P.180
インテリジェントキーに関する注意事項	P.182
キー（インテリジェントキー）の電池交換	P.495
メカニカルキー	P.180
キースイッチ（パワースイッチ）	P.244
キー連動室内照明システム	P.400, P.402
急速充電	P.47, P.52

ク

空気圧（タイヤ）	P.474, P.514
くもり取り	
デフロスタースイッチ	P.455
リヤデフォグスイッチ	P.456
クラクション（ホーン）	P.205
クリアランスランプ（車幅灯）	
スイッチ	P.263
電球（バルブ）交換	P.484

電球（バルブ）容量	P.513
クルーズコントロール	
クルーズコントロール	P.283
クルーズコントロール表示	P.171
ステアリングスイッチ	P.283
車のお手入れ	P.497
グローブボックス	P.404

ケ

警告灯	P.117
警告灯がついたときは	P.447
警告メッセージ	P.140
携帯電話やパソコンで利用できる機能	P.22
警報ブザー音別一覧表（インテリジェントキー）	P.453
けん引について	P.422

コ

工具	P.462
後席シート	P.201
航続可能距離表示	P.112
航続距離を延ばすためのポイント	P.18
後側方車両検知警報（BSW）	P.367
後退灯	
電球（バルブ）交換	P.484
電球（バルブ）容量	P.513

高電圧部品について	P.14
故障したときは	P.420
ゴルフバッグの収納	P.408
コンソールボックス	P.405

サ

サービスデータ	P.510
サイドミラー（ドアミラー）	P.216
サイドレーダー	P.501
サンバイザー	P.417

シ

シート	
お手入れ	P.506, P.508
後席シート	P.201
前席シート	P.198
チャイルドシート	P.94
ヒーターシート	P.412
フロントシート	P.198
シートベルト	
シートベルト警告灯	P.117
シートベルトの着用のしかた	P.75
シートベルトの注意事項	P.76
事故が起きたときは	P.16
室内灯	P.400
始動しない	P.440

始動のしかた	P.244	充電インジケーター	P.41	イルミネーションコントロールスイッチ	P.178
自動ブレーキ	P.337	充電ができない	P.60	インテリジェント エマージェンシー	
シフトレバー	P.249	充電がなくなったときは	P.446	ブレーキ／踏み間違い衝突防止	
車載工具	P.462	充電ケーブル	P.33	アシストスイッチ	P.340, P.358
シャシー制御	P.293	充電ケーブル収納袋	P.409	ウォッシャースイッチ	P.275
車線逸脱警報(LDW)	P.376	充電コネクタロック	P.38	エアコンスイッチ	P.221, P.225
車線逸脱防止支援システム		充電コネクタロックが解除できないとき		車両接近通報装置一時停止スイッチ	P.298
(インテリジェント LI)	P.376	は	P.439	ステアリングスイッチ (アドバンスド	
ジャッキ		充電に関する装備	P.32	ドライブアシストディスプレイ)	P.131
ジャッキアップのしかた	P.467	充電に関する注意事項	P.26	ステアリングスイッチ	
収納場所	P.462	充電ポート	P.36	(クルーズコントロール)	P.283
車幅灯		充電量の確認	P.41	ステアリングスイッチ	
スイッチ	P.263	タイマー充電	P.54	(プロパイロット)	P.304
電球 (バルブ) 交換	P.484	普通充電	P.45	ステアリングヒータースイッチ	P.411
電球 (バルブ) 容量	P.513	充電ポートリッドが開かないときは	P.438	即充電スイッチ	P.35
車両仕様	P.512	12V 系充電警告灯	P.117	デフロスタースイッチ	P.455
車両状態記録機能	P.517	12V バッテリー	P.496	ドアスイッチ	P.186
車両情報画面	P.132	収納装備	P.404	ドアミラースイッチ	P.216
車両情報ディスプレイの見かた		出力制限表示灯	P.117	ドアロックスイッチ	P.189
タイマー設定状態確認画面	P.172	出力制限表示灯が点灯したときは	P.445	TRIP RESET スwitch	P.113
車両接近通報装置		心臓ペースメーカーなどをご使用の方の		パワーウインドースwitch	P.219
車両接近通報音一時停止表示灯	P.128	注意事項	P.71	パワーウインドーロックスイッチ	P.219
車両接近通報装置	P.297	進入禁止標識検知	P.396	パワースwitch	P.244
車両接近通報装置一時停止スイッチ	P.298			ヒーターシートスイッチ	P.412
ジャンプスタートのしかた	P.443			非常点滅表示灯スイッチ	P.6
充電				フォグランプスイッチ	P.272
急速充電	P.52				

ス

スイッチの操作	
ECO モードスイッチ	P.282

プロパイロット パーキングスイッチ	P.5
ヘッドランプスイッチ	P.263
ヘッドランプレベライザースイッチ	P.270
方向指示器スイッチ	P.269
ライトスイッチ	P.263
リヤデフォグガースイッチ	P.456
ワイパースイッチ	P.273
スイッチの操作	
ソナースイッチ	P.175
ステアリング (ハンドル)	P.205
ステアリングスイッチ	
アドバンスドドライブアシスト	
ディスプレイ	P.131
クルーズコントロール	P.283
プロパイロット	P.304
ステアリングヒーター	P.411
スピードメーター (速度計)	P.109
スベアタイヤ	
パンクしたときは	P.426
スモールランプ (車幅灯)	
スイッチ	P.263
電球 (バルブ) 交換	P.484
電球 (バルブ) 容量	P.513
スライド (シート前後位置の調節)	P.198

セ

制動灯	
電球 (バルブ) 交換	P.484
電球 (バルブ) 容量	P.513
セーフティ・シールド	P.138
セキュリティインジケーター	P.128
設定 (メーター)	P.154
セレクトレバー	P.249
洗車のしかた	P.497
前照灯 (ヘッドランプ)	
スイッチ	P.263
電球 (バルブ) 交換	P.484
電球 (バルブ) 容量	P.513
前席シート	P.198
センターコンソールボックス	P.405
前部霧灯 (フォグランプ)	
スイッチ	P.272
電球 (バルブ) 交換	P.484
電球 (バルブ) 容量	P.513

ソ

走行	P.260
走行可能表示灯	P.128
走行支援機能画面	P.167
走行支援システム	P.299
走行時間アラーム	P.154

即充電	P.49
即充電スイッチ	P.35
速度計 (スピードメーター)	P.109
ソナー	
ソナー	P.175
ソナースイッチ	P.175
ソナー設定	P.154
ソナーセンサーの取り扱い	P.505

タ

タイマーエアコン	P.236
タイマーエアコンに関する注意事項	P.241
タイマー機能	P.21
タイマー充電	P.54
タイマー設定状態確認画面	P.172
タイヤ	
アルミロードホイールのお手入れ	P.500
応急修理のしかた	P.428
タイヤ・ホイールを交換するとき	P.475
タイヤ・ロードホイールサイズ	P.514
タイヤ応急修理キット	P.427
タイヤチェーンについて	P.478
タイヤの位置交換 (ローテーショ ン)	P.477
タイヤの空気圧	P.474, P.514
タイヤの点検項目	P.474
パンク	P.426

冬用タイヤについて	P.478
正しい運転姿勢について	P.66
ダブルブリテンショナー機構	P.73

チ

チケットホルダー	P.418
チャージランプ (12V 系充電警告灯)	P.117
チャイルドシート	P.94
チャイルドシート適合表	P.98
チャイルドセーフティドアロック	P.191
着信表示	P.176
駐車のしかた	P.262
チルトステアリング	P.205

ツ

通話表示	P.176
------------	-------

テ

停止のしかた	P.246
停車のしかた	P.262
低速加速抑制機能	P.348
低速衝突軽減ブレーキ機能	P.348
定速制御機能 (インテリジェント クルーズ コントロール)	P.331
テールランプ (尾灯) スイッチ	P.263

電球 (バルブ) 交換	P.484
電球 (バルブ) 容量	P.513
テールランプ表示灯	P.128
デフロスタースイッチ	P.455
電気自動車 (EV) が事故にあったときの 注意事項	P.16
電気自動車 (EV) ってどんな車?	P.12
電気自動車 (EV) の取り扱いに関する 注意事項	P.15
電気自動車と上手に付き合うために	P.18
電気自動車の特徴	P.12
電気自動車を始動できないときは	P.440
電球 (バルブ) 交換	P.484
電球 (バルブ) 容量	P.513
電欠したときは	P.446
点検整備・工具について	P.460
電源ソケット	P.413
点検値/交換油脂類	P.510
電制シフト警告灯	P.117
電池交換のしかた (インテリジェント キー)	P.495
電動格納式ドアミラー	P.216
電動パーキングブレーキ 電動パーキングブレーキ	P.253
電動パーキングブレーキ 注意事項	P.256
電動パーキングブレーキ警告灯	P.117
電動パワーステアリング警告灯	P.117

ト

ドア ドアが開かないときは	P.436
ドアスイッチ	P.186
ドアを室内から開けられないとき (チャイルドセーフティドアロッ ク)	P.191
バックドア	P.193
フロントドア	P.186
ドアミラー	P.216
ドアミラーヒーター	P.218
ドアロックスイッチ	P.189
盗難防止装置 (イモビライザー)	P.105
時計	P.109
ドライブコンピュータ	P.138
トラブルがおきたときは 12V バッテリーがあがったときは	P.441
警告灯がついたときは	P.447
出力制限表示灯が点灯したときは	P.445
電気自動車を始動できないときは	P.440
ドアが開かないときは	P.436
パンクしたときは	P.426
ブザー (警報音) が鳴ったときは	P.453
窓ガラスがくもったときは	P.455
雪道やぬかるみにはまったときは	P.457
リチウムイオンバッテリーの残量が なくなったときは	P.446

トリップメーター（区間距離計） P.113

ナ

内装のお手入れ P.506
 ナンバー灯（番号灯）
 スイッチ P.263
 電球（バルブ）交換 P.484
 電球（バルブ）容量 P.513

ノ

乗る前エアコン P.23

ハ

パーキングブレーキ
 電動パーキングブレーキ P.253
 パーキングブレーキ P.252
 ハイビームアシスト
 ハイビームアシスト P.266
 ハイビームアシスト表示灯 P.128
 ハイマウントストップランプ
 電球（バルブ）交換 P.484
 電球（バルブ）容量 P.513
 ハザードスイッチ P.6
 挟み込み防止機構（パワーウイン
 ドー） P.220

発炎筒 P.421
 バックドア P.193
 バックドアの開閉 P.193
 バックミラー（ルームミラー） P.206
 発進 P.258
 バッテリー
 12V バッテリー P.496
 バッテリーがあがったときは P.441
 バッテリー残量がなくなったとき P.446
 バッテリー残量警告灯 P.117
 バッテリーセーバー
 ヘッドランプ P.263
 マップランプ P.400
 ラゲッジルームランプ P.402
 ルームランプ P.402
 バッテリーを長持ちさせるためのポイン
 ト P.20
 バニティミラー P.417
 バルブ（電球）交換 P.484
 バルブ（電球）容量 P.513
 パワーウインドー P.219
 パワーウインドーが正常に作動しないと
 き P.220
 パワースイッチ P.244
 パワースイッチでのモードの切り替えか
 た P.247
 パワーステアリング警告灯 P.117

パワーメーター P.110
 パンクしたときは P.426
 番号灯
 スイッチ P.263
 電球（バルブ）交換 P.484
 電球（バルブ）容量 P.513
 ハンドル P.205

ヒ

ヒーターシート P.412
 ヒーター付ドアミラー P.218
 非常停止のしかた P.248
 非常点滅表示灯
 スイッチ P.6
 電球（バルブ）交換 P.484
 電球（バルブ）容量 P.513
 尾灯
 スイッチ P.263
 電球（バルブ）交換 P.484
 電球（バルブ）容量 P.513
 ヒューズ P.481
 表示灯 P.128
 ヒルスタートアシスト P.295

フ

VDC

VDC	P.289
VDC OFF 表示灯	P.128
VDC 警告灯	P.117
ブースターケーブルのつなぎかた	P.441
フード (ボンネット)	P.469
フォグランプ	
スイッチ	P.272
電球 (バルブ) 交換	P.484
電球 (バルブ) 容量	P.513
フォグランプ表示灯	P.128
吹き出し口	P.229
ブザー (警報音) が鳴ったときは	P.453
普通充電	P.45, P.49
普通充電ケーブル	P.33
踏み間違い衝突防止アシスト	
インテリジェント エマージェンシー	
ブレーキ/踏み間違い衝突防止アシスト	
警告灯	P.117
インテリジェント エマージェンシー	
ブレーキ/踏み間違い衝突防止	
アシストスイッチ	P.358
低速加速抑制機能	P.348
低速衝突軽減ブレーキ機能	P.348
踏み間違い衝突防止アシスト	P.347
冬用タイヤ・タイヤチェーン	P.478

プラグイン表示灯	P.128
プラズマクラスターイオン®	
オートエアコン	P.231
ブレーキ (回生ブレーキ)	P.13
ブレーキ警告灯 (赤色)	P.117
ブレーキシステム警告灯 (黄色)	P.117
フロアカーペット	P.415
プロパイロット	
車両情報画面	P.138
ステアリングスイッチ	P.304
プロパイロット	P.301
プロパイロット表示	P.170
プロパイロット パーキングスイッチ	P.5
フロントガラスのくもりの取りかた	P.455
フロントシート	P.198
フロントドア	P.186

ヘ

平均車速 (車両情報)	P.138
平均電費 (車両情報)	P.137
ヘッドランプ	
スイッチ	P.263
電球 (バルブ) 交換	P.484
電球 (バルブ) 容量	P.513
ヘッドランプ上向き表示灯	P.128
ヘッドランプレベライザースイッチ	P.270

ヘッドレスト	
後席シート	P.204
前席シート	P.200
便利なサポート機能	P.21
便利な充電方法	P.54

ホ

ホイールサイズ	P.514
ホイールナットレンチ	P.462
防眩式ルームミラー	P.206
方向指示器	
スイッチ	P.269
電球 (バルブ) 交換	P.484
電球 (バルブ) 容量	P.513
方向指示表示灯	P.128
防犯装置	
イモビライザー (盗難防止装置)	P.105
セキュリティインジケター	P.128
ホーンの鳴りしかた	P.205
ポジションインジケター	P.114
ポジションランプ (車幅灯)	
スイッチ	P.263
電球 (バルブ) 交換	P.484
電球 (バルブ) 容量	P.513
ボトルホルダー	P.406
本革シート	P.508

ボンネット P.469

マ

マスターウォーニング P.117
 マップランプ P.400
 窓ガラスがくもったときは P.455
 マルチセンシングフロントカメラ P.502

ミ

ミラー
 インテリジェント ルームミラー P.207
 ドアミラー P.216
 パニティミラー P.417
 ルームミラー P.206

メ

メーター
 アドバンスドドライブアシスト
 ディスプレイ P.131
 ECO インジケーター P.114
 オドメーター（積算距離計） P.113
 外気温度計 P.109
 各種設定画面 P.154
 警告灯 P.117
 警告メッセージ P.140
 航続可能距離表示 P.112

車両情報画面 P.132
 スピードメーター（速度計） P.109
 タイマー設定状態確認画面 P.172
 時計 P.109
 トリップメーター（区間距離計） P.113
 パワーメーター P.110
 表示灯 P.128
 メーターの明るさの調節のしかた P.178
 リチウムイオンバッテリー残量計 P.111
 メンテナンス設定 P.154
 メンテナンスデータ（サービスデー
 タ） P.510

モ

モーター P.12
 モータールーム P.468

ユ

USB 電源ソケット P.4
 雪道の走行のしかた P.473
 雪道やぬかるみにはまったときは P.457

ラ

ライトスイッチ P.263
 ラゲッジルームランプ P.402

ランプ（室内灯）
 マップランプ P.400
 ラゲッジルームランプ P.402
 ルームランプ P.402
 ランプが点灯しないとき（バルブの交
 換） P.484
 ランプ消し忘れ警告 P.263

リ

リチウムイオンバッテリー
 リチウムイオンバッテリー P.13
 リチウムイオンバッテリー残量計 P.111
 リチウムイオンバッテリーの残量が
 なくなったときは P.446
 リモート充電 P.23
 リモコンによる施錠・解錠 P.188
 リヤガラスのくもりの取りかた P.456
 リヤシート P.201
 リヤデフォッガースイッチ P.456
 リヤビューカメラ P.504
 リヤワイパースイッチ P.274

ル

ルームミラー P.206
 ルームランプ
 マップランプ P.400

ラゲッジルームランプ	P.402
ルームランプ	P.402

レ

冷却水

寒冷時の取り扱い	P.471
規定量	P.511
レーダーセンサー	P.501
レバー（シフトレバー）	P.249

ロ

ロードホイール

お手入れ	P.500
交換	P.475
サイズ	P.514
路上で故障したときは	P.420
ロックノブ	P.189

ワ

ワイパー

ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.273
ワイパーゴムの交換	P.480
ワイパーブレードの交換	P.479
ワックスをかけるときは	P.499

MEMO

警告灯・表示灯・警告メッセージが表示されたときは

メーター内に警告灯や警告メッセージが表示されたときは、すみやかに適切に対処する必要があります。詳しくは、警告灯（➡P.118）、警告メッセージ（➡P.140）をお読みください。表示灯については、表示灯（➡P.129）をお読みください。



警告灯 例

警告灯は、車両故障などを運転者に知らせるためのものです。警告灯が点灯したときは警告灯（➡P.118）に記載されている「説明・対処方法」に従ってください。



警告メッセージが表示されたときは、警告メッセージ（➡P.140）に記載されている「説明・対処方法」に従ってください。



表示灯 例

表示灯は、何らかのシステムが作動していることなどをお知らせするものです。点灯している理由は、表示灯（➡P.129）をお読みください。

MEMO

MEMO

MEMO